Syllabus

保健医療福祉学部
理学療法学科

2022 年度入学生

授業科目名	きびこく学 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-001

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置づけられる科目である。 テーマとしては、順正学園及び大学が、立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活などについて理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことが挙げられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史並びに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるか考え、チャレンジする態度を涵養できる。
授業概要	順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み(歴史)を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、 人々の生活ならびに地域の課題解決や発展についてご講義いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講 義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創生に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。
アクティブラーニングの内容	PBL／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	毎回講義時提出のレポート評価（70%）、第8回目に行う学習成果確認レポート作成の評価（30%）により、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の講義でレポート提出を課すが、次回の講義までに内容を評価し返却する。
履修条件・注意事項	地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題は、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと
実務経験のある教員	該当する　内容　講義を担当する複数の講師は、いずれも学園や大学の創設に中心的役割を担い尽力した講師や、地域 社会の中で様々な活動を展開している実務経験の豊富な講師である。
事前学習・事後学習とその時間	1）事前にユニパを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネットを通じて講義内容に関する情報を収集するな ど、毎回2時間以上の事前学習を行い講義に参加すること。 2）講義後には、学習内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回2時間以上の事後学習を行う。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 地域創成とは何か－吉備国際大学の学生として「きび国学」を学ぶ意義と講義計画について	大西正泰（経営社会学科） 井上、中嶋
		加計美也子 順正学園副総長

第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史について	井上、中嶋
第３回	高梁市の暦利と文化及び政策課題と今後の方向性について	近藤隆則 高梁市長 井上、中嶋
第４回	高梁基督教会堂（岡山指定跡）をめぐる歴史と人物	高梁基督教会牧師 八木橋康広 井上、中嶋
第５回	日本遺産「備中吹屋」	吹屋ふるさと村村長 戸田誠 井上、中嶋
第６回	「未来につなぐ図書館」としての活動	高梁市図書館 宮地康志 井上、中嶋
第７回	宇治地域住民総働のまちづくり	宇治地域センター 中曽まゆみ 井上、中嶋
第８回	学修成果確認レポート作成（学修成果の振り返り）	井上、中嶋
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	毎回授業用資料をユニバで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「備中高梁」に学ぶ	参・出版社名１	吉備人出版
参・著者名１	吉備国際大学「備中高梁学」研究会	参・ＩＳＢＮ１	9784860691967
参・書籍名２	留岡幸助と備中高梁	参・出版社名2	吉備人出版
参・著者名2	倉田和四生	参・ＩＳＢＮ2	9784860690991

授業科目名	SDGs概論 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-002

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学びます。 到達目標は下記のとおりです。 ・地球環境システムと人間社会システム現状とSDGs策定の背景が理解できる。 ・SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる。 ・SDGsの各目標を自分ごととして捉えることができる。 ・SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる。
授業概要	2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標に ついて概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのゆな取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実 現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。 授業は全学科の学生が受講する。合同授業として各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会 システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの外湯について講義形式で教授する。各学科の授業ではグループに分かれて SDGs達成に向けた施策をまとめ、グループごとに発表を行い課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	グループでの活動及び発表を評価する（50%）。最後に筆記試験を行いSDGsについての理解度を評価する（50%）。詳しい 評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	振り返りレポートを評価して次回授業で返却する。
履修条件・注意事項	1）初回の授業には、必ず出席すること 2）学科別授業ではグループワークを行うことから、授業を欠席しないこと 3)合同授業日と各学科授業日があるので注意すること
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ユニバーサルパスポートで配布する資料を基に事前学習をすること。また、授業終了後は、必ず復習を行うこと。予習及び復習 は各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	SDGsとは何か-なぜ学ぶのか(オリエンテーションを含む)	井勝久喜、稲本洋輔
第２回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜、稲本洋輔
第３回	SDGsが目指している世界	井勝久喜、稲本洋輔
第４回	SDGsの17の目標	井勝久喜、稲本洋輔

第５回	グループ分けと検討課題の設定（課題発掘）	井上茂樹、中嶋正明
第６回	グループ発表1回目(生活課題の検討)	井上茂樹、中嶋正明
第７回	グループ発表2回目(社会システム構築の検討)	井上茂樹、中嶋正明
第８回	試験	井上茂樹、中嶋正明
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	SDGsとは何か?	参・出版社名１	三和書籍
参・著者名１	安藤　顯	参・ＩＳＢＮ１	ISBN:978-4-86251-398-4
参・書籍名２	SDGsワークブック	参・出版社名2	日経BP
参・著者名2	山崎　紅	参・ＩＳＢＮ2	978-4-296-0720-6

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 保健医療福祉学部	担当者	山本　倫子、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝、山本
第２回	国境とは何か？	畝、山本
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝、山本
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝、山本
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝、山本
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝、山本
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝、山本
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝、山本
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝、山本
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝、山本
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝、山本
第１２回	高齢化社会の課題	畝、山本
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝、山本
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝、山本
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝、山本
第１６回	最終試験（レポート）	畝、山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	課題解決演習 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明、元田　弘敏
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-004

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：順正学園及び大学が立地する地元の地域社会の現状を理解し，地域創生に向けて取り組むべき課題について学び，その課題解決のプロセスを経験する． 到達目標： ①地元の地域社会が抱える多様な課題を理学療法の視点から分析できるようになる． ②課題解決に必要な理論・手法を修得する． ③きびこく学やSDGs概論との接点から，地域社会が抱える多様な課題を「我がこと」として捉えることができるようになる． ④グループでの演習活動を通じ，多様な考え方やそれぞれの価値観の違いを知る． ⑤学習成果の発表機会を通じ，プレゼンテーション力が身に付く．
授業概要	既学の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学，SDGs概論）で学んだ各地域の現状・課題，SDGsに関する目標について，それぞれの解決策を模索することで，社会に積極的に貢献する心や姿勢を養うことを到達目標とする． 具体的には，将来，理学療法士として接する機会が多い障害者が地元地域で生活した場合を想定し，町へ繰り出し現状の課題について情報を収集する．次に，情報を分析，解決策を提案する．一連の学びを通して，障害者の日常生活の理解とよりより生活を考案する．また，健常者の視点での見直しの必要がないか？こども～高齢者の様々な年齢や立場などの人にとって、使い易い街づくりについて考える． 以上の能動的学習経験を通じて，課題解決のために必要な一連のプロセスを修得する．
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	フィールドワークでの取り組む姿勢(50%)，プレゼンテーション(20%)，ポートフォリオの内容(30%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたポートフォリオにはそれぞれフィードバックを行う． プレゼンテーションについても講義内でフィードバックを行う．
履修条件・注意事項	きびこく学，SDGs概論を履修していること
実務経験のある教員	該当する　内容　理学療法士として実務経験を有する教員が担当を行う．
事前学習・事後学習とその時間	毎回のテーマにおいて発表があるため，復習・予習ともに1時間以上を行うこと
オフィスアワー	元田研究室：6419研究室　金曜日１限目

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・グループ作成	元田・井上・中嶋
第２回	高齢者の生活障害とは？（講義１）	元田・井上・中嶋
第３回	高齢者の生活障害とは？（講義２）	元田・井上・中嶋
第４回	高齢者のフィールドワーク（演習１）	元田

第５回	高齢者のフィールードワーク（演習２）	元田・井上・中嶋
第６回	高齢者における地域生活の分析（演習１）	元田・井上・中嶋
第７回	高齢者における地域生活の分析（演習２）	元田・井上・中嶋
第８回	高齢者のより良い生活の提案（発表１）	元田・井上・中嶋
第９回	高齢者のより良い生活の提案（発表２）	元田・井上・中嶋
第１０回	片麻痺の生活障害とは？（講義１）	元田・井上・中嶋
第１１回	片麻痺の生活障害とは？（講義２）	元田・井上・中嶋
第１２回	片麻痺患者のフィールドワーク（演習）	元田・井上・中嶋
第１３回	片麻痺患者における地域生活の分析（演習）	元田・井上・中嶋
第１４回	片麻痺患者のより良い生活の提案（発表１）	元田・井上・中嶋
第１５回	片麻痺患者のより良い生活の提案（発表2）	元田・井上・中嶋
第１６回	学習成果ポートフォリオ	元田・井上・中嶋

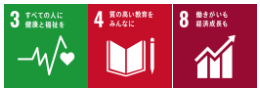
教科書			
教・書籍名１	随時紹介する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリアデザインⅠ 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CE-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も 
到達目標	【到達目標】社会的自立と職業的自立にむけて、自分の生き方・働き方を計画（キャリアデザイン）し、実行できる人間力と社会人意識 の基礎を身につける。 キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけで、人生そのものである。そして、キャリアデザインとは、卒業後の将来を見据えて自らの生き方・働き方を考え、計画することである。大学生活を充実させ、社会で生きて いくためには、自立的・主体的に考えて行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要となる。そのためには、社 会が求める人間像（自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力）について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが必要である。 したがって、この科目の具体的な到達目標として、以下の3点を設定する。 ①自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②その目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。③社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識、職業選択能力を向上させる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成されている。合同授業では、キャリアとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康やキャリア実践活動、一般的学力（自己理解）について講義や演習を行う。また、マイステップを使用 する「キャリアデザインノート」の意義や作成方法についても説明し、個人の記録として卒業まで活用していく。 授業全体を通して、「自分を知る」「社会を知る」「社会とつながる」「生き方を考える（大学生活を含む）」「働き方を考える」と いう5つのテーマで構成し、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入、グループワークやディスカッションといった演習活動を行 って自分の人生を考えることができるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動や発言（30%）、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入（30%）、基礎学習（kiuiドリル）実施状況 （20%）、最終試験あるいはレポート（20%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやキャリアデザインノートの記入内容については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するので、第1回目授業からファイルを持参すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　第2回、5回、14回は、キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師を招き、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、授業内で配布された資料や参考図書を読んでおく。 事後学習として、授業内で配布された資料を読み、次回までの課題が提示された回はその課題に取り組む。随時、自身のキャリア実践やプランについて「キャリアデザインノート」に記載していく。 各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画	担当者

第１回	オリエンテーション・キャリアとは何か	藤原直子 井上、中嶋
第２回	自分を知る・社会を知る：興味検査（VPI）or適正検査（GATB）	外部講師：マイナビ 井上、中嶋
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信繁 井上、中嶋
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原直子 井上、中嶋
第５回	自分を知る：基礎学力（1回目）、大学生活の基礎	外部講師：ラインズ・マイナビ 井上、中嶋
第６回	社会とつながる：対人コミュニケーション	井上、中嶋
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	外部講師：ボランティアセンター 井上、中嶋
第８回	自分を知る社会を知る：社会人基礎力	井上、中嶋
第９回	自分を知る：自分の強みと弱み	井上、中嶋
第１０回	社会とつながる：対人関係力	井上、中嶋
第１１回	生き方を考える：これまでの振り返りとライフプラン	井上、中嶋
第１２回	社会を知る・働き方を考える：学科の専門性や資格を活かす仕事	井上、中嶋
第１３回	社会を知る・働き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	井上、中嶋
第１４回	自分を知る：基礎学力（２回目）、将来に向けて	外部講師：ラインズ・マイナビ 井上、中嶋
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	井上、中嶋
第１６回	レポート（キャリアデザインノートの提出）	井上、中嶋

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報活用 理学						担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年						ナンバリング	GE-AI-1-009
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習	
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 		
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。		
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。		
アクティブラーニングの内容	実習		
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。		
ルーブリック評価	ダミー /uprx/rigaku.pdf		
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。		
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。		
実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、前職で企業のIT部門（システム管理部門）に従事し、パソコンと汎用コンピュータと電話回線を組み合わせた比較的規模の大きい基幹システムから、パソコンによる段ボール箱設計と段ボール箱へのデザインを作るDTPシステムまでを開発運用した経験を持つ。その他データウェアハウスによるOLAPの運用経験を持つほか、労働省（当時）が全国で運営するコンピュータカレッジの中の一校においてCGコースを２年間担当した経験を持つ。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	水曜日の1限目をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	元田
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	元田
第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	元田
第４回	OSとアプリケーション	元田
第５回	ファイルシステム操作	元田
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	元田
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	元田
第８回	表計算ソフト操作	元田
第９回	表計算ソフト課題	元田
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	元田
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	元田
第１２回	ネットワークとインターネット	元田
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	元田
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	元田
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	元田
第１６回	単位認定試験	元田

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応 型番　FPT2117	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
		担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投

実務経験のある教員	該当する	内容	影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
		担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投

実務経験のある教員	該当する	内容	影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室） 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。 これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。

ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ｉ 理学・作業	担当者	中田　昌子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-012

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	授業後に受け付けます。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	中田昌子
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	中田昌子
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	中田昌子
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	中田昌子
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	中田昌子
第６回	Japan Quiz　日本クイズに挑戦　WH疑問文	中田昌子
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	中田昌子
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	中田昌子

第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了		中田昌子
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		中田昌子
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		中田昌子
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		中田昌子
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		中田昌子
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		中田昌子
第１５回	春学期の試験		中田昌子
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		中田昌子
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ⅱ 理学・作業	担当者	中田　昌子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-013

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	授業後に受け付けます。

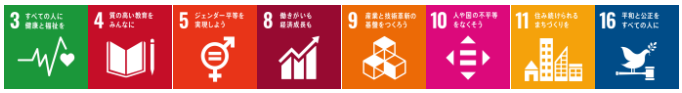
	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	中田昌子
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	中田昌子
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	中田昌子
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	中田昌子
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	中田昌子
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	中田昌子
第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	中田昌子
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	中田昌子

第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	中田昌子
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞	中田昌子
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where	中田昌子
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法	中田昌子
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞	中田昌子
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法	中田昌子
第１５回	秋学期の試験	中田昌子
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック	中田昌子

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アクティブ英語Ⅰ 理学・作業			担当者	イアン・ウォーナー		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2020～2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年			ナンバリング	GE-LE-1-014		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	この授業を受ければ、簡単な日常会話の（いくつかの）基本的なパターンをマスターすることができます。 By the end of this course, students will be familiar with numerous conversational expressions in English and therefore be more confident about speaking English.
授業概要	Throughout each weekly lesson, students will do activities and receive instruction, training and advice intended to assist and guide them in their efforts to expand and enhance their English language speaking skills and articulateness. Students will have opportunity to i) practice and thereby improve existing key skills; ii) learn various new key and / or important skills; and iii) expand vocabulary knowledge in order to raise their overall ability to understand, enter into and maintain authentic, real-life, everyday English language conversation. Students will necessarily study numerous topics including pronunciation, intonation and diction etc and be encouraged and advised at every stage about how best to express themselves clearly, efficiently and confidently. Whenever necessary therefore, major emphasis will be placed on overcoming shyness, reticence and any other presently constraining deficiencies / shortcomings that presently impede or prevent oral communication competency.
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	60% = Coursework (Including homework and mini-tests) 40% = Final 'Term' Test Exam. (Interview) [Students will be continuously appraised regarding coursework.] Coursework = Direct verbal instruction combined with use of worksheets, audio and video files, texts and photos, etc, often delivered and collected via CALL system and / or e-mail.
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	I communicate with - and provide feedback to - all students in the following ways. Firstly, I return marked, commented on and corrected (printed and / or digital) course-work and homework worksheets and question papers to students. Secondly, I provide students with Correct / Model Answer (printed and / or digital) handout documents. Thirdly, I brief students accordingly, in writing, as and when necessary, via KIU e-mail. Fourthly, I brief students, verbally, as and when necessary / whenever I deem it to be necessary or preferable before during and after lessons. Fifthly, I additionally regularly encourage all students to liaise with me verbally, as much as possible, primarily, though not exclusively during lesson time, above all if / when they think that they do not fully or well enough understand a particular topic or technical point that has just been taught, is being

	taught currently, or seems to be directly or indirectly related / associated to what has been taught / is being taught. Finally, I also regularly encourage and urge all students to contact me via e-mail, Microsoft TEAMS, Microsoft Skype, LINE and / or Apple FaceTime.
履修条件・注意事項	This course will be conducted solely in English. Students should prepare BEFORE each lesson but not worry if they don't immediately understand things and / or make mistakes. Not understanding and making mistakes are natural and central to learning. Learning how to do things well and / or correctly requires us to discover and remember what to do and what not to do. If students are able to understand and master lesson materials and activities immediately with little or no effort, those lesson materials and activities are simply too easy and less than optimally educational. Student learning goals and thus learning materials and activities must not be too easy or too difficult. They must be appropriate. Students should be mature, adequately / sufficiently interested and engaged, and 'PROACTIVE' at all times, and therefore: 01) be - and remain - alert, focussed and highly motivated throughout each and every lesson; 02) come to each lesson ready and eager to speak / communicate with their teacher and classmates in English; 03) come to each lesson ready and eager to listen to their teacher(s) and classmates in English; 04) try to fully understand - and successfully master - all the main topics and activities mentioned in lesson time, especially those that the teacher tells them are important and / or likely to be tested in (end-of-term) examinations; 05) study (relevant) textbook pages and all teacher-distributed materials, before during and after each lesson, thoroughly and as much and frequently as possible; 06) be ready and eager to speak English in front of their classmates at least once during each lesson, ideally and / or often at some length; 07) be ready and eager to make more formal oral presentations in front of their teacher and classmates, in English; 08) come to each lesson ready and eager to write / type as required, in English; 09) try hard to communicate in English clearly, logically and expansively; 10) bring all required textbooks, log-in codes and dictionaries etc to each lesson; 11) study (relevant) textbook pages - and all teacher-distributed materials - as much as possible before, during and after each lesson; 12) strive to finish / complete and submit all required classroom and homework assignments properly, thoroughly, correctly and sufficiently well and 'on time', before specified deadlines; 13) finish / submit all required classroom and homework assignments 'on time', before specified deadlines; 14) aim to fully understand - and 'master' - everything that their teacher tells them, especially those things that they are told they will likely to be tested on during (end-of-term) examinations, etc; 15) REGULARLY discuss text-book and lesson content with their teacher face-to-face and / or by e-mail; 16) communicate with - and request help from - their teacher frequently, especially when they don't understand a lesson-related topic and require assistance; 17) try to maximize the amount of time that they practice English language Listening, Speaking and Oral Communication (OC) with their teacher and one another; 18) tell the teacher immediately if they think that any textbook or lesson-related activity is / was too easy or difficult; 19) communicate with their teacher frequently, especially if they feel confused about a lesson-related topic; 20) request help from their teacher whenever they think that they would benefit from such; 21) generally try to maximize the amount of time that they practice English language oral communication with their teacher and one another; 22) use the internet only for valid, course-work related purposes during each lesson and NOT use smartphones during lesson times. 23) do an adequate / sufficient amount of revision prior to all tests and - above all - the final, end-of-term exam.

実務経験のある教員	該当する	内容	I am a native (British) English speaker with a London accent that is close to Received Pronunciation (RP). I have travelled widely in western Europe and Japan. I was a full-time Assistant Language Teacher / Instructor (ALT) at numerous elementary, junior and especially senior high schools (throughout Chiba Prefecture) from 07/2003 until 03/2014.
事前学習・事後学習とその時間	1) Students should self-study all LESSON-TIME and HOMEWORK related Listening, Reading, Writing and / or Speaking materials that are given to them by the instructor. 2) Students are expected to do and complete all LESSON-TIME self-study assignments within the (lengths of) time specified / allocated by the instructor. Students who finish such assignments early or decide that they require additional time in which to complete them should inform the instructor immediately or as soon as possible, in person / face-to-face. 3) Students should spend a minimum of 30 minutes on any and all HOMEWORK assignments. In addition to completing all LESSON-TIME and HOMEWORK assignments , students should: a) Study the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials regularly and frequently; b) Study the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials 'as much as possible'; c) Try to expand vocabulary knowledge very regularly and as much as possible; d) LISTEN to appropriate English listening materials very regularly and as much as possible; e) READ appropriate English reading materials very regularly and as much as possible; f) SPEAK English very regularly and as much as possible with teachers, classmates and other people, no matter what their first language is; g) Practice WRITING English sentences with pen, pencil or PC very regularly and as much as possible; The more time students spend studying the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials, the better. Students SHOULD aim to fully understand - and 'master' - all topics that their teacher tells them are important / and or likely to be tested on during (end-of- term) examinations. Students can and should ask the teacher to recommend additional textbooks and materials at any time.		
オフィスアワー	Students can e-mail Ian WARNER at any time: warner@kiui.ac.jp		

	授業計画	担当者
第１回	01) Asking and answering questions. 02) Who is Ian Warner? Listen, then ask (him) questions.	Warner
第２回	03) Introduce yourself. Talk about yourself.	Warner
第３回	04) Say about your hobby / hobbies and interest(s).	Warner
第４回	05) Talk about a place (that) you like.	Warner
第５回	06) Talk about your _____. [1 - 5 things = items]	Warner
第６回	07) Talk about a person AND / OR 08) Talk about your part-time job.	Warner
第７回	09) Talk about a photo OR video OR movie.	Warner
第８回	10) Talk about things (that) you have to do.	Warner
第９回	11) Talk about a thing (that) you did (in the past).	Warner
第１０回	12) Talk about the weather.	Warner
第１１回	13) Giving, receiving and understanding (road navigation) directions.	Warner
第１２回	14) Telling the time. 15) Big numbers.	Warner
第１３回	16) Talk about a photo (that is on your phone).	Warner
第１４回	17) Your favorite shop 18) What do you want to buy?	Warner
第１５回	19) Using airports. 20) Arriving at a hotel	Warner
第１６回	Final EXAM. TEST	Warner

教科書			
教・書籍名１	English Listening and Speaking Patterns 1	教・出版社名１	Nan'un-do
教・著者名１	Andrew E. Bennett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN: 9784523178422
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	Collins Easy Learning English Conversation: Book 1 (2015)	参・出版社名１	Harper Collins Publishers
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 0008101744 ISBN-13: 978-0008101749
参・書籍名２	Talk Time 2: Everyday English Conversation (2006)	参・出版社名2	Oxford University Press
参・著者名2	Susan Stempleski (Author)	参・ＩＳＢＮ2	ISBN-10: 0194392910 ISBN-13: 978-0194392914

授業科目名	アクティブ英語Ⅱ 理学・作業	担当者	ジョン・フォーセット
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-015

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	To use and build our English skills. Especially our vocabulary, fluency, and listening.By the end of the course students will be used to communicating on everyday issues and topics and overcoming difficulties and their own language limits.
授業概要	In every class there will be a vocabulary practice period and quiz. Then students will decide brief topics to speak about and discuss them in pairs and groups. After that we will focus on pattern practice and role playing common situations. In the final part of the class we will discuss in groups topics of a more general or universal nature. Homework will be assigned based on that day's content.
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	Course work 60%: quizzes, quantity, quality, speed, and audibility of production, consideration for other speakers. Exam 40%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	General class advice and comments will be given. Individual advice will be given as requested or felt necessary.
履修条件・注意事項	Above all it is important to regularly have contact with English. Please take every opportunity outside class to speak in English with teachers or other people, no matter what their first language is. Vocabulary is extremely important and is vital to every aspect of your learning. As soon as possible design a portable vocabulary study program that you can access quickly and easily whether in public or private spaces. The teacher will speak 100% native English!
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	There will be new vocabulary to be learnt for each class and old vocabulary to be reviewed and practiced. Usually there will be in-class oral work to be prepared as well. Students are encouraged to meet with the teacher or each other to practice.
オフィスアワー	Daily 1700 to 1800 except Fridays.

	授業計画	担当者
第１回	recommending, traveling	Fawsitt
第２回	offering help, hotels	Fawsitt
第３回	expressing feelings, experiences	Fawsitt
第４回	making complaints, personal possessions	Fawsitt
第５回	explaining behaviour, railways	Fawsitt

第６回	advising, renting flats	Fawsitt
第７回	opinions, personalities	Fawsitt
第８回	agreeing and disagreeing	Fawsitt
第９回	phone calls, relaying messages	Fawsitt
第１０回	questions, location	Fawsitt
第１１回	arranging to meet, Japan	Fawsitt
第１２回	describing objects and processes	Fawsitt
第１３回	professions in science and management	Fawsitt
第１４回	technical terms in simple English	Fawsitt
第１５回	Presentations (open topic)	Fawsitt
第１６回	term exam	Fawsitt

教科書			
教・書籍名１	Texts, dialogues, and lists will be distributed in class.	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語と中国文化Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-018

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習 4、鼻音の発声練習	孫基然
	1、発音の復習	

第４回	2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語と中国文化Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-019

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文	孫基然
第２回	1、助動詞「想」 2、反復疑問文	孫基然
第３回	1、経験表現 2、連動文	孫基然
第４回	1、時量補語	孫基然

	2、存在表現	
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語とフランス文化Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-020

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次
第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次

第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語とフランス文化Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-021

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次
第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次

第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	ドイツ語とドイツ文化Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-022

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二
第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二

第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語とドイツ文化Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-023

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8 Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8 Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9 Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二
第５回	Lektion 9 Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文	清水光二
第６回	Lektion 10 Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞	清水光二

第７回	Lektion 10 Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11 Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11 Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12 Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12 Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13 Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13 Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14 Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14 Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター! はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-036

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。

実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士

事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-036

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。

実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士

事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-037

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥

第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-037

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥

第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-038

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

	授業計画	担当者
第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮

第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-038

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働の現状について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂
第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂

第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚化の経済的原因。4.非婚化の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力を失ったか？	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わりと没落。	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に約30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-039

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本

第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-039

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本

第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-040

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

授業計画		担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居
第７回	(7) 心理検査について	土居

第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多様性の理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-041

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二

第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多様性の理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-041

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	課題レポートの返却時に講評する。 予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二

第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）		末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）		末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題		末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）		末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）		末吉秀二
第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	文章力の基礎	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-042

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子

第５回	配慮を示す言葉		雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類		雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉		雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文		雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章		雲津 英子
第１０回	類義語・対義語		雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点		雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉		雲津 英子
第１３回	コロケーション		雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語		雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章力の基礎	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-042

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子

第５回	配慮を示す言葉		雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類		雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉		雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文		雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章		雲津 英子
第１０回	類義語・対義語		雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点		雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉		雲津 英子
第１３回	コロケーション		雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語		雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-043

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40％）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 看護・理学・作業	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-044

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	定期試験と講義内レポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、講義内レポートの記述内容3０％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は講義内容について、講義内レポートと感想により評価する。課題に対するフィードバックは講義内にて実施する。
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。　また、学校現場を理解するという意欲もって、主体的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション：講義の進め方	國佐　栞
第２回	スポーツの意義：スポーツとは何か？	國佐　栞
第３回	社会生活の変化とスポーツの視点	國佐　栞
第４回	明治時代以降の学校体育	國佐　栞
第５回	戦後の社会教育：高度経済成長期のスポーツ	國佐　栞
第６回	スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング	國佐　栞
第７回	成長、発育、発達とスポーツ	國佐　栞

第８回	生涯スポーツと生きがいづくり	國佐　栞	
第９回	スポーツとトレーニング	國佐　栞	
第１０回	スポーツと経済	國佐　栞	
第１１回	スポーツの多様化と住民スポーツ	國佐　栞	
第１２回	地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア	國佐　栞	
第１３回	地域スポーツイベントと地域活性化	國佐　栞	
第１４回	中高年齢のライフステージのスポーツ	國佐　栞	
第１５回	まとめ	國佐　栞	
第１６回	試験	國佐　栞	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２	生涯スポーツの理論と実際	参・出版社名2	大修館書店
参・著者名2	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	参・ＩＳＢＮ2	978-4469266986

授業科目名	生涯スポーツ実習 （看護・理学・作業）	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-045

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、バレーボール、バトミントン）を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はスポーツ実施時のルールや注意点について、講義中の実践を通して評価する。課題に対するフィードバックは講義後半で実践を通して実施する。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備（ジーンズ等は認めない）
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	國佐　栞
第２回	バスケットボール	國佐　栞
第３回	バスケットボール	國佐　栞
第４回	バスケットボール	國佐　栞
第５回	バスケットボール	國佐　栞
第６回	フットサル	國佐　栞
第７回	フットサル	國佐　栞
第８回	フットサル	國佐　栞
第９回	バトミントン	國佐　栞
第１０回	バトミントン	國佐　栞
第１１回	バトミントン	國佐　栞
第１２回	バトミントン	國佐　栞
第１３回	バレーボール	國佐　栞
第１４回	バレーボール	國佐　栞
第１５回	バレーボール	國佐　栞
第１６回		

教科書

教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示す	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	数的理解	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-046

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本

第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数的理解	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-046

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本

第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-047

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一

第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-047

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

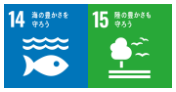
授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一

第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学					担当者	香田　康年	
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年					ナンバリング	GE-NS-1-048	
必修・選択	選択	単位数	2単位			時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期			曜日・時限	木曜3限	

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。

履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

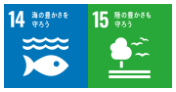
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-048

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。

履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-049

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一

第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-049

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一

第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学Ⅰ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-101		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、骨・靭帯・筋肉などの運動器系の構造と機能について理解できる。 【到達目標】 学生が、骨や靭帯、筋肉などの運動にかかわる器官について、各部位の名称や構造を理解できる。また、関節の構造や動きの仕組みについての基礎力を確立し、将来理論的かつ実践的な病態理解ができるようになる。
授業概要	理学療法士・作業療法士の業務に携わるうえで必要不可欠である、骨・靭帯・筋肉の名称や構造・生理学的機能を覚えることは勿論、関節の動きのメカニズムなど、運動器全体のイメージの確立を目指す。講義では座学と並行して「teamLabアプリ」を使用し、人体の３次元動態を映像で学ぶことで、より実践的な臨床に生きる知識を身につける。
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業
評価方法と割合	授業態度１０％、課題・小テスト３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題・小テスト等のフィードバックは、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	講義のメモの取れるノートを用意すること。講義中は私語を慎んで、必要事項はメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習おくこと。授業後、解剖学トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問対応

	授業計画	担当者
第１回	PT.OTにおける解剖学の必要性とその関わり方	熊岸
第２回	骨の構造と機能について	熊岸
第３回	顔面・頭蓋を構成する骨の名前と構造	熊岸
第４回	脊柱を構成する骨の名前と構造	熊岸
第５回	上肢を構成する骨の名前と構造	熊岸
第６回	下肢を構成する骨の名前と構造	熊岸
第７回	骨の復習小テスト　／　関節と靭帯の構造と機能	熊岸
第８回	頭蓋・脊柱の関節と靭帯の名前と構造	熊岸
第９回	上肢の関節と靭帯の名前と構造	熊岸
第１０回	下肢の関節と靭帯の名前と構造（骨盤・股関節）	熊岸
第１１回	下肢の関節と靭帯の名前と構造（膝関節・足関節）	熊岸
第１２回	関節と靭帯の復習小テスト　／　筋肉の構造と機能	熊岸
第１３回	上肢の筋肉の名前と構造	熊岸
第１４回	下肢の筋肉の名前と構造	熊岸
第１５回	顔面・体幹の筋肉の名前と構造	熊岸
第１６回	試験	熊岸

教科書

教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート　第３版	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	中島雅美	教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	解剖学Ⅱ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-102		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、神経系の構造と機能について理解する。 【到達目標】 学生が、神経系の各部位の名称や構造・仕組みについて理解する。また、各部位の生理学的な仕組みを考慮しながら神経系の主要な疾患の病態理解ができるようになることを目標とする。
授業概要	理学療法士・作業療法士の業務に携わるうえで必要不可欠である、神経系全体の仕組みについて講義する。脳や脊髄の各部位の構造や名称を理解することは勿論、生理学的な機能も含めて神経系全体が考察できることを目指す。正常な神経系の構造や機能を理解したうえで、そこから神経疾患についての病態とその仕組みについても考察できるようにする。 講義はスライド(パワーポイント)で行い、座学と並行して、適宜「teamLabBodyアプリ」を用いた視覚的授業を行い、複雑な神経システムの３次元的理解を目指す。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	受講態度１０％、提出課題３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題・小テスト等のフィードバックは、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	適宜プリント配布を行うのでA4ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習しておくこと。授業後、解剖トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。また、「teamLabBodyアプリ」を用いて、構造や動きの詳細の確認を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問等に対応

	授業計画	担当者
第１回	神経系とは？	熊岸
第２回	髄膜・脳室の構造と機能	熊岸
第３回	脊髄の構造と機能	熊岸
第４回	脳幹・小脳の構造と機能	熊岸
第５回	間脳・視床下部・下垂体の構造と機能	熊岸
第６回	大脳皮質の構造と機能	熊岸
第７回	大脳基底核の構造と機能	熊岸
第８回	感覚性伝導路について	熊岸
第９回	運動性伝導路について	熊岸
第１０回	脊髄神経（上肢の神経の走行、神経支配について）	熊岸
第１１回	脊髄神経（下肢の神経の走行、神経支配について）	熊岸

第１２回	脊髄神経麻痺について		熊岸
第１３回	第Ⅰ～Ⅳ脳神経の構造と機能		熊岸
第１４回	第Ⅴ～Ⅻ脳神経の構造と機能		熊岸
第１５回	自律神経の構造と機能		熊岸
第１６回	試験		熊岸
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	中島雅美	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学演習Ⅰ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-103		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、循環器・消化器・呼吸器の構造と機能について理解する。 【到達目標】 学生が、循環器・消化器・呼吸器について、各部位の名称や構造を理解する。また各器官の生理学的な仕組みを考慮しながら、各器官において主要な疾患の病態理解ができるようになることを目標とする。
授業概要	循環器系・消化器系・呼吸器系の各部位の詳細な構造や名称についての基本事項を理解するとともに、生理学的な機能を考慮しながら主要な疾患の病態についても考察する。座学と並行して、適宜「teamLabBodyアプリ」を用いた視覚的授業を行い、循環器系、消化器系、呼吸器系の３次元的構造についての理解を目指す。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	受講態度１０％、提出課題・小テスト３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題・小テスト等のフィードバックは、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	適宜プリント配布を行うので、A4ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習しておくこと。授業後、解剖トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。また、「teamLabBodyアプリ」を用いて、構造や動きの詳細の確認を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問等に対応

授業計画		担当者
第１回	細胞の構造と機能ついて	熊岸
第２回	循環器系（心臓の構造と機能）	熊岸
第３回	循環器系（血管の構造と機能）	熊岸
第４回	循環器系（動脈の枝分かれとその名称）	熊岸
第５回	循環器系（静脈の構造と特殊循環について）	熊岸
第６回	循環器系（リンパ系の構造と機能）	熊岸
第７回	循環器系まとめ	熊岸
第８回	消化器系（口腔・咽頭・食道の構造と機能）	熊岸
第９回	消化器系（胃・十二指腸の構造と機能）	熊岸
第１０回	消化器系（小腸・大腸の構造と機能）	熊岸
第１１回	消化器系（肝臓・膵臓の構造と機能）	熊岸
第１２回	消化器系まとめ	熊岸
第１３回	呼吸器系（気管・気管支の構造と機能）	熊岸
第１４回	呼吸器系（ガス交換の仕組み）	熊岸
第１５回	呼吸器系まとめ	熊岸
第１６回	試験	熊岸

教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート　第３版	教・出版社名2	医歯学出版
教・著者名2	中村雅美	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学演習Ⅱ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-104		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、泌尿器系・内分泌系・感覚器系の構造と機能について理解できる。 【到達目標】 学生が、泌尿器系・内分泌系・感覚器系について、各部位の名称や構造を理解する。また各器官の生理学的な仕組みを考慮しながら、主要な疾患の病態理解ができる。
授業概要	理学療法士・作業療法士の業務に携わるうえで必要不可欠な、泌尿器系・内分泌系・感覚器系の各部位の詳細な構造や名称についての基本事項を理解する。また、各組織や器官の働きや仕組みなど生理学的な機能を理解したうえで、主要な疾患の病態についても考察できるようになることを目標とする。 座学と並行して、適宜「teamLabBodyアプリ」を用いた視覚的授業を行い、泌尿器系や感覚器系などの３次元的構造についての理解を目指す。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	受講態度１０％、提出課題・小テスト３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テストのフィードバックについては、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	適宜プリント配布を行うので、Ａ４ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かして臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習しておくこと。授業後、解剖トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。また、「teamLabBodyアプリ」を用いて、構造や動きの詳細の確認を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問等に対応

	授業計画	担当者
第１回	泌尿器系とは？	熊岸
第２回	糸球体・尿細管の構造と機能	熊岸
第３回	腎臓の浸透圧調節機構について	熊岸
第４回	腎臓の仕事（酸塩基平衡）	熊岸
第５回	膀胱と尿道の構造と機能	熊岸
第６回	排尿反射について	熊岸
第７回	泌尿器系まとめ	熊岸
第８回	内分泌系とは？	熊岸
第９回	下垂体のホルモン分泌とその役割について	熊岸
第１０回	甲状腺・上皮小体のホルモン分泌とその役割について	熊岸
第１１回	副腎と膵臓のホルモン分泌とその役割について	熊岸
第１２回	内分泌まとめ	熊岸
第１３回	視覚器の構造と機能	熊岸

第１４回	平衡聴覚器の構造と機能		熊岸
第１５回	感覚器系まとめ		熊岸
第１６回	試験		熊岸
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	中島雅美	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生理学Ⅰ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-105		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医療人基礎力を身につけ、専門家としての論理的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での基礎知識の習得と必要な思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学修する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療は、病気の人に 対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解することはでき ない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるものであり、治療現場で も理学療法士に求められるものである。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（２０％）、終講試験（８０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回の授業の復習を兼ねてフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聞く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	「生きている」とは	水谷
第２回	神経一般（膜の興奮）	水谷
第３回	神経一般（興奮の伝導と伝達）	水谷
第４回	自律神経（交感・副交感神経）	水谷
第５回	自律神経（調節系）	水谷
第６回	内分泌（総論・視床下部下垂体）	水谷
第７回	内分泌（甲状腺・副腎・膵臓・他）	水谷
第８回	血液（血球と血漿）	水谷

第９回	免疫・血液凝固・血液型	水谷
第１０回	呼吸（呼吸器・換気・血流）	水谷
第１１回	呼吸（ガスの運搬・呼吸運動の調節）	水谷
第１２回	心臓（構造・電気的現象）	水谷
第１３回	心臓（力学的現象）	水谷
第１４回	循環（ネットワーク・構成と種類）	水谷
第１５回	循環（役割と血圧・微小循環）	水谷
第１６回	筆記試験	水谷

教科書			
教・書籍名１	スタンダード生理学（第3版）	教・出版社名１	文光堂
教・著者名１	二宮、安藤、彼末、松川編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-0227-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	標準生理学　第9版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	本間研一　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03429-6
参・書籍名２	解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理	参・出版社名2	羊土社
参・著者名2	岡田隆夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7581-2073-9

授業科目名	生理学Ⅱ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-106		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医療人基礎力を身につけ、専門家としての論理的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での基礎知識の習得と必要な思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学修する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療は、病気の人に 対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解することはでき ない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるものであり、治療現場で も理学療法士に求められるものである。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（２０％）、終講試験（８０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回の授業の復習を兼ねて授業でフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聞く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	体液調節（腎機能）	水谷
第２回	体液調節（体液）	水谷
第３回	消化・吸収（構造・運動機能）	水谷
第４回	消化・吸収（消化）	水谷
第５回	消化・吸収（吸収）	水谷
第６回	栄養・代謝	水谷
第７回	体温・エネルギー代謝	水谷
第８回	運動機能（骨格筋）	水谷

第９回	運動機能（運動制御のしくみ）		水谷
第１０回	感覚（一般・体性感覚）		水谷
第１１回	感覚（視覚・聴覚・平衡覚・化学覚）		水谷
第１２回	脳機能（意識・生体リズムと睡眠）		水谷
第１３回	脳機能（記憶と学習・認識・言語）		水谷
第１４回	性差・生殖		水谷
第１５回	老化		水谷
第１６回	筆記試験		水谷
教科書			
教・書籍名１	スタンダード生理学（第3版）	教・出版社名１	文光堂
教・著者名１	二宮、安藤、彼末、松川　編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-0227-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	標準生理学　第9版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	本間研一　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03429-6
参・書籍名２	解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理	参・出版社名2	羊土社
参・著者名2	岡田隆夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7581-2073-9

授業科目名	生理学実習	担当者	秋山　純一、水谷　雅年、森下　元賀、井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年	ナンバリング	HS-PT-2-107

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限 火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は生理学Ⅰと生理学Ⅱの講義で得た知識を、生体を使って実際に実験を行って、生体現象を肌で感じ、生きた知識とすることができる。学生はこの過程で科学的な思考力を養うとともに、実験データのまとめ方、レポートの書き方などを身につけることが出来る。また、学生は被験者になることによって患者様の気持ちを理解できるようになる。
授業概要	将来の臨床分野との関連性を考慮して、神経の興奮・伝導、筋収縮、反射に関する基礎的な実験をカエルを用いて行う。また自分たちの体を使って心電図や筋電図の計測、血圧、心拍数、血流量、発汗量､呼吸機能検査などの測定を行う。皮膚感覚についても、ヒトを用いて実験を行う。これらの実験から生体の計測方法や、実験データの解釈やまとめ方などを学ぶ。実習全体を通して、生理学で学んだ知識をより生きた知識として身につけることができるとともに、生体を理解する上での思考パターンを身につけることができるようになる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習態度（３０％）、レポート（５０％）、筆記試験（20%）により総合的に評価する。実習中に理解度を知るために試問を行う。この試問の内容がレポートに反映されているかどうかも評価の対象となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試問の内容やレポートの内容は次の実習にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	グループ毎に行う実験が多いので、グループ内で協力して行うこと。決して傍観者になってはいけない。 実験に於いては必ず白衣を着用すること。なお後半の実験は班毎のローテーションでおこなう。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員のうち３名(中島、井上、森下)は理学療法士としての臨床経験を持ち、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	実習を行う前に生理学Ⅰおよび生理学Ⅱの講義で習ったその項目をよく復習をし、理解しておくこと。実験で行う手順なども実習書をよく読んで、理解しておくこと。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	非常勤講師2名は、実習終了後、実習室において、専任教員３名は各研究室において、授業の前後で行う。

	授業計画	担当者
第１回	実習全体のオリエンテーション	水谷
第２回	カエルを用いた前半実習の説明と講義	秋山
第３回	筋収縮のメカニズムに関する資料収集	水谷、秋山
第４回	神経の興奮と伝導に関する資料収集	水谷、秋山
第５回	骨格筋の収縮に関する実験（標本の作成）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第６回	骨格筋の収縮に関する実験（実験データの収集）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第７回	骨格筋の収縮に関する実験（データのまとめ）	水谷、秋山
第８回	骨格筋の収縮に関する実験（データ解析と結果についての考察）	水谷、秋山
第９回	神経の興奮と伝導に関する実験（神経標本の作成）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１０回	神経の興奮と伝導に関する実験（実験データの収集）	水谷、秋山、中島、井上、

		森下
第１１回	後半の実習のオリエンテーション	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１２回	後半の実習のオリエンテーション	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１３回	神経の興奮と伝導に関する実験（データのまとめ）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１４回	神経の興奮と伝導に関する実験（データ解析と結果についての考察）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１５回	心電図の測定	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１６回	皮膚感覚の実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１７回	心電図データのレポート作成	水谷、秋山
第１８回	皮膚感覚のレポート作成	水谷、秋山
第１９回	血圧測定の実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２０回	運動負荷時の血圧変動の実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２１回	血圧測定のレポート作成	水谷、秋山
第２２回	運動負荷実験のレポート作成	水谷、秋山
第２３回	呼吸機能に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２４回	発汗に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２５回	呼吸機能に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第２６回	発汗に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第２７回	血流測定に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２８回	筋電図測定に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２９回	血流測定に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第３０回	筋電図測定に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第３１回	筆記試験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第３２回	筆記試験	水谷、秋山、中島、井上、森下

教科書			
教・書籍名１	スタンダード生理学（第3版）	教・出版社名１	文光堂
教・著者名１	二宮、安藤、彼末、松川編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-0227-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	標準生理学　第8版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	小澤･福田 監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-00301-8
参・書籍名２	人体機能生理学	参・出版社名2	南江堂
参・著者名2	杉晴夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-524-25364-7

授業科目名	運動学Ⅰ	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-PT-1-108

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	ヒトの身体運動に関する基本的な知識を学修する。主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。 学生は、１）身体運動に関する基礎的な知識を理解する、２）運動器の構造と機能を理解する、３）上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して理解を深め、基本事項を記憶できることを到達目標とする。
授業概要	運動学は理学療法士の最も基本的な学問であり、また臨床の理学療法士が治療場面で応用する学問である。授業ではその中で主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。参加型学習における授業であるが、運動学の基本事項についてより理解度を深めるために課題を与え、グループ討論も取り入れた授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	上肢帯の運動と構造	井上茂樹
第２回	上肢の運動と構造 肩関節（1）	井上茂樹
第３回	上肢の運動と構造 肘関節（2）	井上茂樹
第４回	上肢の運動と構造 手関節（3）	井上茂樹
第５回	上肢の運動と構造手指（4）	井上茂樹

第６回	運動と動作の分析（1）	井上茂樹
第７回	運動と動作の分析（2）	井上茂樹
第８回	体力と運動処方（1）	井上茂樹
第９回	体力と運動処方（2）	井上茂樹
第１０回	姿勢（1）	井上茂樹
第１１回	姿勢（2）	井上茂樹
第１２回	姿勢（3）	井上茂樹
第１３回	歩行と走行（1）	井上茂樹
第１４回	歩行と走行（2）	井上茂樹
第１５回	歩行と走行（3）	井上茂樹
第１６回	単位認定試験	井上茂樹

教科書			
教・書籍名１	基礎運動学　第6版　補訂	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一、齋藤　宏、長崎　浩	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動学Ⅱ			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-109		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマと到達目標 「理学療法のための身体運動を科学する」をテーマに学修を進める。 生体の構造と機能の関係を理解し，理学療法士として治療概念を説明できることを到達目標とする。
授業概要	身体運動を理解するため，生体の構造と機能の関係，および身体運動に関わる運動技能，運動学習について学ぶ。 理解を深めるため，動画の利用や実習を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	定期試験の成績により総合評価する（試験100%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと
履修条件・注意事項	毎回，プリントを配布するのでファイルを用意すると良い。 実習のときは動きやすい服装で参加すること。適宜指示する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書「基礎運動学」の次回講義該当事項を予習しておくこと。予習復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限をオフィスアワーとする。場所は研究室（6329）とする。

	授業計画	担当者
第１回	①生体力学の基礎１	中嶋正明
第２回	②生体力学の基礎２	中嶋正明
第３回	③生体の構造と機能１（骨の構造と機能）	中嶋正明
第４回	④生体の構造と機能２（関節の構造と機能1）	中嶋正明
第５回	⑤生体の構造と機能３（関節の構造と機能2）	中嶋正明
第６回	⑥生体の構造と機能４（腱、靭帯の構造と機能）	中嶋正明
第７回	⑦生体の構造と機能５（骨格筋の構造と機能）	中嶋正明
第８回	⑧生体の構造と機能6（骨格筋の構造と機能）	中嶋正明
第９回	⑨体幹の運動１	中嶋正明
第１０回	⑩体幹の運動２（ローカル筋，グローバル筋）	中嶋正明
第１１回	⑪体幹の運動３（コアマッスル）	中嶋正明
第１２回	⑫体幹の運動4（疼痛性抑制反射）	中嶋正明
第１３回	⑬姿勢	中嶋正明
第１４回	⑭下肢帯と下肢の運動（股関節の運動）	中嶋正明
第１５回	⑮下肢帯と下肢の運動（膝関節・足関節の構造と機能）	中嶋正明
第１６回	⑯単位認定試験	中嶋正明

教科書			
教・書籍名１	「基礎運動学」	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一ほか	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	身体運動学実習			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-110		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限 木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度な計測機器を使った実習を通じて、主に身体に関わる基本的な力学の現象を理解できる力を身につけることを目標にする。学生は物理学の中でも特に力学の基礎知識を身につけ、生体力学の問題が解答できるようになる。
授業概要	身体運動学とは人間の体の運動のしくみを研究する学問であり、力学と解剖学がその基本となる。これを理解したうえで、実際の人間の正常運動を運動動作分析の手法を用いて解析する。運動動作課題にともなう身体の動きを目で確かめ、手で触れて、種々の動作分析機器を用いて計測を行い、記録分析する。 具体的には1.体の重心、2.関節モーメント、3.筋活動、4.呼吸と代謝、5.加速度と力、歩行分析などのテーマについて実習を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	定期試験（80%）を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容（20%）にて総合的に判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	講義は１日に２コマ連続して行う。 動きやすい服装で参加すること。 高校時代に物理を履修していない者については特に事前に参考書などで力学の基礎的な学習が必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師（日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「基礎運動学」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、１日の講義につき各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	力学講義（力学法則）	河村顕治
第２回	力学講義（剛体の力学）	河村顕治
第３回	体の重心	河村顕治
第４回	体の重心	河村顕治
第５回	関節モーメント（等尺性・等張性運動）	河村顕治
第６回	関節モーメント（等尺性・等張性運動）	河村顕治
第７回	関節モーメント（等速性運動）	河村顕治
第８回	関節モーメント（等速性運動）	河村顕治
第９回	筋活動	河村顕治
第１０回	筋活動	河村顕治

第１１回	呼吸と代謝		河村顕治
第１２回	呼吸と代謝		河村顕治
第１３回	歩行分析		河村顕治
第１４回	歩行分析		河村顕治
第１５回	歩行分析		河村顕治
第１６回	単位認定試験		河村顕治
教科書			
教・書籍名１	基礎運動学	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動発達学			担当者	横井　輝夫		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-111		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限 金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	乳幼児が運動機能を獲得していく過程、および運動機能の発達と密接に関連する認知、感情、言葉、食べる機能の発達について理解し、人間の発達を多面的にとらえるための知識と思考力を獲得することが到達目標である。その結果、学生は発達障がい児へのセラピーに応用できるようになる。
授業概要	運動機能の発達については、出生から1歳までの発達を詳細に学ぶ。その際、頚定、寝返り、座位、四つ這い、立位、歩行など各発達段階の機能がどのように統合し、獲得されるのかについて解説する。また、認知機能の発達、言葉の発達と言葉の根源的な機能、感情の発達を説明する。さらに、生きるための生物学的な機能である食べる機能の発達についても解説し、多面的な角度から子どもが発達する姿を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	評価は最終回の試験が80%、積極的な授業態度が20%で行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート課題等は、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	十分な予習と復習をして授業に臨むこと。相当数の資料を配布するので、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業では、小児分野での実務経験をもつ教員がその経験を活かし。臨床現場において実践的に役立つ授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として配布資料を通読しておくこと。復習として、授業で説明された内容を専門用語を用いて簡潔にまとめること。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	反射・反応	横井
第２回	1～２か月児の運動発達	横井
第３回	３～５か月児の運動発達	横井
第４回	６か月児の運動発達	横井
第５回	７～９か月児の運動発達	横井
第６回	10～12か月児の運動発達	横井
第７回	認知機能の発達、感情の発達	横井
第８回	言葉の発達、食べる機能の発達	横井
第９回	最終試験（筆記試験）	横井
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用せず、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Rona Alexander・他（著）、高橋智宏（監訳）：誕生から1歳まで　機能的姿勢・運動スキルの発達、協同医書出版社、1997.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人間発達学			担当者	村上　勝典		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-112		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、人間発達学をリハビリテーション専門職の視点から学ぶことができる。 学生は、胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達を説明できる。
授業概要	胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達について解説する。各々の時期で重要な事柄について、現代の発達心理学の主要な知見を示しながら、人間の生涯を解説していく。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達を説明できる」の到達度について、知識をはかるために、定期テストの結果、授業中の小テストの結果、授業への取り組み姿勢により総合的に評価する。 具体的には、定期テスト（70%）、授業中の小テスト（20%）、授業への積極的な参加態度（10%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの結果は、授業時間内あるいはテスト実施の翌週にフィードバックする。
履修条件・注意事項	・予習：事前に教科書を読み理解できていない点をまとめて、授業を受けること。 ・復習：授業の内容の整理をし、理解を深めること。覚えるなど復習を行うこと。 ・授業中：積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 ・授業によっては座席を指定する場合がある。 ・プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習（2時間程度）として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習（2時間程度）として、内容について、再度理解ができているかを確認すること。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	村上
第２回	人間発達学とは	村上
第３回	胎児期・新生児期	村上
第４回	乳児期①世界を知り始める	村上
第５回	乳児期②人との関係の始まり	村上
第６回	幼児期①ことばの獲得	村上
第７回	幼児期②自己と他者	村上
第８回	児童期①思考の始まり	村上
第９回	児童期②社会性の発達	村上
第１０回	青年期①自分らしさへの気づき	村上
第１１回	青年期②人間関係	村上
第１２回	成人前期	村上
第１３回	成人後期	村上

第１４回	老年期	村上	
第１５回	総括	村上	
第１６回	定期試験	村上	
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる発達心理学[第2版]	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦　編	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病理学			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-113		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに
到達目標	病理学は基礎医学の総まとめ、そして臨床医学への入門であり、医療に携わる者にとって、どんな職種であれ必要不可欠な学問である。本講義では学生が、これまで学習した内容を総合して、病気の原因、発生の仕組み、経過、病気が辿る最終的な結末（転帰）といった病気の本態に関する基礎知識を身につけ、臨床医学をさらに理解できることを到達目標とする。
授業概要	病理学総論として、全身の臓器に共通する一般的な原理を講義する。これには細胞の異常、炎症、循環障害、免疫と免疫異常、先天異常、代謝異常、老化、感染症などの項目が挙げられる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科医として病理解剖の実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	試験は必ず行う。講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各1時間半程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	細胞・組織とその障害	高橋
第２回	再生と修復	高橋
第３回	炎症	高橋
第４回	循環障害(1)（浮腫、出血、血栓、ショック）	高橋
第５回	循環障害(2)（動脈硬化）	高橋
第６回	免疫とアレルギー(1)（自然免疫、獲得免疫）	高橋
第７回	免疫とアレルギー(2)（アレルギー疾患、免疫疾患）	高橋
第８回	腫瘍(1)（臨床腫瘍学）	高橋
第９回	分子生物学	高橋
第１０回	腫瘍(2)（腫瘍生物学）	高橋
第１１回	遺伝性疾患、先天異常	高橋
第１２回	新生児の病理、老化と老年病	高橋
第１３回	感染症	高橋
第１４回	環境と栄養	高橋
第１５回	生命の危機、腫瘍3	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書			
教・書籍名１	なるほどなっとく!病理学 plus: 病態形成の機序と各器官の疾病の特徴	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	小林 正伸 (著)	教・ＩＳＢＮ１	978-4525151812

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床心理学			担当者	宇都宮　真輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-114		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：臨床心理学とは、どのような学問であるかについて包括的な理解をしてもらうことが、この授業のテーマである。到達目標：学生が臨床心理学についての基礎的な内容を学習し、応用に向けた知識と実践的な態度を身につけられるようになることである。具体的には、①臨床心理学の発展の背景、基本的事項を理解する、②代表的な心理療法について理解する、③心理アセスメントについて理解する、④代表的な精神疾患の理解と治療について理解する、ことである。
授業概要	臨床心理学の発展の歴史、心理療法、心理アセスメント、精神疾患の理解、臨床の現場などについて紹介する。 臨床心理学についての基礎的な内容を理解し、応用に向けた知識と、実践的な態度を身につけてもらいたい。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、それらを合計して評価する。具体的には、受講態度（授業への積極的な態度）、小テスト・レポート（知識の習得状況を授業の内容が1つ終わるごとにチェックする。レポートはビデオ教材などの理解度チェック）、期末試験（総合的な知識習得状況を把握する）の内容で総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	宇都宮研究室（10号館10204 研究室）にて、金曜日昼休み（12：50～13：20）に実施。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	臨床心理学の歴史	宇都宮
第３回	精神分析学	宇都宮
第４回	精神分析学（事例）	宇都宮
第５回	分析心理学	宇都宮
第６回	分析心理学（事例）	宇都宮
第７回	事例（DVD）	宇都宮
第８回	行動療法	宇都宮
第９回	認知行動療法	宇都宮
第１０回	クライエント中心療法	宇都宮
第１１回	ロジャーズのカウンセリング（DVD）	宇都宮

第１２回	心理アセスメント		宇都宮
第１３回	生涯発達心理学の視点		宇都宮
第１４回	精神障害		宇都宮
第１５回	まとめ		宇都宮
第１６回	期末試験（筆記試験）		宇都宮
教科書			
教・書籍名１	よくわかる臨床心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	下山晴彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05435-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	内科学Ⅰ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-115		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるPT・OTの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	内科診療の実際、呼吸器疾患(1)-症候、検査、治療、呼吸不全	高橋
第２回	呼吸器疾患(2)-感染症、アレルギー疾患	高橋
第３回	呼吸器疾患(3)-気管支喘息、COPD、間質性肺疾患	高橋
第４回	呼吸器疾患(4)-肺癌、肺塞栓、換気・胸膜・縦隔疾患	高橋
第５回	消化管疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第６回	消化管疾患(2)-食道疾患、消化性潰瘍、胃癌	高橋
第７回	消化管疾患(3)-大腸疾患	高橋
第８回	肝・胆・膵疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第９回	肝・胆・膵疾患(2)-肝疾患	高橋
第１０回	肝・胆・膵疾患(3)-胆道・膵疾患	高橋
第１１回	循環器疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１２回	循環器疾患(2)-心不全、弁膜症、先天性心疾患	高橋
第１３回	循環器疾患(3)-虚血性心疾患、心筋症	高橋
第１４回	循環器疾患(4)-不整脈	高橋
第１５回	循環器疾患(5)-高血圧、動脈・静脈疾患	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	なるほどなっとく!内科学 第2版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-20722-9
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	内科学Ⅱ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-116		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるPT・OTの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	代謝性疾患(1)-糖尿病	高橋
第２回	代謝性疾患(2)-脂質異常症、痛風、骨粗鬆症	高橋
第３回	膠原病・アレルギー疾患(1)-治療、アレルギー疾患、関節リウマチ、強皮症	高橋
第４回	膠原病・アレルギー疾患(2)-強直性脊椎炎，SLE、皮膚筋炎、血管炎	高橋
第５回	内分泌疾患(1)-症候、検査、治療、下垂体疾患	高橋
第６回	内分泌疾患(2)-甲状腺・副甲状腺・副腎疾患	高橋
第７回	腎・泌尿器疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第８回	腎・泌尿器疾患(2)-慢性腎臓病、腎不全	高橋
第９回	腎・泌尿器疾患(3)-糸球体腎炎	高橋
第１０回	腎・泌尿器疾患(4)-泌尿器科疾患	高橋
第１１回	血液疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１２回	血液疾患(2)-貧血、白血病	高橋
第１３回	血液疾患(3)-悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患	高橋
第１４回	感染症(1)-症候、検査、治療、ウイルス性疾患	高橋
第１５回	感染症(2)-細菌性疾患、真菌性疾患	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	なるほどなっとく!内科学 第2版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-20722-9
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	整形外科学Ⅰ			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-117		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動器の基礎科学・解剖・生理」、「整形外科疾患の病態、診断、治療、リハビリテーション」をテーマとし、運動器の解剖、生理、さらに整形外科疾患の病態やその治療方法を学び、運動器疾患の専門家として臨床の現場で困らないだけの知識と課題を分析し解決する能力を学生が身につけることが出来る。
授業概要	整形外科疾患の知識は理学療法士・作業療法士にとって不可欠である。この講義では、今までに学修した解剖学・生理学の知識を踏まえ、整形外科疾患の病態を理解し、診断方法を学び、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。病態や治療法を理解する上で重要な基本的・普遍的なポイントをおさえつつ、随時最新の知見を取り入れて講義する。また、実際の症例を多くの画像を用いて紹介し、臨床の現場で必要となる科学的根拠に基づいた判断力・思考力も養えるようにする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で、あるいはオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	整形外科学は、1年時に学習する解剖学・生理学の知識がないと正確に理解することができない。授業開始までにこれらの科目を確実に復習しておくこと。 講義は教科書とスライドを併用して行う。教科書は必ず用意すること。スライド内容は紙媒体と電子媒体双方で配布する。講義に集中すること。特段の事情のない睡眠・遅刻は厳禁。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、整形外科医である教員が、その経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、教科書の次回の授業範囲を読み、練習問題を解くまでは最低限行うこと。また、予習の際に解剖学や生理学の知識が不確かであると自覚したら、当該分野の復習も確実に行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返し、さらに授業で扱った範囲に関連する国家試験の問題を解くとよい。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	骨疾患①（骨の構造・骨折）	森
第２回	骨疾患②（病的骨折：骨粗鬆症・病的骨折・疲労骨折）	森
第３回	骨疾患③（骨折の治療）	森
第４回	骨疾患④（偽関節と骨壊死）	森
第５回	骨疾患⑤（骨折各論）	森
第６回	変形性関節症①（総論・変形性膝関節症）	森
第７回	変形性関節症②（変形性股関節症・その他の変形性関節症）	森
第８回	関節リウマチ①（病態・評価）	森
第９回	関節リウマチ②（画像診断・治療）	森
第１０回	関節リウマチ③（合併症・関節リウマチ類縁疾患）	森
第１１回	軟骨・関節の疾患①（脱臼・半月板損傷）	森
第１２回	軟骨・関節の疾患②（結晶誘発性関節炎・外反母趾・軟骨性腫瘍・ガングリオン）	森
第１３回	靭帯の外傷・疾患（足関節捻挫・前十字靭帯損傷・ゲームキーパー母指・腸脛靭帯炎）	森

第１４回	腱の外傷（アキレス腱断裂・槌指・指屈筋腱損傷・上腕二頭筋腱断裂）		森
第１５回	腱の疾患（ばね指・ドゥケルバン病・上腕骨外側上顆炎・肩関節周囲炎・石灰沈着性腱板炎・Dupuytren拘縮）		森
第１６回	単位認定試験		森
教科書			
教・書籍名１	はじめての講義 リハビリテーションのための整形外科学の歩き方	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修：田中　栄 著：　仲村　一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-23737-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	標準整形外科学　第14版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	編集：井樋 栄二 、吉川 秀樹、津村 弘、田中 栄、高木 理彰	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03880-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	整形外科学Ⅱ			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-118		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動器の基礎科学・解剖・生理」、「整形外科疾患の病態、診断、治療、リハビリテーション」をテーマとし、運動器の解剖、生理、さらに整形外科疾患の病態やその治療方法を学び、運動器疾患の専門家として臨床の現場で困らないだけの知識と課題を分析し解決する能力を学生が身につけることが出来る。
授業概要	整形外科疾患の知識は理学療法士・作業療法士にとって不可欠である。この講義では、今までに学修した解剖学・生理学の知識を踏まえ、整形外科疾患の病態を理解し、診断方法を学び、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。病態や治療法を理解する上で重要な基本的・普遍的なポイントをおさえつつ、随時最新の知見を取り入れて講義する。また、実際の症例を多くの画像を用いて紹介し、臨床の現場で必要となる科学的根拠に基づいた判断力・思考力も養えるようにする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で、あるいはオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	整形外科学は、1年時に学習する解剖学・生理学の知識がないと正確に理解することができない。授業開始までにこれらの科目を確実に復習しておくこと。 講義は教科書とスライドを併用して行う。教科書は必ず用意すること。スライド内容は紙媒体と電子媒体双方で配布する。講義に集中すること。特段の事情のない睡眠・遅刻は厳禁。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、整形外科医である教員が、その経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、教科書の次回の授業範囲を読み、練習問題を解くまでは最低限行うこと。また、予習の際に解剖学や生理学の知識が不確かであると自覚したら、当該分野の復習も確実に行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返し、さらに授業で扱った範囲に関連する国家試験の問題を解くとよい。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

授業計画		担当者
第１回	筋肉の外傷・疾患（肉離れ・コンパートメント症候群・サルコペニアとフレイル）	森
第２回	絞扼性神経障害①（総論・尺骨神経麻痺・正中神経麻痺）	森
第３回	絞扼性神経障害②（橈骨神経麻痺・総腓骨神経麻痺・その他の絞扼性末梢神経障害・CRPS）	森
第４回	神経根の障害①（腕神経叢・頚椎神経根の疾患）	森
第５回	神経根の障害②（腰仙神経叢・腰椎神経根の疾患・馬尾神経の疾患）	森
第６回	脊髄疾患①（脊髄障害の病態・頚椎症性脊髄症）	森
第７回	脊髄疾患②（脊椎・脊髄損傷）	森
第８回	小児整形外科①（小児整形外科総論・小児の骨折）	森
第９回	小児整形外科②（骨端症）	森
第１０回	小児整形外科③（骨系統疾患・くる病）	森
第１１回	小児整形外科④（小児の関節疾患）	森
第１２回	小児整形外科⑤（小児の筋疾患・小児の神経疾患）	森
第１３回	切断（疫学・手術・切断端の管理・幻肢痛・小児の切断）	森

第１４回	部位から診る運動器疾患①（頚部痛・肩痛・肘痛・手関節痛）		森
第１５回	部位から診る運動器疾患②（手指の痛み・腰痛・股関節痛・膝痛）		森
第１６回	単位認定試験		森
教科書			
教・書籍名１	はじめての講義 リハビリテーションのための整形外科学の歩き方	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修：田中　栄 著：　仲村　一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-23737-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	標準整形外科学　第14版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	編集：井樋 栄二 、吉川 秀樹、津村 弘、田中 栄、高木 理彰	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03880-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床神経学			担当者	中角　祐治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-119		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	この授業のテーマは、各種の神経疾患の臨床像の理解であり、神経疾患に関する国家試験問題に対応できるレベルの知識の習得を到達目標とする。 このレベルは実際の医療現場で患者を担当するのに必要な最低限度の知識でもある。
授業概要	神経系に関係する血管障害、変性疾患、外傷、腫瘍、感染症、中毒、機能性疾患について講義する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	毎回の授業の最後に行う小テスト25%、中間試験25%、期末試験50%とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の授業の最後に行う小テストについて次回の授業の最初に解説する。 中間試験は４５分間で、残りの４５分で問題の解説をする。
履修条件・注意事項	神経疾患を理解するためには、正常な解剖・生理と病態生理・症候学の知識を有していることが必要です。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員は、東京都都立神経病院神経内科、アイオワ大学Neurology等での勤務経験があります。
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習に各２時間を要す。配布資料を中心に取り組んで下さい。
オフィスアワー	水曜３限、６号館４階、６４１１研究室

	授業計画	担当者
第１回	神経・筋の解剖・生理	中角
第２回	症候学・診断学；脳神経領域	中角
第３回	症候学・診断学；運動系	中角
第４回	症候学・診断学；感覚系	中角
第５回	症候学・診断学；自律神経系	中角
第６回	症候学・診断学；高次脳機能	中角
第７回	脳血管障害；総論	中角
第８回	中間試験と１－７回の授業のまとめ	中角
第９回	脳血管障害；各論	中角
第１０回	変性疾患１ パーキンソン病、脊髄小脳変性症	中角
第１１回	変性疾患２　筋萎縮性側索硬化症	中角
第１２回	脱髄疾患	中角
第１３回	筋疾患	中角
第１４回	腫瘍、感染症	中角
第１５回	先天性疾患、機能性疾患	中角
第１６回	期末試験	中角

教科書			
教・書籍名１	なし（配布資料を教科書代わりに用いて下さい。）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	神経内科学テキスト	参・出版社名１	南江堂

参・著者名１	江藤文夫	参・ＩＳＢＮ１	978-524-26215-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児科学			担当者	赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-120		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児期の各期（新生児、乳児、学童、思春期）においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。
授業概要	１．小児各期のおける成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 ２．循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 ３．消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 ４．血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 ５．腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 ６．神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 ７．発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	ミニテスト30％、定期試験70％に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ミニテストや課題等については、授業中にフィードバックする。
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。 授業前には必ず予習し、授業終了後はノートを整理すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、長年、小児科医としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、理学療法士・作業療法士として必要とされる小児に関する知識や能力について講義し、理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	学習した内容をその日のうちにまとめること。特に疑問やわからなかった点をチエックして調べておくこと。概ね1時間以上自己学習をすること。
オフィスアワー	火曜日1限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	小児期の特徴と内容	赤在
第２回	成長と発達（胎児）	赤在
第３回	成長と発達（新生児期）	赤在
第４回	乳幼児期の栄養	赤在
第５回	診断と治療における特性	赤在
第６回	新生学	赤在
第７回	新生児期の病気	赤在
第８回	感染症	赤在
第９回	神経疾患	赤在
第１０回	神経疾患（痙攣性疾患など）	赤在
第１１回	神経筋難病	赤在
第１２回	腎・泌尿器疾患	赤在
第１３回	発達障害（発達遅滞、重症心身障害）	赤在
第１４回	発達障害（ADHD、多動など）	赤在
第１５回	小児疾患とリハビリ	赤在

第１６回	定期試験		赤在
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学 小児科学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナースとコメディカルのための小児科学	参・出版社名１	日本小児医事出版
参・著者名１	奈良勲　他	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神医学Ⅰ			担当者	森信　繁		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-121		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義・課題学習・発表
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：精神障害を理解する 到達目標：理学療法士として必要な精神障害についての下記の知識を、学生が身につけられる。 １．精神医学の基礎的事項・総説的事項を理解できる。 ２．代表的な精神障害について、概念、成因、疫学、症状、検査、治療などについて理解できる。 ３．精神障害特性を理解し、リハビリテーションにかかわる際の基本的態度を学べる。 ４．精神医学の歴史的な背景を理解できる。 ５．精神医療保健福祉関連の法律の概要を理解できる。
授業概要	リハビリテーションに関わる者にとって、「人の理解」「こころの理解」は不可欠です。精神の障害をもった人を理解し、接し方やリハビリテーションの方法について学ぶことは、精神障害のみでなく、身体障害や知的障害など他の障害者に接する際にも必要です。具体的イメージを持ちやすいようにビデオなどを活用する他、授業中に適宜症例提示を行い診断や治療法を議論するなど、精神障害への理解を深めるようにすると同時に、評価にも反映します。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「精神障害を理解する。」の到達度について、知識　および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（８０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題へのレポートや発表のスライド原稿にコメントを記載して、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	国家試験への対処も考慮しながら、講義を行う。 毎回プリントを配布するので、ファイリングを工夫すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目では、精神科専門医・精神保健指定医としての実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、各事業計画について事前に1時間ほど教科書を読み、疑問点をまとめて授業を受けること。 復習としては、授業終了ごとに2時間ほど、配布資料の脚注やノートに重要事項をまとめて理解すること。
オフィスアワー	木曜２限、６号館４階6401研究室

	授業計画	担当者
第１回	精神医学総論 （精神障害の成因と分類）	森信　繁
第２回	精神医学総論 （精神症状と診断）	森信　繁
第３回	精神医学総論 （薬物治療学）	森信　繁
第４回	精神医学総論	森信　繁

	（心理療法）	
第５回	精神医学総論 （脳画像検査）	森信　繁
第６回	精神医学総論 （心理検査）	森信　繁
第７回	統合失調症及び関連障害 （臨床症状と診断）	森信　繁
第８回	統合失調症及び関連障害 （薬物治療・心理療法・リハビリテーション）	森信　繁
第９回	うつ病及び関連障害 （臨床症状と診断）	森信　繁
第１０回	うつ病及び関連障害 （薬物治療・認知行動療法）	森信　繁
第１１回	双極性障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１２回	自殺の実態と予防	森信　繁
第１３回	不安障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１４回	強迫性障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１５回	外傷後ストレス障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１６回	身体表現性障害 解離性転換性障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１７回	パーソナリティー障害	森信　繁
第１８回	パーソナリティーの形成メカニズム	森信　繁
第１９回	摂食障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第２０回	精神分析学	森信　繁
第２１回	睡眠障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第２２回	てんかん （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第２３回	認知量及び関連障害 （臨床症状と診断）	森信　繁
第２４回	認知症及び関連障害 （治療とケア）	森信　繁
第２５回	器質性精神障害と症状性精神障害	森信　繁
第２６回	物質関連障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁

第２７回	自閉性スペクトラム障害	森信　繁
第２８回	注意欠損多動性障害とチック症	森信　繁
第２９回	精神腫瘍学と緩和ケア	森信　繁
第３０回	精神保健福祉法	森信　繁
第３１回	ケースカンファレンス	森信　繁
第３２回	テスト	森信　繁

教科書			
教・書籍名１	臨床につながる精神医学　理学療法・作業療法専門基礎分野	教・出版社名１	医師薬出版株式会社
教・著者名１	渡辺　雅幸　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21948-5 C3047
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床薬理学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-122		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、薬物の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について学ぶことができる。学生は、薬物に対する生体の反応についての基礎的知識を習得することができる。すなわち、学生は薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗菌剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬等の作用機序、有害作用、臨床応用等について習得することができる。
授業概要	医薬品の薬理作用についての知識は医療に携わる者にとっては、必須なものである。従って、薬物の最新の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について教授する。さらに、「薬物に対する生体の反応」についての基礎的知識を身につけさせる。薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗生剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、消化性潰瘍治療薬の作用機序と臨床応用、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬、糖尿病治療薬等の長期間投与薬物の作用機序、有害作用、臨床応用について学ぶ。この科目は、医療現場において実務経験のある薬剤師である教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

	授業計画	担当者
第１回	薬理学の概念・薬理作用	長町
第２回	薬効に影響を及ぼす要因・薬の有害作用	長町
第３回	3.薬の適用・各種製剤と処方箋・処方の実際	長町
第４回	抗生物質各論・合成化学療法薬	長町
第５回	がんの化学療法・免疫抑制薬・消毒薬その他	長町
第６回	交感神経作用薬・副交感神経作用薬その他	長町
第７回	全身麻酔薬・催眠薬・抗精神病薬その他	長町
第８回	抗うつ薬・抗てんかん薬・麻薬性鎮痛薬その他	長町
第９回	アレルギーと抗ヒスタミン薬・炎症と抗炎症薬	長町
第１０回	強心薬・狭心症治療薬・抗不整脈薬	長町
第１１回	抗高血圧薬	長町
第１２回	血管拡張薬・利尿薬その他	長町
第１３回	呼吸器系薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳薬他）	長町
第１４回	消化器系薬物（胃・十二指腸潰瘍薬他）	長町
第１５回	物質代謝に作用する薬物（糖尿病治療薬他）	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　薬理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	大鹿英世、吉岡充弘、井関　健著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-26-004716-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	今日の治療薬	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	浦部晶夫、島田和幸、川合眞一編集	参・ＩＳＢＮ１	978-4-524-22657-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生学			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-123		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマは公衆衛生である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標は公衆衛生の視点が身に付くことである。
授業概要	公衆衛生活動では 疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度・社会的取り組みや技術がある。この科目では 公衆衛生の総論的、基礎的な考えかたを種々の例を用いて学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（５０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（５０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、その内容を評価に反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時に講義内容に加えてフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	期末試験では、配布資料、自作のまとめ（自作に限る、他人のコピーは不可）は持ち込み可とする。再試はしない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、授業内容の背景理解や整理のためには参考資料などで補う必要がある。参考図書を紹介している。
オフィスアワー	6号館4 6424研究室にて 毎週水曜2限 教授会がある日を除く または木曜 限を オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	社会と健康	中瀬克己
第２回	食のイメージマッピング	中瀬克己
第３回	公衆衛生を担う機関	中瀬克己
第４回	行動経済学	中瀬克己
第５回	ソーシャルキャピタルとヘルスプロモーション	中瀬克己
第６回	環境保健	中瀬克己
第７回	医療政策	中瀬克己
第８回	産業保健	中瀬克己
第９回	ストレスチェック	中瀬克己
第１０回	口腔保健	中瀬克己
第１１回	災害保健	中瀬克己
第１２回	身近な感染症と耐性菌	中瀬克己
第１３回	食品安全と食中毒	中瀬克己
第１４回	感染症危機管理	中瀬克己
第１５回	疫学	中瀬克己

第１６回	筆記試験	中瀬克己	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所　編	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床栄養学			担当者	産本　敦子		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-124		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生が健康と栄養との関わりについて理解し、望ましい食生活のあり方について考えることをテーマとし、自らの食生活を見直し、問題点を探り、改善できる能力を身につけることができる。 到達目標として ①学生が栄養素の体内での働きについて理解できる。 ②学生が健康保持・増進のために、何を、どれだけ、どのように食べればよいのかを理解できる。 ③学生が疾病と栄養の関係について学び、疾病予防・治療・増悪化防止のための栄養食事療法について理解できる。
授業概要	栄養素の機能や食品の特性を理解するとともに、体内での消化・吸収・代謝について基礎的な知識を習得し、食生活に関心を持ち、食生活と健康について考える。 さらに、さまざまなライフステージにある人の健康の保持・増進と疾病予防や治療のための食生活のあり方について考える。また、各種病態別の栄養食事療法についても学習することにより、理学療法士として患者の栄養指導への理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	健康と栄養の関わりを理解し、望ましい食生活のあり方を考え、実践する能力を身につけることを目的とし、知識の習得の程度を確認するための毎回の小テスト（30%）、定期試験（50%）、自らの食生活の問題点を探り、改善方法を考えるためのレポート（20%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回実施する小テストは、採点して次回の授業で返却し、解説する。レポートは授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業時に講義内容、資料等のプリントを配布するので、ファイルまたはノートを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回、前回の授業内容について小テストを行うので、復習しておくこと。予習には1時間程度、復習には２時間程度を要すること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	健康と栄養	産本
第２回	栄養素の種類と機能① 糖質、脂質	産本
第３回	栄養素の種類と機能② タンパク質、ビタミン	産本
第４回	栄養素の種類と機能③ ミネラル、食物繊維、水	産本
第５回	食品と栄養	産本
第６回	栄養素の消化・吸収	産本
第７回	栄養素の体内代謝	産本
第８回	エネルギー代謝	産本
第９回	日本人の食事摂取基準	産本

第１０回	ライフステージと栄養① 乳児期～成人期	産本
第１１回	ライフステージと栄養② 妊娠期、更年期～高齢期	産本
第１２回	臨床栄養① 循環器疾患患者の食事療法	産本
第１３回	臨床栄養② 消化器疾患患者の食事療法	産本
第１４回	臨床栄養③ 栄養・代謝疾患患者の食事療法	産本
第１５回	臨床栄養④ その他の疾患患者の食事療法	産本
第１６回	定期試験	産本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　栄養学	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	小野貴史ら	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-01993-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	一般臨床医学	担当者	服部　俊夫、高橋　淳、森　芳史、赤在あゆみ
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-125

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	PTやOTにおいて、近年医療が急速に進歩する中で、専門分野以外の外科・産婦人科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科等について、基本的な初期医療（プライマリーケア）に対応する能力の重要性が指摘されている。本講義では、学生がそれらの基本的な考え方、知識を習得し、初期対応できるようになることを到達目標とする。
授業概要	複数の教員によるオムニバス形式の講義で、別途、授業科目である内科学・整形外科学等を除く臨床分野で、日常多く見られる各種疾患の初期診療に必要な要点を理解できるようにする。そのほか、救急医学や近年注目されている最先端医学についても紹介したい。これらの知識を深めておくことは、理学療法や作業療法を行っていくための基礎的能力を高める上で重要と考える。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書の該当箇所を予め読んでおく予習と、講義で教わった内容を再確認する復習を前提にして授業を進める。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	高橋：個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。 服部：個人研究室にて、水曜日の3時限目に実施。 森：個人研究室（6412）にて、火曜日の5限目と水曜日の5時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	救命救急医療(1) – 心肺蘇生法、ショック、呼吸管理	高橋
第２回	救命救急医療(2) – 中心静脈栄養、輸血、救急処置	高橋
第３回	外科的救急疾患	高橋
第４回	外科総論	森
第５回	皮膚科疾患(1) – 解剖・生理、症状・病態生理、皮膚炎など	服部
第６回	皮膚科疾患(2) – 皮膚感染症、皮膚腫瘍など	服部
第７回	泌尿器/生殖器疾患	服部
第８回	婦人科・産科疾患(1) – 解剖、受精・着床、正常妊娠と分娩	森
第９回	婦人科・産科疾患(2) – 妊娠の異常、婦人科疾患	森
第１０回	婦人科・産科疾患(3) – 婦人科腫瘍、性感染症	森
第１１回	眼科疾患	高橋
第１２回	耳鼻・咽喉科疾患(1) – 耳疾患	赤在
第１３回	耳鼻・咽喉科疾患(2) – 鼻疾患、咽喉頭疾患	赤在
第１４回	老年医学	高橋

第１５回	悪性腫瘍の緊急症		高橋
第１６回	試験		高橋
教科書			
教・書籍名１	PT・OT・STのための一般臨床医学　第3版	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	椿原 彰夫 (編集), 平岡 崇 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4263219324
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	救急救命医学			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-126		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「応急処置の基本と各場面における応急処置の実際」、「微生物学の基礎に基づく滅菌・消毒知識とその応用」をテーマとし、心肺蘇生術や理学療法士・作業療法士として実際の臨床現場で遭遇しうる救急疾患の病態、対処方法、感染症の基礎的知識および予防法について知り、理解すると共に、学生が臨床現場で応急処置の必要な患者に遭遇したとき困らないだけの実践力を身につけることが出来る。
授業概要	医療、福祉の現場では、被施療者が思わぬケガをする場合や、合併症により重篤な状態に陥ることがあり得る。その現場に居合わせた場合、応急処置をすることは医療従事者の義務である。また、被施療者が何らかの感染症を有している場合があり、被施療者同士間の感染防止や施療者自身の身を守ることが必要となる。この講義の前半は応急処置の基本的手技を講義と実技指導により身につけることを目標として行う。後半は感染症の基礎を学び、医療の現場における滅菌・消毒の知識の実際を習得し、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度と定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	教科書とスライドを用いて講義する。確実で正確な知識を身につけることが重要なので、自分で予習・復習を行う必要がある。そのために、必ず教科書を用意すること。また、重要な技術を確実に習得してもらうため、トレーニング用モデルを用いた実習を行う。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床医として救急医療の経験のある教員が、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、次回の授業内容について教科書の該当範囲を読むことで行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返して行うこと。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	一次救命処置（講義）	森
第２回	一次救命処置（実技）	森
第３回	呼吸器系の障害（講義）	森
第４回	呼吸器系の障害（実技）	森
第５回	創傷・熱傷	森
第６回	感染症総論	森
第７回	感染症各論①	森
第８回	感染症各論② / 単位認定試験	森
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	改訂5版 救急蘇生法の指針2015 医療従事者用	教・出版社名１	へるす出版
教・著者名１	監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89269-895-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保健医療福祉概論	担当者	松原　浩一郎、岩田　美幸、田中　富子、中角　祐治、井上　茂樹、服部　俊夫、竹﨑　和子、森信　繁、中瀬　克己、福岡　美和、高橋　淳、赤澤　真旗子、石田　敦
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年	ナンバリング	HS-PT-1-127

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、国民が安心して生活していくために重要な「社会保障」について、保健医療福祉の専門職が協力して遂行していることを理解することである。 到達目標は、各学科の学生が、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの仕事内容が理解できること、そして医療福祉施設の現状を知り、多職種連携のありかたについて理解を深めることである。
授業概要	医療技術の進歩により、これまで治せなかった疾病が治せるようになっている反面、高齢化の進展により、医療だけでは解決できない問題が増えている。これらの状況に対応をするためには、多職種連携が必要である。 授業では、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護支援専門員の資格を有し、実務経験のある教員が順に講師となり、それぞれの経験に基づき、日本の保健医療福祉の現状を説明する。学生は、それぞれの仕事内容を理解し、チームアプローチできるようになる。 ＊実務経験のある教員による授業科目 この科目では、医学・看護学・リハビリテーション医学・社会保健福祉学などの領域の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	レポートで評価する。レポートのテーマは保健医療福祉に関することとし、各自が自分で設定する。そして、関連する文献を３つ以上読み、それらの要約と自分の考えを千字程度にまとめる。具体的な書き方と評価基準の詳細は、最初の授業時間に提示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	他職種の話しを聞ける絶好の機会なので、積極的に授業に参加してもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	保健医療福祉の現場にチームの一員として参加している自分を思い描いてほしい。また、チームの一員になるためにこれから学習していくべきことを整理してほしい。講義の内容に合わせて終了時に，課題を提示する．課題について予習・復習に２時間を要す。
オフィスアワー	木曜２限、６号館４階6401研究室

授業計画		担当者
第１回	メンタルヘルスと多職種連携	森信
第２回	国際保健について	服部
第３回	医療の歴史と仕事内容	中角
第４回	看護師の仕事内容	竹崎
第５回	保健師の仕事内容	田中

第６回	助産師の仕事内容	福岡
第７回	理学療法士の仕事内容	井上
第８回	作業療法士の歴史と仕事内容	岩田
第９回	福祉職の歴史と仕事内容	松原
第１０回	日本の福祉制度と実際の取り組み	石田
第１１回	在宅支援の連携ネットワーク	外部講師
第１２回	保健所の役割と業務	中瀬
第１３回	学校保健と養護教諭の仕事内容	赤澤
第１４回	医療崩壊	高橋
第１５回	介護・福祉施設の現状	外部講師（村上）
第１６回	レポート試験	森信

教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	リハビリテーション概論			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-128		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は４年間にわたり理学療法士になるための教育を受ける上で基本となるリハビリテーションの歴史、理念を身につけることができる。その上で、秋学期の「リハビリテーション医学」を学ぶための基礎的知識を身につけることができる。学生は大学で学ぶべき内容の概観を得ることができる。
授業概要	リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成12 年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。障害者スポーツの意義についても講義を行う。 リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	定期試験（80%）を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容（20%）にて総合的に判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	春学期のリハビリテーション概論と秋学期のリハビリテーション医学の履修において各自がポートフォリオを作成することを義務づける。これは学習をより確かなものにしてこれからの専門的学習の基礎を作るためである。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医師（日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「リハビリテーション医学テキスト」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	リハビリテーションとは	河村顕治
第２回	障害のとらえかた	河村顕治
第３回	リハビリテーション医学の歴史	河村顕治
第４回	リハビリテーション医学の実際	河村顕治
第５回	機能障害の評価（ＲＯＭ）	河村顕治
第６回	機能障害の評価（ＭＭＴ）	河村顕治
第７回	活動の評価（ＡＤＬ）	河村顕治
第８回	QOLの評価	河村顕治
第９回	理学療法	河村顕治
第１０回	作業療法	河村顕治
第１１回	言語聴覚療法	河村顕治
第１２回	補装具・自助具	河村顕治

第１３回	社会保障体制	河村顕治	
第１４回	公的介護保険制度と地域リハ	河村顕治	
第１５回	スポーツとリハビリテーション	河村顕治	
第１６回	単位認定試験	河村顕治	
教科書			
教・書籍名１	リハビリテーション医学　第1版	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	安保雅博／監、渡邉　修、松田雅弘／編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0231-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	リハビリテーション医学			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-129		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	春学期で学習した「リハビリテーション概論」の基礎知識を基に、２年次以降開講される専門科目をスムーズに学習できるリハビリテーションに関わる基礎知識を身につけることを目標とする。学生はリハビリテーションの対象となる主たる疾患の知識を身につけることができる
授業概要	リハビリテーション医学の概念と各障害に対するリハビリテーション医学の基本的原則を教授する。 臨床医学の各科が個々の臓器や器官を対象とするのに対し、リハビリテーション医学は人間の行動能力全体を対象とする際だった特徴がある。障害の実体を科学的に捉え、合理的な解決を決めるための基礎を学ぶ。 各疾患についての理解を深めるために臨床現場の写真・動画を多用する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	定期試験（80%）を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容（20%）にて総合的に判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	春学期のリハビリテーション概論と秋学期のリハビリテーション医学の履修において各自がポートフォリオを作成することを義務づける。これは学習をより確かなものにしてこれからの専門的学習の基礎を作るためである。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師（日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「リハビリテーション医学テキスト」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	脳血管障害（脳卒中）	河村顕治
第２回	脊髄損傷	河村顕治
第３回	神経・筋疾患	河村顕治
第４回	骨・関節疾患	河村顕治
第５回	小児疾患	河村顕治
第６回	末梢神経障害	河村顕治
第７回	切断	河村顕治
第８回	高齢者	河村顕治
第９回	試験	河村顕治
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	リハビリテーション医学　第1版	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	安保雅博／監、渡邉　修、松田雅弘／編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0231-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年学			担当者	服部　俊夫		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年			ナンバリング	HS-PT-3-130		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	16時間	授業形態	講義と学生発表。
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	健康と福祉及び環境保全
授業概要	高齢化が進む社会への医療を学ぶ
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	SDGｓのテーマを選択し、調査発表　筆記試験 (60%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	こまめにテストを行い、学習度を確認する
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当する　内容　東北大学病院で、感染症の高齢者の診療を行った。
事前学習・事後学習とその時間	SDGsの興味あるテーマを学習し、発表する。予習・復習は各１時間程度行うこと。
オフィスアワー	毎週水曜日　10時から11時　6408号室

	授業計画	担当者
第１回	老年学高齢者に特有な症候　SDGsの紹介	服部俊夫
第２回	高齢者の循環器疾患　　学生のグループ分け	服部俊夫
第３回	高齢者の呼吸器疾患　　グループ討議	服部俊夫
第４回	高齢者の臨床検査と栄養　　グループ討議	服部俊夫
第５回	介護保険制度と医療制度　グループ討議	服部俊夫
第６回	高齢者のリハビリテーション　グループ討議	服部俊夫
第７回	高梁市在宅医療連携拠点事業推進協議会の活動	仲田永造
第８回	高齢者の血液疾患　グループ討議	服部俊夫
第９回	高齢者の精神・神経疾患　グループ討議	服部俊夫
第１０回	高齢者の腎・内分泌疾患　グループ討議	服部俊夫
第１１回	高齢者の運動器疾患　グループ討議	服部俊夫
第１２回	高齢者の感染症　グループ討議	服部俊夫
第１３回	人間の安全保障とSDGs　グループ討議	院外講師
第１４回	グループ発表	服部俊夫
第１５回	グループ発表	服部俊夫
第１６回	筆記試験	服部俊夫

教科書			
教・書籍名１	改訂版 健康長寿診療ハンドブック	教・出版社名１	社団法人　日本老年医学会 ISBN978-4-7583-0475-7
教・著者名１	ISBN978-4-7583-0495-5	教・ＩＳＢＮ１	老年医学テキスト 改訂第3版
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	医療データオペレーションⅠ Aクラス			担当者	吉長　裕司		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-131		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，思考の外化・整理の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において必要となる，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を，講義と演習の形式で学習する。① ワープロソフトを思考の外化・整理のための道具として活用することを学ぶ。そのために必要なキーボードリテラシーを習得する。これらは大学でのレポート作成，病院での電子カルテ入力などで必要になる。② ワープロ・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	秋学期の医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス，タイピング練習（上・中・下段）	吉長
第２回	タイピング練習（上・中・下段，日本語）	吉長
第３回	タイピング練習（日本語），フォルダ作成（情報整理），ワープロによる思考の外化	吉長
第４回	タイピング記録開始，ワープロによる思考の外化・整理	吉長
第５回	レポート作成の基礎	吉長
第６回	レポート作成に役立つワープロ機能	吉長
第７回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第８回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第９回	プレゼン資料作成の基礎①	吉長
第１０回	プレゼン資料作成の基礎②、発表技法の基礎	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長	
第１３回	課題発表	吉長	
第１４回	課題発表	吉長	
第１５回	課題発表，授業の総括	吉長	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データオペレーションⅠ Bクラス			担当者	吉長　裕司		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-131		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，思考の外化・整理の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において必要となる，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を，講義と演習の形式で学習する。① ワープロソフトを思考の外化・整理のための道具として活用することを学ぶ。そのために必要なキーボードリテラシーを習得する。これらは大学でのレポート作成，病院での電子カルテ入力などで必要になる。② ワープロ・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	秋学期の医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス，タイピング練習（上・中・下段）	吉長
第２回	タイピング練習（上・中・下段，日本語）	吉長
第３回	タイピング練習（日本語），フォルダ作成（情報整理），ワープロによる思考の外化	吉長
第４回	タイピング記録開始，ワープロによる思考の外化・整理	吉長
第５回	レポート作成の基礎	吉長
第６回	レポート作成に役立つワープロ機能	吉長
第７回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第８回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第９回	プレゼン資料作成の基礎①	吉長
第１０回	プレゼン資料作成の基礎②、発表技法の基礎	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長	
第１３回	課題発表	吉長	
第１４回	課題発表	吉長	
第１５回	課題発表，授業の総括	吉長	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データオペレーションⅡ 理学B	担当者	吉長　裕司
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年	ナンバリング	HS-PT-1-132

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，データ分析の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を講義と演習の形式で学習する。① 表計算ソフトをデータ分析の道具として活用することを学ぶ。その前提となる統計学の基礎も学習する。② 表計算・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス，データ分析演習①（データ入力）	吉長
第２回	データ分析演習②（1変量の要約）	吉長
第３回	データ分析演習③（1変量の要約）	吉長
第４回	データ分析演習④（2変量の関係）	吉長
第５回	データ分析演習⑤（2変量の関係）	吉長
第６回	データ分析演習⑥（2変量の関係）	吉長
第７回	伝わる表の作成	吉長
第８回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第９回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第１０回	異なるアプリ間のデータ利用	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長
第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１３回	課題発表		吉長
第１４回	課題発表		吉長
第１５回	課題発表，授業の総括		吉長
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データオペレーションⅡ 理学Ａ	担当者	吉長　裕司
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 1年	ナンバリング	HS-PT-1-132

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

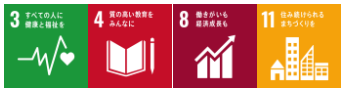
ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，データ分析の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を講義と演習の形式で学習する。① 表計算ソフトをデータ分析の道具として活用することを学ぶ。その前提となる統計学の基礎も学習する。② 表計算・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス，データ分析演習①（データ入力）	吉長
第２回	データ分析演習②（1変量の要約）	吉長
第３回	データ分析演習③（1変量の要約）	吉長
第４回	データ分析演習④（2変量の関係）	吉長
第５回	データ分析演習⑤（2変量の関係）	吉長
第６回	データ分析演習⑥（2変量の関係）	吉長
第７回	伝わる表の作成	吉長
第８回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第９回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第１０回	異なるアプリ間のデータ利用	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長
第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１３回	課題発表		吉長
第１４回	課題発表		吉長
第１５回	課題発表，授業の総括		吉長
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データ解析演習			担当者	佐野　英夫		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-133		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを 
到達目標	・学生が在学中及び卒業後に調査・研究や実務を進める上で必要となる、「医療の実地に役立つデータ解析」をテーマとし、表計算ソフト(Excel)を用いてデータ集計から分析・統計解析、更にその活用ができるようになる。
授業概要	・１年次に情報処理や医療データオペレーションの各科目で学んだことを基礎にして、さまざまな臨床データを集計・分析し、さらにその結果を実際の業務に活かしていく考え方や方法についても考察し発展させる。 ・このような科学的処理には、表計算ソフト(Excel)の集計・分析機能および各種の関数群が有効なので、それらの機能の使用法を実際の臨床データを随時用いながら徹底的に学んでいく。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	・発言やディスカッション、演習課題提出等の授業への積極的な参加態度４０％、中間課題２０％・期末課題４０％の提出内容により総合評価する。なお課題は、中間・期末の他に毎回授業で提示するのでこれを提出する。またこの科目は再試験を行わないので十分留意すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	・各回授業で提出された各学生の課題の内容について、次回授業の冒頭でコメント、評価を説明し、理解不足の点をフィードバックする。 ・第7回での中間課題については提出締め切り時刻後に解答例を示し、各自に自己採点させる。また第8回授業の冒頭で各解答内容について総合評価、解説を行う。この時点で、学習不足の学生に対し、後半授業・期末課題に向けて奮起を促す。 ・第16回での期末課題については提出締め切り時刻後に解答例を示し、各自に自己採点させる。
履修条件・注意事項	・表計算ソフト(Excel)の基本操作を既に習得しており、更に、データ解析を実際に体験する演習では分からないところは自分でテキストや資料を調べ主体的に考える姿勢を持った学生を履修対象とする。 ・各回の授業内容や教材は、学内Web (UNIVERSAL PASSPORT、以下UniPaという)に掲載するので、これをダウンロードして予習、復習を充分に行うこと。また、課題の提示や、学生からの提出（中間・期末課題や毎回の演習課題）なども、このUniPaを使用する。この授業はＰＣ上での演習を前提とする。 ・各回の授業で各自が入力作成したデータは、USBメモリに保管し次回以降も継続して使用する。 ・教科書「完全マスターExcel2016」と、USBメモリ（手持ちのもので可）は、初回から準備し必ず持参すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：企業内での経営企画・経理計数部門や企業内システムの開発・運用、データ解析の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、在学中および卒業後の現場で実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、毎回の授業の数日前にはそれぞれの授業でのシナリオをUniPaに掲載するのでそれをダウンロードし、教科書の関連する部分を読むなどして理解しにくい点をまとめておいて、授業を受けること。 ・復習として、毎回の授業で分からない点がないか確認して確実に理解すること。 ・予習、復習にはそれぞれ2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後に、7号館情報処理室にて

	授業計画	担当者
第１回	１．血圧構成比率のグラフを作る　(1) ～(7)	佐野英夫

	(1) 血圧値データを正確に入力し、 クリーンにする	
第２回	(2) 計算式を使って表を作成し、 異常値を見つける	佐野英夫
第３回	(3) データ解析でよく使う関数や 論理式（IF関数、AND・OR関数）	佐野英夫
第４回	(4) ＩＦ関数を使って高血圧を判定する	佐野英夫
第５回	(5) ピボットテーブルで血圧判定総合表を作る	佐野英夫
第６回	(6) グラフで血圧構成比率グラフを作り、各自の考察を加える	佐野英夫
第７回	(7) 前半のまとめとコメント　◆中間課題提出◆	佐野英夫
第８回	２．データの特徴をつかむ　(8) ～(10) (8) まずはグラフで見る（度数分布表、ヒストグラム、散布図他）	佐野英夫
第９回	(9) そのデータを表す値（基本統計量、他）と箱ひげ図	佐野英夫
第１０回	(10) カテゴリーデータの取扱い（分割表、リスク比）、平均値とバラツキ	佐野英夫
第１１回	３．得られたデータを予測・推測に活用する (11)～(13) (11) 近似・回帰と予測（近似式、 相関係数、他）	佐野英夫
第１２回	(12) 基本的な分布（正規分布他）と仮説検定の例（コインの裏表）	佐野英夫
第１３回	(13) 身近な仮説検定（t-検定）の例（解熱剤、降圧剤）	佐野英夫
第１４回	４．臨床実務への活用例 (14) (14) 時系列データの取扱い・適用事例（シミュレーションモデル）	佐野英夫
第１５回	(15) 全体まとめ・データ解析の流れ	佐野英夫
第１６回	(16) ◆期末課題提出◆	佐野英夫

教科書			
教・書籍名１	「繰り返して慣れる ！完全マスター Excel2016」（必須 授業初日から持参する。また、他の教科書と間違えないこと）	教・出版社名１	noa出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-908434-10-5
教・書籍名２	授業シナリオを毎回事前にUniPaに掲載する。各自ダウンロードして予習・復習にも使用する。	教・出版社名2	
教・著者名2	佐野英夫	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践医療英語			担当者	浅利　明子		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-134		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義＆ＡＬ
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「医療分野で用いる専門的な英語表現の習得」をテーマに、学生は医療現場での英語によるコミュニケーション能力と症例の読解力を養う。症例報告の読解を通して、基本的な臨床思考と判断能力を培うことができる。医学英語の語根・接頭辞・接尾辞が何を意味しているのかを知ることによって、医療事故防止に役立てることができる。医療に関する文献にも興味が湧くようになる。臨床、研究の様々な場面で将来役に立つ英語力を身に着けることを目標とする。
授業概要	教科書の各ユニット｛筋骨格系 / がん / 循環器系 / 食事と栄養 / 消化器系 / 脳神経系 / リハビリテーション等｝のテーマに合った医療英語の修得を目指し、ペアワーク・グループワークによる会話力、並びに、症例報告の読解を通して、英文構成力　・　プレゼンテーション力　・　英文読解力強化の授業に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	講義内試験 (10 %)　・　課題提出 (10 %)　・　授業への積極的な参加や発表態度 (10%)　・　単位認定試験(70%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内試験　・　課題提出については、授業でフィードバックとしてそれぞれ解説を行う。
履修条件・注意事項	＊第１回目の授業（授業の進め方を説明する）に必ず出席すること。 ＊第１回目の授業に教科書を必ず持ってくること。 ＊レポート課題の提出日を守ること。 ＊講義資料は講義開始前に配布する。後日の配布は原則応じない。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、英語教育並びに医療現場における実務経験を有する教員より助言、指導を受けながら、学習を進める。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習：わからない単語は調べて下読みをしておくこと。 事後学習：授業で取り上げた重要表現を繰り返し声に出したり、書いたりしておくこと。 レポート課題等に取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後、教室に置いて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	授業の進め方を説明する。教科書を必ず持ってくること。	浅利　明子
第２回	筋骨格系の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第３回	筋骨格系の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第４回	がんの症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第５回	がんの症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第６回	循環器系の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第７回	循環器系の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子

第８回	食事と栄養に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第９回	食事と栄養に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１０回	消化器系の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第１１回	消化器系の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１２回	脳神経の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第１３回	脳神経の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１４回	リハビリテーションに関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第１５回	リハビリテーションに関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	浅利　明子

教科書			
教・書籍名１	English for Healthcare Professionals Because We Care (Second Edition) （日本語の書籍名では出版されていません）	教・出版社名１	センゲージ ラーニング株式会社
教・著者名１	井上　真紀　・　伊原　正	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86312-368-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	発音力をつけたい人に薦めます。 『英語のリスニングは発音力で決まる！ＵＤＡ式３０音練習帳』1980yen	参・出版社名１	株式会社 ジャパン タイムズ
参・著者名１	鵜田　豊（Yutaka Uda）	参・ＩＳＢＮ１	9784789011754
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法学			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-201		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法の歴史や概念、理学療法士の役割や方法（対象疾患、理学療法手技、職域など）、医療人として必要な資質や情報管理、理学療法士を取り巻く法律や制度関係、理学療法士の業務と国家行政や施策の関係を理解し、理学療法の全体像を学修することを目的とする。さらに、理学療法の過去を知り、将来について考えることで、将来の理学療法士としてふさわしい素養、知識を身につける。 学生は、理学療法を取り巻く概要を学び、理学療法の全体像を理解できることを到達目標とする。
授業概要	理学療法の歴史や概念、理学療法士の役割や方法、医療人として必要な資質や情報管理、理学療法士を取り巻く法律関係、理学療法士の業務と国家行政や施策の関係を学習し理解する。 将来の理学療法士としてふさわしい素養や知識、コミュニケーション連携スキルを身につけるため、グループ討論も取り入れながら授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	理学療法の概念と歴史	井上茂樹
第２回	理学療法士の法律	井上茂樹
第３回	理学療法の意義と役割	井上茂樹
第４回	理学療法の対象	井上茂樹
第５回	理学療法の方法	井上茂樹
第６回	理学療法士の組織と倫理	井上茂樹
第７回	理学療法士教育	井上茂樹
第８回	理学療法士の活動分野	井上茂樹
第９回	医療事故	井上茂樹

第１０回	理学療法士を目指す学生に求められるもの	井上茂樹	
第１１回	理学療法士に関する法律	井上茂樹	
第１２回	理学療法の課題	井上茂樹	
第１３回	個人情報の管理と対象者の権利	井上茂樹	
第１４回	記録・報告書の書き方	井上茂樹	
第１５回	総括	井上茂樹	
第１６回	単位認定試験	井上茂樹	
教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキストⅠ　理学療法学概論　第4版	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	978-4-915814-32-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅰ			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 1年			ナンバリング	HS-PT-1-202		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法は基礎医学を基礎として成り立っている。そのため、臨床医学を習得する基礎学力の修得をテーマとする。到達目標として高校レベルの国語・数学・生物の知識を習得できる。それに加え、特に理学療法学で重要性の高い人体解剖の基礎知識を習得できる。
授業概要	理学療法学習に必要な基本的な文章の読解力や基本的な数学の計算方法や高校程度の生物学を習得する。また、理学療法の基礎となる人体の構造について少人数による調べ学習、討論を行い、臨床医学を学ぶ上で必要な知識を修得する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(50%)、各種レポート(20%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

授業計画		担当者
第１回	読解力の基礎	元田
第２回	読解力の応用	元田
第３回	計算力の基礎	元田
第４回	計算力の応用	元田
第５回	生物学の基礎	元田
第６回	生物学の応用	元田
第７回	人体の構造（基礎）	元田
第８回	人体の構造（応用）	元田
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書

教・書籍名１	各講義毎に資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅱ			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 1年			ナンバリング	HS-PT-1-203		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法基礎演習Ⅰに続いての講義である。理学療法基礎演習Ⅰでは、理学療法学を習得する基礎学力の修得をテーマとした。理学療法基礎演習Ⅱでは理学療法国家試験に必要な基礎学力を習得できる。到達目標として過去の国家試験の内容（読解力・理学療法概要）を理解できることである。
授業概要	国家試験に必要な文章の読解力や理学療法の概要を習得する。実際に過去の国家試験を教材とする。また、理学療法基礎演習Ⅰに引き続き、理学療法の基礎となる項目について過去の国家試験問題を解くことによって、理学療法士にとって必要な知識を修得する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(50%)、各種レポート(20%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	国試の実際（産業衛生の説明）	元田
第２回	国試の実際（産業衛生の問題）	元田
第３回	国試の実際（対人コミュニケーション能力の説明）	元田
第４回	国試の実際（対人コミュニケーション能力のの問題）	元田
第５回	国試の実際（理学療法士法の説明）	元田
第６回	国試の実際（理学療法士法の問題）	元田
第７回	国試の実際（介護保険法の説明）	元田
第８回	国試の実際（介護保険法の問題）	元田
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	各講義毎に資料を配布する。	教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅲ			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-204		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、ＡＬ
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】これまで学んできた基礎医学知識（解剖学、生理学、運動学）を理学療法の実践に生かすことができる。 【到達目標】理学療法の実践を基礎医学知識（解剖学、生理学、運動学）をもとに説明できる。基礎医学知識を再確認し実質的なものにする。
授業概要	授業は、理学療法の実践の具体例の紹介、それに対するグループディスカッション、基礎医学知識（解剖学、生理学、運動学）の確認の3つから構成される。理学療法の実務経験を有する教員の助言のもとに臨床における理学療法の実際に対してグループディスカッションを行い、基礎医学知識をもとにした理学療法実践ストーリーを考えることを身に着けるとともに基礎医学知識を再学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	評価は、講義態度や質疑応答の積極性（30%）、提出されたレポート（20%）、確認試験（50%）等から総合的に行なう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じて実習を行うので教室を間違わないように留意する。受講生一人ひとりの主体的な授業参加の姿勢や、積極的にコミュニケーションを図ることを求める。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1）授業時に重要なポイントが提起される。次回に向けた心づもりをして授業に臨むこと。2）基礎医学知識の再確認と確認テストがあるため、復習が求められる。2時間ずつ予習・復習を行うこと。
オフィスアワー	個人研究室にて、毎週水曜日3限、4限目をオフィスアワーの時間とする。不在時にはメモを残すこと。

	授業計画	担当者
第１回	解剖学と理学療法の実践　上肢の筋と関節①	中嶋正明　外部講師
第２回	解剖学と理学療法の実践　上肢の筋と関節②	中嶋正明　外部講師
第３回	解剖学と理学療法の実践　下肢の筋と関節①	中嶋正明
第４回	解剖学と理学療法の実践　下肢の筋と関節②	中嶋正明
第５回	解剖学と理学療法の実践　体幹の筋と関節①	中嶋正明　外部講師
第６回	解剖学と理学療法の実践　体幹の筋と関節②	中嶋正明　外部講師
第７回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位①	中嶋正明
第８回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位②	中嶋正明
第９回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位③	中嶋正明
第１０回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位④	中嶋正明
第１１回	運動学と理学療法の実践　二関節筋と関節可動域①	中嶋正明
第１２回	運動学と理学療法の実践　二関節筋と関節可動域②	中嶋正明
第１３回	運動学と理学療法の実践　二関節筋と関節可動域③	中嶋正明
第１４回	運動学と理学療法の実践　グローバル筋とローカル筋①	中嶋正明
第１５回	運動学と理学療法の実践　グローバル筋とローカル筋②	中嶋正明

第１６回	試験		中嶋正明
教科書			
教・書籍名１	毎回の講義内容に沿った資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅳ			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-205		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】これまで学んできた基礎医学知識（病理学、内科学、脳神経外科学、整形外科学）を理学療法の実践に生かすことができる。 【到達目標】理学療法の実践を基礎医学知識（病理学、内科学、脳神経外科学、整形外科学）をもとに説明できる。基礎医学知識を再確認し実質的なものにする。
授業概要	授業は、理学療法の実践の具体例の紹介、それに対するグループディスカッション、基礎医学知識（病理学、内科学、脳神経外科学、整形外科学）の確認の3つから構成される。理学療法の実務経験を有する教員の助言のもとに臨床における理学療法の実際に対してグループディスカッションを行い、基礎医学知識をもとにした理学療法実践ストーリーを考えることを身に着けるとともに基礎医学知識を再学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	評価は、講義態度や質疑応答の積極性（30%）、提出されたレポート（70%）等から総合的に行なう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じて実習を行うので教室を間違わないように留意する。受講生一人ひとりの主体的な授業参加の姿勢や、積極的にコミュニケーションを図ることを求める。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1）授業時に重要なポイントが提起される。次回に向けた心づもりをして授業に臨むこと。2）基礎医学知識の再確認と確認テストがあるため、復習が求められる。2時間ずつ予習・復習を行うこと。
オフィスアワー	個人研究室にて、毎週水曜日3限、4限目をオフィスアワーの時間とする。不在時にはメモを残すこと。

授業計画		担当者
第１回	病理学と理学療法の実践　炎症と物理療法①	中嶋正明
第２回	病理学と理学療法の実践　炎症と物理療法②	中嶋正明
第３回	病理学と理学療法の実践　浮腫と腫脹①	中嶋正明
第４回	病理学と理学療法の実践　浮腫と腫脹②	中嶋正明
第５回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア①	中嶋正明
第６回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア②	中嶋正明
第７回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア③	中嶋正明
第８回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア④	中嶋正明
第９回	脳神経外科学と理学療法の実践　脳血管障害と運動機能①	中嶋正明
第１０回	脳神経外科学と理学療法の実践　脳血管障害と運動機能②	中嶋正明
第１１回	脳神経外科学と理学療法の実践　認知機能①	中嶋正明
第１２回	脳神経外科学と理学療法の実践　認知機能②	中嶋正明
第１３回	整形外科学と理学療法の実践　変形性膝関節症と下肢筋力強化①	中嶋正明
第１４回	整形外科学と理学療法の実践　変形性膝関節症と下肢筋力強化②	中嶋正明
第１５回	整形外科学と理学療法の実践　変形性膝関節症と関節可動域訓練	中嶋正明
第１６回	試験	中嶋正明

教科書

教・書籍名１	適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	理学療法管理学Ⅰ			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-207		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法に関する「医療の質」、「提供の安全」、「職員の待遇」、「未来発展」を知り、実習生として、あるいは卒業後には有資格者として理学療法業務を遂行する上で求められる最低限の職能性を理解できるようになる。 併せて，少子高齢化社会の医療の質に鑑み，これからの社会における地域リハビリテーションに係るサービスニーズに関して考え方を学ぶ.
授業概要	理学療法は医師、看護師、事務系職員などの協力関係があってはじめて良質なサービスが提供できる。また、理学療法部門は複数の職員で業務を分担する場合が多い。複数かつ他職種の人間が協同して活動する際には、活動を円滑に行うための知識とチームを組める技術が必要となる。そこで病院理学療法学部門の組織、管理（人事、総務、労務）、業務（処方関連、診療、記録）、職員教育と生涯学習、経営などの理論と実際について、演習を中心に教授する。理学療法士としてのSociety 5.0社会での発展的ビジョン、経営・管理者としての思考、臨床業務におけるリーダーシップのあり方も身につけてもらいたい。グループ討議やプレゼンテーションを通じたアクティブラーニングの授業形態.
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	アクティブラーニング発表時のレジュメ30%，定期試験（筆記試験）70%。 定期試験を受けるための必要条件は、平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、かつグループワーキングにおける積極的な取り組みがあることとする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする.
履修条件・注意事項	各回、グループ毎に定めた課題について、事前に調べレジュメを作った上で発表し、議論を繰り広げるという形態をとる。 管理運営能力を有することは、就職後の自らの待遇にも大きく関係するものであり、真剣に課題に取り組んでもらいたい。 十分な理解に到達するために，各グループの発表内容について予習を行い，発表後はレジュメのキーワードを基に復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 予習および復習には，各1時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	1. 概論、「医学的な益」の管理、自分の強み	原田和宏
第２回	2. 理学療法処方と診療記録、診療プロセス	
第３回	3. 理学療法室の設計と医療の質	

第４回	4. 「医療の質」と「提供の安全」、接遇態度やアメニティ	
第５回	5. 理学療法機器等の保守・点検，電子カルテ	
第６回	6. 医療事故と理学療法リスクマネジメント　（100%の安全は存在しない）	
第７回	7. 診療報酬と責任：「現状とリーダーシップ」	病院現場の外部講師
第８回	8. well-being society, UHCと理学療法士の活躍	
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	リハビリテーション管理・運営　実践ガイドブック	参・出版社名１	メジカルビュー社
参・著者名１	金谷さとみ，高橋仁美（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7538-1931-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法管理学Ⅱ			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-208		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／８．働きがいも経済成長も
到達目標	理学療法士における生涯学習、職能性をテーマとして、理学療法士としての心構え、生涯を通じた継続学習の必要性、理学療法士の職域の維持、拡大の方法を理解することを目標とする。
授業概要	理学療法士の職域の拡大とともに理学療法の提供の対象は医療、福祉領域だけでなく、産業、保健、学校教育、スポーツ分野と幅広くなっている。理学療法士が生涯活躍するためには、進歩する医学的知見、変化する社会情勢に柔軟に対応して生涯学び続ける姿勢が必要である。また、理学療法士の活躍の場を維持、増加させるためには日本理学療法士協会、日本理学療法学会連合の活動を知っておくことが必要である。そこで、本講義では理学療法士の生涯学習のシステム、在り方、日本理学療法士協会、日本理学療法学会連合の活動内容に関して教授する。また、社会から必要とされる理学療法士になるために持つべき考え方や心構え、組織が求める人材などについても教授し、就職活動の一助ともしていく。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	グループワークの際の提出物(70%)、グループワークへの参加態度(30%)とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価で用いた提出物は授業中に返却してフィードバックする。
履修条件・注意事項	理学療法士としての心構えに関しては、臨床実習、就職活動における評価に直結するものであるために、真摯に講義に取り組むこと。 講義にあたっては、医療、福祉を取り巻く法制度の理解、診療報酬、介護報酬の変遷、障害者、高齢者施策の理解が不可欠である。日常的に社会情勢に気を配り、ニュースなどで障害者、高齢者を取り巻く情報を入手すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，医療、福祉現場において実践的に役立つ授業を実施する。あわせて、経営学修士(MBA)を持つ理学療法士を外部講師として招き、組織運営の視点より求められる人材、生涯学習について講義をする。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して、自分なりにノートにまとめる. 予習および復習には各1時間程度を要する。
オフィスアワー	毎週火曜日の2限をオフィスアワーとするが、講義終了後には自由に質問に来ること。

	授業計画	担当者
第１回	日本理学療法士協会の活動	森下元賀
第２回	日本理学療法学会連合の活動	森下元賀
第３回	理学療法士の生涯学習システムと認定制度	森下元賀
第４回	理学療法士の職域と社会情勢	森下元賀
第５回	社会から求められる理学療法士像	森下元賀
第６回	理学療法士の適性	森下元賀
第７回	現場での人材管理、生涯学習の実際と施設が求める人材	外部講師
第８回	多職種連携と信念対立	森下元賀
第９回		
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	毎回資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	評価学概論			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-209		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	45	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限 水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	本講義のテーマは、学生同士が相互に協力・検討し合いながら「理学療法における代表的な【評価（検査）】の【技術】と【関連知識】を身につけること」である。 本講義の到達目標は、以下①~④である。 ①学生は、身体表面における代表的なランドマークの触診を円滑に実施できるようになる。 ②学生は、形態測定（四肢長・周径）を円滑に実施できるようになる。 ③学生は、徒手筋力検査（MMT）を円滑に実施できるようになる。 ④学生は、自動および他動での関節可動域（ROM）の測定を円滑に実施できるようになる。
授業概要	臨床現場において、もしも理学療法士による評価が誤っていれば、その評価結果に基づいて立案される治療プログラムも自動的に誤った理学療法プログラムに陥ってしまうこととなる。よって、本講義で身につけることとなる評価技術は、きわめて重要である。本講義では、評価実技を中心として「正しい評価のための視点・思考」も学びながら前述の①~④の目標達成を目指す。なお本講義では、５月~６月中旬頃までインターネット上で限定公開している実技動画を活用した「日々の予習復習を旨とした反転授業」を織り交ぜながら展開する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／実習
評価方法と割合	下記の❶~❻について合計６回（合計100点満点）の実技試験を実施し、総合得点にて評定を明確化する。 実技試験❶／四肢長の計測／10点 実技試験❷／四肢周径の計測／10点 実技試験❸／下肢のROM計測／20点 実技試験❹／下肢以外のROM計測／20点 実技試験❺／下肢のMMT／20点 実技試験❻／下肢以外のMMT／20点
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	先述した❶～❻の実技試験が実施された翌週の講義内で、試験結果のフィードバックを実施し、その時間内において学生相互で「難しかった点」や「発展的・建設的な意見や自主練習方法」などをシェアし合う。
履修条件・注意事項	本講義は春学期の４ヶ月間において、１コマ９０分間の講義を「３２回（１週間に２回）」という連続性あるプログラムに基づいて開催される。毎回の講義において理学療法評価に関するテクニックと知識を修得していくきわめて重要な講義であり、講義を一度でも欠席すれば即座に他の学生から大きく遅れをとる事態に陥ることは、授業計画を確認すれば一目瞭然である。また、本講義では社会人基礎力やジェネリックスキルを含めた指導を実施する。そのため、知識や技術以外の「臨床現場における態度や言葉づかい」をも含めて厳格に指導するので、十分な覚悟と自覚を持って講義に臨むこと。講義への参加は「動きやすい服装」または「実習着の着用（ネームプレート含む）」を義務付ける。日ごろから「筋肉の走行（起始部と停止部）」や「関節の参考可動域」についての予習とともに、本講義で学んだ運動に関する「筋力や関節可動域の測定・評価」の復習（実技練習）を学生間で協力し合って習慣的に実践すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】 次回講義にて学ぶ予定の「検査項目」について、少なくとも「①何処の身体部位を計測するのか？」や「②どのような方法（視点）で計測するのか？」の２点について、事前に「自己学習支援動画を視聴しておくこと（特に反転

	授業の際）」と「教科書や参考書を読んでおくこと」は必須である。 【復習】 毎回の講義において、前回の講義で学んだ事柄（特に実技）について、学生に対する質問をランダムに行うので、質問を受けても返答（実演）できるように自己学習（復習）をしておくこと。 【留意事項】 本講義は週２コマの講義であり、各講義が断片的なものではなく「一連の流れの中で講義が展開されていく」ため、予習と復習はそれぞれの講義において必須となる（予習および復習には、各２時間以上を要する）。 【自己学習支援動画】 予習と復習を支援する目的で作成された「評価実技（ROM計測・MMT）に関する動画を視聴できるWEBサイト」を設置するので、有効に活用すること。閲覧方法は講義内で適宜アナウンスする。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	講義のイントロダクションとグループ分け	佐藤三矢
第２回	体表面におけるランドマークの触診（実技）	佐藤三矢
第３回	上肢の肢長と周径（実技）	佐藤三矢
第４回	下肢の肢長と周径（実技）	佐藤三矢
第５回	実技試験❶／四肢長の計測／10点	佐藤三矢
第６回	実技試験❷／四肢周径の計測／10点	佐藤三矢
第７回	実技試験❶・❷の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢
第８回	肩関節・矢状面と前額面のROM計測（実技）	佐藤三矢
第９回	肩関節・水平面のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１０回	肘関節と前腕のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１１回	手関節と指のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１２回	股関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１３回	膝関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１４回	膝関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１５回	足関節と足部のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１６回	肩甲骨と頸部・体幹のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１７回	実技試験❸／下肢のROM計測／20点	佐藤三矢
第１８回	実技試験❹／下肢以外のROM計測／20点	佐藤三矢
第１９回	実技試験❸・❹の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢
第２０回	肩関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２１回	肘関節と前腕のＭＭＴ（実技）	佐藤三矢
第２２回	手関節のＭＭＴ（実技）	佐藤三矢
第２３回	股関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２４回	膝関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２５回	足関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２６回	肩甲帯のMMT（実技）	佐藤三矢
第２７回	頭部と頸部のMMT（実技）	佐藤三矢
第２８回	体幹のMMT（実技）	佐藤三矢
第２９回	顔面や脳神経に関連したMMT（実技）	佐藤三矢
第３０回	実技試験❺／下肢のMMT／20点	佐藤三矢
第３１回	実技試験❻／下肢以外のMMT／20点	佐藤三矢
第３２回	実技試験❺・❻の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢

教科書			
教・書籍名１	理学療法評価法	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明　監修	教・ＩＳＢＮ１	4-915814-17-3
教・書籍名２	新・徒手筋力検査法（原著第10版）	教・出版社名2	協同医書出版
教・著者名2	Helen J.Hislop、Jacqueline Montgomer、津山 直一、中村 耕三	教・ＩＳＢＮ2	978-4763900364

参考書			
参・書籍名１	新版　目でみるMMT	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	佐藤三矢　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21542-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	評価学実習			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-210		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限 木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「理学療法評価技術の修得」をテーマに，各種検査技術と理学療法評価の考え方を身につける。 本実習科目では，評価学概論から引き続き各種検査技術を修得し，同時に各種検査で得られた所見やデータを基に障害像を明らか にし治療指針を導き出す過程である理学療法評価の，基本的考え方と実施する能力を身につけることを到達目標とする。
授業概要	「検査学」「動作分析」「理学療法評価」の3つで構成。理学療法評価は検査と同義ではなく，得られた所見やデータを基に「統合と解釈」を行い障害像を浮き彫りにし，臨床介入の意志決定を行う過程を指す。そのため，第1回の総論で評価の考え方をおさえ検査学に進める。検査学では代表的検査を取り上げ，単なる方法（まね事）の修得ではなく，理論に裏打ちされた確かな技術修得を目指す。動作分析では姿勢分析と動作分析の基本的知識と方法を教授する。最終的に理学療法評価では，事例検討を通して統合と解釈の考え方を身につける。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	この科目では，国家試験や臨床実践を前提とした基礎的知識の修得を最低ラインの目標としていることから，単位取得要件は筆記試験の合格とする。筆記試験（中間試験・定期試験；70%），GW課題・レポート（30%）で判定．出席状況（欠席・遅刻は減点）・授業態度・質問の有無は加減要素とする。詳しい評価方法は，最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，授業内，または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）本授業で取り上げる各種検査は，理学療法士として身につけなければならないものであり，欠席せず真剣に修得する事が重要である。２）教科書や資料での事前学習・事後学習を課すため，予習・復習をしっかり取り組むこと。３）感染予防の観点より，理論とデモンストレーションを中心に進めるが，常に自身の手で検査を実施するイメージを持ちながら履修することが望まれる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	１）授業各回において，教科書を中心とした事前学修，事後学修を指示する。２）指示されるレポート課題・グループワーク課題について取り組むこと。これら以外についても，当該科目の重要性を十分認識の上，必ず予習復習に取り組むこと。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，木曜日3時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	1・2. 評価学総論	齋藤
第２回	3・4. 感覚検査	齋藤
第３回	5・6. 筋緊張検査	齋藤
第４回	7・8. 協調性検査	齋藤
第５回	9・10. 反射検査-深部反射，病的反射	齋藤
第６回	11・12. 脳神経検査	齋藤
第７回	13・14. 検査学　既出事項の整理	齋藤
第８回	15・16. 動作分析Ｉ（姿勢分析）	齋藤
第９回	17. 動作分析ＩＩ（姿勢変換運動）	齋藤
第１０回	18. 動作分析ＩＩＩ（移動運動・移乗運動）	齋藤
第１１回	19. 動作分析ＩＶ（バランス能の評価）	齋藤

第１２回	20. 動作分析　事例検討　※GW	齋藤
第１３回	21. 理学療法評価Ｉ　統合と解釈※GW	齋藤
第１４回	22. 理学療法評価ＩＩ　事例検討発表　※GW	齋藤
第１５回	23. 理学療法評価ＩＩＩ　既出事項のまとめ	齋藤
第１６回	24. 定期試験	齋藤
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキスト　理学療法評価法 （第3版）	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	中島喜代彦，他	教・ＩＳＢＮ１	4915814319
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた	参・出版社名１	南山堂
参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄，他	参・ＩＳＢＮ１	4525247983
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	画像診断学			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-211		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	レントゲン、CT、MRI画像等の読影法をテーマとする。学生は病院実習へ行っても困らない知識を身につけることができる。具体的には病院実習で担当する患者のレントゲン、CT、MRIなどを読影できて患者の病態を正確に理解した上で、正確な評価法を実施できるようになる。
授業概要	医学医療の高度化複雑化によりレントゲン、CT、MRI、エコーなどリハビリテーション医療において知っておかなければならない検査法および診察法の知識は多岐に渡り、それらの重要性は年々高まってきている。古典的なレントゲン読影の基礎から最先端の検査法まで教授する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	定期試験80%、課題20%による判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	整形外科学と平行して学ぶことで学習効果が向上するので、整形外科学を含めての自己学習が必須である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、医師（日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場で実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「リハビリテーション医療に活かす画像のみかた」で該当部分を熟読しておくこと。授業終了後には講義内容及び関連事項をノートにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	画像診断の基本	河村顕治
第２回	脳	河村顕治
第３回	脊椎・脊髄	河村顕治
第４回	肩関節・肘関節	河村顕治
第５回	手関節・手部	河村顕治
第６回	股関節・膝関節	河村顕治
第７回	足関節・足部	河村顕治
第８回	成長過程でのレントゲン変化	河村顕治
第９回	試験	河村顕治
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	リハビリテーション医療に活かす画像のみかた	教・出版社名１	南江堂

教・著者名１	水間正澄／川手信行	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25907-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動系理学療法評価学			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-212		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義、実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限 水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「代表的運動器疾患の評価と治療」をテーマとして、臨床評価実習で経験することが予想される疾患の評価と治療に関して講義と実習を行う。 運動器疾患の障害像を理解した上で、運動器疾患の対象者への評価項目の立案、実施が出来るようになることを到達目標にする。
授業概要	まず正常な身体運動の基礎の復習や体表解剖と触診について学習する。それぞれの運動器疾患の特徴としての筋、骨格、関節、神経障害および動作、歩行能力障害などについて学習する。また、疾患の理学療法に関しては、グループワークや実技演習を取り入れ、評価時の具体的なオリエンテーションの方法から解釈までを行う。検査結果から解釈するボトムアップ的な解釈のみでなく、動作から障害像を把握していくトップダウン的な考え方も学習し、模擬症例に対する評価項目の立案、実施、結果の解釈までを行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では、国家試験、臨床実践を前提とした運動器疾患に対する理学療法の基本的知識、技術の習得を目的としている。定期(筆記)試験(60%)、実技試験(30%)により判断するが、グループワークやディスカッションなどを取り入れることから発表への参加態度、グループワークの結果なども考慮する(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	対象者の身体に触れることを前提とし、毎回実技を行う。筋肉、骨の触診を行うことも多いので、毎回必ず手足が露出しやすく、体幹の触診も行いやすい服装で受講すること。デニムなどの生地の厚い服装では触診は行えない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、実施した部位の運動学、解剖学、生理学の復習と、次回の予習を行っておくこと。運動器における解剖学、生理学、運動学は理解できているものとして講義を行う。2) 実技に関しての自己練習を各回指示する。触診などが十分に理解が出来ていない場合は必ず教員に相談し、正しい理解をした上で自己練習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森下元賀
第２回	運動学習理論、筋力強化の原則	森下元賀
第３回	ランドマーク、筋肉の触診(上肢、体幹)1	森下元賀
第４回	ランドマーク、筋肉の触診(上肢、体幹)2	森下元賀
第５回	ランドマーク、筋肉の触診(下肢)1	森下元賀
第６回	ランドマーク、筋肉の触診(下肢)2	森下元賀
第７回	上肢の骨折(肩関節)の理論	森下元賀
第８回	上肢の骨折(肩関節)の評価実技	森下元賀
第９回	上肢の骨折(肘、手関節)の理論	森下元賀

第１０回	上肢の骨折(肘、手関節)の評価実技	森下元賀
第１１回	大腿骨骨折の理論	森下元賀
第１２回	大腿骨骨折の評価実技	森下元賀
第１３回	変形性股関節症の理論(保存療法)	森下元賀
第１４回	変形性股関節症の評価実技(保存療法)	森下元賀
第１５回	変形性股関節症の理論(手術療法)	森下元賀
第１６回	変形性股関節症の評価実技(手術療法)	森下元賀
第１７回	変形性膝関節症の理論(保存療法)	森下元賀
第１８回	変形性膝関節症の評価実技(保存療法)	森下元賀
第１９回	変形性膝関節症の理論(手術療法)	森下元賀
第２０回	変形性膝関節症の評価実技(保存療法)	森下元賀
第２１回	脊椎圧迫骨折の理論	森下元賀
第２２回	脊椎圧迫骨折の評価実技	森下元賀
第２３回	脊髄疾患の理論、評価実技	森下元賀
第２４回	筆記試験	森下元賀
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	運動器障害理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー
教・著者名１	加藤浩 (編)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-2001-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	循環呼吸系理学療法評価学			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-213		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「循環呼吸系理学療法の理解」をテーマに理学療法士国家試験に出題される問題に対応でき、次年度の循環呼吸系理学療法学実習に対応できるように、循環・呼吸の基本的な解剖生理について今一度学び、それらを基礎として、循環・呼吸系の理学療法を身に着けることができることを到達目標とする。
授業概要	高齢化社会をむかえた日本において癌などの悪性新生物による病因が多くなったとはいえ、循環・呼吸器疾患患者は多く、大きな問題となっている。本講では狭心症、心筋梗塞、心不全を中心として、その解剖や病態生理から診断、治療について主体的に考えられるように授業を行う。そしてこれをもとに循環・呼吸患者に対する理学療法がいかにあるべきかを討論をまじえながら講義し、専門的職業人として自ら判断できる力を身に着けるようにしていく。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(20%)、各種レポート(50%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中に評価のために出した課題は、次の授業でフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からプリントを綴じるためのファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	金曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	右心不全と左心不全	元田
第２回	心不全の代償機構	元田
第３回	狭心症、心筋梗塞の病態生理	元田
第４回	心筋梗塞の診断学の基礎	元田
第５回	心筋梗塞の診断学の応用	元田
第６回	狭心症の診断学	元田
第７回	狭心症、心筋梗塞に対する治療	元田
第８回	心不全の診断学、治療	元田
第９回	循環器疾患の評価の基礎	元田
第１０回	循環器疾患の評価の応用	元田
第１１回	循環器障害の治療プログラムの基礎	元田

第１２回	循環器障害の治療プログラムの応用	元田
第１３回	運動療法	元田
第１４回	ADL指導	元田
第１５回	まとめ	元田
第１６回	試験	元田

教科書			
教・書籍名１	理学療法学６ゴールドマスターテキスト内部障害系理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー社
教・著者名１	柳澤　健	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-1113-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法評価学実習	担当者	原田　和宏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-214

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限 火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「中枢神経系障害の仕組み」と「脳卒中片麻痺を主とした障害像」を理解することをテーマとして、臨床評価実習で脳卒中回復期における理学療法評価が可能になる。
授業概要	中枢神経系障害の仕組みについて中枢性運動麻痺の様態をはじめとし、感覚障害、各種反射障害、歩行・セルフケア動作障害などについて学習する。また、中枢神経系疾患の発症急性期から回復期での理学療法評価を演習して問題点の抽出までを理解し、評価に関する理学療法推論を習得する。グループワーク演習を取り入れ、患者像や観察視点の修得に努める。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	定期試験（筆記試験）の成績を評価する。平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、実習・演習活動への参加，かつグループワークへの参加と発表会出席があることとする。 【中間試験40%、期末試験60%】
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・成績は、臨床評価実習履修の要件となる。 ・必要な指示は講義内および掲示板にて行う。 ・理学療法推論にはフレキシブルな問題解決能力が要求されると同時に、正確に推論するためには豊富な基礎知識も不可欠である。したがって、真剣に課題に取り組んでもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。併せて，脳卒中理学療法に関する実務経験の多いゲストピーカーを招いて，知識と技術を習得します.
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 十分な理解に到達するために，予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	脳血管障害病型・予後	原田和宏
第２回	中枢神経障害の一次的機能障害	
第３回	脳の3次元解剖（動脈、末梢神経）	
第４回	脳の3次元解剖（脳の各領域の構造）	
第５回	反射・筋緊張異常について	
第６回	中枢性随意運動麻痺	
第７回	知覚障害	

第８回	陽性徴候と陰性徴候	
第９回	脳神経障害：視覚に関する 脳神経障害：運動に関する	
第１０回	脳神経障害：嚥下・構音に関する 交叉性片麻痺	
第１１回	球麻痺	
第１２回	随意運動の発現	
第１３回	運動学習	
第１４回	意識障害	
第１５回	コミュニケーション障害	
第１６回	動作分析演習-立ち上がり	
第１７回	動作分析演習-歩行	
第１８回	ラクナ梗塞	
第１９回	二次的障害	
第２０回	心血管系の二次的機能障害	
第２１回	小脳性運動失調	
第２２回	姿勢バランス障害	
第２３回	失語、パフォーマンス障害、失認、	春学期総合演習
第２４回	試験	
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学　第2版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	吉尾雅春，森岡周，阿部浩明（編）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-03621-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた 改訂第18版	参・出版社名１	南山堂
参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4525247980
参・書籍名２	絵で見る脳と神経－しくみと障害のメカニズム 第4版	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	馬場元毅	参・ＩＳＢＮ2	ISBN978-4-260-02783-0

授業科目名	理学療法臨床評価演習Ⅰ（オムニバス）	担当者	佐藤　三矢、原田　和宏、森下　元賀、井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-215

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 3年次の臨床評価実習を経験する直前の段階で、学生が身に着けておくべき知識と技術の補填と洗練化を行う。 【到達目標】 学生は、目前に控えた臨床評価実習に際して必ず身に着けておかねばならない知識と技術を修得することができる。
授業概要	学内における知識・技術に対する学習内容を踏まえて、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案、治療の実施、検証までの一連の過程を系統的に学ぶ。さらに、問題点の推測、必要な評価・問題点の再検討、目標・治療計画の作成を通して、問題点を解決するための基本的な考え方を身につける。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	理学療法評価の臨床的実践を系統的に学ぶうえで、各回の臨床技能などにより到達度を確認する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	OSCEの課題を講評する
履修条件・注意事項	受け身的な態度ではなく，自ら積極的に働きかける態度を示すとともに，知識面および技術面での不備に対して自ら改善しようとする努力を何らかの形で示す。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	教員の提示する課題に取り組むこと。ならびに「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が望ましく，指示を受けなくても演習で抱いた疑問等について自ら能動的に調べ解決する事が重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	担当教員を配置しており，各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	ROM評価の臨床的実践演習	佐藤
第２回	MMT評価の臨床的実践演習	佐藤
第３回	画像評価の実践的演習	中嶋
第４回	運動機能障害評価の実践的演習	森下
第５回	神経系機能障害評価の実践的演習	原田
第６回	客観的臨床能力試験演習：運動系	井上
第７回	客観的臨床能力試験演習：中枢系	原田
第８回	客観的臨床能力試験演習：在宅患者系	井上
第９回	試験：客観的臨床能力試験（OSCE）	全教員
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法臨床評価演習Ⅱ （オムニバス）	担当者	佐藤　三矢、原田　和宏、森下　元賀、井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-216

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 ４年次の総合臨床実習を経験する直前の段階で、学生が身に着けておくべき評価所見からの問題抽出を行う。 【到達目標】 学生は、目前に控えた総合臨床実習に際して必ず身に着けておかねばならない介入技術を修得することができる。
授業概要	学内における知識・技術に対する学習内容ならびに３年次の臨床評価実習の経験を踏まえて、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案、治療の実施、検証までの一連の過程を系統的に学ぶ。 さらに、問題点の推測、必要な評価・問題点の再検討、目標・治療計画の作成を通して、問題点を解決するための基本的な考え方を身につける。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	理学療法治療・練習的介入、および問題解決に関する臨床的実践を系統的に学ぶうえで、各回の臨床技能などにより到達度を確認する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	OSCEの課題を講評する
履修条件・注意事項	受け身的な態度ではなく，自ら積極的に働きかける態度を示すとともに，知識面および技術面での不備に対して自ら改善しようとする努力を何らかの形で示す。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	教員の提示する課題に取り組むこと。ならびに「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が望ましく，指示を受けなくても演習で抱いた疑問等について自ら能動的に調べ解決する事が重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	担当教員を配置しており，各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	ROM所見からの問題抽出	佐藤
第２回	MMT所見からの問題抽出	佐藤
第３回	画像評価所見からの問題抽出	中嶋
第４回	運動機能障害評価所見からの問題抽出	森下
第５回	神経系機能障害評価所見からの問題抽出	原田
第６回	客観的臨床能力試験演習：運動系	森下
第７回	客観的臨床能力試験演習：中枢系	井上
第８回	客観的臨床能力試験演習：在宅患者系	井上
第９回	試験：客観的臨床能力試験（OSCE）	全教員
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		

第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	特に指定しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動療法学総論			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-217		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法の基軸である運動療法の基礎を総論的に学習し、治療の理論や概念を理解する。つまり、運動療法を行う場合の基礎知識、理論と実際を習得し、実際の臨床場面において運動療法を具現化できるようになる。
授業概要	運動療法を行う場合の基礎知識としての歴史、結合組織、関節、骨格筋、神経系、組織の修復過程、運動学について学習する。次に運動療法の理論と実際として、運動療法機器、関節可動域運動、筋力維持増強運動、持久力増強運動、全身調整運動・機能回復運動およびリラクセーション運動、協調性運動障害に対する運動療法、神経筋再教育・神経生理学的アプローチ、筋・筋肉痛に対するストレッチング・リリース法について学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業には、必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	運動療法の歴史・概念（定義）・位置付け	井上茂樹
第２回	運動療法の基礎	井上茂樹
第３回	基本的運動	井上茂樹
第４回	運動療法機器	井上茂樹
第５回	関節可動域運動	井上茂樹
第６回	筋力維持増強運動	井上茂樹
第７回	持久力増強運動	井上茂樹
第８回	総まとめ	井上茂樹
第９回	単位認定試験	井上茂樹
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキストⅢ　運動療法Ⅰ　第2版	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	978-4-915814-15-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	運動療法学　障害別アプローチの理論と実際	参・出版社名１	文光堂
参・著者名１	市橋則明	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-4342-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理療法学			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-218		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「物理療法を臨床現場で適切に実践できる」をテーマに、学生が各物理療法の詳細をしっかりと理解し､間違いの無い適応をできるようになることを到達目標とする。
授業概要	物理療法の概念を学ぶ。温熱刺激や電気刺激､機械的刺激に対する生体の反応を理解し、物理療法との関連を学ぶ。物理療法は､その適応を誤ると症状の改善に効果が無いばかりでなく悪化を招く。各療法について定義、目的、効果と適応、リスク管理を中心に教授する。 この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	定期試験の成績により総合評価する（試験100%）。 なお，実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと
履修条件・注意事項	物理療法機器は使い方を誤ると医療事故を起こすことになる。真剣な取り組みが必須である。 毎回，プリントを配布するのでファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	十分な理解のためには予習と復習が2時間程度必要である。自習用プリントを配布するので自主学習を行うこと。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。　場所は研究室（6329）とする。

	授業計画	担当者
第１回	1.温熱療法（温熱療法の基礎）	中嶋正明
第２回	2.温熱療法（ホットパック）	中嶋正明
第３回	3.温熱療法（パラフィン浴）	中嶋正明
第４回	4.超短波療法	中嶋正明
第５回	5.極超短波療法	中嶋正明
第６回	6.寒冷療法	中嶋正明
第７回	7.水治療法（水治療法の治療概念）	中嶋正明
第８回	8.水治療法（渦流浴，ハバードタンク，交代浴）	中嶋正明
第９回	9.赤外線療法	中嶋正明
第１０回	10.レーザー光線療法	中嶋正明
第１１回	11.電気刺激療法（電気刺激療法の治療概念）	中嶋正明
第１２回	12.電気刺激療法（TENS，NMES）	中嶋正明
第１３回	13.牽引療法（牽引療法の治療概念）	中嶋正明
第１４回	14.牽引療法（頸椎牽引，腰椎牽引）	中嶋正明
第１５回	15.超音波療法	中嶋正明
第１６回	16.単位認定試験	中嶋正明

教科書			
教・書籍名１	物理療法学テキスト	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	細田多恵 監修	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25179-7

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理療法学実習			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-219		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限 金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「物理療法を臨床現場で効果的に実践できる」をテーマに，２年次配当「物理療法学」で学んだ内容を再確認しながらしっかりとしたリスク管理の下で物理療法の実践適用を修得することを到達目標とする。
授業概要	物理療法機器の基本的な使用方法，適用肢位を学び，学生同士でペアを組み適用者と患者を演じて実際に使用する。その際，リスク管理に注意して実習を行う。 以上により物理療法の安全かつ効果的な適用技術を習得する。 この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習という特性上，実習への参加態度を加味し，実習への参加態度（30%），試験（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）物理療法機器の安全かつ効果的な適用ができる能力をしっかりと身につけるために，能動的な学修態度を留意すること。 ２）実習を行う前の予習が必須である。2年次「物理療法学」で使用したプリントを持って来ること。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	前もって実習する項目について教科書を熟読してくること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日3限をオフィスアワーとする。場所は研究室（6329）とする。

授業計画		担当者
第１回	温熱療法（ホットパック）	中嶋正明
第２回	温熱療法（パラフィン浴）	中嶋正明
第３回	超短波療法	中嶋正明
第４回	極超短波療法	中嶋正明
第５回	寒冷療法	中嶋正明
第６回	水治療法（渦流浴）	中嶋正明
第７回	水治療法（ハバードタンク）	中嶋正明
第８回	水治療法（交代浴）	中嶋正明
第９回	赤外線療法	中嶋正明
第１０回	レーザー光線療法	中嶋正明
第１１回	電気刺激療法（TENS）	中嶋正明
第１２回	電気刺激療法（干渉低周波）	中嶋正明
第１３回	牽引療法（牽引療法の治療概念）	中嶋正明

第１４回	牽引療法（頸椎牽引，腰椎牽引）		中嶋正明
第１５回	超音波療法		中嶋正明
第１６回	試験		中嶋正明
教科書			
教・書籍名１	「物理療法学テキスト」	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	細田多穂 監修	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25179-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動系理学療法治療学実習			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-220		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限 水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「代表的運動器疾患の評価と治療」をテーマとして、総合臨床実習で経験することが予想される疾患の評価と治療に関して講義と実習を行う。 臨床で多く目にする代表的な運動器の障害に関して、評価項目の解釈からプログラムの立案、実施までが出来るようになることを目標とする。
授業概要	前期の「運動系理学療法学」の知識を基礎として、代表的な運動器疾患に関しての治療プログラム立案、実施、リスク管理方法を学習する。講義の中では行動科学、運動学習理論を踏まえた対象者への説明方法、治療者として良好な態度についても実践できるようにしていく。また、実際の対象者の映像、評価結果を用いて臨床的推論、対象者の特性を考慮した介入の方法についても学習する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では、国家試験、臨床実践を前提とした運動器疾患に対する理学療法の複合的知識、技術の習得を目的としている。定期(筆記)試験(60%)、実技試験(30%)により判断するが、グループワークやディスカッションなどを取り入れることから発表への参加態度、グループワークの結果なども考慮する(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	対象者の身体に触れることを前提とし、毎回実技を行う。筋肉、骨の触診を行うことも多いので、毎回必ず手足が露出しやすく、体幹の触診も行いやすい服装で受講すること。デニムなどの生地の厚い服装では触診は行えない。 また、体格、性別によって筋骨格が異なるので、必ず多くの対象者と実技を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、実施した部位の運動学、解剖学、生理学の復習と、次回の予習を行っておくこと。運動器における解剖学、生理学、運動学は理解できているものとして講義を行う。2) 実技に関しての自己練習を各回指示する。触診などが十分に理解が出来ていない場合は必ず教員に相談し、正しい理解をした上で自己練習を行うこと。 予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	臨床評価実習の振り返り1	森下元賀
第２回	臨床評価実習の振り返り2	森下元賀
第３回	肩関節周囲炎の理論	森下元賀
第４回	肩関節周囲炎の治療実技	森下元賀
第５回	腱板断裂、肩関節不安定症の理論	森下元賀
第６回	腱板断裂、肩関節不安定症の治療実技	森下元賀
第７回	非特異的腰痛の理論	森下元賀
第８回	非特異的腰痛の治療実技	森下元賀
第９回	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症の理論	森下元賀
第１０回	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症の治療実技	森下元賀
第１１回	膝靭帯、半月板損傷の理論	森下元賀
第１２回	膝靭帯、半月板損傷の治療実技	森下元賀

第１３回	足関節疾患の理論	森下元賀
第１４回	足関節疾患の治療実技	森下元賀
第１５回	関節リウマチの理論	森下元賀
第１６回	関節リウマチの治療実技	森下元賀
第１７回	疼痛の生理学	森下元賀
第１８回	疼痛に対する理学療法	森下元賀
第１９回	運動器不安定症の理論	森下元賀
第２０回	ロコモ、サルコペニアに対する介入実技	森下元賀
第２１回	模擬症例の治療演習1	森下元賀
第２２回	模擬症例の治療演習2	森下元賀
第２３回	模擬症例の治療演習3	森下元賀
第２４回	模擬症例の治療演習4	森下元賀
第２５回	模擬症例の治療演習5	森下元賀
第２６回	模擬症例の治療演習6	森下元賀
第２７回	模擬症例の治療演習7	森下元賀
第２８回	模擬症例の治療演習8	森下元賀
第２９回	実技試験(OSCE)1	森下元賀
第３０回	実技試験(OSCE)2	森下元賀
第３１回	筆記試験	
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	運動器理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー
教・著者名１	加藤浩(編)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-2001-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	循環呼吸系理学療法治療学実習	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-221

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限 金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「循環呼吸系理学療法の評価、治療技術の習得」をテーマに理学療法士国家試験に出題される問題、臨床実習（評価実習、総合実習）に対応できるように、呼吸・循環系の疾患の病態を理解し専門職としての知識、考え方技術を身に着けることができることを目標とする。
授業概要	循環呼吸系疾患の評価と治療技術について学ぶ。特に呼吸理学療法に関しては、リラクゼーション、呼吸練習、呼吸筋トレーニング、胸郭可動域訓練、排痰法、運動療法とを実技授業を中心として講義する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(20%)、各種レポート(50%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中に評価のために出した課題は、次の授業でフィードバックするの。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からプリントを綴じるためのファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	金曜日の3時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	肺区域1	元田
第２回	肺区域2	元田
第３回	肺と胸郭の位置関係1	元田
第４回	肺と胸郭の位置関係2	元田
第５回	血圧測定の実際	元田
第６回	呼吸器疾患の評価1	元田
第７回	呼吸器疾患の評価2	元田
第８回	胸郭の動き	元田
第９回	胸郭と呼吸筋	元田
第１０回	呼吸補助筋	元田
第１１回	呼吸生理学	元田

第１２回	動脈血液ガス、呼吸不全	元田
第１３回	呼吸器疾患の評価1　浮腫、チアノーゼ	元田
第１４回	呼吸器疾患の評価2　打診	元田
第１５回	呼吸器疾患の評価3　聴診	元田
第１６回	フローボリューム曲線	元田
第１７回	筋力の評価	元田
第１８回	呼吸器疾患のADL	元田
第１９回	血中の酸性度（ｐH）	元田
第２０回	X線による評価	元田
第２１回	内部疾患の理学療法の試験対策1	元田
第２２回	内部疾患の理学療法の試験対策2	元田
第２３回	内部疾患の理学療法の試験対策3	元田
第２４回	試験	元田
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	呼吸リハビリテーション 第5版（動画でわかる）	教・出版社名１	中山書店
教・著者名１	高橋仁美（市立秋田総合病院）／宮川哲夫（昭和大学）／塩谷隆信（秋田大学）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-521-74834-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法学 10月-1月			担当者	小幡　太志		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-222		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	8	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜3限 土曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	運動器は四肢・体幹の骨格，関節，靱帯，筋や脊髄・神経であり，身体の感覚を脳に伝えて，反射的あるいは意志に基づく身体の運動を行う器官である。この講義では、脊椎・脊髄の主要な解剖と機能を理解し，神経組織との関係を把握し、現在脊髄疾患の対象は多岐にわたっている現状を踏まえ、乳幼児から超高齢者の脊髄疾患までと幅広く、さらに多様化、重度化、重複化する状況に対応できるよう指導する。また脊髄損傷の病態・障害像を把握して，脊髄損傷の運動療法や日常生活活動について教授する。また脊髄疾患の基礎的理学療法の処方、実践が出来ることを目標とする。本科目は理学療法学科ディプロマポリシー「理学療法に関する高いスキルと豊かな表現力を身に付け、それを実践していく力」を実践する科目である。
授業概要	①脊椎・脊髄の主要な解剖と機能ならびに、神経組織との関係性を理解し、説明できる。 ②脊髄障害の多様化、重度化、重複化する状況を理解し、説明できる。 ③脊髄損傷の病態・障害像を理解し、説明できる。 ④脊髄損傷の運動療法や日常生活活動を理解し、説明できる。 整形外科専門病院、クリニックにて5年間勤務し、脊髄損傷、整形疾患、脳血管疾患などの理学療法に関わった。またその後は20年間にわたり介護老人保健施設などの非常勤としてリハビリテーションに関わっている。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	本科目では疾患特有の病態像を学ぶため、グループワークを用いたレポートを持って評価する（100%）。なお，評価のために実施したレポートは、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義終了後、Teamsをもちいてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）脊髄の基礎解剖生理の知識を十分に整理することが序盤の講義では必要である。また各講義の後には２）理解が十分でない箇所の確認及び精査を行いノートにまとめること。グループワークの開始に伴い、３）各グループにおける十分な討議及び４）講義内発表での指摘に対する十分な整理を行うこと。なおそれらを総合的に確認するための試験に望むために、５）2/3以上の出席をすること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：シラバスに即して、毎回教科書の該当部分及びシラバステーマに関して整理しておく。 復習：講義中に出したキーワードに関してしらべる。 なお、予習復習は各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室にて

	授業計画	担当者
第１回	脊髄損傷の理学療法総論	小幡太志
第２回	理学療法評価、高位診断	小幡太志
第３回	脊髄不全損傷とその特殊型	小幡太志
第４回	レベル別ADL動作	小幡太志（GS予定）
第５回	レベル別ADL動作グループディスカッション	小幡太志（GS予定）

第６回	褥瘡、自律神経障害	小幡太志
第７回	レベル別基本動作	小幡太志
第８回	レベル別基本動作グループディスカッション	小幡太志
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	PTマニュアル　脊髄損傷の理学療法	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	武田功	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21483-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	田中宏太佳	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-00778
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法治療学実習			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-223		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限 火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳卒中片麻痺を主とした運動療法」と「理学療法プログラム立案」をテーマとして、評価結果に基づく論理的な理学療法プログラムが立案でき、かつ実践もできるようになる。
授業概要	卒中片麻痺患者を中心に，発症急性期から回復期での具体的な運動療法手技について学習するとともに、春期の内容を踏まえ、有限の評価情報から理学療法プログラムの立案化を図るトレーニングを行う。また、グループワーク演習も取り入れ、チーム医療における協調性や責任感や報告力を養う。以上は、各疾患や症例固有の理学療法介入モデルを模索することを通じて、知識と実際場面で用いるハンドリング技術と高度な接遇態度を学ぶと共に、臨床家の思考過程に近づくことをめざすものである。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	定期試験（筆記試験）及びグループワーク発表会、客観的臨床能力試験(OSCE)の成績を評価する。 定期試験とOSCEを受けるための必要条件は、平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、実習・演習活動への参加，かつグループワークへの参加と発表会出席があることとする。 レポート課題２つで20%、筆記試験で60%、臨床技能で20%の予定
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・必要な指示は講義内および掲示板にて行う。 ・理学療法推論にはフレキシブルな問題解決能力が要求されると同時に、正確に推論するためには豊富な基礎知識も不可欠である。したがって、真剣に課題に取り組んでもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。併せて，脳卒中理学療法に関する実務経験の多いゲストピーカーを招いて，知識と技術を習得します.
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 十分な理解に到達するために，予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	1,2 脳神経機能の可塑性、急性期ポジショニング・視点	原田和宏
第２回	3,4 脳卒中のROM exercise,	
第３回	5,6 腱反射、病的反射、筋緊張実技の再確認	
第４回	評価＆介入の臨床技能実習（右片麻痺）	
第５回	評価＆介入の臨床技能実習（運動失調症）	
第６回	評価＆介入の臨床技能実習（立位練習）	
第７回	評価＆介入の臨床技能（二重課題歩行練習）	
第８回	脳卒中の神経筋再教育法，外部講師2コマ	
第９回	脳卒中急性期患者のプログラム立案課題	
第１０回	脳卒中急性期回復期のプログラム立案課題	
第１１回	臨床技能実践（ダイアローグ～治療介入）	

第１２回	23,24 高次脳機能障害		
第１３回	25.　秋学期総合演習　1		
第１４回	26.　秋学期総合演習　2		
第１５回	秋期定期試験		
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学　第2版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	吉尾雅春，森岡周，阿部浩明（編）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-03621-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた 改訂第18版	参・出版社名１	南山堂
参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4525247980
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活技術学			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-224		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常生活活動（ＡＤＬ）」の概念理解と基本的技術の修得をテーマに，自立支援に向けた基礎的な評価・支援技術を身につける。あわせて本授業は，以後本格化する理学療法評価や疾患別理学療法といった専門科目への導入教育を目指すものである。 リハビリテーションにおいてＡＤＬの自立は，疾患や障害の違いを越えたあらゆる対象者共通の支援目標である。本講義では，ＡＤＬの定義や概念，構成する要素の理解とともに，自立に向けた評価と基本的な介入方法について習得する事を到達目標とする。
授業概要	前半はＡＤＬの定義と概念を踏まえた上で，構成する個々の活動の評価や問題点の抽出方法，自立に向けた介入方法の基礎を教授する。同時に，地域生活の自立を指す「生活関連動作」を取り上げ，社会参加の促進や障害予防の視座に立った支援について理解を深める。後半では，疾患別の自立支援として代表的疾患の「脳血管障害」「脊髄損傷」を取り上げ理解を深める。講義では「グループワーク（GW）」を導入する等，受け身ではなく能動的学びを目指す。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	この科目では，国家試験や臨床実践を前提とした基礎的知識の修得を最低ラインの目標としていることから，単位認定は定期試験の合格を要件とする。ただし成績評定は定期試験（70%），GW課題 （30%）から評価する。授業態度・欠席は減点要素とする。詳しい評価方法は，最初の授業時に説明する。 なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので，見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，授業内，または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）積極的な態度で臨むことはもちろん，授業ごとに指示される予習・復習が重要になることを留意すること。 ２）質問や意見表明を積極的に行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	１）授業各回において，教科書を中心とした事前学修，事後学修を指示する。 ２）指示されるレポート課題・グループワーク課題について取り組むこと。これら以外についても，当該科目の重要性を十分認識の上，必ず予習復習に取り組むこと。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，金曜日5時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	総論－ＡＤＬの定義と概念	齋藤
第２回	ＡＤＬ評価Ｉ　ＡＤＬ障害の捉え方	齋藤
第３回	ＡＤＬ評価ＩＩ　事例検討　※ＧＷ	齋藤
第４回	起居動作	齋藤
第５回	移動動作Ｉ　車椅子	齋藤
第６回	移動動作ＩＩ　歩行	齋藤
第７回	ＡＤＬ評価尺度について	齋藤
第８回	活動能力向上と障害予防　手段的ＡＤＬ	齋藤
第９回	疾患別評価と理学療法　総論	齋藤
第１０回	脳血管障害Ｉ　基本的ADL ※ＧＷ	齋藤
第１１回	脳血管障害ＩＩ　活動能力　※ＧＷ	齋藤

第１２回	脊髄損傷Ｉ　四肢麻痺　※ＧＷ		齋藤
第１３回	脊髄損傷ＩＩ　対麻痺　※ＧＷ		齋藤
第１４回	疾患別評価と理学療法　まとめ		齋藤
第１５回	既出事項の総まとめ		齋藤
第１６回	定期試験		齋藤
教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキスト　日常生活活動（ＡＤＬ）	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	4915814211
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日常生活活動（ADL）―評価と支援の実際	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	伊藤 利之	参・ＩＳＢＮ１	4263266064
参・書籍名２	ＡＤＬとその周辺　評価・指導・介護の実際	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	伊藤利之・鎌倉矩子	参・ＩＳＢＮ2	4260022040

授業科目名	生活技術学実習			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-225		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限 木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常生活活動（ＡＤＬ）」の支援介入技術の修得をテーマに，自立支援における介助技術，生活障害の評価技術を身につける。 本実習科目では，自立に向けた指導や介助方法，歩行補助具や車椅子，福祉用具の使用方法について実習し，技術を身につける。また事例検討を通じ，生活障害の評価と介入の臨床的思考を身につけることを到達目標とする。
授業概要	感染予防の観点より，授業構成として先ずはADLの支援介入技術に関する理解を深め，直接接触を前提とする介助技術習得は，後半の授業回に集中講義で実施する。 初回は，疾患別自立支援法として骨関節疾患を取り上げ教授する。次いで医療面接と事例検討をとおしADL障害の構造と捉え方について理解を深める。それ以降，6回にわたり介助技術の運動力学的理解，基本動作やセルフケアに関する各種介助技術の概要を，デモンストレーションを交え教授する。そして集中講義による実技をとおして専門的技術の修得を図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	この科目では，国家試験や臨床実践を前提とした基礎的知識と技術の修得を目標としている。単位取得要件は定期試験合格と集中講義で実施する実技の試験合格を要件とする。成績評定は，筆記試験・実技試験（80%），課題（GWを含む20%）から評価する。授業態度・欠席は減点要素とする。詳しい評価方法は，最初の授業時に説明す
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題や試験，レポート等は，授業内，または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	1）授業前半は介助技術に関する理論を教授し，後半に介助技術修得を目的とした実技を実施する予定であるが，感染状況より講義計画が変更される可能性があることに留意すること。 2）介助技術修得に関する集中講義は，感染予防の観点より2クラスに分け少人数化して実施する。クラス編成と実施日時については改めて授業時に説明する。 3）マスク装着など基本的な感染予防対策を留意し出席すること。 4）質問や意見を積極的に行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	１）授業各回において，配付資料・教科書を中心とした事前学修と事後学修，実技に関する自主練習を指示する。 ２）指示されるレポート課題・グループワーク課題について取り組むこと。これら以外についても，当該科目の重要性を十分認識の上，必ず予習復習に取り組むこと。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，金曜日５時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	1・2．講義：疾患別評価と理学療法　骨関節疾患	齋藤
第２回	3・4．ＡＤＬ障害の構造とその捉え方Ｉ　医療面接	齋藤
第３回	5・6．ＡＤＬ障害の構造とその捉え方ＩＩ　事例検討1	齋藤
第４回	7・8．講義：介助技術の基本的知識	齋藤
第５回	9・10．起居動作Ｉ（寝返り，起き上がり，ベッド上移動）	齋藤
第６回	11・12．移乗動作Ｉ（トランスファーの基礎）	齋藤
第７回	13・14．移乗動作ＩＩ（トランスファー，立ち上がり動作，他）	齋藤
第８回	15・16．移動動作（車椅子，歩行）	齋藤

第９回	17. セルフケア（排泄・入浴動作中心に）	齋藤
第１０回	18. ＡＤＬ障害の構造とその捉え方ＩＩＩ　事例検討2	齋藤
第１１回	19. 実技・起居動作ＩＩ（寝返り，起き上がり，他）	齋藤
第１２回	20. 実技・移乗動作ＩＩＩ（トランスファー）	齋藤
第１３回	21. 実技・移乗動作ＩＶ（立ち上がり動作，他）	齋藤
第１４回	22. 実技・移動動作（車椅子，歩行）	齋藤
第１５回	23. 既出事項の総まとめ・実技試験	齋藤
第１６回	24. 定期試験	齋藤
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	日常生活活動（ADL）　第2版	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	監修　千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	4915814211
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	義肢装具学			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-226		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「専門家としての基本的素養を身につける」をテーマとする。 ・義肢装具はリハビリテーションに必要不可欠な治療手段であることが理解できる。 ・義肢装具は障がい者にとって日常生活活動に大きく影響することが理解できる。 ・義肢については義足・義手の種類やそれぞれの機能、適応を述べることができる。 ・装具については上肢装具・下肢装具・体幹装具のそれぞれの機能、適合判定を述べることができる。
授業概要	・義肢装具の実物教材に直接触れて体験しながら理解することができる。 ・義肢装具の図や写真を数多くみることから分かやすく理解することができる。 ・義肢は切断者にとって適応の良し悪しが装着に影響することを理解することができる。 ・装具は機能障害がある者にとって治療を促進し活動能力の向上に有用であることを理解することができる。 ・模擬装具を用い装着することで障がい者への共感的理解を深めて適合判定を理解することができる。 ・実技を取り入れ動きながら解剖学や運動学の知識を合わせて考えていくことから理解を深めることができる
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	・定期試験（50%）、課題レポートやノート提出（30%）、講義内小テスト（20%）から評価する。 ・臨床実習を行う能力を備えているかは国家試験の実地問題を加えて評価する。 ・課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までには見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・義肢装具学としての学習内容は、3年次春期の義肢装具学実習をもって完結する。 ・2年次秋期では疾患別理学療法が同時進行するため義肢装具学総論と義足について学習する。 ・学習習慣が成績に反映される科目であることからその日の内に習ったことをノート整理し復習は欠かせない。 ・毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できていない点をまとめて授業を受けること ・復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。 ・指示に従って必ずノートを作成し復習を行うこと。 ・試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。 ・必ず予習と復習を各1時間程度は行わないと、授業に出席していただけでは単位は取れない。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

	授業計画	担当者
第１回	理学療法学と臨床	井上茂樹
第２回	臨床理学療法と義肢装具	井上茂樹
第３回	義肢装具総論	井上茂樹
第４回	義肢装具と理学療法士の役割	井上茂樹
第５回	義肢学	井上茂樹
第６回	装具学	井上茂樹

第７回	切断者のリハビリテーション		井上茂樹
第８回	義足の足部		井上茂樹
第９回	下腿ソケット		井上茂樹
第１０回	下腿義足のアライメント		井上茂樹
第１１回	下腿義足の異常歩行		井上茂樹
第１２回	膝継手		井上茂樹
第１３回	大腿ソケット		井上茂樹
第１４回	大腿義足のアライメントと異常歩行		井上茂樹
第１５回	取りまとめ総論		井上茂樹
第１６回	単位認定試験		井上茂樹
教科書			
教・書籍名１	義肢装具のチェックポイント第9版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	監修　日本整形外科学会・他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04589-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	義肢装具学実習			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-227		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限 月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「専門家としての基本的素養を身につける」をテーマとする。 ・義肢装具を治療手段として理解することができる。 ・義肢装具の適応が日常生活や社会活動に有用であることを理解することができる。 ・義肢装具の適合判定は対象者の残存機能や生活様式から適合させていく方法を身につけることができる。 ・義肢装具の目的・種類・構造・機能・適応・チェックポイントについて自ら学ぶ姿勢を身につけることができる。
授業概要	・義肢装具の実物を用いて構造と機能を理解することができる。 ・装具を実際に作製することで適合判定までを体験し理解を深めることができる。 ・義足の異常歩行についてはモデルを用いて現象を体感することができる。 ・実際に現場で適応された動画をみることで能力障害への適応が理解できる。 ・模擬患者を想定して義肢装具を適応さすことから共感的態度を身につけることができる。 ・自ら学ぶ習慣を培い体で覚えることを育み専門家の素養を身につけることができる。 ・臨床実習に臨むにあたって必要な基本的な態度を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	・テーマ「専門家としての基本的素養を身につける。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験（50%）、課題レポートとノート提出（30%）、講義内小テスト（20%）から評価する。 ・臨床実習を行う能力を備えているかは国家試験の実地問題を加えて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	・口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・授業中のノートはメモで、その日の内に教科書はもちろん参考書をみて習ったことをノートにすること。 ・復習と予習の学習習慣を徹底的に身につけていく課題が出される。 ・頭で覚えることだけでなく動きながら考えていく創造力が求められる。 ・毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できていない点をまとめて授業を受けること ・復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。 ・指示に従って必ずノートを作成し復習を行うこと。 ・試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。 ・必ず予習と復習を各1時間程度は行わないと、授業に出席していただけでは単位は取れない。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	股義足	井上茂樹
第２回	股義足	井上茂樹
第３回	その他の義足	井上茂樹
第４回	その他の義足	井上茂樹

第５回	義手の種類	井上茂樹
第６回	義手の種類	井上茂樹
第７回	義手のチェックポイント	井上茂樹
第８回	義手のチェックポイント	井上茂樹
第９回	車椅子・歩行補助具	井上茂樹
第１０回	車椅子・歩行補助具	井上茂樹
第１１回	上肢装具の種類	井上茂樹
第１２回	上肢装具の種類	井上茂樹
第１３回	上肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第１４回	上肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第１５回	体幹装具の種類	井上茂樹
第１６回	体幹装具の種類	井上茂樹
第１７回	体幹装具のチェックポイント	井上茂樹
第１８回	体幹装具のチェックポイント	井上茂樹
第１９回	下肢装具の種類	井上茂樹
第２０回	下肢装具の種類	井上茂樹
第２１回	下肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第２２回	下肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第２３回	仮装具の作製-弾力包帯	井上茂樹
第２４回	仮装具の作製-弾力包帯	井上茂樹
第２５回	まとめ	井上茂樹
第２６回	単位認定試験	井上茂樹
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	義肢装具のチェックポイント第9版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	監修　日本整形外科学会・他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04589-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	難病理学療法学			担当者	津田　陽一郎		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-228		
必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義では神経筋疾患（難病）に対する理学療法を実施するにあたり、疾患に対する基本的な知識をふまえ、実施の目的が分かり、評価、治療を長期的な見通しを持って組み立てることができるようになる。また、罹患された者やその家族の心理的、社会的側面に関する理解を深め、リハビリテーション従事者として必要な洞察力、共感力を養い、専門職としての関わりの在り方について考えることができることを目標とする。
授業概要	神経筋疾患には多くの種類があるが、各疾患の運動障害の経過は様々であり特異性を持つ。そのため、発病からの経過を踏まえ各時期によってどのような介入が必要か、運動によるリスク管理とともに、治療、指導のポイントを講義する。また、治療において重要な手技などの実技指導も含め行ってゆく。代表的なパーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群を中心に講義を行う。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度（30%実技練習における実施態度を重要視）、定期試験（40%）とレポート（30%：必要に応じて課題とする）　なお、評価のために実施した課題、 レポート等は、授業でフィードバックをする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	配布資料における括弧内のキーワードは最低限記憶するべき項目であることから、参考書を参照し確認を行いながら復習をする。配布資料に基づき講義内で説明をするが、予習として参考書を読みつつ括弧内をあらかじめ埋めることも出来るようになっている。実技は人を変えつつ多くの練習が必要であることから、各自講義後、実習前に練習をすること。予習および復習には，各2時間程度を要する。
履修条件・注意事項	講義は配布資料を基に実施してゆくため、毎回配布された資料を忘れずに持参すること。そのため、ファイルを用意し、まとめておく事が望ましい。講義中に基本的な手技，運動指導を実技として練習する場面もあるため，動きやすい服装，あるいは実習着（白衣）での受講が望ましい．実技における基本手技は習熟のために繰り返しの練習が必要であることから，講義後も質問があれば積極的に聞くこと．また，復習についても個人的に練習をすること．
実務経験のある教員	該当する　内容　病院（急性期・回復期リハビリテーション病棟・外来）の他、訪問リハビリ、デイケア等、急性期～生活期の理学療法、リハビリテーション業務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	配布資料における括弧内のキーワードは最低限記憶するべき項目であることから、参考書を参照し確認を行いながら復習をする。配布資料に基づき講義内で説明をするが、予習として参考書を読みつつ括弧内をあらかじめ埋めることも出来るようになっている。実技は人を変えつつ多くの練習が必要であることから、各自講義後、実習前に練習をすること。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	講義終了後、教室にてオフィスアワーの時間とするが、他の時間に質問が浮かんだ場合は、保健医療学部　原田和宏教授に報告、連絡をとる。

授業計画		担当者
第１回	難病に関する概要/神経筋疾患　総論	
第２回	パーキンソン病に対する理学療法１	
第３回	パーキンソン病に対する理学療法２/脊髄小脳変性症に対する理学療法	
第４回	脊髄小脳変性症に対する理学療法	
第５回	難病に対する感性を高める	

第６回	筋委縮性側索硬化症に対する理学療法	
第７回	多発性硬化症，ギランバレー症候群に対する理学療法	
第８回	神経筋疾患　まとめ	
第９回	定期試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない　（配布資料を使用します）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	理学療法テキスト神経障害理学療法学II	参・出版社名１	中山書店
参・著者名１	石川 朗	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-1112-0
参・書籍名２	中枢神経系理学療法学（理学療法学ゴールド・マスター・テキスト）	参・出版社名2	メジカルビュー社
参・著者名2	柳澤健	参・ＩＳＢＮ2	978-4-521-73232-9

授業科目名	障がい児理学療法学			担当者	横井　輝夫、馬屋原　康高		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-229		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限 土曜3限 土曜4限 金曜3限 金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	障がい児理学療法の評価と技術の基本、および障がいをもって生きる子どもやそのご家族へ理学療法を通して支援をしていく方法について学ぶ。その結果、学生は障がい児理学療法の主な対象疾患を有する児者、およびそのご家族に対し、全人的な視点に立って理学療法を提供できるようになる。
授業概要	障がいをもつ子どもへの理学療法は療育の一翼をになう。療育は育つ力を育てる子育てである。従って、子どもの気持ちや機能障がいの理解とともに、親の気持ちを理解し、親の想いに寄り添うことが大切である。その上で、まず、障がい児理学療法の主な対象疾患である脳性麻痺の症状や機能障がいについて学び、それらをふまえてライフサイクル別に理学療法アプローチを習得する。また、重い障がいをもつ児では、生命にかかわる呼吸障がや摂食嚥下障がいをしばしば合併している。そこで、呼吸障がいや摂食嚥下障がいへの理学療法や理学療法士のかかわりにつていも習得する。さらに、子どもの神経筋疾患、整形外科疾患、発達障がい児への理学療法アプローチを習得する。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	評価は単位認定試験、レポート課題、および授業への積極的な態度を総合して行う。なお、評価配点については、各講師が説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート、試験については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当する　内容　本科目では、障がい児分野での実務経験を活かした授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	配布資料は事前に通読しておくこと。そして、毎回の授業直後に授業の内容を組織化・構造化できるように復習すること。従って、予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	療育の意味と歴史	横井
第２回	脳性麻痺総論①	横井
第３回	脳性麻痺総論②	横井
第４回	発達評価	横井
第５回	子どもの呼吸障がいと理学療法	横井
第６回	子どもの整形外科疾患と理学療法	横井
第７回	まとめ・試験	横井
第８回	新生児期の理学療法	馬屋原
第９回	就学支援と理学療法	馬屋原
第１０回	学齢期の理学療法	馬屋原
第１１回	青年期の理学療法	馬屋原
第１２回	小児の摂食機能療法と理学療法士のかかかり	馬屋原
第１３回	発達障がいの特徴と理学療法アプローチ	馬屋原
第１４回	小児期発症の神経筋疾患における理学療法アプローチ	馬屋原
第１５回	地域の障がい児支援と理学療法士のかかわり・まとめ・試験	馬屋原

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	教科書はなし。授業のなかで資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	田原弘幸・他・編：小児理学療法学テキスト　改定第3版、南江堂、2018.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	スポーツ障害 （オムニバス）	担当者	日傳　宗平、福田　航、横山　茂樹
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-230

必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・実技
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜2限 土曜3限 土曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	スポーツ障害に対する評価と理学療法をテーマとして，以下のことを到達目標とする． ①スポーツ動作のバイオメカニクスやスポーツ障害の疾患特性を十分に理解する． ②スポーツ障害に対する理学療法評価および治療プログラムを説明できる．
授業概要	部位別におけるスポーツ障害の発生機序，病態・疾病特性について解説します．さらにはスポーツ障害に対する理学療法評価および治療プログラムを実践できるように実技も取り入れながら講義を進めます．
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では，スポーツ障害に関するリハビリテーションを実践できることを目的としています．このため基礎知識の修得程度を把握するための確認テスト（30%），実技修得への取り組みを評価するための積極的学習態度（10%），総合的な知識と技術の修得度を確認するための筆記試験（60%）を行う．特に実習を多く取り入れることから授業への参加態度を重視する．
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単元ごとに確認テストを実施します．
履修条件・注意事項	授業出席が2/3以上を単位認定受験の条件とします． 講義では，実習を行うので実習着を着用し，半袖・短パンになれるように準備してください．
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回において，評価や治療・指導が実践できるレベルを目指します．このため事前に取り上げる疾患を告知しますので，疾患特性や病態等について，十分に予習しておいてください． 講義の中で取り上げるスポーツ障害に関する基礎知識を十分に整理してください．また講義内容を確認するための確認テストを実施しますので，復習してください．
オフィスアワー	講義終了後に質問を受け付けます． またメール等により対応します．

	授業計画	担当者
第１回	第1回スポーツ理学療法総論	横山　茂樹
第２回	第2回スポーツ現場における理学療法；メディカルチェック	横山　茂樹
第３回	スポーツ現場における理学療法；メディカルチェック	横山　茂樹
第４回	応急処置・テーピング	日傳　宗平
第５回	ストレッチ	日傳　宗平
第６回	エクササイズ	日傳　宗平
第７回	上肢におけるスポーツ障害（１）	日傳　宗平
第８回	上肢におけるスポーツ障害（２）	日傳　宗平
第９回	体幹におけるスポーツ障害	日傳　宗平
第１０回	下肢におけるスポーツ障害（１）	福田　航
第１１回	下肢におけるスポーツ障害（２）	福田　航
第１２回	下肢におけるスポーツ障害（３）	福田　航
第１３回	下肢におけるスポーツ障害（４）	横山　茂樹

第１４回	下肢におけるスポーツ障害（５）	横山　茂樹
第１５回	まとめ	横山　茂樹
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法研究法			担当者	井上　優		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-231		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限 月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義における学習を通じて，学生が理学療法士にとって必要な客観的視点にたった現象解釈の能力や態度を身につくこと，「研究」というものが数学的知識や，その他の難しい知識の集合体ではなく，臨床現場における評価に通じるものであり，検査測定結果を他者に適切に伝えることができるようになることを目標とする．
授業概要	研究に対する基礎的な知識として，研究デザインの大切さ，理学療法領域で用いられることの多い検査測定方法の選択の仕方，統計手法について教科書，講義を通じて整理していく．授業の後半にはグループ毎にテーマを決め，実際に情報収集・データ測定・結果解釈・発表の一連の作業を行ってもらう．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	受講態度（10%），グループワークにおける取組姿勢（15%），提出物（15%），定期試験（60%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする
履修条件・注意事項	研究法に関する知識量，理解度だけで評価はせず，学習や授業に取り組む姿勢も重視する．学習や授業に対する姿勢は，提出物の内容やグループワークにおける姿勢を主に評価する． グループワークの成果発表時には必ず参加すること．特別な理由がなく不参加の場合は，単位認定試験の受験資格は与えない．
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，医療機関に勤務し実務経験のある外部講師が，臨床現場における現状や課題，臨床研究などを具体例を紹介しながら，必要な知識や能力について講義し，学生の理解を深める．
事前学習・事後学習とその時間	1）授業計画を参照し，該当する箇所に関して事前に教科書を熟読してから授業に臨むこと． 2）復習は授業ノートと教科書の再確認により行うこと． 3）指定した教科書のみでは必要な知識を得ることは難しいため，他の参考書，論文などにも目を通すことが望ましい． 4）予習および復習には，各2時間程度を要する．
オフィスアワー	授業終了時の教室にて行う．

授業計画		担当者
第１回	第1回　オリエンテーション：研究の必要性と意義.	井上優
第２回	第2回　研究デザイン：研究疑問から研究課題の設定	井上優
第３回	第3回　研究デザイン：研究デザインの理解	井上優
第４回	第4回　研究デザイン：文献の検索方法と読み方	井上優
第５回	第5回　研究デザイン：アウトカムの特性の理解	井上優
第６回	第6回　研究デザイン：データ収集と基礎統計	井上優
第７回	第7回　研究デザイン：研究倫理	井上優
第８回	第8回　研究デザイン：シングルケーススタディ	井上優
第９回	第9回　研究デザイン：プレゼンテーション	井上優
第１０回	第10回　グループワーク：研究テーマの検索と研究デザインの検討	井上優
第１１回	第11回　グループワーク：研究デザイン発表	井上優
第１２回	第12回　グループワーク：データ収集	井上優
第１３回	第13回　グループワーク：データ解析，プレゼンテーション準備	井上優
第１４回	第14回　グループワーク：成果発表1	井上優

第１５回	第15回　グループワーク：成果発表2		井上優
第１６回	第16回　単位認定試験		井上優
教科書			
教・書籍名１	理学療法研究法	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	対馬栄輝	教・ＩＳＢＮ１	9784263267356
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	「理学療法におけるevidence-based medicine」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「理学療法におけるevidence-based medicine」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	収集した文献を読み，要点を的確に発表できるように準備すること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	中嶋　正明
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	中嶋　正明
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	中嶋　正明
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	中嶋　正明
第５回	文献抄読（１）	中嶋　正明
第６回	文献抄読（2）	中嶋　正明
第７回	文献抄読（3）	中嶋　正明
第８回	文献抄読（4）	中嶋　正明
第９回	文献抄読（5）	中嶋　正明
第１０回	研究計画書作成（１）	中嶋　正明

第１１回	研究計画書作成（2）	中嶋　正明
第１２回	研究計画書作成（3）	中嶋　正明
第１３回	研究計画書作成（4）	中嶋　正明
第１４回	研究計画書作成（5）	中嶋　正明
第１５回	卒業研究計画書発表	中嶋　正明
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	高橋　淳
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生がバイオ研究の実験方法、思考法を学び、実験技術を習得し、その成果を卒業論文としてまとめ発表することを目標とする。
授業概要	研究については「腫瘍促進因子FEATの機能」に関わるテーマを中心に進める。 (大半のヒトがんで異常に高発現している強力な新規腫瘍促進因子, https://www.natureasia.com/ja-jp/srep/abstracts/35196) 具体的には、 1. 実験方法を学び、分子生物学、生化学的手技を習得する。 2. 保健福祉研究所で実験に従事して、データを収集・解析する。 3. 文献検索の仕方を学び、研究論文を読む能力を身につける。 4. 研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるために、能動的な学修態度が望ましい。 ２）履修過程にあたっては、E-mailを活用する等、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　内科医としての実務経験と血液学・細胞生物学・腫瘍生物学の研究実績を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	バイオ研究に知的好奇心を持ち、実験を進めながら、積極的に質問し、討論し、実地に学んでほしい。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	高橋
第２回	研究倫理について	高橋
第３回	研究テーマの絞り込み	高橋
第４回	分子生物学、生化学実験法	高橋
第５回	実験（1）	高橋
第６回	実験（2）	高橋
第７回	実験（3）	高橋
第８回	実験（4）	高橋
第９回	実験（5）	高橋
第１０回	実験（6）	高橋
第１１回	.実験（7）	高橋
第１２回	実験（8）	高橋
第１３回	実験（9）	高橋
第１４回	実験（10）	高橋
第１５回	実験結果検討会	高橋

第１６回	研究計画見直し		高橋
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常診療で感じた疑問を科学的に解決し還元する」をテーマに，４年次における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，医師としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場に おいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および前回授業で予告した部分について事前に資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業で不明な点を資料で確認し、次回の授業までにノートにまとめること。 なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	森
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	森
第３回	研究テーマの絞り込み（１）過去の研究紹介	森
第４回	研究テーマの絞り込み（２）話し合い	森
第５回	文献抄読（１）	森
第６回	文献抄読（２）	森
第７回	文献抄読（３）	森
第８回	文献抄読（４）	森
第９回	文献抄読（５）	森
第１０回	文献抄読（６）	森
第１１回	研究計画書作成（１）	森
第１２回	研究計画書作成（２）	森

第１３回	研究計画書作成（３）	森	
第１４回	研究計画書作成（４）	森	
第１５回	研究計画書作成（５）	森	
第１６回	卒業研究計画書発表	森	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	あなたもできるデータの処理と解析	参・出版社名１	福村出版
参・著者名１	岩淵千明　編著	参・ＩＳＢＮ１	978-4-571-20058-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	河村　顕治
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「リハビリテーションのバイオメカニクス研究」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には、研究テーマ発見のために必須となる先行研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	2年次の「身体運動学実習」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を、それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前に指示をした課題について、ゼミの中で発表を行い参加者全員でディスカッションを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも、能動的な学修態度を留意すること。 ２）履修にあたっては、研究室を訪ねたりE-mailを活用する等、担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須である。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	河村顕治
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	河村顕治
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	河村顕治
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	河村顕治
第５回	文献抄読（１）	河村顕治
第６回	文献抄読（２）	河村顕治
第７回	文献抄読（３）	河村顕治
第８回	文献抄読（４）	河村顕治
第９回	文献抄読（５）	河村顕治
第１０回	研究計画書作成（１）	河村顕治
第１１回	研究計画書作成（２）	河村顕治
第１２回	研究計画書作成（３）	河村顕治
第１３回	研究計画書作成（４）	河村顕治
第１４回	計画書作成（５）	河村顕治

第１５回	卒業研究計画書発表	河村顕治	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない。適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「高齢者における自立支援・障害予防」をテーマに，4年次における卒業研究の具体化を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。卒業研究の導入となるこの科目では，先行研究のレビューに必要な論文クリティークや先行研究の到達点を整理する手法を修得する。また課題発表を通して基本的なプレゼンテーション能力を修得することを到達目標とする。
授業概要	研究については「高齢者の自立支援・障害予防」に関わるテーマを中心に進める。 2年次の「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を，それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ルーブリック評価に基づく学修態度（20%），各課題の達成度（80%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，ゼミまたはMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。２）履修にあたっては，研究室を訪ねたりE-MAILを活用する等，担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。課題は，各回授業時において指示する。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，金曜日５時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	齋藤
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	齋藤
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	齋藤
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	齋藤
第５回	文献抄読（１）	齋藤
第６回	文献抄読（２）	齋藤
第７回	文献抄読（３）	齋藤
第８回	文献抄読（４）	齋藤
第９回	文献抄読（５）	齋藤
第１０回	研究計画書作成（１）	齋藤
第１１回	研究計画書作成（２）	齋藤
第１２回	研究計画書作成（３）	齋藤
第１３回	研究計画書作成（４）	齋藤
第１４回	計画書作成（５）	齋藤
第１５回	卒業研究計画書発表	齋藤

第１６回			
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 この講義（ゼミ）を通じて、学術論文としての論理的な構成、文章表現および図表の描き方、統計処理、文献の検索と引用の方法等を学ばせる。 【目標】 学生は、独力で学術論文を作成するための一連の基礎的な手順の把握ができるようになる。
授業概要	●卒業研究テーマを決定し、研究や取り組みを進める。 ●研究テーマは理学療法領域における既成の治療理論、治療技術やその効果に対して新たな知見を加えることを理想とするものの、必ずしも既成概念に固執させることは求めない。 ●研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーションの方法や資料の作成についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	●ゼミでの講義における質疑応答の内容ならびに課題の達成度にて評価する。 ●ゼミ内での態度・実績（30%） ●課題の達成度（70%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業（ゼミ）にてフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	●受け身ではなく、能動的かつ積極的な参加が必要である。 ●研究室を訪ねたりE-MAILやSNSを上手に活用する等して、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	履修学生に対して事前に課題を与えてゼミ活動の中での発表や報告を行わせ、そのような活動の中で知識や知恵を蓄積していき、最終的に研究の具現化を進めていくために予習と復習が必須である。 【予習】 次回講義（ゼミ）において学ぶ予定の内容について、事前にアナウンスまたは配布された情報や講義資料をよく確認して把握しておくこと。 【復習】 毎講義（ゼミ）、前回の講義（ゼミ）で学んだ内容について学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10～15分間／一人）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにマイノートを作成して家庭学修をしておくこと。 ※予習および復習には、各２時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	佐藤
第２回	担当教員との年間計画の検討・立案	佐藤
第３回	研究テーマ検討（運動指導）	佐藤
第４回	研究テーマ検討（介護予防体操）	佐藤
第５回	研究テーマ検討（学生の国試対策に関するテーマ）	佐藤
第６回	研究テーマ検討（PT評価実技の学習支援）	佐藤
第７回	研究テーマ検討（地域包括ケア活動）	佐藤

第８回	研究テーマ検討（認知症とBPSD）	佐藤
第９回	文献検索の方法	佐藤
第１０回	文献レビューの方法	佐藤
第１１回	文献抄読資料の作成と発表	佐藤
第１２回	文献抄読会	佐藤
第１３回	研究計画の検討について	佐藤
第１４回	研究計画の立案	佐藤
第１５回	研究計画の作成	佐藤
第１６回	卒業研究計画の発表	佐藤

教科書			
教・書籍名１	適宜必要な文献および資料等を提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳血管障害の病態と生活」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「脳血管障害の病態と生活」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする．
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること． 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる． 予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする．

	授業計画	担当者
第１回	①オリエンテーション	原田和宏
第２回	②担当教員との進行打ち合わせ	
第３回	③研究テーマの絞り込み（１）臨床	

第４回	④研究テーマの絞り込み（２）科学	
第５回	⑤文献抄読（１）和文検索	
第６回	⑥文献抄読（２）和文抄録	
第７回	⑦文献抄読（３）和文本文	
第８回	⑧文献抄読（４）レジュメ	
第９回	⑨文献抄読（５）発表	
第１０回	⑩研究計画書作成（１）目的	
第１１回	⑪研究計画書作成（２）対象	
第１２回	⑫研究計画書作成（３）背景	
第１３回	⑬研究計画書作成（４）方法	
第１４回	⑭計画書作成（５）	
第１５回	⑮卒業研究計画書発表	
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「循環・呼吸理学療法」をテーマに，卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	元田
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	元田
第３回	研究テーマの絞り込み（1）	元田
第４回	研究テーマの絞り込み（2）	元田
第５回	文献抄読（１）	元田
第６回	文献抄読（2）	元田
第７回	文献抄読（3）	元田
第８回	文献抄読（4）	元田
第９回	文献抄読（5）	元田
第１０回	文献抄読（6）	元田
第１１回	文献抄読（7）	元田
第１２回	文献抄読（8）	元田
第１３回	文献抄読（9）	元田

第１４回	文献抄読（10）		元田
第１５回	まとめ		元田
第１６回			
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また、研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については、「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び、先攻研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場における研究活動について実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須 である。課題は、各回授業時において指示する。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	井上茂樹
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	井上茂樹
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	井上茂樹
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	井上茂樹
第５回	文献抄読（１）	井上茂樹
第６回	文献抄読（２）	井上茂樹
第７回	文献抄読（３）	井上茂樹
第８回	文献抄読（４）	井上茂樹
第９回	文献抄読（５）	井上茂樹
第１０回	研究計画書作成（１）	井上茂樹
第１１回	研究計画書作成（２）	井上茂樹

第１２回	研究計画書作成（３）		井上茂樹
第１３回	研究計画書作成（４）		井上茂樹
第１４回	計画書作成（５）		井上茂樹
第１５回	卒業研究計画書発表		井上茂樹
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料などを提示する）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動学習の成立過程」あるいは「嚥下運動の促通」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「運動学習」あるいは「嚥下運動の促通」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミでの発言の回数、ディスカッションへの参加態度（30%），各回に出す課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場における研究の実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森下元賀
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	森下元賀
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	森下元賀
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	森下元賀
第５回	文献抄読（１）	森下元賀
第６回	文献抄読（２）	森下元賀
第７回	文献抄読（３）	森下元賀
第８回	文献抄読（４）	森下元賀
第９回	文献抄読（５）	森下元賀
第１０回	研究計画書作成（１）	森下元賀

第１１回	研究計画書作成（２）	森下元賀
第１２回	研究計画書作成（３）	森下元賀
第１３回	研究計画書作成（3）	森下元賀
第１４回	研究計画書作成（4）	森下元賀
第１５回	卒業研究計画書発表	森下元賀
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「理学療法におけるevidence-based medicine」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「理学療法におけるevidence-based medicine」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	収集した文献を読み，要点を的確に発表できるように準備すること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	中嶋　正明
第２回	データ収集（２）	中嶋　正明
第３回	データ解析（１）	中嶋　正明
第４回	データ解析（２）	中嶋　正明
第５回	研究計画見直し（１）	中嶋　正明
第６回	研究計画見直し（2）	中嶋　正明
第７回	研究計画見直し（3）	中嶋　正明
第８回	本実験・データ収集（１）	中嶋　正明
第９回	本実験・データ収集（2）	中嶋　正明
第１０回	本実験・データ収集（3）	中嶋　正明
第１１回	本実験・データ解析（１）	中嶋　正明
第１２回	本実験・データ解析（2）	中嶋　正明
第１３回	本実験・データ解析（3）	中嶋　正明

第１４回	中間発表資料作成	中嶋　正明	
第１５回	卒業研究、中間発表	中嶋　正明	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生がバイオ研究の実験方法、思考法を学び、実験技術を習得し、その成果を卒業論文としてまとめ発表することを目標とする。
授業概要	研究については「腫瘍促進因子FEATの機能」に関わるテーマを中心に進める。 (大半のヒトがんで異常に高発現している強力な新規腫瘍促進因子, https://www.natureasia.com/ja-jp/srep/abstracts/35196) 具体的には、 1. 実験方法を学び、分子生物学、生化学的手技を習得する。 2. 保健福祉研究所で実験に従事して、データを収集・解析する。 3. 文献検索の仕方を学び、研究論文を読む能力を身につける。 4. 研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるために、能動的な学修態度が望ましい。 ２）履修過程にあたっては、E-mailを活用する等、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　内科医としての実務経験と血液学・細胞生物学・腫瘍生物学の研究実績を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	バイオ研究に知的好奇心を持ち、実験を進めながら、積極的に質問し、討論し、実地に学んでほしい。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	実験（1）	高橋
第２回	実験（2）	高橋
第３回	実験（3）	高橋
第４回	実験（4）	高橋
第５回	実験（5）	高橋
第６回	実験（6）	高橋
第７回	実験（7）	高橋
第８回	実験（8）	高橋
第９回	実験（9）	高橋
第１０回	実験（10）	高橋
第１１回	データ解析	高橋
第１２回	実験結果検討会	高橋
第１３回	中間発表資料作成（1）	高橋
第１４回	中間発表資料作成（2）	高橋
第１５回	中間発表資料作成（3）	高橋

第１６回	卒業研究、中間発表		高橋
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常診療で感じた疑問を科学的に解決し還元する」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，医師としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場に おいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および前回授業で予告した部分について事前に資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業で不明な点を資料で確認し、次回の授業までにノートにまとめること。 なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	森
第２回	データ収集（２）	森
第３回	データ収集（３）	森
第４回	データ解析（１）	森
第５回	データ解析（２）	森
第６回	研究計画見直し（１）	森
第７回	研究計画見直し（２）	森
第８回	研究計画見直し（３）	森
第９回	本実験・データ収集（１）	森
第１０回	本実験・データ収集（２）	森
第１１回	本実験・データ収集（３）	森
第１２回	本実験・データ解析（１）	森

第１３回	本実験・データ解析（２）		森
第１４回	本実験・データ解析（３）		森
第１５回	中間発表作成		森
第１６回	卒業研究、中間発表		森
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	あなたもできるデータの処理と解析	参・出版社名１	福村出版
参・著者名１	岩淵千明　編著	参・ＩＳＢＮ１	978-4-571-20058-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	河村　顕治
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「リハビリテーションのバイオメカニクス研究」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には、研究テーマ発見のために必須となる先行研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	2年次の「身体運動学実習」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を、それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前に指示をした課題について、ゼミの中で発表を行い参加者全員でディスカッションを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも、能動的な学修態度を留意すること。 ２）履修にあたっては、研究室を訪ねたりE-mailを活用する等、担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須である。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	河村顕治
第２回	データ収集（２）	河村顕治
第３回	データ解析（１）	河村顕治
第４回	データ解析（２）	河村顕治
第５回	研究計画見直し（１）	河村顕治
第６回	研究計画見直し（２）	河村顕治
第７回	研究計画見直し（３）	河村顕治
第８回	本実験・データ収集（１）	河村顕治
第９回	本実験・データ収集（２）	河村顕治
第１０回	本実験・データ収集（３）	河村顕治
第１１回	本実験・データ解析（１）	河村顕治
第１２回	本実験・データ解析（２）	河村顕治
第１３回	本実験・データ解析（３）	河村顕治
第１４回	中間発表資料作成	河村顕治

第１５回	卒業研究、中間発表	河村顕治	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない。適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	齋藤　圭介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「高齢者における自立支援・障害予防」をテーマに，卒業研究演習Ⅰに引き続き4年次における卒業研究の具体化を目指し，研究活動に必要な実践的な知識・技術を修得する。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。卒業研究演習Ⅰで修得した研究の基礎的知識と技術を手がかりに，研究計画の作成や，測定・データ収集に必要な具体的技術を修得する。また研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーション能力を修得することを到達目標とする。
授業概要	研究については「高齢者の自立支援・障害予防」に関わるテーマを中心に進める。 2年次の「理学療法研究法」，ならびに卒業研究演習Ⅰの学修を手がかりに，先行研究レビューの仕方を身につけると共に，研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ルーブリック評価に基づく学修態度（20%），各課題の達成度（80%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，ゼミまたはMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。２）履修にあたっては，研究室を訪ねたりE-MAILを活用する等，担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。課題は，各回授業時において指示する。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて木曜日３時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	齋藤
第２回	データ収集（２）	齋藤
第３回	データ解析（１）	齋藤
第４回	データ解析（２）	齋藤
第５回	研究計画見直し（１）	齋藤
第６回	研究計画見直し（２）	齋藤
第７回	研究計画見直し（３）	齋藤
第８回	本実験・データ収集（１）	齋藤
第９回	本実験・データ収集（２）	齋藤
第１０回	本実験・データ収集（３）	齋藤
第１１回	本実験・データ解析（１）	齋藤
第１２回	本実験・データ解析（２）	齋藤
第１３回	本実験・データ解析（３）	齋藤
第１４回	中間発表資料作成	齋藤
第１５回	卒業研究，中間発表	齋藤
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 この講義（ゼミ）を通じて、学術論文としての論理的な構成、文章表現および図表の描き方、統計処理、文献の検索と引用の方法等を学ばせる。 【目標】 学生は、独力で学術論文を作成するための一連の基礎的な手順の把握ができるようになる。
授業概要	●卒業研究テーマを決定し、研究や取り組みを進める。 ●研究テーマは理学療法領域における既成の治療理論、治療技術やその効果に対して新たな知見を加えることを理想とするものの、必ずしも既成概念に固執させることは求めない。 ●研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーションの方法や資料の作成についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	●ゼミでの講義における質疑応答の内容ならびに課題の達成度にて評価する。 ●ゼミ内での態度・実績（30%） ●課題の達成度（70%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業（ゼミ）にてフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	●受け身ではなく、能動的かつ積極的な参加が必要である。 ●研究室を訪ねたりE-MAILやSNSを上手に活用する等して、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	履修学生に対して事前に課題を与えてゼミ活動の中での発表や報告を行わせ、そのような活動の中で知識や知恵を蓄積していき、最終的に研究の具現化を進めていくために予習と復習が必須である。 【予習】 次回講義（ゼミ）において学ぶ予定の内容について、事前にアナウンスまたは配布された情報や講義資料をよく確認して把握しておくこと。 【復習】 毎講義（ゼミ）、前回の講義（ゼミ）で学んだ内容について学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10～15分間／一人）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにマイノートを作成して家庭学修をしておくこと。 ※予習および復習には、各２時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	第１回目 データ収集	佐藤
第２回	第１回目 データ解析	佐藤
第３回	第２回目 データ収集	佐藤
第４回	第２回目 データ解析	佐藤
第５回	研究活動の振り返り	佐藤
第６回	第１次 研究計画見直し	佐藤

第７回	第３回目 データ収集	佐藤	
第８回	第３回目 データ解析	佐藤	
第９回	第４回目 データ収集	佐藤	
第１０回	第４回目 データ解析	佐藤	
第１１回	これまで収集したデータの振り返り	佐藤	
第１２回	中間発表に向けた文献検索	佐藤	
第１３回	中間発表資料の作成着手	佐藤	
第１４回	中間発表会資料を完成させる	佐藤	
第１５回	卒業研究中間発表会	佐藤	
第１６回	卒業研究中間報告書の作成	佐藤	
教科書			
教・書籍名１	適宜必要な文献および資料等を提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳血管障害の病態と生活」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「脳血管障害の病態と生活」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする．
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること． 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる． 予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする．

	授業計画	担当者
第１回	①データ収集（１）アンケート	
第２回	②データ収集（２）観察	

第３回	③データ解析（１）Excel	
第４回	④データ解析（２）SPSS	
第５回	⑤研究計画見直し（１）対象	
第６回	⑥研究計画見直し（２）目的	
第７回	⑦研究計画見直し（３）方法	
第８回	⑧本実験・データ収集（１）観察	
第９回	⑨本実験・データ収集（２）転記	
第１０回	⑩本実験・データ収集（３）アンケート	
第１１回	⑪本実験・データ解析（１）平均	
第１２回	⑫本実験・データ解析（２）相関	
第１３回	⑬本実験・データ解析（３）有意差	
第１４回	⑭中間発表資料作成	
第１５回		⑮卒業研究、中間発表
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	卒業研究演習Ⅰに引き続き、「循環・呼吸理学療法」をテーマに，卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	研究計画書作成（１）	元田
第２回	研究計画書作成（2）	元田
第３回	研究計画書作成（3）	元田
第４回	研究計画書作成（4）	元田
第５回	研究計画書作成（5）	元田
第６回	研究計画書作成（１）	元田
第７回	文献抄読（3）	元田
第８回	文献抄読（4）	元田
第９回	文献抄読（5）	元田
第１０回	データ収集（１）	元田
第１１回	データ解析（１）	元田
第１２回	研究計画見直し（１）	元田
第１３回	研究計画見直し（2）	元田

第１４回	研究計画見直し（3）		元田
第１５回	まとめ		元田
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また、研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については、「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び、先攻研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場における研究活動について実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須 である。課題は、各回授業時において指示する。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	データ収集（１）	井上茂樹
第２回	データ収集（２）	井上茂樹
第３回	データ解析（１）	井上茂樹
第４回	データ解析（２）	井上茂樹
第５回	研究計画見直し（１）	井上茂樹
第６回	研究計画見直し（２）	井上茂樹
第７回	研究計画見直し（３）	井上茂樹
第８回	本実験・データ収集（１）	井上茂樹
第９回	本実験・データ収集（２）	井上茂樹
第１０回	本実験・データ収集（３）	井上茂樹
第１１回	本実験・データ解析（１）	井上茂樹

第１２回	本実験・データ解析（２）		井上茂樹
第１３回	本実験・データ解析（３）		井上茂樹
第１４回	中間発表資料作成		井上茂樹
第１５回	卒業研究、中間発表		井上茂樹
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料などを提示する）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次前期配当「卒業研究Ⅰ」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次前期配当「卒業研究Ⅰ」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場における研究の実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し	森下元賀
第２回	本実験・調査データの収集（１）	森下元賀
第３回	本実験・調査データの収集（２）	森下元賀
第４回	本実験・調査データの収集（３）	森下元賀
第５回	本実験・調査データの収集（４）	森下元賀
第６回	本実験・調査データの収集（５）	森下元賀
第７回	データ解析（１）	森下元賀
第８回	データ解析（２）	森下元賀
第９回	結果の解釈と研究意義の理解	森下元賀
第１０回	卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案	森下元賀
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	森下元賀
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	森下元賀

第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	森下元賀	
第１４回	卒業研究発表会　卒業研究発表	森下元賀	
第１５回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	森下元賀	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	リハビリテーション工学			担当者	石原　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-4-236		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限 月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	理学療法士、作業療法士が実践の場で必要となる福祉用具を紹介し、医療・福祉現場だけに留まらず地域で様々な弱者の困難を解決できるツールや技法を紹介する。単なる聴講のみではなく、パソコンやスマホなどの様々なデバイス（機器）のアクセシビリティを理解し、その問題点などをグループでディスカッションも行う。また自身の考えをまとめ、それぞれのスタイルで発表を行い、相互理解できる環境を作成する。 1.コミュニケーションの障害とは何かを理解する 2.様々な支援技術を理解する 3.様々な福祉用具制度を理解する 4.自分の考えをまとめて発表できる人材を育成する
授業概要	2020年から新型コロナウィルスの感染拡大を受けて私たちの生活は大きく変化しています。 外出したくても外出できない。授業を受けることができずにリモートでの授業を受けた方も多くいることでしょう。個人因子に問題はなくても、環境因子の変化に伴い我々の生活は制限されるようになりました。これは一時的ではありますが外出制限のある障害者や高齢者の体験ができたとも置き換えることができるのではないでしょうか？少子高齢化、労働人口の減少がある中で、スマートホンの保有割合は8割を超え、全世帯の8割の家庭にパソコンがある時代で、これらのテクノロジーのサービスを享受できない、いわゆる使いこなせない方が多いのも事実で、加齢や障害を持った方々のICT機器の利用状況を解決するためには理学療法士や作業療法士の支援が今後必要とされています。 この科目では「障害」「コミュニケーション」を再理解し、Society5.0を迎える現代社会で必要な様々なICT機器を体験し、導入実例を挙げて学習します。また、グループ討議等の実習も行います。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価の為に実施した課題などについては、授業でフィードバックする
履修条件・注意事項	

実務経験のある教員	該当する	内容	講師本人はALS等の進行性難病、脊髄損傷、脳性麻痺、知的・発達障害を含む様々な障害を持つ障害当事者や家族を含む支援者へ問題点のヒアリングを行い、福祉用具の提案、特にICT機器を使用した機器導入サポートを行ってきた。また支援学校、医療機関でのコミュニケーション機器のコンサルティング業務を手掛けた経験に基づき、グローバルな障害支援を目標とし、小児から高齢者まですべての対象者のQOL向上を最新の機器や数多くの事例を提供することで、医療、福祉分野での即戦力の育成を行います。

事前学習・事後学習とその時間	最新のICT機器に関する情報をインターネットなどから入手するよう心掛けること。 日常生活における不便さをいかに解消できるか考えてみる癖をつけておくこと。 理学療法士、作業療法士を目指す以前に魅力ある人間形成ができるよう、様々な事象に興味関心を持ち 自分の意見を持つ癖をつけておくこと。 予習・復習は各2時間程度要する
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施。質問などはその時間を利用すること。 授業時間中にメールアドレスを公開するので、それ以外の質問などは直接メールを利用すること。

	必要であればZoomなどのオンラインミーティングも可能。

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション　障害を理解する　社会の変化　コミュニケーションとは	石原
第２回	テクノロジーを理解する　ICT　Society5.0　DigitalDivide	石原
第３回	テクノロジーウォッチング　福祉機器体験	石原
第４回	＜実習＞透明文字盤と会話補助装置体験	石原
第５回	拡大代替コミュニケーション（AAC）の基礎 ローテクエイド　ハイテクエイド	石原
第６回	知的発達学習障害とAAC 感覚統合とは＜実習＞	石原
第７回	OSのアクセシビリティ　コンピュータ入力支援機器	石原
第８回	＜実習＞Windowsアクセシビリティ　スマートホンのアクセシビリティ	石原
第９回	重度意思伝達装置　スイッチを使ったスキャン入力　視線を使った入力　その他機器紹介	石原
第１０回	＜実習＞重度意思伝達装置　スイッチを使ったスキャン入力　視線を使った入力　その他機器紹介	石原
第１１回	環境制御装置とは　ECS(Enviroment Control System）赤外線	石原
第１２回	日常生活用具と補装具　制度利用に関して	石原
第１３回	支援機器導入時の導入プロセス　フィッテイング	石原
第１４回	プレゼンテーションの資料作成　第15回　発表準備	石原
第１５回	コンクルージョン　まとめ 授業で得た知識の発表（プレゼンテーション） 知識の共有	石原
第１６回	最終考査	石原

教科書			
教・書籍名１	（使用しない）必要に応じてプリントを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１	（使用しない）必要に応じてプリントを配布する	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	AAC入門	参・出版社名１	株式会社 atacLab｜エイタックラボ
参・著者名１	中邑 賢龍	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	重度障害者用 意思伝達装置操作スイッチ 適合マニュアル	参・出版社名2	三輪書店
参・著者名2	日向野和夫	参・ＩＳＢＮ2	ISBN978-4-89590-577-0

授業科目名	地域レクリエーション演習			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-238		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	前半は講義中心、後半は演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 本講義では「地域在住の中・高年者を対象とした心身の健康における維持・増進」や「通所系・入所系施設を利用されている対象者におけるQOLの向上」に資する内容（理論・実技）に視座した教育を展開する。また、地域在住の人々が余暇を利用したQOL向上や、対象者個々における「その人らしい充実した生活の創出を実現するための支援」に資する戦略的思考を身につける為の演習を段階的かつ誘導的に実施し、その支援スキルを身につけさせる。 【目標】 本講義では以下１～３）について理解できるようになることを目標として講義と演習を織り交ぜながら実施する。 １）学生は、『レクリエーションの社会的意義についての理解』ができる。 ２）学生は、『レクリエーション支援者としての役割についての理解』ができる。 ３）学生は、『セラピューティックなレクリエーションとは何か？についての理解』ができる。
授業概要	この科目は「全８回の講義・演習」が展開される科目となっており、前半4回では地域保健福祉現場でのレクリエーションに関する基礎知識を学び、その内容をふまえて「後半（５～７回目）の演習」を実践する。特に後半の演習では「心豊かに、いかにしてその人らしく自由時間（余暇）を活用・創出するか？」に視点を置いた活動を展開していただく。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／フィールドワーク
評価方法と割合	第５～７回の演習の際に作成する「3回分の演習実施記録」を「60%（60点）」とし、全講義の終了後において提出していただく「課題レポート」にて残りの「40%（40点）」を評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	前半（１～４回）の講義内容に基づいて実施されることとなる後半の演習（５～7回）において課される課題レポートは、次回授業の冒頭にてフィードバックする。全講義が終了した後に課される最終レポートのフィードバックはオンラインで実施する。
履修条件・注意事項	講義において学生を指名して質問を行なうことがあるので、教員からの質問に対して返答できるように「講義の復習」や「資料を活用した予習」を行なうこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、レクリエーションインストラクターならびに理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】次回講義において学ぶ予定の内容について事前に配布された講義資料をよく読んでおくこと。 【復習】毎講義、前回の講義で学んだ内容について、学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10分間）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにノート等を確認しておくこと。 注）予習および復習には各1.5時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の教員研究室（6415）において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	レクリエーションとリハビリテーション	佐藤
第２回	QOL／人の心や個々の価値観はさまざま	佐藤
第３回	楽しさが元気を創る仕組み	佐藤
第４回	レク支援の目的と方法	佐藤
第５回	とりあえずやってみる楽しい自由時間演習	佐藤

第６回	少し考えた楽しい自由時間創出演習	佐藤
第７回	思慮深く考えた充実の自由時間創出演習	佐藤
第８回	５～６回の演習のふり返り／フィードバック	佐藤
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	講義の中で、適宜に資料を配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	レクリエーションの支援の基礎／￥2,160（本体￥2,000）	参・出版社名１	日本レクリエーション協会
参・著者名１	日本レクリエーション協会	参・ＩＳＢＮ１	なし
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中山間地域健康増進演習			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-239		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 近年、理学療法士や作業療法士が地域における健康増進事業や介護予防関連の教室（フレイル予防、ロコモ予防、サルコペニア予防）への取り組みにおいて、施設や医療機関から講師として派遣されるケースが増加している。このようなニーズに対応できる人材育成を目的として、下記【到達目標】の達成を目指して講義を実施する。 【到達目標】 ❶学生は、地域の健康増進や介護予防の事業における社会的意義について理解ができる。 ❷学生は、地域の健康増進や介護予防の事業における支援者としての素養体験を蓄積できる。 ❸地域の健康増進や介護予防の事業における支援者としての基本力（知識・知恵）を修得できる。
授業概要	吉備国際大学の所在地である岡山県高梁市は「中山間地域」という地域属性であり、高齢化率の著しい増加とともに「通いの場の少なさ」に伴う地域在住高齢者の方々における「ICFでいうところの参加」の機会減少が懸念されている。本講義では、高梁市介護保険課が主幹となって運営されている複数の地域包括ケアシステムに関連している事業等を題材として、特に「中山間地域におけるリハビリテーション関連職のあり方（かかわり方）」について、中山間地域事業への参加体験や見学を交えながら学びを深めていく。なお、先述❶～❸の目標を達成させていく過程の中で、中山間地域における健康増進や介護予防の支援活動を行う場合に必要となる「四肢や体幹における各筋力の評価や増強に関する基礎知識やレクチャー技術」に加えて「態度」に関する能力の涵養に繋がるように授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	前半（１～４回）の授業について「前回の講義内容に関するレポート」の提出を求め、このレポート内容について「40％（10点×４回分）」を評価する。そして、後半の演習において提出していただく「課題」にて、残りの「60％（60点）」を評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回課される課題レポートは、次回授業の冒頭にてフィードバックする。全講義が終了した後に課される最終レポートのフィードバックはオンラインで実施する。
履修条件・注意事項	【講義・演習中の質問】 毎回の講義において学生を指名して質問を行なうので、教員からの質問に対して返答できるように「講義の復習」や「参考書を活用した予習」を実施しておくこと。 【履修の推奨】 この科目は必修ではないが、２年次～４年次の各学年で開講される実習（実技）系の様々な必修科目の履修時においてアドバンテージとなりえる貴重な知識・知恵・情報を教授するので受講を推奨する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、高梁市ならびに岡山市の行政活動（介護認定審査、地域包括ケアシステムの構築や運営）への参画活動や研究実績を有している教員が、その経験を活かしながら現場実践に役立つ知識と知恵を教授する授業である。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業につき、予習と復習にそれぞれ1.5時間を用いて取り組むこと。予習として、インターネットなどを通じて授業テーマに関する情報を収集して概要を把握しておくこと。復習として、毎時間終えた範囲を振り返り、自分のノートにその内容を整理しておくこと。
オフィスアワー	６号館４階の教員研究室（6415）において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	中山間地域と地域包括ケア	佐藤
第２回	筋力評価と筋力増強	佐藤

第３回	ボルグ指数と有酸素運動	佐藤
第４回	高梁市の実情と事例紹介	佐藤
第５回	次回以降の演習について（目的と課題遂行）	主：山本／副：佐藤・原田
第６回	地域住民（A氏）とのオンライン面談	主：山本／副：佐藤・原田
第７回	地域住民（B氏）とのオンライン面談	主：山本／副：佐藤・原田
第８回	２度のオンライン面談のふり返り	主：山本／副：佐藤・原田
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新版　目でみるMMT	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	佐藤三矢　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21542-5
参・書籍名２	ここまでできる高齢者の転倒予防	参・出版社名2	日本看護協会出版会
参・著者名2	武藤芳照 総監修	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8180-1542-5

授業科目名	地域における生活環境学					担当者	佐藤　三矢	
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年					ナンバリング	HS-PT-3-240	
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義	
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】 本講義では、特に「地域在住」の「高齢者（自立／要支援／要介護）」や「障害を有している人々」を対象とした講義を展開する。これら対象者における「活動的な生活」や「社会参加」の促進を図る上で重視される生活環境支援、特に「福祉用具の導入」や「住宅改修」にフォーカスした講義を展開する。 【到達目標】 本講義を通じて、学生は「対象者や介護者にとっての適切な生活環境を検討する思考」ならびに「生活環境の評価や環境整備へのアプローチに関する基礎知識」を修得する。
授業概要	本講義の前半（１０月～１１月）において「福祉住環境コーディネーター２級（例年の試験日は11月下旬～12月上旬）」の資格取得を支援する内容に軸足を置いた講義を展開する。特に、前半の講義では「医療／介護／福祉の制度・法律への理解」が深まるように配慮しながら講義を展開していく。後半（１２月中旬～１月）は生活環境に関する基本的概念を踏まえると共に、福祉用具の導入や住宅改修を前提とした評価や具体的なアプローチ方法について指導する。後半の講義では、特にアクティブラーニング（住宅改修に関する実践的な思考の獲得を目指した家屋や家屋周辺の製図作成と検討）を実施させる。
アクティブラーニングの内容	フィールドワーク
評価方法と割合	近年、取得の難易度が上昇しつつある「福祉住環境コーディネーター・ライセンス２級の取得（合格基準は７０点以上）」を高く評価する（例年、１２月下旬～１月上旬に合否発表）。また、不合格の場合でも、この試験で６０点以上を取得した場合には、その実績を単位認定の際の判断材料として採用する。 【福祉住環境コーディネーター２級のライセンスを取得できた場合】 ●その時点で、「80点（「評定A」）」を保証する。 ●そして「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成）」にて、残りの「20点分」を採点する。 【福祉住環境コーディネーター２級の試験が不合格だが、その試験結果が60～69点の場合】 ●その時点で、単位認定試験に「60点」を保証する。 ●そして「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成と１つの考察）」にて、残りの「40点分」を採点する。 【福祉住環境コーディネーター２級の試験が不合格で、その試験結果が50点未満の場合】※未受験の場合もこれに該当 ●単位認定試験における点数加算はない。 ●もっぱら「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成と３つ以上の課題考察）」にて「100点分」を採点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	12月中旬から展開されるアクティブラーニングにおいて、学生のレポート作成の進捗確認を実施ながら、より良いレポートの完成に繋げるための助言や例示を行い、その内容を受講学生全員でシェアし合う。
履修条件・注意事項	前半（10月～12月上旬）では、日ごろからテキストの熟読や福祉住環境コーディネーター２級の過去問などを通じた予習・復習を行なうことを推奨する。後半（12月中旬）から本格化するアクティブラーニングでは、早期からレポート作成に取り掛かる（まずは下書き作成に着手する！）ことを強く推奨する。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】次回講義において学ぶ予定の内容をチェックし、教科書における該当部分をよく読んでおく。 【復習】毎講義において前回の講義で学んだ内容について、学生に対する質問をランダムに行う「質問タイム（10分間）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにノート等を確認して家庭学習をしておく。 注）予習と復習には、各２時間程度を要する。		
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	福住環２級試験 ＆ ALに関する説明	佐藤
第２回	福祉住環境整備の意義	佐藤
第３回	福祉と住生活関連施策	佐藤
第４回	ﾉｰﾏﾗｲｾﾞｰｼｮﾝと自立支援	佐藤
第５回	関連職種への理解と連携	佐藤
第６回	福住環整備の相談と対応	佐藤
第７回	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ住生活関連施策	佐藤
第８回	在宅医療・在宅介護	佐藤
第９回	高齢者の身体・心理特性	佐藤
第１０回	軽微な改修①玄関	佐藤
第１１回	軽微な改修②トイレ	佐藤
第１２回	中～大規模改修①浴室	佐藤
第１３回	中～大規模改修②家屋	佐藤
第１４回	住宅改修関連の法令・基準	佐藤
第１５回	事例紹介：高齢者夫婦が住む家屋の住宅改修	佐藤
第１６回	試験	佐藤

教科書			
教・書籍名１	生活環境学テキスト	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修: 細田多穂 編集: 村田伸/岡本加奈子/北島栄二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25822-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	国際貢献・地域理学療法学	担当者	森下　元賀
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-241

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	地域(海外の地域を含む)における理学療法士の活動内容を理解することをテーマとし、今後医療分野だけでなく介護保険分野でも活躍できる能力を身につける。 関連法制度、他職種の活動を理解し、連携方法についても学び、国内外地域における対象者の介入方法、地域づくりを提示出来るようになることを目標とする。
授業概要	高齢化社会を迎える現在では、病院のみならず地域での理学療法士の活動の必要性が増している。また、その分野は国内にとどまらず、専門性を生かした国際貢献の必要性も求められている。本科目では概念だけでなく、実際の国内外の活動内容や事例を交えながら地域理学療法、理学療法士における国際貢献についての理解を深める。また、他職種の活動内容も紹介しながら、対象者支援のための連携方法を教授していく。講義の中では地域理学療法の実態を調査するなどのフィールドワークも取り入れる。 また、青年海外協力隊、訪問リハビリテーションの実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／フィールドワーク
評価方法と割合	レポート課題(70%)と受講態度(30%)により評価する。レポート課題は地域理学療法の実例、現状の調査を行う。受講態度は、ディスカッションでの発言態度や発言内容、講義の中での発言回数、グループ学習の成果によって評価する。詳しい評価方法は第一回の講義で明示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題、レポートは講義の中でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	介護保険領域の理学療法や国際貢献に関する講義を行う。 1) 現在の介護保険をめぐる情勢や国内外の貧困問題に関して、新聞などで十分に理解を深めておくこと。2) ディベートなどで自分の意見を発現する機会が多いので、積極的な参加姿勢を持つこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。また、国際貢献の実績がある青年海外協力隊経験者の外部講師および災害派遣の実績のある外部講師が講義を行う。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、次回までに新聞などで地域を取り巻く現状を調査し、自分の意見をまとめる課題を指示する。2) 指示された課題に関して次回の授業までに自分なりにまとめ、授業中に発現できる準備をしておくこと。これ以外にも当該科目の重要性を理解し、日頃から新聞などで高齢者、地域施策に関して調べる習慣をつけ、予習、復習を行うこと。予習および復習にはそれぞれ1時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜日2限に研究室で実施する。昼休みに関しては随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	地域理学療法学とは	森下元賀
第２回	施設、居宅サービス	森下元賀、佐藤三矢
第３回	介護予防事業、行政の理学療法	森下元賀
第４回	災害リハビリテーション1	外部講師
第５回	災害リハビリテーション2	外部講師
第６回	海外における理学療法と国際貢献1	外部講師
第７回	海外における理学療法と国際貢献2	森下元賀
第８回	地域理学療法学実習オリエンテーション	森下元賀、原田和宏

第９回			
第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	PT・OTビジュアルテキスト 地域理学療法学	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	重森健太　編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0797-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際リハビリテーション学～国境を越えるPT・OT・ST (PT・OTビジュアルテキスト)	参・出版社名１	羊土社
参・著者名１	河野 眞 (編集)	参・ＩＳＢＮ１	978-4758102155
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床見学実習 （コラボ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-242		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	2年次の後期までに学んだ専門知識（基礎医学及び運動学、評価学等）を背景に理学療法の現場を体験する。患者様とのコミュニケーションの取り方や、実際に行われている理学療法評価や治療など、様々な理学療法のプロセスや役割について理解し、その重要性を感じ取る。以後の学内教育ならびに臨床評価実習、総合臨床実習へ円滑かつ効率的に導入できるようにする。そして実習後は将来の職業人としての自己像を明確にできるようになる。
授業概要	【実習内容】 ❶見学（施設見学・治療見学） ❷対象者に接する体験（搬送などの手伝い、評価治療の簡単な補助） ❸評価の初歩的経験（カルテからの情報収集、簡単な検査の経験、動作分析の経験）。 ※１施設に2名～4名程度を配置し、実習期間は1週間。 ※最終日にはセミナーを開催し、各施設間での見学内容について報告会を行う。 【実習での課題】 （1）デイリーノート記載 （2）感想文の提出（実習指導者宛） （3）レポートの提出（大学宛）
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	理学療法学科が作成した「臨床実習の手引書」の内容をふまえながら各現場における実習指導者によって、実習中の態度を含めた理学療法士としての適性などが判断される。臨床実習指導者からの評価内容(50%)、セミナー発表の内容と態度(50%)などから総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は，学内のセミナー等でフィードバックするので見直し（場合によっては発表用資料の作り直しやブラッシュアップ）をしておくこと。
履修条件・注意事項	欠席・遅刻が無いように十分に留意しなければならない。また、服装・言葉使い・礼儀など社会人としてのマナーは当然必要である。また、実習で各自が明確な目標を持つことが必要。現場で起きている様々な事象を深く観察し、多くのことに気づくことが求められる。 ２年次の秋学期までに学んだ専門知識を背景に理学療法の現場を経験するため、基礎医学および運動学・評価学などの復習が必須である。また、実習中における行動記録、対象者と接するなどの具体的な体験内容について考察を含めてデイリーノートに記載するため、予習や復習が必要であり経験知の振り返りができることが必要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもとで、実際の患者様や障害者の方々に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	実習施設の指導担当者から提示される課題に取り組むこと。単なる見学ではなく、「自ら学ぶ」・「経験から学ぶ」という姿勢が重要であり、指示を受けなくても実習で抱いた疑問等について、能動的に調べて解決に繋げていくことが重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	各学生・臨床施設ごとに担当教員を配置しており、6号館3階、4階の各教員研究室において各教員のオフィスアワーに準じて実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田

第２回	SV（実習現場の指導者）の見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第３回	SV（実習現場の指導者）の評価見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第４回	SV（実習現場の指導者）の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第５回	SV（実習現場の指導者）の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第６回	対象者に接する体験（1）：搬送などの体験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第７回	対象者に接する体験（2）：移乗などの体験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第８回	対象者に接する体験（3）：評価治療の補助	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第９回	治療見学（1）：疾患別の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１０回	治療見学（2）：領域別の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１１回	治療見学（3）：疾患別・領域別の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１２回	評価の初歩的経験（1）：カルテからの情報収集	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１３回	評価の初歩的経験（2）：検査の経験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１４回	評価の初歩的経験（3）：動作分析の経験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１５回	学内でのセミナー発表	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	

参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床評価実習 （コラボ）	担当者	原田　和宏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-243

必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	180	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	本臨床実習では、学生が理学療法評価の一連の流れを実際の症例を通じて経験するものである。本実習の目標としては「それまで学生が学内で学んできた理学療法評価に関わる知識・技術の実践的な習熟を図り、理学療法対象者の全般的な理解ができるようになる事」である。そして実習後は、「学生が理学療法評価の結果から障害像を把握することができる」ようになることである。
授業概要	これまで学んできた理学療法に関する知識や技術を基礎に、臨床現場において実習指導者の指導監督の下、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案までの実習を行う。また実習指導者の判断で実行可能であれば初歩的な治療を体験する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	理学療法学科が毎年発行している『臨床実習の手引き』の「11頁／Ｖ．成績評価」において示されている内容に基づいて成績の評価が行なわれ、これについては各実習施設における指導者より示されることとなる。そして、最終的には「実習指導者による評価（60%）」・「実習状況（30%）」・「実習後に開催される学内で実習セミナーでの発表内容と質疑応答内容（10%）」を総合して評価が行われる。 【臨床実習における成績評価の評定基準／臨床実習の手引き（11頁より抜粋）】 ●評定Ａ（優）：わずかな助言・指導を与えれば当該項目の実施が可能であった。 ●評定Ｂ（良）：時々、助言・指導を与えれば当該項目の実施が可能であった。 ●評定Ｃ（可）：常に、十分な助言・指導を与えれば当該項目の実施が可能であった。 ●評定Ｄ（不可）：常に、十分な助言・指導を与えても当該項目の実施が不可能であった。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は、学内のセミナー等でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	臨床実習は、患者様や実習施設など多くの方々のご協力により得られる貴重な学びの機会である。欠席や遅刻をしないのは勿論のこと、1日1日を大事にし積極的な姿勢で臨む事。事前に評価項目・方法の予習、及び反省としての復習を十分行っておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもと、実際に患者や障害者に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して、学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	臨床実習は、患者様や実習施設など多くの方々のご協力により得られる貴重な学びの機会である。欠席や遅刻をしないのは勿論のこと、1日1日を大事にし積極的な姿勢で臨む事。事前に評価項目・方法の予習、及び反省としての復習を十分行っておくこと。
オフィスアワー	各学生・臨床実習施設ごとに担当教員を配置しており、各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	1. オリエンテーション	
第２回	2. 担当症例の紹介	
第３回	3. 指導者の評価・治療見学	

第４回	4. 評価の部分的介入開始	
第５回	5. 評価項目の指導者による事前確認	
第６回	6. 初期評価の開始	
第７回	7. 評価実践	
第８回	8. カンファレンス・回診への参加	
第９回	9. 勉強会・抄読会・施設行事への参加	
第１０回	10. 評価項目の見直し	
第１１回	11. 評価項目の見直し後の評価実践	
第１２回	12. 最終評価	
第１３回	13. 症例発表	
第１４回	14. 症例レポートの作成	
第１５回	15. 学内セミナーでの発表	
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	実習指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域理学療法学実習			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-244		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次の秋期までに学んだ専門知識（基礎医学及び運動学、評価学等）を背景に地域理学療法の現場を体験する。地域生活者である利用者とのコミュニケーションの取り方や、実際に行われている理学療法評価や介入など、様々な理学療法のプロセスや役割について理解し、その重要性を学ぶ。 総合臨床実習へ円滑かつ効率的に導入できるようにする。そして実習後は、地域生活者への深い理解、多疾患併存状態の課題解決など、職業人としての自己像を明確にできるようになる。
授業概要	実習内容（1）地域理学療法の見学（通所見学・訪問見学）、（2）地域在住者に接する体験（評価・介入の簡単な補助）、（3）理学療法指導の初歩的経験（情報収集、評価の経験、生活動作の動作、生活環境評価、調整的支援）。 1施設に2名～4名程度を配置する。実習期間は1週間で、最終日にはセミナーを開催し、各施設間での見学内容について報告会を行う。実習での課題（1）デイリーノートの記載、（2）感想文の提出（実習指導者宛）、（3）レポートの提出（大学宛）。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習の手引書および各実習指導者より示される。実習での態度を含めた理学療法士としての適性も判断される。臨床実習指導者からの評価内容(50%)、セミナー発表の内容、態度(50%)などから総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は，学内のセミナー等でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	欠席、遅刻の無いこと。また、服装、言葉使い、礼儀など社会人としてのマナーは当然必要である。また、実習で各自が明確な目標を持つことが必要。深く観察し、多くのことに気づく実習であることが求められる。 ２年次の秋学期までに学んだ専門知識を背景に理学療法の現場を経験するため、基礎医学および運動学、評価学などの復習が必須である。また、実習中における行動記録、対象者と接するなどの具体的な体験内容について考察を含めてデイリーノートに記載するため、予習や復習が必要であり経験知の振り返りができることが必要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもと、実際に患者や障害者に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して、学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	・実習施設の指導担当者の提示する課題に取り組むこと。単に見学ではなく、「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が重要であり、指示を受けなくても実習で抱いた疑問等について能動的に調べ解決することが重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	各学生・臨床施設ごとに担当教員を配置しており、6号館3階、4階の各教員研究室において各教員のオフィスアワーに準じて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	①オリエンテーション	原田和宏
第２回	②SVの評価見学	

第３回	③SVの評価見学	
第４回	④SVの治療見学	
第５回	⑤SVの治療見学	
第６回	⑥対象者に接する体験（1）：搬送などの体験	
第７回	⑦対象者に接する体験（2）：移乗などの体験	
第８回	⑧対象者に接する体験（3）：評価治療の補助	
第９回	⑨治療見学（1）：疾患別・領域別などの治療見学	
第１０回	⑩治療見学（2）：疾患別・領域別などの治療見学	
第１１回	⑪治療見学（3）：疾患別・領域別などの治療見学	
第１２回	⑫評価の初歩的経験（1）：カルテからの情報収集	
第１３回	⑬評価の初歩的経験（2）：検査の経験	
第１４回	⑭評価の初歩的経験（3）：動作分析の経験	
第１５回	⑮学内でのセミナー発表	
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育原論 （理学）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	TC-PT-1-901		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける 【到達目標】 １．学生は教育の基本概念を理解し、適切に用いることができる ２．学生は代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解し、説明できる ３．学生は近代公教育（学校）をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解し、説明できる ４．学生は家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解し、説明できる ５．学生は上記の学習を通じて教育の本質について考察し、今後の教育制度（学校など）の役割について自身の考えを表現できる
授業概要	本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会（共同体）の教育、学校教育がいかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。 本講義は大きく６つの段階に分けて展開する。１・２回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的（非組織的）な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	各回の講義の振り返りを行う学習記録（15%）、レポート（15%）、定期試験（70%）で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	学習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回講義の予習と復習を行っていただく（学習記録用紙）。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。
オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）

授業計画		担当者
第１回	教育の基礎概念	倉知典弘
第２回	教育の源形態－家庭・共同体による教育	倉知典弘
第３回	古代の教育思想（1）西洋の教育思想	倉知典弘
第４回	第４回：古代の教育思想（2）日本の教育思想	倉知典弘
第５回	中世の教育思想（1）宗教と教育	倉知典弘
第６回	第６回：中世の教育思想（2）ルネサンスと教育	倉知典弘
第７回	近代の教育思想（1）産業革命と教育	倉知典弘
第８回	近代の教育思想（2）近代教育制度の成立	倉知典弘
第９回	近代の教育思想（3）教育学の成立と展開	倉知典弘
第１０回	現代の教育思想（1）新教育運動の諸相	倉知典弘
第１１回	現代の教育思想（2）戦争と教育	倉知典弘
第１２回	現代の教育思想（3）東西冷戦下の教育	倉知典弘
第１３回	現代社会と教育（1）現代社会の課題と教育	倉知典弘
第１４回	現代社会と教育（2）子どもの生活世界の変容と教育	倉知典弘
第１５回	第15回：現代社会と教育（3）－まとめにかえて	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	『教育思想史』（有斐閣アルマ）	教・出版社名１	有斐閣
教・著者名１	今井康雄編	教・ＩＳＢＮ１	978-4641123847
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育の歴史と思想	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	石村華代・軽部勝一郎編	参・ＩＳＢＮ１	978-4623065844
参・書籍名２	新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷	参・出版社名2	東北大学出版会
参・著者名2	水原克敏	参・ＩＳＢＮ2	978-4861633171

授業科目名	教職論 （理学）			担当者	池上　真由美		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	TC-PT-1-902		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	教職についての基礎的な知識（教職の歴史と社会的使命，教員の職務，教員養成と研修，服務規程，「チームとしての学校」の一員としての役割等）について理解するとともに，教員としての自らの適性について考えることを目標とする。
授業概要	教師，教職，人を教え育てるという行為など，教育という営みをめぐる哲学的，原理的な課題からはじまり，学校教育，教員の使命と役割，学校における教員のさまざまな活動について理解する。また，これからの学校においては，「チームとしての学校」の体制の中で，一人の教員として自らの専門性を発揮し組織の一員として課題解決に当たる資質・能力が求められることを理解する。さらに，グループ討議等を通して，教員をめざすにあたり，自分には求められる資質・能力があるか，自分は教職に向いているかを真剣に考える場をもつようにする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は、ルーブリックを添付して授業でフィードバックする。コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２限

	授業計画	担当者
第１回	教師の歴史と教師論	池上
第２回	求められる教員の資質の変遷	池上
第３回	教育的諸問題と教職の課題	池上
第４回	教員の仕事と役割①（種類と職階，関係づくり）	池上
第５回	教員の仕事と役割②（教科指導）	池上

第６回	教員の仕事と役割③（教科外指導）	池上
第７回	教員の仕事と役割④（進路指導）	池上
第８回	教員の仕事と役割⑤（学級経営・学校経営・校務分掌）	池上
第９回	教員の仕事と役割⑥（教育相談）	池上
第１０回	教員の仕事と役割⑦（学級崩壊）	池上
第１１回	教員の研修	池上
第１２回	服務規程	池上
第１３回	小中学校の教員	池上
第１４回	高等学校・特別支援学校の教員	池上
第１５回	教員養成と教職課程	池上
第１６回	筆記試験	池上

教科書			
教・書籍名１	教職論　教師を志すすべての人へ　第2版	教・出版社名１	
教・著者名１	教職問題研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05305-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育行政学 （理学）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	TC-PT-2-903		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。 到達目標 １．学生は教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解し、説明できる ２．学生は学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解し、説明できる ３．学生は学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解し、説明できる ４．学生は子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解し、対応の仕方を考察できる ５．学生は現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解し、説明できる ６．学生は子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できる
授業概要	本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする（第１回）。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく（第２回～第７回）。 以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい（第８回～第14回）。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる（第15回）。 本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に着けてもらいたい。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	学習記録の提出（15%）及びレポート課題（15%）及び定期試験（70%）で評価する。評価に関わる詳細は初回講義の際に示す。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として1）講義に取り上げる予定の法令調べ　2）講義にかかわる事項の調べ　3）テーマに関わる論述課題を課す（2時間程度）。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1）講義のキーワードのまとめ　2）論述課題　3）講義の振り返りを課す（2時間程度）

オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）にて

授業計画		担当者
第１回	公教育の基本原理と教育行政：教育の公共性について	倉知典弘
第２回	教育の法制の概要：教育の法律主義について	倉知典弘
第３回	教育行政の機構：教育行政のガバナンス	倉知典弘
第４回	教育の中立性確保：宗教的中立と政治的中立	倉知典弘
第５回	教育の義務制と機会均等：教育福祉の観点から	倉知典弘
第６回	教育機関の設置・管理：学校と社会教育・生涯学習	倉知典弘
第７回	教育職員に関わる法制：養成・採用・服務を中心に	倉知典弘
第８回	学校の組織体制：チームとしての学校を中心に	倉知典弘
第９回	学校経営計画と評価：PDCAサイクル	倉知典弘
第１０回	学校における教育活動：教育課程	倉知典弘
第１１回	学校における生徒指導：「問題行動」とその制度的対応	倉知典弘
第１２回	学校経営の諸課題(1)地域社会との連携	倉知典弘
第１３回	学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健	倉知典弘
第１４回	学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応	倉知典弘
第１５回	現代教育改革と教育行政・学校経営	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	教育行政学　第３版 子ども・若者の未来を拓く	教・出版社名１	八千代出版
教・著者名１	横井敏郎編	教・ＩＳＢＮ１	9784842917849
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育小六法	参・出版社名１	学陽書房
参・著者名１	市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆	参・ＩＳＢＮ１	978-4313011953
参・書籍名２	中学校学習指導要領（最新版）　高等学校学習指導要領（最新版）	参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育心理学　（理学）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年	ナンバリング	TC-PT-2-904

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	１．教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ ２．児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける ３．児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける
授業概要	この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。 まず教育心理学の理論と方法を概観し、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説し、さまざまな学校現場における諸問題や児童生徒の困難さに対する支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や支援方法について教授し、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1. 初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 2. 授業内で定期的に実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 3. 授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、教育心理学とは	藤原直子
第２回	心身の発達①：発達の基礎的な理論と乳幼児期の発達	藤原直子
第３回	心身の発達②：児童期	藤原直子
第４回	心身の発達③：青年期以降	藤原直子
第５回	学習と知識獲得	藤原直子
第６回	認知的情報処理と記憶	藤原直子
第７回	動機づけと学習	藤原直子
第８回	認知発達と学習支援	藤原直子
第９回	学級集団と学習支援	藤原直子
第１０回	個性や個人差と学習支援	藤原直子
第１１回	教育評価	藤原直子
第１２回	障害の基本的理解と学校教育における配慮	藤原直子

第１３回	困難さを抱える子どもへの教育的支援	藤原直子	
第１４回	子どもの情緒・適応の理解と心理的支援	藤原直子	
第１５回	学校教育を取り巻く諸問題と教育心理学	藤原直子	
第１６回	試験	藤原直子	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる教職エクササイズ②　教育心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	森田健宏・田爪宏二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08177-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	特別支援教育 （理学）（後半8回）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年	ナンバリング	TC-PT-2-905

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	発達障害をはじめとする特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を理解し、適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につけることを目標とする。 さらに、特別支援教育の理念とシステムを学び、保護者や他の教員、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を習得する。
授業概要	特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の特性と心理的特徴について理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくための具体的な方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、教育現場における障害児者に対する心理的支援の実務経験（幼稚園・小学校での教員、小中高等学校でのスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回相談）がある教員が担当し、教育現場における現状や課題、教員として必要とされる特別支援に関する知識や支援方法について教授する。
事前学習・事後学習とその時間	①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業内で実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 ③授業内で配布するプリントの空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	特別支援教育の制度と理念、学校における支援体制及び連携	藤原直子
第２回	特別支援教育の実際、指導計画の作成	藤原直子
第３回	発達障害児の心身の発達・心理的特性	藤原直子
第４回	自閉スペクトラム症（ASD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第５回	注意欠如多動症（ADHD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第６回	限局性学習症（LD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第７回	様々な障害のある児童生徒の特性と支援、まとめ	藤原直子
第８回	試験	藤原直子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト	教・出版社名１	学研教育みらい
教・著者名１	小林倫代（編・著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-05-801762-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

Syllabus

保健医療福祉学部
理学療法学科

2020～2021 年度入学生

授業科目名	吉備国際大から世界へ 保健医療福祉学部	担当者	山本　倫子、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝 山本倫子
第２回	国境とは何か？	畝 山本倫子
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝 山本倫子
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝 山本倫子
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝 山本倫子
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝 山本倫子
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝 山本倫子
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝 山本倫子
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝 山本倫子
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝 山本倫子
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝 山本倫子
第１２回	高齢化社会の課題	畝 山本倫子
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝 山本倫子
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝 山本倫子
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝 山本倫子
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	地域学概論 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-KE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置づけられる科目であ る。 テーマとしては、順正学園及び大学が、立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、 人々の生活などについて理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶこ とが挙げられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史並びに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるか考え、チャレンジする態度を涵養できる。
授業概要	順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み(歴史)を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開され ている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、 人々の生活ならびに地域の課題解決や発展についてご講義いただき、地域の特性 や課題について理解を深める。また、毎回の講 義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考 え、生活の主体者として地域創生に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。
アクティブラーニングの内容	PBL／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	毎回講義時提出のレポート評価(70%)、第8回目に行う学習成果確認レポート作成の評価(30%)により、総合的に評価す る。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の講義でレポート提出を課すが、次回の講義までに内容を評価し返却する。
履修条件・注意事項	地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題は、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：講義を担当する複数の講師は、いずれも学園や大学の創設に中心的役割を担い尽力した講師や、地域 社会の中で様々な活動を展開している実務経験の豊富な講師である。
事前学習・事後学習とその時間	1）事前にユニパを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネットを通じて講義内容に関する情報を収集するなど、毎回2時間以上の事前学習を行い講義に参加すること。 2）講義後には、学習内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回2時間以上の事後学習を行う。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 地域創成とは何かー吉備国際大学の学生として「きび国学」を学ぶ意義と講義計画について	大西正泰（経営社会学科） 井上、中嶋
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史について	加計美也子 順正学園副総長 井上、中嶋
第３回	高梁市の暦利と文化及び政策課題と今後の方向性について	近藤隆則 高梁市長 井上、中嶋
第４回	高梁基督教会堂（岡山指定跡）をめぐる歴史と人物	高梁基督教会牧師 八木橋康広 井上、中嶋
第５回	日本遺産「備中吹屋」	吹屋ふるさと村村長 戸田誠 井上、中嶋
第６回	「未来につなぐ図書館」としての活動	高梁市図書館 宮地康志 井上、中嶋
第７回	宇治地域住民総働のまちづくり	宇治地域センター 中曽まゆみ 井上、中嶋
第８回	学修成果確認レポート作成（学修成果の振り返り）	井上、中嶋
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	毎回授業用資料をユニパで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「備中高梁」に学ふ	参・出版社名１	吉備人出版
参・著者名１	吉備国際大学「備中高梁学」研究会	参・ＩＳＢＮ１	9784860691967
参・書籍名２	留岡幸助と備中高梁	参・出版社名2	吉備人出版
参・著者名2	倉田和四生	参・ＩＳＢＮ2	9784860690991

授業科目名	地域貢献ボランティア 理学	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-KE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	「地域貢献ボランティア活動を通して地域社会に積極的に参加できる人材となる。」をテーマとする。各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において、「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域のボランティア活動へ参加し、地域の人々と共にふれあい活動することで、地域社会に貢献しようとするこころや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活におこりうる問題点を理解し、解決するために、学生が地域社会に積極的に参加できるようになることを到達目標とする。
授業概要	キャリア教育の一環として社会人基礎力を身に付けるために、地域貢献ボランティアをおこなう。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時の注意事項等について学んだのち、地域から要請を受けたボランティア活動を１０コマ分（２０時間以上）行なう。ボランティア活動は、ボランティア活動予定表（５月～１２月末まで）から活動時間合計が２０時間以上になるよう選択し、活動をおこなう。
アクティブラーニングの内容	実習／フィールドワーク
評価方法と割合	ボランティア活動の内容および活動報告書、発表会内容等により、授業の到達目標についての達成度をトータルで評価する。具体的には、ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%のウエイトにより評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	ボランティア活動報告書（1,000字以上）を作成し、学科別にて発表を行う。
履修条件・注意事項	「吉備から世界へ」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学修により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が加盟する任意保険（学生教育研究災害傷害保険「学研災」）に加入すること。ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受入れ事業者の指示に従い、事故に注意すること。ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者に終了確認印を受領すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ボランティア活動に参加する前に、参加するボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。また、ボランティア終了後にはその都度活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。
オフィスアワー	毎週火曜日2時限とし、佐藤研究室で実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ボランティア活動の基礎的理解	外部講師
第２回	ボランティア活動の注意点と活動計画作成	佐藤
第３回	ボランティア活動	外部講師
第４回	ボランティア活動	外部講師

第５回	ボランティア活動	外部講師
第６回	ボランティア活動	外部講師
第７回	ボランティア活動	外部講師
第８回	ボランティア活動	外部講師
第９回	ボランティア活動	外部講師
第１０回	ボランティア活動	外部講師
第１１回	ボランティア活動	外部講師
第１２回	ボランティア活動	外部講師
第１３回	活動報告	佐藤
第１４回	ボランティアフォーラム	佐藤
第１５回	ボランティアフォーラム	佐藤
第１６回	試験（活動報告書）	佐藤

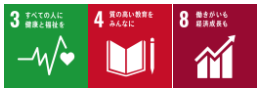
教科書			
教・書籍名１	資料を適宜配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅰ 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CG-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も 
到達目標	【到達目標】社会的自立と職業的自立にむけて、自分の生き方・働き方を計画（キャリアデザイン）し、実行できる人間力と社会人意識 の基礎を身につける。 キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけで、人生そのものである。そして、キャリアデザインとは、卒業後の将来を見据えて自らの生き方・働き方を考え、計画することである。大学生活を充実させ、社会で生きて いくためには、自立的・主体的に考えて行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要となる。そのためには、社 会が求める人間像（自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力）について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが必要である。 したがって、この科目の具体的な到達目標として、以下の3点を設定する。 ①自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②その目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。③社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識、職業選択能力を向上させる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成されている。合同授業では、キャリアとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康やキャリア実践活動、一般的学力（自己理解）について講義や演習を行う。また、マイステップを使用 する「キャリアデザインノート」の意義や作成方法についても説明し、個人の記録として卒業まで活用していく。 授業全体を通して、「自分を知る」「社会を知る」「社会とつながる」「生き方を考える（大学生活を含む）」「働き方を考える」と いう5つのテーマで構成し、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入、グループワークやディスカッションといった演習活動を行 って自分の人生を考えることができるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動や発言（30%）、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入（30%）、基礎学習（kiuiドリル）実施状況 （20%）、最終試験あるいはレポート（20%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやキャリアデザインノートの記入内容については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するので、第1回目授業からファイルを持参すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　第2回、5回、14回は、キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師を招き、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、授業内で配布された資料や参考図書を読んでおく。 事後学習として、授業内で配布された資料を読み、次回までの課題が提示された回はその課題に取り組む。随時、自身のキャリア実践やプランについて「キャリアデザインノート」に記載していく。 各２時間の学修時間を目安とする。

オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・キャリアとは何か	藤原直子 井上、中嶋
第２回	自分を知る・社会を知る：興味検査（VPI）or適正検査（GATB）	外部講師：マイナビ 井上、中嶋
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信繁 井上、中嶋
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原直子 井上、中嶋
第５回	自分を知る：基礎学力（1回目）、大学生活の基礎	外部講師：ラインズ・マイナビ 井上、中嶋
第６回	社会とつながる：対人コミュニケーション	井上、中嶋
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	外部講師：ボランティアセンター 井上、中嶋
第８回	自分を知る社会を知る：社会人基礎力	井上、中嶋
第９回	自分を知る：自分の強みと弱み	井上、中嶋
第１０回	社会とつながる：対人関係力	井上、中嶋
第１１回	生き方を考える：これまでの振り返りとライフプラン	井上、中嶋
第１２回	社会を知る・働き方を考える：学科の専門性や資格を活かす仕事	井上、中嶋
第１３回	社会を知る・働き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	井上、中嶋
第１４回	自分を知る：基礎学力（２回目）、将来に向けて	外部講師：ラインズ・マイナビ 井上、中嶋
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	井上、中嶋
第１６回	レポート（キャリアデザインノートの提出）	井上、中嶋

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ 理学	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理3年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会3年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社3年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年	ナンバリング	GE-CG-3-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、ＡＬ
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	【テーマ】自分に適した職業進路を具体的に選択し、就活のため、具体的能力を発揮できるようにする。 【到達目標】学生が自分に適した職業進路を選択することができる．就職活動ができる能力を身につける．学生が選択した進路および社会の求める人間像について考え，身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての一般常識や教養、分別、協調性やコミュニケーション力を再確認し実質的なものにすることができる。
授業概要	合同授業日と各学科の授業日とで授業は構成されている．13回の合同授業は，就職活動を行うために身につけておくべき内容から構成されている．理学療法を学んだ者としての社会貢献の課題や、人生の歩み方を受講生同士でディスカッションをし、コミュニケーション能力や他者に働きかける力を向上させていく。また、演習授業を通して協働で実践する力(協調性、リーダーシップ能力等）も高めていく。
アクティブラーニングの内容	PBL／フィールドワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	評価は、講義態度や質疑応答の積極性（80%）、提出されたレポート（20%）等から総合的に行なう。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題はすべて返却し、内容の解説を行う。
履修条件・注意事項	合同授業日と各学科授業日で教室が異なるので、教室を間違わないように留意する。受講生一人ひとりの主体的な授業参加の姿勢や、積極的にコミュニケーションを図ることを求める。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	1）授業時に重要なポイントが提起される。次回に向けた心づもりをして授業に臨むこと。テーマによってグループワークもあるので発言内容の準備も大切となる。2）自己分析や就職活動に向けたエントリーシートの記載など課題に沿ったレポートがあるため、復習が求められる。2時間ずつ予習・復習を行うこと。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室にて、毎週水曜日１限目をオフィスアワーの時間とする。不在時にはメモを残すこと。在室時間帯に面接が可能。

	授業計画	担当者
第１回	就職活動準備情報収集タイムマネジメント	マイナビ医
第２回	病院減額・インターンシップの必要性	マイナビ医
第３回	自分の傾向を学ぶ	リクナビ
第４回	自己分析・自己PR	ビザビ
第５回	エントリーとは・エントリーシート攻略	マイナビ・ベネッセ
第６回	乗り遅れるなWEB就活	シーズ
第７回	職種を学ぶ職業教育	京極先生
第８回	社会人に必要なマナー	リクナビ
第９回	SPI(筆記試験)	リクナビ

第１０回	履歴書の書き方・応募書類の出し方	マイナビ医
第１１回	面接対策・GD/集団/個人	ビザビ
第１２回	エントリーシート攻略フォロー・自分を振り返る	ベネッセ
第１３回	３学科共通	京極先生
第１４回	３学科共通	京極先生
第１５回	まとめ　内定お礼・内定辞退お詫び	マイナビ医
第１６回	試験	

教科書			
教・書籍名１	毎回の講義内容に沿った資料を事前に配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ｉ 理学	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	ダミー /uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員は、前職で企業のIT部門（システム管理部門）に従事し、パソコンと汎用コンピュータと電話回線を組み合わせた比較的規模の大きい基幹システムから、パソコンによる段ボール箱設計と段ボール箱へのデザインを作るDTPシステムまでを開発運用した経験を持つ。その他データウェアハウスによるOLAPの運用経験を持つほか、労働省（当時）が全国

			で運営するコンピュータカレッジの中の一校においてCGコースを２年間担当した経験を持つ。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	水曜日の1限目をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	元田
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	元田
第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	元田
第４回	OSとアプリケーション	元田
第５回	ファイルシステム操作	元田
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	元田
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	元田
第８回	表計算ソフト操作	元田
第９回	表計算ソフト課題	元田
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	元田
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	元田
第１２回	ネットワークとインターネット	元田
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	元田
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	元田
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	元田
第１６回	単位認定試験	元田

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応 型番　FPT2117	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。		
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 ２．万が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 ３．情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じえるか理解できるようになる。 なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。
授業概要	現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。 主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Ⅰの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習：次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習：授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理・法・慣習	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（１）基本的な用語と枠組み	大谷
第５回	コンピューティングの歴史　コンピュータの誕生からパソコンの登場まで	大谷
第６回	コンピューティングの歴史　インターネット出現からIoT時代まで	大谷
第７回	身近な情報セキュリティ	大谷
第８回	メールやメッセージングアプリのセキュリティ	大谷
第９回	著作権の基礎	大谷
第１０回	レポート作成の倫理問題	大谷
第１１回	「漫画サイトが見られない」	大谷
第１２回	個人情報保護法の基礎知識	大谷
第１３回	ポイントカードと個人情報	大谷
第１４回	情報時代のプライバシー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。

	これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社

教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 理学・作業	担当者	中田　昌子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でいますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	授業後に受け付けます。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	中田昌子
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	中田昌子
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	中田昌子
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	中田昌子
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	中田昌子
第６回	Japan Quiz　　日本クイズに挑戦　WH疑問文	中田昌子

第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	中田昌子
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	中田昌子
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了	中田昌子
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形	中田昌子
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現	中田昌子
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY	中田昌子
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問	中田昌子
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞	中田昌子
第１５回	春学期の試験	中田昌子
第１６回	春学期の総復習、フィードバック	中田昌子

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅱ 理学・作業	担当者	中田　昌子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でいますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	授業後に受け付けます。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	中田昌子
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	中田昌子
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	中田昌子
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	中田昌子
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	中田昌子
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	中田昌子

第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	中田昌子
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	中田昌子
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	中田昌子
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞	中田昌子
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where	中田昌子
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法	中田昌子
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞	中田昌子
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法	中田昌子
第１５回	秋学期の試験	中田昌子
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック	中田昌子

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅲ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば学生は高校以上の難易度の長い文章が読むことができるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。
授業概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 　時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思います。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	１６回目に筆記試験をやり、そのあと試験問題の解説をします。大切な文法事項、読解の難しいところなどが中心です。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら２時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも２時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。
オフィスアワー	水曜日の３限　研究室にて（２号館６F）

授業計画	担当者

第１回	リバプール	平見勇雄
第２回	メンバーの生い立ち　ジョンレノン	平見勇雄
第３回	ポールマッカートニーの生い立ち	平見勇雄
第４回	ジョージハリソンの生い立ちとメンバー加入	平見勇雄
第５回	メンバー交代　リンゴスター	平見勇雄
第６回	1960年デッカオーディション	平見勇雄
第７回	1962年ビートルズデビュー	平見勇雄
第８回	1964年ビートルマニア	平見勇雄
第９回	エドサリバンショー　アメリカ進出	平見勇雄
第１０回	オーストラリアや各国の状況	平見勇雄
第１１回	映画ア・ハード・ディズ・ナイト	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　ヘルプ	平見勇雄
第１３回	世界制覇	平見勇雄
第１４回	アルバム　ラバーソール	平見勇雄
第１５回	アルバム　リボルバー　日本公演	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅳ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。
授業概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたいと思います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単位認定の筆記試験は１６回目に行い、その日の後半に試験の解説を行います。文法的な面と、読解で訳しにくい場所の解説を行います。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を言います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回２～３ページ進む予定ですから訳を書いてくることが最低限の予習です（２時間程度の予習です）。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日１０～２０分程度で結構です。（したがって復習も時間としてはトータルとして２時間程度）
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室

授業計画	担当者

第１回	春学期の復習	平見勇雄
第２回	日本公演続き	平見勇雄
第３回	レコーディング革命	平見勇雄
第４回	アルバム　サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド	平見勇雄
第５回	世界同時衛星放送　「All you need is love」	平見勇雄
第６回	マネージャー　ブライアンエプスタインの死	平見勇雄
第７回	マジカルミステリーツアー	平見勇雄
第８回	インドでの生活　修行	平見勇雄
第９回	初の２枚組アルバム　通称ホワイトアルバム	平見勇雄
第１０回	ゲットバックプロジェクト	平見勇雄
第１１回	最後のレコーディング　アビーロード	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　レットイットビー	平見勇雄
第１３回	解散後の４人　ジョンレノン	平見勇雄
第１４回	解散後の４人　ポールマッカートニー	平見勇雄
第１５回	解散後の４人　ジョージハリソンとリンゴスター	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次

第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次
第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次

第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次
第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅲ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語会話ができるようになる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。
授業概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	あいさつ	加藤健次
第２回	発音	加藤健次
第３回	性と数	加藤健次
第４回	前置詞	加藤健次
第５回	規則動詞	加藤健次
第６回	形容詞	加藤健次

第７回	否定形		加藤健次
第８回	命令形		加藤健次
第９回	疑問形		加藤健次
第１０回	副詞		加藤健次
第１１回	疑問副詞		加藤健次
第１２回	疑問代名詞		加藤健次
第１３回	不規則動詞		加藤健次
第１４回	所有形容詞		加藤健次
第１５回	疑問形容詞		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅳ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語で会話を楽しむことができる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	動詞allerとvenirの活用	加藤健次
第２回	近接未来と近接過去	加藤健次
第３回	命令形、否定表現	加藤健次
第４回	疑問代名詞	加藤健次
第５回	疑問副詞	加藤健次
第６回	指示代名詞	加藤健次

第７回	関係代名詞		加藤健次
第８回	過去分詞		加藤健次
第９回	直説法複合過去		加藤健次
第１０回	補語人称代名詞の語順		加藤健次
第１１回	比較級と最上級		加藤健次
第１２回	非人称構文		加藤健次
第１３回	直説法半過去		加藤健次
第１４回	条件法現在		加藤健次
第１５回	関係副詞と文の構造		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LG-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二

第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二

第５回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文		清水光二
第６回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞		清水光二
第７回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター！ はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅲ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Iとドイツ語IIを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 0　自己紹介	清水光二
第２回	Lektion 0　挨拶　動詞の現在人称変化	清水光二

第３回	Lektion 1 地理と天候	清水光二
第４回	Lektion 1 冠詞（類）の格変化	清水光二
第５回	Lektion 2　食生活	清水光二
第６回	Lektion 2　前置詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 3 ドイツ語という言語	清水光二
第８回	Lektion 3 名詞の複数形	清水光二
第９回	Lektion 4　ドイツの大学	清水光二
第１０回	Lektion 4　話法の助動詞	清水光二
第１１回	Lektion 5　祝日と休暇	清水光二
第１２回	Lektion 5　形容詞の格変化	清水光二
第１３回	Lektion 6　ドイツの治安事情	清水光二
第１４回	Lektion 6　比較表現	清水光二
第１５回	Lektion 0 ～ Lektion 6 までの復習	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅳ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　教育制度	清水光二
第２回	Lektion 7　分離動詞と非分離動詞	清水光二

第３回	Lektion 8　政治制度	清水光二
第４回	Lektion 8　受動態	清水光二
第５回	Lektion 9　ドイツの歴史概観	清水光二
第６回	Lektion 9　過去の表現	清水光二
第７回	Lektion 10　音楽の国ドイツ	清水光二
第８回	Lektion 10　副文の語順	清水光二
第９回	Lektion 11　ドイツの宗教事情	清水光二
第１０回	Lektion 11　関係代名詞	清水光二
第１１回	Lektion 12　二つのドイツ	清水光二
第１２回	Lektion 12　分詞の用法	清水光二
第１３回	Lektion 13　EUとドイツ	清水光二
第１４回	Lektion 13　接続法第2式	清水光二
第１５回	Lektion 14　EUとドイツ	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	978-4-560-06420-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LC-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習	孫基然

	4、鼻音の発声練習	
第４回	1、発音の復習 2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、助動詞「会」と「能」 ２、選択疑問文	孫基然
第２回	１、助動詞「想」 ２、反復疑問文	孫基然
第３回	１、経験表現	孫基然

	2、連動文	
第４回	1、時量補語 2、存在表現	孫基然
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅲ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・前篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、前置詞「対」 ２、名詞前の「的」	孫基然
第２回	１、「有的……有的」の文型 ２、「既……又」の文型	孫基然
第３回	１、「毎……都」の文型 ２、動詞、形容詞の前の「地」	孫基然

第４回	「除了……」の文型	孫基然
第５回	「即使……也」の文型	孫基然
第６回	持続を表す「着」	孫基然
第７回	結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする	孫基然
第１０回	１、「因為……所以」の文型 ２、「一辺……一辺」の文型	孫基然
第１１回	「是……的」の文型	孫基然
第１２回	現存文	孫基然
第１３回	手段・状態を表す「着」	孫基然
第１４回	「一点也不」の文型	孫基然
第１５回	疑問詞の呼応表現	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅳ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・後篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、「是……的」の文型 ２、様態補語	孫基然
第２回	１、「不知道……才好」の文型 ２、「好像……一様」の文型	孫基然
第３回	疑問詞の不定用法	孫基然

第４回	可能補語「動詞+得了」	孫基然
第５回	１、「無論……都」の文型 ２、「要是……就」の文型	孫基然
第６回	１、動詞後の「給」 ２、受身表現	孫基然
第７回	中間テスト	孫基然
第８回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第９回	１、「不是……就是」の文型 ２、「再也没……過」の文型	孫基然
第１０回	１、「雖然……但是」の文型 ２、「不但……而且」の文型	孫基然
第１１回	１、動量補語 ２、離合詞	孫基然
第１２回	１、「有」の謙語文 ２、使役表現	孫基然
第１３回	１、副詞「就」 ２、副詞「都」	孫基然
第１４回	１、「有」の連動文 ２、「把」の文	孫基然
第１５回	１、「対……来説」の文献 ２、「只有……才」の文型	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	文学とはなにか	雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解	雲津 英子
第３回	図書館活用の実践	雲津 英子

第４回	日本文学史（１）-上代文学	雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学	雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学	雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学	雲津 英子
第８回	日本文学史（５）-近代文学	雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学	雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）	雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）	雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）	雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品	雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）	雲津 英子
第１５回	まとめ	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とそ	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館など

の時間	に鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	2 号館 6 階の前嶋研究室において、毎週月曜日 5 時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 看護・理学・作業	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	定期試験と講義内レポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、講義内レポートの記述内容3０％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は講義内容について、講義内レポートと感想により評価する。課題に対するフィードバックは講義内にて実施する。
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。　また、学校現場を理解するという意欲もって、主体的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション：講義の進め方	國佐　栞
第２回	スポーツの意義：スポーツとは何か？	國佐　栞
第３回	社会生活の変化とスポーツの視点	國佐　栞
第４回	明治時代以降の学校体育	國佐　栞
第５回	戦後の社会教育：高度経済成長期のスポーツ	國佐　栞

第６回	スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング	國佐　栞
第７回	成長、発育、発達とスポーツ	國佐　栞
第８回	生涯スポーツと生きがいづくり	國佐　栞
第９回	スポーツとトレーニング	國佐　栞
第１０回	スポーツと経済	國佐　栞
第１１回	スポーツの多様化と住民スポーツ	國佐　栞
第１２回	地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア	國佐　栞
第１３回	地域スポーツイベントと地域活性化	國佐　栞
第１４回	中高年齢のライフステージのスポーツ	國佐　栞
第１５回	まとめ	國佐　栞
第１６回	試験	國佐　栞

教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２	生涯スポーツの理論と実際	参・出版社名2	大修館書店
参・著者名2	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	参・ＩＳＢＮ2	978-4469266986

授業科目名	生涯スポーツ実習 （看護・理学・作業）	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-006

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、バレーボール、バトミントン）を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はスポーツ実施時のルールや注意点について、講義中の実践を通して評価する。課題に対するフィードバックは講義後半で実践を通して実施する。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備（ジーンズ等は認めない）
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

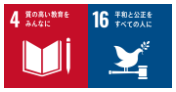
授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	國佐　栞
第２回	バスケットボール	國佐　栞
第３回	バスケットボール	國佐　栞
第４回	バスケットボール	國佐　栞
第５回	バスケットボール	國佐　栞
第６回	フットサル	國佐　栞
第７回	フットサル	國佐　栞
第８回	フットサル	國佐　栞
第９回	バトミントン	國佐　栞
第１０回	バトミントン	國佐　栞
第１１回	バトミントン	國佐　栞
第１２回	バトミントン	國佐　栞
第１３回	バレーボール	國佐　栞
第１４回	バレーボール	國佐　栞

第１５回	バレーボール	國佐　栞	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示す	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	宗教学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。これが到達目標である。
授業概要	後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価方法 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	人類史と宗教：旧石器時代から新石器時代へ	山本
第２回	日本の縄文時代、弥生時代、古墳時代の宗教	山本
第３回	文明誕生：メソポタミア	山本
第４回	エジプト文明	山本
第５回	古代ギリシャ文明	山本
第６回	ユダヤ教の成立	山本
第７回	ヘレニズム期の宗教	山本
第８回	キリスト教の成立と展開	山本
第９回	ローマカトリック	山本
第１０回	初期のイスラーム	山本

第１１回	宗教改革とその後	山本
第１２回	日本宗教史：古代・中世・近世	山本
第１３回	現代日本の宗教事情	山本
第１４回	現代世界の宗教事情	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本
第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本

第１３回	暇と退屈の倫理学	山本	
第１４回	スピノザ	山本	
第１５回	総括	山本	
第１６回	定期試験	山本	
教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・子ども・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

	授業計画	担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居

第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義

年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（２時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

授業計画		担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文
第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文

第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文
第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分	生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売	生駒正文
第１６回	（１６）定期試験	生駒正文

教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

授業計画	担当者

第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂

第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。5.国家による管理	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚の経済的原因。4.非婚の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力をうしなったか	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わり。5.日本経済の没落	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に役30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理学	担当者	藤原　智子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15回	授業形態	対面
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：物理学の１分野である天文学を中心に、簡単な実験やそれぞれテーマに沿った議論などを通じて、その歴史的背景や社会・生活で活用されている物理のエッセンスを体系的に学習する。 到達目標：「自然から学ぶ」や「論理的思考」とはどういうことかを理解する。
授業概要	太古の昔から、人類は頭上に広がる果てしない宇宙を見つめてきた。手の届かないところにある天体のふるまいを理解するには、まず身近な自然現象を観察し、そこにある物理法則に気付く必要がある。人々はどんな想いで宇宙を見つめてきたのか、宇宙を知るためにどんな挑戦をし、注意深く観察した星空から何を理解してきたのか。この授業では、太陽系天体、恒星や銀河など、宇宙に浮かぶ様々な天体の姿を紹介、そこで起こっている現象を身近な物理と結び付けて科学的に解説するだけではなく、星座や神話、人類の宇宙観など文化的内容、観測機器や宇宙開発(ロケットや人工衛星・探査機)等の技術的内容についても触れ、「宇宙」をテーマに幅広い内容を扱う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	論述試験と出席で評価します。授業を受ける姿勢として、実験や議論に参加する積極性を重視します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や試験に対する質問は授業での回答の他、UNIPAやTeamsなどの機能を用いてフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画のテーマに関連するニュースやトピックスに注意を払い、事後学習として授業で学んだことに関して友人や家族と議論すること。 各１時間の学修が望ましい。
オフィスアワー	授業の前後に、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンスー自然現象を理解するための物理学ー	藤原智子
第２回	宇宙観の変遷	藤原智子
第３回	星と文化①　星座と星物語	藤原智子
第４回	星と文化②　暦の成立	藤原智子
第５回	天体の記録と基礎データ①　天体の位置、明るさ、距離	藤原智子
第６回	天体の記録と基礎データ②　光のスペクトル	藤原智子
第７回	観測装置の発展①　光学・電波望遠鏡	藤原智子
第８回	観測装置の発展②　人工衛星・探査機	藤原智子
第９回	人工衛星・ロケットの仕組み	藤原智子

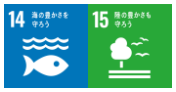
第１０回	宇宙の環境問題	藤原智子
第１１回	太陽系の素顔①　太陽系の天体	藤原智子
第１２回	太陽系の素顔②　太陽系を取り巻く環境・太陽系外惑星	藤原智子
第１３回	恒星の誕生と死	藤原智子
第１４回	私たちの起源と未来	藤原智子
第１５回	まとめ：宇宙と物理学のつながり	藤原智子
第１６回	レポート試験	藤原智子

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

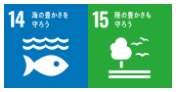
授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二
第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二

第１５回	地球環境問題と人類		末吉秀二
第１６回	試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	韓国地域社会	担当者	李　分一
配当学科・研究科	2017～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	SS-BU-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定（平和）と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。
授業概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事情を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験（80%）、提出物（10%）、授業態度（10%）等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	（1）授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 （2）単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	（1）参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 （2）受講生の予習（30時間）と復習（30時間）のために、トピック別の宿題とレポートを課す。
オフィスアワー	毎週水曜日5時限目（9304研究室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	李　分一
第２回	韓国という国	李　分一

第３回	韓国の歴史（民族と国家）	李　分一
第４回	韓国民主主義の位相と行方	李　分一
第５回	韓国民主主義の制約	李　分一
第６回	解放前の要因	李　分一
第７回	解放後の要因	李　分一
第８回	韓国の権威主義体制	李　分一
第９回	民主化・人権擁護運動	李　分一
第１０回	1980年代の韓国	李　分一
第１１回	1980年代の政治体制	李　分一
第１２回	190年代の民主化運動	李　分一
第１３回	1990年代の民主化運動	李　分一
第１４回	韓国政治社会の新潮流	李　分一
第１５回	韓国の民主主義と市民社会	李　分一
第１６回	単位認定試験	李　分一

教科書			
教・書籍名１	プリント使用	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	作業療法概論 （オムニバス）	担当者	岩田　美幸、三宅　優紀、狩長　弘親、山本　倫子、京極　真、寺岡　睦
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-OT-1-201

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。 【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。
授業概要	作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度（50%）、単位認定レポート試験（50%）の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内で課題や試験のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人（自分自身も含む）と作業の関係について洞察を深めること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、作業療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限（15：10～16：40）、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション，作業とは何か	京極
第２回	作業療法の対象，Enabling occupation	岩田
第３回	身体障害領域の作業療法	寺岡
第４回	精神障害領域の作業療法	山本
第５回	高齢者・認知症の作業療法	岩田
第６回	作業療法の歴史（起源）	京極
第７回	作業療法の歴史（パラダイムシフト）	京極
第８回	作業療法の実践理論（OBP2.0、MOHO）	寺岡
第９回	作業療法の実践理論（CMOP-E・OTIPM）	寺岡
第１０回	高次脳機能障害領域の作業療法	狩長

第１１回	発達障害領域の作業療法	外部講師	
第１２回	生活行為向上マネジメント	狩長	
第１３回	作業療法における研究の重要性	三宅	
第１４回	予防領域の作業療法	三宅	
第１５回	作業療法を取り巻く状況、まとめ	狩長	
第１６回	試験	京極	
教科書			
教・書籍名１	作業療法学概論 第3版（標準作業療法学専門分野）	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	二木淑子・能登真一	教・ＩＳＢＮ１	978-4260025355
教・書籍名２	「作業」って何だろう－作業科学入門 第2版	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	吉川ひろみ	教・ＩＳＢＮ2	978-4263216675
参考書			
参・書籍名１	基礎作業学 第3版（標準作業療法学専門分野）	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	濱口豊太	参・ＩＳＢＮ１	978-4260030557
参・書籍名２	作業療法士になろう！	参・出版社名2	青弓社
参・著者名2	齋藤さわ子	参・ＩＳＢＮ2	978-4787210531

授業科目名	人間と作業	担当者	寺岡　睦
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-OT-1-217

必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：学生は，作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標：学生は，講義とアクティブラーニングを通して，作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる
授業概要	作業とは，人間が経験すること全てである． 作業療法士になるためにはこの作業を理解し，作業療法という方法を使ってクライエントへ介入を行う必要がある． そのためには作業がもつ力を理解し，健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり，やり方を変更したり，自身で運用できるようになることが求められる． 作業は経験である以上，どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する． 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される． しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される． この科目では，健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し，実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し，解釈出来るように構成している． この科目は，作業科学を研究し，臨床現場で実践していた者が講義を行う．人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え，臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める． ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が，その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	試験60％，提出物20％，授業への態度20％で評価する．なお，提出物へのフィードバックは授業内で行う．
ルーブリック評価	本科目ではルーブリック評価を用いる。 /uprx/sagyou.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題提出のフィードバックは書面上、もしくは授業時間内に行う。 試験のフィードバックは提出された問題用紙の返却をもって行う。
履修条件・注意事項	授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み，事前にインターネットなどを活用し調べておくこと． 予習の時間は1時間程度とする． 講義終了時に，作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと．

	課題は３０分～1時間程度で行える内容で提供する．課題は次回の講義前までに提出すること．
オフィスアワー	授業終了後，教室で行う．それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	寺岡
第２回	作業と健康と幸福の関係性	寺岡
第３回	意志力と作業、演習、課題発表	寺岡
第４回	疲労と作業、演習、課題発表	寺岡
第５回	感謝と作業、演習、課題発表	寺岡
第６回	フローと作業、演習、課題発表	寺岡
第７回	人間関係と作業、演習、課題発表	寺岡
第８回	挫折と作業、演習、課題発表	寺岡
第９回	ストレス軽減と作業、演習、課題発表	寺岡
第１０回	強みと作業、演習、課題発表	寺岡
第１１回	レジリエンスと作業、演習、課題発表	寺岡
第１２回	習慣と作業、演習、課題発表	寺岡
第１３回	自己肯定感と作業、演習、課題発表	寺岡
第１４回	睡眠と作業、演習、課題の発表	寺岡
第１５回	人間と作業まとめ	寺岡
第１６回	単位認定試験	寺岡

教科書			
教・書籍名１	「作業」って何だろう　作業科学入門　第2版	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	吉川ひろみ	教・ＩＳＢＮ１	4263216679
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	発達心理学	担当者	宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	PS-PS-1-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。
授業概要	胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期の各時期における発達の様相や発達課題について様々な観点から学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、心理的援助についての考察も深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、レポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で学習し、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、火曜日4時限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	ライフサイクルについて	宇都宮
第３回	胎児期	宇都宮
第４回	新生児期	宇都宮
第５回	乳児期：愛着の形成	宇都宮
第６回	乳児期：言葉の発達	宇都宮
第７回	幼児期：表象の獲得	宇都宮
第８回	幼児期：社会性の発達	宇都宮
第９回	児童期：有能感と劣等感	宇都宮
第１０回	児童期：学校への適応・いじめ	宇都宮

第１１回	青年期前期	宇都宮	
第１２回	青年期後期	宇都宮	
第１３回	青年期の病理	宇都宮	
第１４回	成人期	宇都宮	
第１５回	まとめ	宇都宮	
第１６回	期末試験（筆記試験）	宇都宮	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる発達心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05379-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保育の心理学Ⅰ	担当者	森井　康幸
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-2-213

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	発達は人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。 到達目標：子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようになる。
授業概要	保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ほぼ隔週で行う小テストまたはミニ・レポートの得点（３０％）と定期試験の得点（７０％）に、受講態度の評価点（０～１）を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が 0.5 の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点後、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの返却と、必要に応じて補足解説を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、ほぼ隔週で小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。 保育士の資格取得には必須科目である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。（2時間） 復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。（2時間） 返却された小テストも確認しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限　　教員研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森井
第２回	発達を考える（第1章）	森井
第３回	人との関わりの基盤	森井

第４回	子ども同士の関わりの進展	森井
第５回	身体的機能と運動機能の発達－個人差と環境－	森井
第６回	運動機能の発達と心理的発達との関連	森井
第７回	ピアジェ理論とその再検討	森井
第８回	世界づくりの開始―認知発達の基盤	森井
第９回	世界づくりの展開―身の回りの世界についての理解の構成	森井
第１０回	言語発達の基礎―人との関わりから育まれる言葉	森井
第１１回	言語を使った世界の広がり	森井
第１２回	乳幼児期の学びに関わる理論	森井
第１３回	乳幼児期の学びの過程と特性	森井
第１４回	乳幼児期の学びを支える保育	森井
第１５回	まとめ	森井
第１６回	定期試験	森井

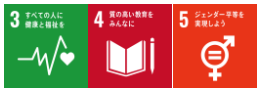
教科書			
教・書籍名１	保育の心理学	教・出版社名１	北大路書房
教・著者名１	藤﨑 眞知代・無藤 隆	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7628-3152-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	エピソードで学ぶ　乳幼児の発達心理学	参・出版社名１	新曜社
参・著者名１	岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7885-0907-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	対人関係論	担当者	栗田　喜勝
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-3-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう 
到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。
授業概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体（個人）に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度(質疑・意見表明等の有無）（４０％）・期末試験（６０％）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にあらかじめよく目を通し（予習）、授業後は内容を確認し整理し（復習）、以後の学習に活用してほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すこと。 ２）毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な　参加と事前の準備、授業後 の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 ３）単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	心理学と社会心理学	栗田喜勝
第２回	社会心理学の対象と研究方法について	栗田喜勝
第３回	社会的認知について	栗田喜勝
第４回	社会的相互作用について	栗田喜勝

第５回	社会的欲求と適応行動について	栗田喜勝
第６回	人間関係とストレス	栗田喜勝
第７回	人間関係とフラストレーション	栗田喜勝
第８回	人間関係と認知	栗田喜勝
第９回	印象形成について	栗田喜勝
第１０回	人間関係と感情	栗田喜勝
第１１回	社会的態度と行動について	栗田喜勝
第１２回	社会的態度（１）ステレオタイプ	栗田喜勝
第１３回	社会的態度（２）偏見	栗田喜勝
第１４回	態度変容について	栗田喜勝
第１５回	学修のまとめ	栗田喜勝
第１６回	期末試験	栗田喜勝

教科書			
教・書籍名１	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ワークショップ人間関係の心理学	参・出版社名１	ナカニシヤ出版
参・著者名１	藤本忠明他編著	参・ＩＳＢＮ１	4-88848-833-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルメディアと社会	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	AN-AN-1-108

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって

バック方法	（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。 復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	解剖学Ⅰ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-101		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、骨・靭帯・筋肉などの運動器系の構造と機能について理解できる。 【到達目標】 学生が、骨や靭帯、筋肉などの運動にかかわる器官について、各部位の名称や構造を理解できる。また、関節の構造や動きの仕組みについての基礎力を確立し、将来理論的かつ実践的な病態理解ができるようになる。
授業概要	理学療法士・作業療法士の業務に携わるうえで必要不可欠である、骨・靭帯・筋肉の名称や構造・生理学的機能を覚えることは勿論、関節の動きのメカニズムなど、運動器全体のイメージの確立を目指す。講義では座学と並行して「teamLabアプリ」を使用し、人体の３次元動態を映像で学ぶことで、より実践的な臨床に生きる知識を身につける。
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業
評価方法と割合	授業態度１０％、課題・小テスト３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題・小テスト等のフィードバックは、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	講義のメモの取れるノートを用意すること。講義中は私語を慎んで、必要事項はメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習おくこと。授業後、解剖学トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問対応

	授業計画	担当者
第１回	PT.OTにおける解剖学の必要性とその関わり方	熊岸
第２回	骨の構造と機能について	熊岸
第３回	顔面・頭蓋を構成する骨の名前と構造	熊岸
第４回	脊柱を構成する骨の名前と構造	熊岸
第５回	上肢を構成する骨の名前と構造	熊岸
第６回	下肢を構成する骨の名前と構造	熊岸
第７回	骨の復習小テスト　／　関節と靭帯の構造と機能	熊岸
第８回	頭蓋・脊柱の関節と靭帯の名前と構造	熊岸
第９回	上肢の関節と靭帯の名前と構造	熊岸
第１０回	下肢の関節と靭帯の名前と構造（骨盤・股関節）	熊岸
第１１回	下肢の関節と靭帯の名前と構造（膝関節・足関節）	熊岸
第１２回	関節と靭帯の復習小テスト　／　筋肉の構造と機能	熊岸
第１３回	上肢の筋肉の名前と構造	熊岸
第１４回	下肢の筋肉の名前と構造	熊岸
第１５回	顔面・体幹の筋肉の名前と構造	熊岸
第１６回	試験	熊岸

教科書

教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート　第３版	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	中島雅美	教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	解剖学Ⅱ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-102		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、神経系の構造と機能について理解する。 【到達目標】 学生が、神経系の各部位の名称や構造・仕組みについて理解する。また、各部位の生理学的な仕組みを考慮しながら神経系の主要な疾患の病態理解ができるようになることを目標とする。
授業概要	理学療法士・作業療法士の業務に携わるうえで必要不可欠である、神経系全体の仕組みについて講義する。脳や脊髄の各部位の構造や名称を理解することは勿論、生理学的な機能も含めて神経系全体が考察できることを目指す。正常な神経系の構造や機能を理解したうえで、そこから神経疾患についての病態とその仕組みについても考察できるようにする。 講義はスライド(パワーポイント)で行い、座学と並行して、適宜「teamLabBodyアプリ」を用いた視覚的授業を行い、複雑な神経システムの３次元的理解を目指す。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	受講態度１０％、提出課題３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題・小テスト等のフィードバックは、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	適宜プリント配布を行うのでA4ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習しておくこと。授業後、解剖トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。また、「teamLabBodyアプリ」を用いて、構造や動きの詳細の確認を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問等に対応

	授業計画	担当者
第１回	神経系とは？	熊岸
第２回	髄膜・脳室の構造と機能	熊岸
第３回	脊髄の構造と機能	熊岸
第４回	脳幹・小脳の構造と機能	熊岸
第５回	間脳・視床下部・下垂体の構造と機能	熊岸
第６回	大脳皮質の構造と機能	熊岸
第７回	大脳基底核の構造と機能	熊岸
第８回	感覚性伝導路について	熊岸
第９回	運動性伝導路について	熊岸
第１０回	脊髄神経（上肢の神経の走行、神経支配について）	熊岸
第１１回	脊髄神経（下肢の神経の走行、神経支配について）	熊岸

第１２回	脊髄神経麻痺について		熊岸
第１３回	第Ⅰ～Ⅳ脳神経の構造と機能		熊岸
第１４回	第Ⅴ～Ⅻ脳神経の構造と機能		熊岸
第１５回	自律神経の構造と機能		熊岸
第１６回	試験		熊岸
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	中島雅美	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学演習Ⅰ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-103		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、循環器・消化器・呼吸器の構造と機能について理解する。 【到達目標】 学生が、循環器・消化器・呼吸器について、各部位の名称や構造を理解する。また各器官の生理学的な仕組みを考慮しながら、各器官において主要な疾患の病態理解ができるようになることを目標とする。
授業概要	循環器系・消化器系・呼吸器系の各部位の詳細な構造や名称についての基本事項を理解するとともに、生理学的な機能を考慮しながら主要な疾患の病態についても考察する。座学と並行して、適宜「teamLabBodyアプリ」を用いた視覚的授業を行い、循環器系、消化器系、呼吸器系の３次元的構造についての理解を目指す。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	受講態度１０％、提出課題・小テスト３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題・小テスト等のフィードバックは、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	適宜プリント配布を行うので、A4ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習しておくこと。授業後、解剖トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。また、「teamLabBodyアプリ」を用いて、構造や動きの詳細の確認を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問等に対応

授業計画		担当者
第１回	細胞の構造と機能ついて	熊岸
第２回	循環器系（心臓の構造と機能）	熊岸
第３回	循環器系（血管の構造と機能）	熊岸
第４回	循環器系（動脈の枝分かれとその名称）	熊岸
第５回	循環器系（静脈の構造と特殊循環について）	熊岸
第６回	循環器系（リンパ系の構造と機能）	熊岸
第７回	循環器系まとめ	熊岸
第８回	消化器系（口腔・咽頭・食道の構造と機能）	熊岸
第９回	消化器系（胃・十二指腸の構造と機能）	熊岸
第１０回	消化器系（小腸・大腸の構造と機能）	熊岸
第１１回	消化器系（肝臓・膵臓の構造と機能）	熊岸
第１２回	消化器系まとめ	熊岸
第１３回	呼吸器系（気管・気管支の構造と機能）	熊岸
第１４回	呼吸器系（ガス交換の仕組み）	熊岸
第１５回	呼吸器系まとめ	熊岸
第１６回	試験	熊岸

教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート　第３版	教・出版社名2	医歯学出版
教・著者名2	中村雅美	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学演習Ⅱ			担当者	熊岸　加苗		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-104		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】 学生が、泌尿器系・内分泌系・感覚器系の構造と機能について理解できる。 【到達目標】 学生が、泌尿器系・内分泌系・感覚器系について、各部位の名称や構造を理解する。また各器官の生理学的な仕組みを考慮しながら、主要な疾患の病態理解ができる。
授業概要	理学療法士・作業療法士の業務に携わるうえで必要不可欠な、泌尿器系・内分泌系・感覚器系の各部位の詳細な構造や名称についての基本事項を理解する。また、各組織や器官の働きや仕組みなど生理学的な機能を理解したうえで、主要な疾患の病態についても考察できるようになることを目標とする。 座学と並行して、適宜「teamLabBodyアプリ」を用いた視覚的授業を行い、泌尿器系や感覚器系などの３次元的構造についての理解を目指す。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	受講態度１０％、提出課題・小テスト３０％、定期試験６０％により評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テストのフィードバックについては、講義時もしくはuniversal passportにて行う。必要に応じて個別指導を行う。
履修条件・注意事項	適宜プリント配布を行うので、Ａ４ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、解剖学研究・人体解剖学実習及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かして臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業前、シラバス確認の上、教科書の該当ページをよく読んで予習しておくこと。授業後、解剖トレーニングノートの指定されたページを解いて復習を行うこと。また、「teamLabBodyアプリ」を用いて、構造や動きの詳細の確認を行うこと。なお、予習復習は各１時間以上行うこと。
オフィスアワー	授業前後１０分間、教室にて質問等に対応

	授業計画	担当者
第１回	泌尿器系とは？	熊岸
第２回	糸球体・尿細管の構造と機能	熊岸
第３回	腎臓の浸透圧調節機構について	熊岸
第４回	腎臓の仕事（酸塩基平衡）	熊岸
第５回	膀胱と尿道の構造と機能	熊岸
第６回	排尿反射について	熊岸
第７回	泌尿器系まとめ	熊岸
第８回	内分泌系とは？	熊岸
第９回	下垂体のホルモン分泌とその役割について	熊岸
第１０回	甲状腺・上皮小体のホルモン分泌とその役割について	熊岸
第１１回	副腎と膵臓のホルモン分泌とその役割について	熊岸
第１２回	内分泌まとめ	熊岸
第１３回	視覚器の構造と機能	熊岸

第１４回	平衡聴覚器の構造と機能		熊岸
第１５回	感覚器系まとめ		熊岸
第１６回	試験		熊岸
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学　解剖学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	野村　嶬	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	中島雅美	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	人体解剖カラーアトラス	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	佐藤達夫訳	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生理学Ⅰ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-105		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医療人基礎力を身につけ、専門家としての論理的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での基礎知識の習得と必要な思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学修する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療は、病気の人に 対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解することはでき ない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるものであり、治療現場で も理学療法士に求められるものである。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（２０％）、終講試験（８０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回の授業の復習を兼ねてフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聞く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	「生きている」とは	水谷
第２回	神経一般（膜の興奮）	水谷
第３回	神経一般（興奮の伝導と伝達）	水谷
第４回	自律神経（交感・副交感神経）	水谷
第５回	自律神経（調節系）	水谷
第６回	内分泌（総論・視床下部下垂体）	水谷
第７回	内分泌（甲状腺・副腎・膵臓・他）	水谷
第８回	血液（血球と血漿）	水谷

第９回	免疫・血液凝固・血液型	水谷
第１０回	呼吸（呼吸器・換気・血流）	水谷
第１１回	呼吸（ガスの運搬・呼吸運動の調節）	水谷
第１２回	心臓（構造・電気的現象）	水谷
第１３回	心臓（力学的現象）	水谷
第１４回	循環（ネットワーク・構成と種類）	水谷
第１５回	循環（役割と血圧・微小循環）	水谷
第１６回	筆記試験	水谷

教科書			
教・書籍名１	スタンダード生理学（第3版）	教・出版社名１	文光堂
教・著者名１	二宮、安藤、彼末、松川編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-0227-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	標準生理学　第9版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	本間研一　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03429-6
参・書籍名２	解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理	参・出版社名2	羊土社
参・著者名2	岡田隆夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7581-2073-9

授業科目名	生理学Ⅱ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-106		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医療人基礎力を身につけ、専門家としての論理的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での基礎知識の習得と必要な思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学修する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療は、病気の人に 対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解することはでき ない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるものであり、治療現場で も理学療法士に求められるものである。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（２０％）、終講試験（８０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回の授業の復習を兼ねて授業でフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聞く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	体液調節（腎機能）	水谷
第２回	体液調節（体液）	水谷
第３回	消化・吸収（構造・運動機能）	水谷
第４回	消化・吸収（消化）	水谷
第５回	消化・吸収（吸収）	水谷
第６回	栄養・代謝	水谷
第７回	体温・エネルギー代謝	水谷
第８回	運動機能（骨格筋）	水谷

第９回	運動機能（運動制御のしくみ）		水谷
第１０回	感覚（一般・体性感覚）		水谷
第１１回	感覚（視覚・聴覚・平衡覚・化学覚）		水谷
第１２回	脳機能（意識・生体リズムと睡眠）		水谷
第１３回	脳機能（記憶と学習・認識・言語）		水谷
第１４回	性差・生殖		水谷
第１５回	老化		水谷
第１６回	筆記試験		水谷
教科書			
教・書籍名１	スタンダード生理学（第3版）	教・出版社名１	文光堂
教・著者名１	二宮、安藤、彼末、松川　編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-0227-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	標準生理学　第9版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	本間研一　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03429-6
参・書籍名２	解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理	参・出版社名2	羊土社
参・著者名2	岡田隆夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7581-2073-9

授業科目名	生理学実習	担当者	秋山　純一、水谷　雅年、森下　元賀、井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年	ナンバリング	HS-PT-2-107

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限 火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は生理学Ⅰと生理学Ⅱの講義で得た知識を、生体を使って実際に実験を行って、生体現象を肌で感じ、生きた知識とすることができる。学生はこの過程で科学的な思考力を養うとともに、実験データのまとめ方、レポートの書き方などを身につけることが出来る。また、学生は被験者になることによって患者様の気持ちを理解できるようになる。
授業概要	将来の臨床分野との関連性を考慮して、神経の興奮・伝導、筋収縮、反射に関する基礎的な実験をカエルを用いて行う。また自分たちの体を使って心電図や筋電図の計測、血圧、心拍数、血流量、発汗量､呼吸機能検査などの測定を行う。皮膚感覚についても、ヒトを用いて実験を行う。これらの実験から生体の計測方法や、実験データの解釈やまとめ方などを学ぶ。実習全体を通して、生理学で学んだ知識をより生きた知識として身につけることができるとともに、生体を理解する上での思考パターンを身につけることができるようになる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習態度（３０％）、レポート（５０％）、筆記試験（20%）により総合的に評価する。実習中に理解度を知るために試問を行う。この試問の内容がレポートに反映されているかどうかも評価の対象となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試問の内容やレポートの内容は次の実習にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	グループ毎に行う実験が多いので、グループ内で協力して行うこと。決して傍観者になってはいけない。 実験に於いては必ず白衣を着用すること。なお後半の実験は班毎のローテーションでおこなう。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員のうち３名(中島、井上、森下)は理学療法士としての臨床経験を持ち、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	実習を行う前に生理学Ⅰおよび生理学Ⅱの講義で習ったその項目をよく復習をし、理解しておくこと。実験で行う手順なども実習書をよく読んで、理解しておくこと。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	非常勤講師2名は、実習終了後、実習室において、専任教員３名は各研究室において、授業の前後で行う。

	授業計画	担当者
第１回	実習全体のオリエンテーション	水谷
第２回	カエルを用いた前半実習の説明と講義	秋山
第３回	筋収縮のメカニズムに関する資料収集	水谷、秋山
第４回	神経の興奮と伝導に関する資料収集	水谷、秋山
第５回	骨格筋の収縮に関する実験（標本の作成）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第６回	骨格筋の収縮に関する実験（実験データの収集）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第７回	骨格筋の収縮に関する実験（データのまとめ）	水谷、秋山
第８回	骨格筋の収縮に関する実験（データ解析と結果についての考察）	水谷、秋山
第９回	神経の興奮と伝導に関する実験（神経標本の作成）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１０回	神経の興奮と伝導に関する実験（実験データの収集）	水谷、秋山、中島、井上、

		森下
第１１回	後半の実習のオリエンテーション	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１２回	後半の実習のオリエンテーション	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１３回	神経の興奮と伝導に関する実験（データのまとめ）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１４回	神経の興奮と伝導に関する実験（データ解析と結果についての考察）	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１５回	心電図の測定	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１６回	皮膚感覚の実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第１７回	心電図データのレポート作成	水谷、秋山
第１８回	皮膚感覚のレポート作成	水谷、秋山
第１９回	血圧測定の実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２０回	運動負荷時の血圧変動の実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２１回	血圧測定のレポート作成	水谷、秋山
第２２回	運動負荷実験のレポート作成	水谷、秋山
第２３回	呼吸機能に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２４回	発汗に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２５回	呼吸機能に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第２６回	発汗に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第２７回	血流測定に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２８回	筋電図測定に関する実験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第２９回	血流測定に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第３０回	筋電図測定に関する実験（レポート作成）	水谷、秋山
第３１回	筆記試験	水谷、秋山、中島、井上、森下
第３２回	筆記試験	水谷、秋山、中島、井上、森下

教科書			
教・書籍名１	スタンダード生理学（第3版）	教・出版社名１	文光堂
教・著者名１	二宮、安藤、彼末、松川編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-0227-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	標準生理学　第8版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	小澤･福田 監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-00301-8
参・書籍名２	人体機能生理学	参・出版社名2	南江堂
参・著者名2	杉晴夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-524-25364-7

授業科目名	運動学Ⅰ	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-PT-1-108

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	ヒトの身体運動に関する基本的な知識を学修する。主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。 学生は、１）身体運動に関する基礎的な知識を理解する、２）運動器の構造と機能を理解する、３）上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して理解を深め、基本事項を記憶できることを到達目標とする。
授業概要	運動学は理学療法士の最も基本的な学問であり、また臨床の理学療法士が治療場面で応用する学問である。授業ではその中で主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。参加型学習における授業であるが、運動学の基本事項についてより理解度を深めるために課題を与え、グループ討論も取り入れた授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	上肢帯の運動と構造	井上茂樹
第２回	上肢の運動と構造 肩関節（1）	井上茂樹
第３回	上肢の運動と構造 肘関節（2）	井上茂樹
第４回	上肢の運動と構造 手関節（3）	井上茂樹
第５回	上肢の運動と構造手指（4）	井上茂樹

第６回	運動と動作の分析（1）	井上茂樹
第７回	運動と動作の分析（2）	井上茂樹
第８回	体力と運動処方（1）	井上茂樹
第９回	体力と運動処方（2）	井上茂樹
第１０回	姿勢（1）	井上茂樹
第１１回	姿勢（2）	井上茂樹
第１２回	姿勢（3）	井上茂樹
第１３回	歩行と走行（1）	井上茂樹
第１４回	歩行と走行（2）	井上茂樹
第１５回	歩行と走行（3）	井上茂樹
第１６回	単位認定試験	井上茂樹

教科書			
教・書籍名１	基礎運動学　第6版　補訂	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一、齋藤　宏、長崎　浩	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動学Ⅱ			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-109		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマと到達目標 「理学療法のための身体運動を科学する」をテーマに学修を進める。 生体の構造と機能の関係を理解し，理学療法士として治療概念を説明できることを到達目標とする。
授業概要	身体運動を理解するため，生体の構造と機能の関係，および身体運動に関わる運動技能，運動学習について学ぶ。 理解を深めるため，動画の利用や実習を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	定期試験の成績により総合評価する（試験100%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと
履修条件・注意事項	毎回，プリントを配布するのでファイルを用意すると良い。 実習のときは動きやすい服装で参加すること。適宜指示する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書「基礎運動学」の次回講義該当事項を予習しておくこと。予習復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限をオフィスアワーとする。場所は研究室（6329）とする。

	授業計画	担当者
第１回	①生体力学の基礎１	中嶋正明
第２回	②生体力学の基礎２	中嶋正明
第３回	③生体の構造と機能１（骨の構造と機能）	中嶋正明
第４回	④生体の構造と機能２（関節の構造と機能1）	中嶋正明
第５回	⑤生体の構造と機能３（関節の構造と機能2）	中嶋正明
第６回	⑥生体の構造と機能４（腱、靭帯の構造と機能）	中嶋正明
第７回	⑦生体の構造と機能５（骨格筋の構造と機能）	中嶋正明
第８回	⑧生体の構造と機能6（骨格筋の構造と機能）	中嶋正明
第９回	⑨体幹の運動１	中嶋正明
第１０回	⑩体幹の運動２（ローカル筋，グローバル筋）	中嶋正明
第１１回	⑪体幹の運動３（コアマッスル）	中嶋正明
第１２回	⑫体幹の運動4（疼痛性抑制反射）	中嶋正明
第１３回	⑬姿勢	中嶋正明
第１４回	⑭下肢帯と下肢の運動（股関節の運動）	中嶋正明
第１５回	⑮下肢帯と下肢の運動（膝関節・足関節の構造と機能）	中嶋正明
第１６回	⑯単位認定試験	中嶋正明

教科書			
教・書籍名１	「基礎運動学」	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一ほか	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	身体運動学実習			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-110		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限 木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度な計測機器を使った実習を通じて、主に身体に関わる基本的な力学の現象を理解できる力を身につけることを目標にする。学生は物理学の中でも特に力学の基礎知識を身につけ、生体力学の問題が解答できるようになる。
授業概要	身体運動学とは人間の体の運動のしくみを研究する学問であり、力学と解剖学がその基本となる。これを理解したうえで、実際の人間の正常運動を運動動作分析の手法を用いて解析する。運動動作課題にともなう身体の動きを目で確かめ、手で触れて、種々の動作分析機器を用いて計測を行い、記録分析する。 具体的には1.体の重心、2.関節モーメント、3.筋活動、4.呼吸と代謝、5.加速度と力、歩行分析などのテーマについて実習を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	定期試験（80%）を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容（20%）にて総合的に判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	講義は１日に２コマ連続して行う。 動きやすい服装で参加すること。 高校時代に物理を履修していない者については特に事前に参考書などで力学の基礎的な学習が必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師（日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「基礎運動学」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、１日の講義につき各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	力学講義（力学法則）	河村顕治
第２回	力学講義（剛体の力学）	河村顕治
第３回	体の重心	河村顕治
第４回	体の重心	河村顕治
第５回	関節モーメント（等尺性・等張性運動）	河村顕治
第６回	関節モーメント（等尺性・等張性運動）	河村顕治
第７回	関節モーメント（等速性運動）	河村顕治
第８回	関節モーメント（等速性運動）	河村顕治
第９回	筋活動	河村顕治
第１０回	筋活動	河村顕治

第１１回	呼吸と代謝		河村顕治
第１２回	呼吸と代謝		河村顕治
第１３回	歩行分析		河村顕治
第１４回	歩行分析		河村顕治
第１５回	歩行分析		河村顕治
第１６回	単位認定試験		河村顕治
教科書			
教・書籍名１	基礎運動学	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動発達学			担当者	横井　輝夫		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-111		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限 金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	乳幼児が運動機能を獲得していく過程、および運動機能の発達と密接に関連する認知、感情、言葉、食べる機能の発達について理解し、人間の発達を多面的にとらえるための知識と思考力を獲得することが到達目標である。その結果、学生は発達障がい児へのセラピーに応用できるようになる。
授業概要	運動機能の発達については、出生から1歳までの発達を詳細に学ぶ。その際、頚定、寝返り、座位、四つ這い、立位、歩行など各発達段階の機能がどのように統合し、獲得されるのかについて解説する。また、認知機能の発達、言葉の発達と言葉の根源的な機能、感情の発達を説明する。さらに、生きるための生物学的な機能である食べる機能の発達についても解説し、多面的な角度から子どもが発達する姿を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	評価は最終回の試験が80%、積極的な授業態度が20%で行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート課題等は、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	十分な予習と復習をして授業に臨むこと。相当数の資料を配布するので、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業では、小児分野での実務経験をもつ教員がその経験を活かし。臨床現場において実践的に役立つ授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として配布資料を通読しておくこと。復習として、授業で説明された内容を専門用語を用いて簡潔にまとめること。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	反射・反応	横井
第２回	1～２か月児の運動発達	横井
第３回	３～５か月児の運動発達	横井
第４回	６か月児の運動発達	横井
第５回	７～９か月児の運動発達	横井
第６回	10～12か月児の運動発達	横井
第７回	認知機能の発達、感情の発達	横井
第８回	言葉の発達、食べる機能の発達	横井
第９回	最終試験（筆記試験）	横井
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用せず、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Rona Alexander・他（著）、高橋智宏（監訳）：誕生から1歳まで　機能的姿勢・運動スキルの発達、協同医書出版社、1997.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人間発達学			担当者	村上　勝典		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-112		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、人間発達学をリハビリテーション専門職の視点から学ぶことができる。 学生は、胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達を説明できる。
授業概要	胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達について解説する。各々の時期で重要な事柄について、現代の発達心理学の主要な知見を示しながら、人間の生涯を解説していく。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達を説明できる」の到達度について、知識をはかるために、定期テストの結果、授業中の小テストの結果、授業への取り組み姿勢により総合的に評価する。 具体的には、定期テスト（70%）、授業中の小テスト（20%）、授業への積極的な参加態度（10%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの結果は、授業時間内あるいはテスト実施の翌週にフィードバックする。
履修条件・注意事項	・予習：事前に教科書を読み理解できていない点をまとめて、授業を受けること。 ・復習：授業の内容の整理をし、理解を深めること。覚えるなど復習を行うこと。 ・授業中：積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 ・授業によっては座席を指定する場合がある。 ・プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習（2時間程度）として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習（2時間程度）として、内容について、再度理解ができているかを確認すること。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	村上
第２回	人間発達学とは	村上
第３回	胎児期・新生児期	村上
第４回	乳児期①世界を知り始める	村上
第５回	乳児期②人との関係の始まり	村上
第６回	幼児期①ことばの獲得	村上
第７回	幼児期②自己と他者	村上
第８回	児童期①思考の始まり	村上
第９回	児童期②社会性の発達	村上
第１０回	青年期①自分らしさへの気づき	村上
第１１回	青年期②人間関係	村上
第１２回	成人前期	村上
第１３回	成人後期	村上

第１４回	老年期	村上	
第１５回	総括	村上	
第１６回	定期試験	村上	
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる発達心理学[第2版]	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦　編	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病理学			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-113		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに
到達目標	病理学は基礎医学の総まとめ、そして臨床医学への入門であり、医療に携わる者にとって、どんな職種であれ必要不可欠な学問である。本講義では学生が、これまで学習した内容を総合して、病気の原因、発生の仕組み、経過、病気が辿る最終的な結末（転帰）といった病気の本態に関する基礎知識を身につけ、臨床医学をさらに理解できることを到達目標とする。
授業概要	病理学総論として、全身の臓器に共通する一般的な原理を講義する。これには細胞の異常、炎症、循環障害、免疫と免疫異常、先天異常、代謝異常、老化、感染症などの項目が挙げられる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科医として病理解剖の実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	試験は必ず行う。講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各1時間半程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	細胞・組織とその障害	高橋
第２回	再生と修復	高橋
第３回	炎症	高橋
第４回	循環障害(1)（浮腫、出血、血栓、ショック）	高橋
第５回	循環障害(2)（動脈硬化）	高橋
第６回	免疫とアレルギー(1)（自然免疫、獲得免疫）	高橋
第７回	免疫とアレルギー(2)（アレルギー疾患、免疫疾患）	高橋
第８回	腫瘍(1)（臨床腫瘍学）	高橋
第９回	分子生物学	高橋
第１０回	腫瘍(2)（腫瘍生物学）	高橋
第１１回	遺伝性疾患、先天異常	高橋
第１２回	新生児の病理、老化と老年病	高橋
第１３回	感染症	高橋
第１４回	環境と栄養	高橋
第１５回	生命の危機、腫瘍3	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書			
教・書籍名１	なるほどなっとく!病理学 plus: 病態形成の機序と各器官の疾病の特徴	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	小林 正伸 (著)	教・ＩＳＢＮ１	978-4525151812

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床心理学			担当者	宇都宮　真輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-114		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：臨床心理学とは、どのような学問であるかについて包括的な理解をしてもらうことが、この授業のテーマである。到達目標：学生が臨床心理学についての基礎的な内容を学習し、応用に向けた知識と実践的な態度を身につけられるようになることである。具体的には、①臨床心理学の発展の背景、基本的事項を理解する、②代表的な心理療法について理解する、③心理アセスメントについて理解する、④代表的な精神疾患の理解と治療について理解する、ことである。
授業概要	臨床心理学の発展の歴史、心理療法、心理アセスメント、精神疾患の理解、臨床の現場などについて紹介する。 臨床心理学についての基礎的な内容を理解し、応用に向けた知識と、実践的な態度を身につけてもらいたい。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、それらを合計して評価する。具体的には、受講態度（授業への積極的な態度）、小テスト・レポート（知識の習得状況を授業の内容が1つ終わるごとにチェックする。レポートはビデオ教材などの理解度チェック）、期末試験（総合的な知識習得状況を把握する）の内容で総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	宇都宮研究室（10号館10204 研究室）にて、金曜日昼休み（12：50～13：20）に実施。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	臨床心理学の歴史	宇都宮
第３回	精神分析学	宇都宮
第４回	精神分析学（事例）	宇都宮
第５回	分析心理学	宇都宮
第６回	分析心理学（事例）	宇都宮
第７回	事例（DVD）	宇都宮
第８回	行動療法	宇都宮
第９回	認知行動療法	宇都宮
第１０回	クライエント中心療法	宇都宮
第１１回	ロジャーズのカウンセリング（DVD）	宇都宮

第１２回	心理アセスメント		宇都宮
第１３回	生涯発達心理学の視点		宇都宮
第１４回	精神障害		宇都宮
第１５回	まとめ		宇都宮
第１６回	期末試験（筆記試験）		宇都宮
教科書			
教・書籍名１	よくわかる臨床心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	下山晴彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05435-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	内科学Ⅰ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-115		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるPT・OTの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	内科診療の実際、呼吸器疾患(1)-症候、検査、治療、呼吸不全	高橋
第２回	呼吸器疾患(2)-感染症、アレルギー疾患	高橋
第３回	呼吸器疾患(3)-気管支喘息、COPD、間質性肺疾患	高橋
第４回	呼吸器疾患(4)-肺癌、肺塞栓、換気・胸膜・縦隔疾患	高橋
第５回	消化管疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第６回	消化管疾患(2)-食道疾患、消化性潰瘍、胃癌	高橋
第７回	消化管疾患(3)-大腸疾患	高橋
第８回	肝・胆・膵疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第９回	肝・胆・膵疾患(2)-肝疾患	高橋
第１０回	肝・胆・膵疾患(3)-胆道・膵疾患	高橋
第１１回	循環器疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１２回	循環器疾患(2)-心不全、弁膜症、先天性心疾患	高橋
第１３回	循環器疾患(3)-虚血性心疾患、心筋症	高橋
第１４回	循環器疾患(4)-不整脈	高橋
第１５回	循環器疾患(5)-高血圧、動脈・静脈疾患	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	なるほどなっとく!内科学 第2版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-20722-9
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	内科学Ⅱ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-116		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるPT・OTの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	代謝性疾患(1)-糖尿病	高橋
第２回	代謝性疾患(2)-脂質異常症、痛風、骨粗鬆症	高橋
第３回	膠原病・アレルギー疾患(1)-治療、アレルギー疾患、関節リウマチ、強皮症	高橋
第４回	膠原病・アレルギー疾患(2)-強直性脊椎炎，SLE、皮膚筋炎、血管炎	高橋
第５回	内分泌疾患(1)-症候、検査、治療、下垂体疾患	高橋
第６回	内分泌疾患(2)-甲状腺・副甲状腺・副腎疾患	高橋
第７回	腎・泌尿器疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第８回	腎・泌尿器疾患(2)-慢性腎臓病、腎不全	高橋
第９回	腎・泌尿器疾患(3)-糸球体腎炎	高橋
第１０回	腎・泌尿器疾患(4)-泌尿器科疾患	高橋
第１１回	血液疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１２回	血液疾患(2)-貧血、白血病	高橋
第１３回	血液疾患(3)-悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患	高橋
第１４回	感染症(1)-症候、検査、治療、ウイルス性疾患	高橋
第１５回	感染症(2)-細菌性疾患、真菌性疾患	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	なるほどなっとく!内科学 第2版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-20722-9
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	整形外科学Ⅰ			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-117		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動器の基礎科学・解剖・生理」、「整形外科疾患の病態、診断、治療、リハビリテーション」をテーマとし、運動器の解剖、生理、さらに整形外科疾患の病態やその治療方法を学び、運動器疾患の専門家として臨床の現場で困らないだけの知識と課題を分析し解決する能力を学生が身につけることが出来る。
授業概要	整形外科疾患の知識は理学療法士・作業療法士にとって不可欠である。この講義では、今までに学修した解剖学・生理学の知識を踏まえ、整形外科疾患の病態を理解し、診断方法を学び、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。病態や治療法を理解する上で重要な基本的・普遍的なポイントをおさえつつ、随時最新の知見を取り入れて講義する。また、実際の症例を多くの画像を用いて紹介し、臨床の現場で必要となる科学的根拠に基づいた判断力・思考力も養えるようにする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で、あるいはオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	整形外科学は、1年時に学習する解剖学・生理学の知識がないと正確に理解することができない。授業開始までにこれらの科目を確実に復習しておくこと。 講義は教科書とスライドを併用して行う。教科書は必ず用意すること。スライド内容は紙媒体と電子媒体双方で配布する。講義に集中すること。特段の事情のない睡眠・遅刻は厳禁。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、整形外科医である教員が、その経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、教科書の次回の授業範囲を読み、練習問題を解くまでは最低限行うこと。また、予習の際に解剖学や生理学の知識が不確かであると自覚したら、当該分野の復習も確実に行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返し、さらに授業で扱った範囲に関連する国家試験の問題を解くとよい。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	骨疾患①（骨の構造・骨折）	森
第２回	骨疾患②（病的骨折：骨粗鬆症・病的骨折・疲労骨折）	森
第３回	骨疾患③（骨折の治療）	森
第４回	骨疾患④（偽関節と骨壊死）	森
第５回	骨疾患⑤（骨折各論）	森
第６回	変形性関節症①（総論・変形性膝関節症）	森
第７回	変形性関節症②（変形性股関節症・その他の変形性関節症）	森
第８回	関節リウマチ①（病態・評価）	森
第９回	関節リウマチ②（画像診断・治療）	森
第１０回	関節リウマチ③（合併症・関節リウマチ類縁疾患）	森
第１１回	軟骨・関節の疾患①（脱臼・半月板損傷）	森
第１２回	軟骨・関節の疾患②（結晶誘発性関節炎・外反母趾・軟骨性腫瘍・ガングリオン）	森
第１３回	靭帯の外傷・疾患（足関節捻挫・前十字靭帯損傷・ゲームキーパー母指・腸脛靭帯炎）	森

第１４回	腱の外傷（アキレス腱断裂・槌指・指屈筋腱損傷・上腕二頭筋腱断裂）		森
第１５回	腱の疾患（ばね指・ドゥケルバン病・上腕骨外側上顆炎・肩関節周囲炎・石灰沈着性腱板炎・Dupuytren拘縮）		森
第１６回	単位認定試験		森
教科書			
教・書籍名１	はじめての講義 リハビリテーションのための整形外科学の歩き方	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修：田中　栄 著：　仲村　一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-23737-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	標準整形外科学　第14版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	編集：井樋 栄二 、吉川 秀樹、津村 弘、田中 栄、高木 理彰	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03880-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	整形外科学Ⅱ			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-118		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動器の基礎科学・解剖・生理」、「整形外科疾患の病態、診断、治療、リハビリテーション」をテーマとし、運動器の解剖、生理、さらに整形外科疾患の病態やその治療方法を学び、運動器疾患の専門家として臨床の現場で困らないだけの知識と課題を分析し解決する能力を学生が身につけることが出来る。
授業概要	整形外科疾患の知識は理学療法士・作業療法士にとって不可欠である。この講義では、今までに学修した解剖学・生理学の知識を踏まえ、整形外科疾患の病態を理解し、診断方法を学び、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。病態や治療法を理解する上で重要な基本的・普遍的なポイントをおさえつつ、随時最新の知見を取り入れて講義する。また、実際の症例を多くの画像を用いて紹介し、臨床の現場で必要となる科学的根拠に基づいた判断力・思考力も養えるようにする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で、あるいはオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	整形外科学は、1年時に学習する解剖学・生理学の知識がないと正確に理解することができない。授業開始までにこれらの科目を確実に復習しておくこと。 講義は教科書とスライドを併用して行う。教科書は必ず用意すること。スライド内容は紙媒体と電子媒体双方で配布する。講義に集中すること。特段の事情のない睡眠・遅刻は厳禁。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、整形外科医である教員が、その経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、教科書の次回の授業範囲を読み、練習問題を解くまでは最低限行うこと。また、予習の際に解剖学や生理学の知識が不確かであると自覚したら、当該分野の復習も確実に行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返し、さらに授業で扱った範囲に関連する国家試験の問題を解くとよい。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

授業計画		担当者
第１回	筋肉の外傷・疾患（肉離れ・コンパートメント症候群・サルコペニアとフレイル）	森
第２回	絞扼性神経障害①（総論・尺骨神経麻痺・正中神経麻痺）	森
第３回	絞扼性神経障害②（橈骨神経麻痺・総腓骨神経麻痺・その他の絞扼性末梢神経障害・CRPS）	森
第４回	神経根の障害①（腕神経叢・頚椎神経根の疾患）	森
第５回	神経根の障害②（腰仙神経叢・腰椎神経根の疾患・馬尾神経の疾患）	森
第６回	脊髄疾患①（脊髄障害の病態・頚椎症性脊髄症）	森
第７回	脊髄疾患②（脊椎・脊髄損傷）	森
第８回	小児整形外科①（小児整形外科総論・小児の骨折）	森
第９回	小児整形外科②（骨端症）	森
第１０回	小児整形外科③（骨系統疾患・くる病）	森
第１１回	小児整形外科④（小児の関節疾患）	森
第１２回	小児整形外科⑤（小児の筋疾患・小児の神経疾患）	森
第１３回	切断（疫学・手術・切断端の管理・幻肢痛・小児の切断）	森

第１４回	部位から診る運動器疾患①（頚部痛・肩痛・肘痛・手関節痛）		森
第１５回	部位から診る運動器疾患②（手指の痛み・腰痛・股関節痛・膝痛）		森
第１６回	単位認定試験		森
教科書			
教・書籍名１	はじめての講義 リハビリテーションのための整形外科学の歩き方	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修：田中　栄 著：　仲村　一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-23737-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	標準整形外科学　第14版	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	編集：井樋 栄二 、吉川 秀樹、津村 弘、田中 栄、高木 理彰	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03880-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床神経学			担当者	中角　祐治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-119		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	この授業のテーマは、各種の神経疾患の臨床像の理解であり、神経疾患に関する国家試験問題に対応できるレベルの知識の習得を到達目標とする。 このレベルは実際の医療現場で患者を担当するのに必要な最低限度の知識でもある。
授業概要	神経系に関係する血管障害、変性疾患、外傷、腫瘍、感染症、中毒、機能性疾患について講義する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	毎回の授業の最後に行う小テスト25%、中間試験25%、期末試験50%とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の授業の最後に行う小テストについて次回の授業の最初に解説する。 中間試験は４５分間で、残りの４５分で問題の解説をする。
履修条件・注意事項	神経疾患を理解するためには、正常な解剖・生理と病態生理・症候学の知識を有していることが必要です。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員は、東京都都立神経病院神経内科、アイオワ大学Neurology等での勤務経験があります。
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習に各２時間を要す。配布資料を中心に取り組んで下さい。
オフィスアワー	水曜３限、６号館４階、６４１１研究室

	授業計画	担当者
第１回	神経・筋の解剖・生理	中角
第２回	症候学・診断学；脳神経領域	中角
第３回	症候学・診断学；運動系	中角
第４回	症候学・診断学；感覚系	中角
第５回	症候学・診断学；自律神経系	中角
第６回	症候学・診断学；高次脳機能	中角
第７回	脳血管障害；総論	中角
第８回	中間試験と１－７回の授業のまとめ	中角
第９回	脳血管障害；各論	中角
第１０回	変性疾患１ パーキンソン病、脊髄小脳変性症	中角
第１１回	変性疾患２　筋萎縮性側索硬化症	中角
第１２回	脱髄疾患	中角
第１３回	筋疾患	中角
第１４回	腫瘍、感染症	中角
第１５回	先天性疾患、機能性疾患	中角
第１６回	期末試験	中角

教科書			
教・書籍名１	なし（配布資料を教科書代わりに用いて下さい。）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	神経内科学テキスト	参・出版社名１	南江堂

参・著者名１	江藤文夫	参・ＩＳＢＮ１	978-524-26215-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児科学			担当者	赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-120		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児期の各期（新生児、乳児、学童、思春期）においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。
授業概要	１．小児各期のおける成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 ２．循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 ３．消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 ４．血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 ５．腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 ６．神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 ７．発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	ミニテスト30％、定期試験70％に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ミニテストや課題等については、授業中にフィードバックする。
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。 授業前には必ず予習し、授業終了後はノートを整理すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、長年、小児科医としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、理学療法士・作業療法士として必要とされる小児に関する知識や能力について講義し、理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	学習した内容をその日のうちにまとめること。特に疑問やわからなかった点をチエックして調べておくこと。概ね1時間以上自己学習をすること。
オフィスアワー	火曜日1限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	小児期の特徴と内容	赤在
第２回	成長と発達（胎児）	赤在
第３回	成長と発達（新生児期）	赤在
第４回	乳幼児期の栄養	赤在
第５回	診断と治療における特性	赤在
第６回	新生学	赤在
第７回	新生児期の病気	赤在
第８回	感染症	赤在
第９回	神経疾患	赤在
第１０回	神経疾患（痙攣性疾患など）	赤在
第１１回	神経筋難病	赤在
第１２回	腎・泌尿器疾患	赤在
第１３回	発達障害（発達遅滞、重症心身障害）	赤在
第１４回	発達障害（ADHD、多動など）	赤在
第１５回	小児疾患とリハビリ	赤在

第１６回	定期試験		赤在
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学 小児科学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナースとコメディカルのための小児科学	参・出版社名１	日本小児医事出版
参・著者名１	奈良勲　他	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神医学Ⅰ			担当者	森信　繁		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-121		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義・課題学習・発表
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：精神障害を理解する 到達目標：理学療法士として必要な精神障害についての下記の知識を、学生が身につけられる。 １．精神医学の基礎的事項・総説的事項を理解できる。 ２．代表的な精神障害について、概念、成因、疫学、症状、検査、治療などについて理解できる。 ３．精神障害特性を理解し、リハビリテーションにかかわる際の基本的態度を学べる。 ４．精神医学の歴史的な背景を理解できる。 ５．精神医療保健福祉関連の法律の概要を理解できる。
授業概要	リハビリテーションに関わる者にとって、「人の理解」「こころの理解」は不可欠です。精神の障害をもった人を理解し、接し方やリハビリテーションの方法について学ぶことは、精神障害のみでなく、身体障害や知的障害など他の障害者に接する際にも必要です。具体的イメージを持ちやすいようにビデオなどを活用する他、授業中に適宜症例提示を行い診断や治療法を議論するなど、精神障害への理解を深めるようにすると同時に、評価にも反映します。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「精神障害を理解する。」の到達度について、知識　および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（８０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題へのレポートや発表のスライド原稿にコメントを記載して、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	国家試験への対処も考慮しながら、講義を行う。 毎回プリントを配布するので、ファイリングを工夫すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目では、精神科専門医・精神保健指定医としての実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、各事業計画について事前に1時間ほど教科書を読み、疑問点をまとめて授業を受けること。 復習としては、授業終了ごとに2時間ほど、配布資料の脚注やノートに重要事項をまとめて理解すること。
オフィスアワー	木曜２限、６号館４階6401研究室

	授業計画	担当者
第１回	精神医学総論 （精神障害の成因と分類）	森信　繁
第２回	精神医学総論 （精神症状と診断）	森信　繁
第３回	精神医学総論 （薬物治療学）	森信　繁
第４回	精神医学総論	森信　繁

	（心理療法）	
第５回	精神医学総論 （脳画像検査）	森信　繁
第６回	精神医学総論 （心理検査）	森信　繁
第７回	統合失調症及び関連障害 （臨床症状と診断）	森信　繁
第８回	統合失調症及び関連障害 （薬物治療・心理療法・リハビリテーション）	森信　繁
第９回	うつ病及び関連障害 （臨床症状と診断）	森信　繁
第１０回	うつ病及び関連障害 （薬物治療・認知行動療法）	森信　繁
第１１回	双極性障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１２回	自殺の実態と予防	森信　繁
第１３回	不安障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１４回	強迫性障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１５回	外傷後ストレス障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１６回	身体表現性障害 解離性転換性障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第１７回	パーソナリティー障害	森信　繁
第１８回	パーソナリティーの形成メカニズム	森信　繁
第１９回	摂食障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第２０回	精神分析学	森信　繁
第２１回	睡眠障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第２２回	てんかん （臨床症状・診断・治療）	森信　繁
第２３回	認知量及び関連障害 （臨床症状と診断）	森信　繁
第２４回	認知症及び関連障害 （治療とケア）	森信　繁
第２５回	器質性精神障害と症状性精神障害	森信　繁
第２６回	物質関連障害 （臨床症状・診断・治療）	森信　繁

第２７回	自閉性スペクトラム障害	森信　繁
第２８回	注意欠損多動性障害とチック症	森信　繁
第２９回	精神腫瘍学と緩和ケア	森信　繁
第３０回	精神保健福祉法	森信　繁
第３１回	ケースカンファレンス	森信　繁
第３２回	テスト	森信　繁

教科書			
教・書籍名１	臨床につながる精神医学　理学療法・作業療法専門基礎分野	教・出版社名１	医師薬出版株式会社
教・著者名１	渡辺　雅幸　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21948-5 C3047
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床薬理学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-122		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、薬物の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について学ぶことができる。学生は、薬物に対する生体の反応についての基礎的知識を習得することができる。すなわち、学生は薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗菌剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬等の作用機序、有害作用、臨床応用等について習得することができる。
授業概要	医薬品の薬理作用についての知識は医療に携わる者にとっては、必須なものである。従って、薬物の最新の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について教授する。さらに、「薬物に対する生体の反応」についての基礎的知識を身につけさせる。薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗生剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、消化性潰瘍治療薬の作用機序と臨床応用、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬、糖尿病治療薬等の長期間投与薬物の作用機序、有害作用、臨床応用について学ぶ。この科目は、医療現場において実務経験のある薬剤師である教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

	授業計画	担当者
第１回	薬理学の概念・薬理作用	長町
第２回	薬効に影響を及ぼす要因・薬の有害作用	長町
第３回	3.薬の適用・各種製剤と処方箋・処方の実際	長町
第４回	抗生物質各論・合成化学療法薬	長町
第５回	がんの化学療法・免疫抑制薬・消毒薬その他	長町
第６回	交感神経作用薬・副交感神経作用薬その他	長町
第７回	全身麻酔薬・催眠薬・抗精神病薬その他	長町
第８回	抗うつ薬・抗てんかん薬・麻薬性鎮痛薬その他	長町
第９回	アレルギーと抗ヒスタミン薬・炎症と抗炎症薬	長町
第１０回	強心薬・狭心症治療薬・抗不整脈薬	長町
第１１回	抗高血圧薬	長町
第１２回	血管拡張薬・利尿薬その他	長町
第１３回	呼吸器系薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳薬他）	長町
第１４回	消化器系薬物（胃・十二指腸潰瘍薬他）	長町
第１５回	物質代謝に作用する薬物（糖尿病治療薬他）	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　薬理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	大鹿英世、吉岡充弘、井関　健著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-26-004716-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	今日の治療薬	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	浦部晶夫、島田和幸、川合眞一編集	参・ＩＳＢＮ１	978-4-524-22657-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生学			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-123		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマは公衆衛生である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標は公衆衛生の視点が身に付くことである。
授業概要	公衆衛生活動では 疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度・社会的取り組みや技術がある。この科目では 公衆衛生の総論的、基礎的な考えかたを種々の例を用いて学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（５０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（５０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、その内容を評価に反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時に講義内容に加えてフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	期末試験では、配布資料、自作のまとめ（自作に限る、他人のコピーは不可）は持ち込み可とする。再試はしない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、授業内容の背景理解や整理のためには参考資料などで補う必要がある。参考図書を紹介している。
オフィスアワー	6号館4 6424研究室にて 毎週水曜2限 教授会がある日を除く または木曜 限を オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	社会と健康	中瀬克己
第２回	食のイメージマッピング	中瀬克己
第３回	公衆衛生を担う機関	中瀬克己
第４回	行動経済学	中瀬克己
第５回	ソーシャルキャピタルとヘルスプロモーション	中瀬克己
第６回	環境保健	中瀬克己
第７回	医療政策	中瀬克己
第８回	産業保健	中瀬克己
第９回	ストレスチェック	中瀬克己
第１０回	口腔保健	中瀬克己
第１１回	災害保健	中瀬克己
第１２回	身近な感染症と耐性菌	中瀬克己
第１３回	食品安全と食中毒	中瀬克己
第１４回	感染症危機管理	中瀬克己
第１５回	疫学	中瀬克己

第１６回	筆記試験	中瀬克己	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所　編	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床栄養学			担当者	産本　敦子		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-124		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生が健康と栄養との関わりについて理解し、望ましい食生活のあり方について考えることをテーマとし、自らの食生活を見直し、問題点を探り、改善できる能力を身につけることができる。 到達目標として ①学生が栄養素の体内での働きについて理解できる。 ②学生が健康保持・増進のために、何を、どれだけ、どのように食べればよいのかを理解できる。 ③学生が疾病と栄養の関係について学び、疾病予防・治療・増悪化防止のための栄養食事療法について理解できる。
授業概要	栄養素の機能や食品の特性を理解するとともに、体内での消化・吸収・代謝について基礎的な知識を習得し、食生活に関心を持ち、食生活と健康について考える。 さらに、さまざまなライフステージにある人の健康の保持・増進と疾病予防や治療のための食生活のあり方について考える。また、各種病態別の栄養食事療法についても学習することにより、理学療法士として患者の栄養指導への理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	健康と栄養の関わりを理解し、望ましい食生活のあり方を考え、実践する能力を身につけることを目的とし、知識の習得の程度を確認するための毎回の小テスト（30%）、定期試験（50%）、自らの食生活の問題点を探り、改善方法を考えるためのレポート（20%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回実施する小テストは、採点して次回の授業で返却し、解説する。レポートは授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業時に講義内容、資料等のプリントを配布するので、ファイルまたはノートを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回、前回の授業内容について小テストを行うので、復習しておくこと。予習には1時間程度、復習には２時間程度を要すること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	健康と栄養	産本
第２回	栄養素の種類と機能① 糖質、脂質	産本
第３回	栄養素の種類と機能② タンパク質、ビタミン	産本
第４回	栄養素の種類と機能③ ミネラル、食物繊維、水	産本
第５回	食品と栄養	産本
第６回	栄養素の消化・吸収	産本
第７回	栄養素の体内代謝	産本
第８回	エネルギー代謝	産本
第９回	日本人の食事摂取基準	産本

第１０回	ライフステージと栄養① 乳児期～成人期	産本
第１１回	ライフステージと栄養② 妊娠期、更年期～高齢期	産本
第１２回	臨床栄養① 循環器疾患患者の食事療法	産本
第１３回	臨床栄養② 消化器疾患患者の食事療法	産本
第１４回	臨床栄養③ 栄養・代謝疾患患者の食事療法	産本
第１５回	臨床栄養④ その他の疾患患者の食事療法	産本
第１６回	定期試験	産本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　栄養学	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	小野貴史ら	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-01993-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	一般臨床医学	担当者	服部　俊夫、高橋　淳、森　芳史、赤在あゆみ
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-125

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	PTやOTにおいて、近年医療が急速に進歩する中で、専門分野以外の外科・産婦人科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科等について、基本的な初期医療（プライマリーケア）に対応する能力の重要性が指摘されている。本講義では、学生がそれらの基本的な考え方、知識を習得し、初期対応できるようになることを到達目標とする。
授業概要	複数の教員によるオムニバス形式の講義で、別途、授業科目である内科学・整形外科学等を除く臨床分野で、日常多く見られる各種疾患の初期診療に必要な要点を理解できるようにする。そのほか、救急医学や近年注目されている最先端医学についても紹介したい。これらの知識を深めておくことは、理学療法や作業療法を行っていくための基礎的能力を高める上で重要と考える。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書の該当箇所を予め読んでおく予習と、講義で教わった内容を再確認する復習を前提にして授業を進める。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	高橋：個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。 服部：個人研究室にて、水曜日の3時限目に実施。 森：個人研究室（6412）にて、火曜日の5限目と水曜日の5時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	救命救急医療(1) – 心肺蘇生法、ショック、呼吸管理	高橋
第２回	救命救急医療(2) – 中心静脈栄養、輸血、救急処置	高橋
第３回	外科的救急疾患	高橋
第４回	外科総論	森
第５回	皮膚科疾患(1) – 解剖・生理、症状・病態生理、皮膚炎など	服部
第６回	皮膚科疾患(2) – 皮膚感染症、皮膚腫瘍など	服部
第７回	泌尿器/生殖器疾患	服部
第８回	婦人科・産科疾患(1) – 解剖、受精・着床、正常妊娠と分娩	森
第９回	婦人科・産科疾患(2) – 妊娠の異常、婦人科疾患	森
第１０回	婦人科・産科疾患(3) – 婦人科腫瘍、性感染症	森
第１１回	眼科疾患	高橋
第１２回	耳鼻・咽喉科疾患(1) – 耳疾患	赤在
第１３回	耳鼻・咽喉科疾患(2) – 鼻疾患、咽喉頭疾患	赤在
第１４回	老年医学	高橋

第１５回	悪性腫瘍の緊急症		高橋
第１６回	試験		高橋
教科書			
教・書籍名１	PT・OT・STのための一般臨床医学　第3版	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	椿原 彰夫 (編集), 平岡 崇 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4263219324
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	救急救命医学			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-126		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「応急処置の基本と各場面における応急処置の実際」、「微生物学の基礎に基づく滅菌・消毒知識とその応用」をテーマとし、心肺蘇生術や理学療法士・作業療法士として実際の臨床現場で遭遇しうる救急疾患の病態、対処方法、感染症の基礎的知識および予防法について知り、理解すると共に、学生が臨床現場で応急処置の必要な患者に遭遇したとき困らないだけの実践力を身につけることが出来る。
授業概要	医療、福祉の現場では、被施療者が思わぬケガをする場合や、合併症により重篤な状態に陥ることがあり得る。その現場に居合わせた場合、応急処置をすることは医療従事者の義務である。また、被施療者が何らかの感染症を有している場合があり、被施療者同士間の感染防止や施療者自身の身を守ることが必要となる。この講義の前半は応急処置の基本的手技を講義と実技指導により身につけることを目標として行う。後半は感染症の基礎を学び、医療の現場における滅菌・消毒の知識の実際を習得し、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度と定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	教科書とスライドを用いて講義する。確実で正確な知識を身につけることが重要なので、自分で予習・復習を行う必要がある。そのために、必ず教科書を用意すること。また、重要な技術を確実に習得してもらうため、トレーニング用モデルを用いた実習を行う。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床医として救急医療の経験のある教員が、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、次回の授業内容について教科書の該当範囲を読むことで行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返して行うこと。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	一次救命処置（講義）	森
第２回	一次救命処置（実技）	森
第３回	呼吸器系の障害（講義）	森
第４回	呼吸器系の障害（実技）	森
第５回	創傷・熱傷	森
第６回	感染症総論	森
第７回	感染症各論①	森
第８回	感染症各論② / 単位認定試験	森
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	改訂5版 救急蘇生法の指針2015 医療従事者用	教・出版社名１	へるす出版
教・著者名１	監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89269-895-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保健医療福祉概論	担当者	松原　浩一郎、岩田　美幸、田中　富子、中角　祐治、井上　茂樹、服部　俊夫、竹﨑　和子、森信　繁、中瀬　克己、福岡　美和、高橋　淳、赤澤　真旗子、石田　敦
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年	ナンバリング	HS-PT-1-127

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、国民が安心して生活していくために重要な「社会保障」について、保健医療福祉の専門職が協力して遂行していることを理解することである。 到達目標は、各学科の学生が、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの仕事内容が理解できること、そして医療福祉施設の現状を知り、多職種連携のありかたについて理解を深めることである。
授業概要	医療技術の進歩により、これまで治せなかった疾病が治せるようになっている反面、高齢化の進展により、医療だけでは解決できない問題が増えている。これらの状況に対応をするためには、多職種連携が必要である。 授業では、医師、看護師、保健師、助産師、理学・作業療法士、社会福祉士、介護支援専門員の資格を有し、実務経験のある教員が順に講師となり、それぞれの経験に基づき、日本の保健医療福祉の現状を説明する。学生は、それぞれの仕事内容を理解し、チームアプローチできるようになる。 ＊実務経験のある教員による授業科目 この科目では、医学・看護学・リハビリテーション医学・社会保健福祉学などの領域の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	レポートで評価する。レポートのテーマは保健医療福祉に関することとし、各自が自分で設定する。そして、関連する文献を３つ以上読み、それらの要約と自分の考えを千字程度にまとめる。具体的な書き方と評価基準の詳細は、最初の授業時間に提示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	他職種の話しを聞ける絶好の機会なので、積極的に授業に参加してもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	保健医療福祉の現場にチームの一員として参加している自分を思い描いてほしい。また、チームの一員になるためにこれから学習していくべきことを整理してほしい。講義の内容に合わせて終了時に，課題を提示する．課題について予習・復習に２時間を要す。
オフィスアワー	木曜２限、６号館４階6401研究室

授業計画		担当者
第１回	メンタルヘルスと多職種連携	森信
第２回	国際保健について	服部
第３回	医療の歴史と仕事内容	中角
第４回	看護師の仕事内容	竹崎
第５回	保健師の仕事内容	田中

第６回	助産師の仕事内容	福岡
第７回	理学療法士の仕事内容	井上
第８回	作業療法士の歴史と仕事内容	岩田
第９回	福祉職の歴史と仕事内容	松原
第１０回	日本の福祉制度と実際の取り組み	石田
第１１回	在宅支援の連携ネットワーク	外部講師
第１２回	保健所の役割と業務	中瀬
第１３回	学校保健と養護教諭の仕事内容	赤澤
第１４回	医療崩壊	高橋
第１５回	介護・福祉施設の現状	外部講師（村上）
第１６回	レポート試験	森信

教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	リハビリテーション概論			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-128		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は４年間にわたり理学療法士になるための教育を受ける上で基本となるリハビリテーションの歴史、理念を身につけることができる。その上で、秋学期の「リハビリテーション医学」を学ぶための基礎的知識を身につけることができる。学生は大学で学ぶべき内容の概観を得ることができる。
授業概要	リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成12 年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。障害者スポーツの意義についても講義を行う。 リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	定期試験（80%）を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容（20%）にて総合的に判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	春学期のリハビリテーション概論と秋学期のリハビリテーション医学の履修において各自がポートフォリオを作成することを義務づける。これは学習をより確かなものにしてこれからの専門的学習の基礎を作るためである。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医師（日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「リハビリテーション医学テキスト」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	リハビリテーションとは	河村顕治
第２回	障害のとらえかた	河村顕治
第３回	リハビリテーション医学の歴史	河村顕治
第４回	リハビリテーション医学の実際	河村顕治
第５回	機能障害の評価（ＲＯＭ）	河村顕治
第６回	機能障害の評価（ＭＭＴ）	河村顕治
第７回	活動の評価（ＡＤＬ）	河村顕治
第８回	QOLの評価	河村顕治
第９回	理学療法	河村顕治
第１０回	作業療法	河村顕治
第１１回	言語聴覚療法	河村顕治
第１２回	補装具・自助具	河村顕治

第１３回	社会保障体制	河村顕治	
第１４回	公的介護保険制度と地域リハ	河村顕治	
第１５回	スポーツとリハビリテーション	河村顕治	
第１６回	単位認定試験	河村顕治	
教科書			
教・書籍名１	リハビリテーション医学　第1版	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	安保雅博／監、渡邉　修、松田雅弘／編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0231-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	リハビリテーション医学			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-129		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	春学期で学習した「リハビリテーション概論」の基礎知識を基に、２年次以降開講される専門科目をスムーズに学習できるリハビリテーションに関わる基礎知識を身につけることを目標とする。学生はリハビリテーションの対象となる主たる疾患の知識を身につけることができる
授業概要	リハビリテーション医学の概念と各障害に対するリハビリテーション医学の基本的原則を教授する。 臨床医学の各科が個々の臓器や器官を対象とするのに対し、リハビリテーション医学は人間の行動能力全体を対象とする際だった特徴がある。障害の実体を科学的に捉え、合理的な解決を決めるための基礎を学ぶ。 各疾患についての理解を深めるために臨床現場の写真・動画を多用する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	定期試験（80%）を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容（20%）にて総合的に判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	春学期のリハビリテーション概論と秋学期のリハビリテーション医学の履修において各自がポートフォリオを作成することを義務づける。これは学習をより確かなものにしてこれからの専門的学習の基礎を作るためである。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師（日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「リハビリテーション医学テキスト」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	脳血管障害（脳卒中）	河村顕治
第２回	脊髄損傷	河村顕治
第３回	神経・筋疾患	河村顕治
第４回	骨・関節疾患	河村顕治
第５回	小児疾患	河村顕治
第６回	末梢神経障害	河村顕治
第７回	切断	河村顕治
第８回	高齢者	河村顕治
第９回	試験	河村顕治
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	リハビリテーション医学　第1版	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	安保雅博／監、渡邉　修、松田雅弘／編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0231-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年学			担当者	服部　俊夫		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年			ナンバリング	HS-PT-3-130		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	16時間	授業形態	講義と学生発表。
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	健康と福祉及び環境保全
授業概要	高齢化が進む社会への医療を学ぶ
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	SDGｓのテーマを選択し、調査発表　筆記試験 (60%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	こまめにテストを行い、学習度を確認する
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当する　内容　東北大学病院で、感染症の高齢者の診療を行った。
事前学習・事後学習とその時間	SDGsの興味あるテーマを学習し、発表する。予習・復習は各１時間程度行うこと。
オフィスアワー	毎週水曜日　10時から11時　6408号室

	授業計画	担当者
第１回	老年学高齢者に特有な症候　SDGsの紹介	服部俊夫
第２回	高齢者の循環器疾患　　学生のグループ分け	服部俊夫
第３回	高齢者の呼吸器疾患　　グループ討議	服部俊夫
第４回	高齢者の臨床検査と栄養　　グループ討議	服部俊夫
第５回	介護保険制度と医療制度　グループ討議	服部俊夫
第６回	高齢者のリハビリテーション　グループ討議	服部俊夫
第７回	高梁市在宅医療連携拠点事業推進協議会の活動	仲田永造
第８回	高齢者の血液疾患　グループ討議	服部俊夫
第９回	高齢者の精神・神経疾患　グループ討議	服部俊夫
第１０回	高齢者の腎・内分泌疾患　グループ討議	服部俊夫
第１１回	高齢者の運動器疾患　グループ討議	服部俊夫
第１２回	高齢者の感染症　グループ討議	服部俊夫
第１３回	人間の安全保障とSDGs　グループ討議	院外講師
第１４回	グループ発表	服部俊夫
第１５回	グループ発表	服部俊夫
第１６回	筆記試験	服部俊夫

教科書			
教・書籍名１	改訂版 健康長寿診療ハンドブック	教・出版社名１	社団法人　日本老年医学会 ISBN978-4-7583-0475-7
教・著者名１	ISBN978-4-7583-0495-5	教・ＩＳＢＮ１	老年医学テキスト 改訂第3版
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	医療データオペレーションⅠ Aクラス			担当者	吉長　裕司		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-131		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，思考の外化・整理の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において必要となる，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を，講義と演習の形式で学習する。① ワープロソフトを思考の外化・整理のための道具として活用することを学ぶ。そのために必要なキーボードリテラシーを習得する。これらは大学でのレポート作成，病院での電子カルテ入力などで必要になる。② ワープロ・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	秋学期の医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス，タイピング練習（上・中・下段）	吉長
第２回	タイピング練習（上・中・下段，日本語）	吉長
第３回	タイピング練習（日本語），フォルダ作成（情報整理），ワープロによる思考の外化	吉長
第４回	タイピング記録開始，ワープロによる思考の外化・整理	吉長
第５回	レポート作成の基礎	吉長
第６回	レポート作成に役立つワープロ機能	吉長
第７回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第８回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第９回	プレゼン資料作成の基礎①	吉長
第１０回	プレゼン資料作成の基礎②、発表技法の基礎	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長	
第１３回	課題発表	吉長	
第１４回	課題発表	吉長	
第１５回	課題発表，授業の総括	吉長	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データオペレーションⅠ Bクラス			担当者	吉長　裕司		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-131		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，思考の外化・整理の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において必要となる，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を，講義と演習の形式で学習する。① ワープロソフトを思考の外化・整理のための道具として活用することを学ぶ。そのために必要なキーボードリテラシーを習得する。これらは大学でのレポート作成，病院での電子カルテ入力などで必要になる。② ワープロ・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	秋学期の医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス，タイピング練習（上・中・下段）	吉長
第２回	タイピング練習（上・中・下段，日本語）	吉長
第３回	タイピング練習（日本語），フォルダ作成（情報整理），ワープロによる思考の外化	吉長
第４回	タイピング記録開始，ワープロによる思考の外化・整理	吉長
第５回	レポート作成の基礎	吉長
第６回	レポート作成に役立つワープロ機能	吉長
第７回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第８回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第９回	プレゼン資料作成の基礎①	吉長
第１０回	プレゼン資料作成の基礎②、発表技法の基礎	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長	
第１３回	課題発表	吉長	
第１４回	課題発表	吉長	
第１５回	課題発表，授業の総括	吉長	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データオペレーションⅡ 理学B	担当者	吉長　裕司
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年	ナンバリング	HS-PT-1-132

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，データ分析の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を講義と演習の形式で学習する。① 表計算ソフトをデータ分析の道具として活用することを学ぶ。その前提となる統計学の基礎も学習する。② 表計算・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス，データ分析演習①（データ入力）	吉長
第２回	データ分析演習②（1変量の要約）	吉長
第３回	データ分析演習③（1変量の要約）	吉長
第４回	データ分析演習④（2変量の関係）	吉長
第５回	データ分析演習⑤（2変量の関係）	吉長
第６回	データ分析演習⑥（2変量の関係）	吉長
第７回	伝わる表の作成	吉長
第８回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第９回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第１０回	異なるアプリ間のデータ利用	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長
第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１３回	課題発表		吉長
第１４回	課題発表		吉長
第１５回	課題発表，授業の総括		吉長
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データオペレーションⅡ 理学Ａ	担当者	吉長　裕司
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 1年	ナンバリング	HS-PT-1-132

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

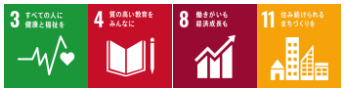
ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，データ分析の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を講義と演習の形式で学習する。① 表計算ソフトをデータ分析の道具として活用することを学ぶ。その前提となる統計学の基礎も学習する。② 表計算・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	PBL／プレゼンテーション
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，2回の課題演習と1回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	医療データオペレーションⅡを履修する学生は，春学期の医療データオペレーションⅠを必ず履修しておくこと。 毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス，データ分析演習①（データ入力）	吉長
第２回	データ分析演習②（1変量の要約）	吉長
第３回	データ分析演習③（1変量の要約）	吉長
第４回	データ分析演習④（2変量の関係）	吉長
第５回	データ分析演習⑤（2変量の関係）	吉長
第６回	データ分析演習⑥（2変量の関係）	吉長
第７回	伝わる表の作成	吉長
第８回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第９回	課題演習①（データ分析と考察）	吉長
第１０回	異なるアプリ間のデータ利用	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長
第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１３回	課題発表		吉長
第１４回	課題発表		吉長
第１５回	課題発表，授業の総括		吉長
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	医療データ解析演習			担当者	佐野　英夫		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-133		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを 
到達目標	・学生が在学中及び卒業後に調査・研究や実務を進める上で必要となる、「医療の実地に役立つデータ解析」をテーマとし、表計算ソフト(Excel)を用いてデータ集計から分析・統計解析、更にその活用ができるようになる。
授業概要	・１年次に情報処理や医療データオペレーションの各科目で学んだことを基礎にして、さまざまな臨床データを集計・分析し、さらにその結果を実際の業務に活かしていく考え方や方法についても考察し発展させる。 ・このような科学的処理には、表計算ソフト(Excel)の集計・分析機能および各種の関数群が有効なので、それらの機能の使用法を実際の臨床データを随時用いながら徹底的に学んでいく。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	・発言やディスカッション、演習課題提出等の授業への積極的な参加態度４０％、中間課題２０％・期末課題４０％の提出内容により総合評価する。なお課題は、中間・期末の他に毎回授業で提示するのでこれを提出する。またこの科目は再試験を行わないので十分留意すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	・各回授業で提出された各学生の課題の内容について、次回授業の冒頭でコメント、評価を説明し、理解不足の点をフィードバックする。 ・第7回での中間課題については提出締め切り時刻後に解答例を示し、各自に自己採点させる。また第8回授業の冒頭で各解答内容について総合評価、解説を行う。この時点で、学習不足の学生に対し、後半授業・期末課題に向けて奮起を促す。 ・第16回での期末課題については提出締め切り時刻後に解答例を示し、各自に自己採点させる。
履修条件・注意事項	・表計算ソフト(Excel)の基本操作を既に習得しており、更に、データ解析を実際に体験する演習では分からないところは自分でテキストや資料を調べ主体的に考える姿勢を持った学生を履修対象とする。 ・各回の授業内容や教材は、学内Web (UNIVERSAL PASSPORT、以下UniPaという)に掲載するので、これをダウンロードして予習、復習を充分に行うこと。また、課題の提示や、学生からの提出（中間・期末課題や毎回の演習課題）なども、このUniPaを使用する。この授業はＰＣ上での演習を前提とする。 ・各回の授業で各自が入力作成したデータは、USBメモリに保管し次回以降も継続して使用する。 ・教科書「完全マスターExcel2016」と、USBメモリ（手持ちのもので可）は、初回から準備し必ず持参すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：企業内での経営企画・経理計数部門や企業内システムの開発・運用、データ解析の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、在学中および卒業後の現場で実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、毎回の授業の数日前にはそれぞれの授業でのシナリオをUniPaに掲載するのでそれをダウンロードし、教科書の関連する部分を読むなどして理解しにくい点をまとめておいて、授業を受けること。 ・復習として、毎回の授業で分からない点がないか確認して確実に理解すること。 ・予習、復習にはそれぞれ2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後に、7号館情報処理室にて

	授業計画	担当者
第１回	１．血圧構成比率のグラフを作る　(1) ～(7)	佐野英夫

	(1) 血圧値データを正確に入力し、 クリーンにする	
第２回	(2) 計算式を使って表を作成し、 異常値を見つける	佐野英夫
第３回	(3) データ解析でよく使う関数や 論理式（IF関数、AND・OR関数）	佐野英夫
第４回	(4) ＩＦ関数を使って高血圧を判定する	佐野英夫
第５回	(5) ピボットテーブルで血圧判定総合表を作る	佐野英夫
第６回	(6) グラフで血圧構成比率グラフを作り、各自の考察を加える	佐野英夫
第７回	(7) 前半のまとめとコメント　◆中間課題提出◆	佐野英夫
第８回	２．データの特徴をつかむ　(8) ～(10) (8) まずはグラフで見る（度数分布表、ヒストグラム、散布図他）	佐野英夫
第９回	(9) そのデータを表す値（基本統計量、他）と箱ひげ図	佐野英夫
第１０回	(10) カテゴリーデータの取扱い（分割表、リスク比）、平均値とバラツキ	佐野英夫
第１１回	３．得られたデータを予測・推測に活用する (11)～(13) (11) 近似・回帰と予測（近似式、 相関係数、他）	佐野英夫
第１２回	(12) 基本的な分布（正規分布他）と仮説検定の例（コインの裏表）	佐野英夫
第１３回	(13) 身近な仮説検定（t-検定）の例（解熱剤、降圧剤）	佐野英夫
第１４回	４．臨床実務への活用例 (14) (14) 時系列データの取扱い・適用事例（シミュレーションモデル）	佐野英夫
第１５回	(15) 全体まとめ・データ解析の流れ	佐野英夫
第１６回	(16) ◆期末課題提出◆	佐野英夫

教科書			
教・書籍名１	「繰り返して慣れる ！完全マスター Excel2016」（必須 授業初日から持参する。また、他の教科書と間違えないこと）	教・出版社名１	noa出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-908434-10-5
教・書籍名２	授業シナリオを毎回事前にUniPaに掲載する。各自ダウンロードして予習・復習にも使用する。	教・出版社名2	
教・著者名2	佐野英夫	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践医療英語			担当者	浅利　明子		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-134		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義＆ＡＬ
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「医療分野で用いる専門的な英語表現の習得」をテーマに、学生は医療現場での英語によるコミュニケーション能力と症例の読解力を養う。症例報告の読解を通して、基本的な臨床思考と判断能力を培うことができる。医学英語の語根・接頭辞・接尾辞が何を意味しているのかを知ることによって、医療事故防止に役立てることができる。医療に関する文献にも興味が湧くようになる。臨床、研究の様々な場面で将来役に立つ英語力を身に着けることを目標とする。
授業概要	教科書の各ユニット｛筋骨格系 / がん / 循環器系 / 食事と栄養 / 消化器系 / 脳神経系 / リハビリテーション等｝のテーマに合った医療英語の修得を目指し、ペアワーク・グループワークによる会話力、並びに、症例報告の読解を通して、英文構成力　・　プレゼンテーション力　・　英文読解力強化の授業に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	講義内試験 (10 %)　・　課題提出 (10 %)　・　授業への積極的な参加や発表態度 (10%)　・　単位認定試験(70%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内試験　・　課題提出については、授業でフィードバックとしてそれぞれ解説を行う。
履修条件・注意事項	＊第１回目の授業（授業の進め方を説明する）に必ず出席すること。 ＊第１回目の授業に教科書を必ず持ってくること。 ＊レポート課題の提出日を守ること。 ＊講義資料は講義開始前に配布する。後日の配布は原則応じない。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、英語教育並びに医療現場における実務経験を有する教員より助言、指導を受けながら、学習を進める。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習：わからない単語は調べて下読みをしておくこと。 事後学習：授業で取り上げた重要表現を繰り返し声に出したり、書いたりしておくこと。 レポート課題等に取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後、教室に置いて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	授業の進め方を説明する。教科書を必ず持ってくること。	浅利　明子
第２回	筋骨格系の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第３回	筋骨格系の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第４回	がんの症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第５回	がんの症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第６回	循環器系の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第７回	循環器系の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子

第８回	食事と栄養に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第９回	食事と栄養に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１０回	消化器系の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第１１回	消化器系の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１２回	脳神経の症状に関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第１３回	脳神経の症状に関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１４回	リハビリテーションに関する英語による会話練習・疾患名・略語の修得	浅利　明子
第１５回	リハビリテーションに関する英語症例報告の読解	浅利　明子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	浅利　明子

教科書			
教・書籍名１	English for Healthcare Professionals Because We Care (Second Edition) （日本語の書籍名では出版されていません）	教・出版社名１	センゲージ ラーニング株式会社
教・著者名１	井上　真紀　・　伊原　正	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86312-368-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	発音力をつけたい人に薦めます。 『英語のリスニングは発音力で決まる！ＵＤＡ式３０音練習帳』1980yen	参・出版社名１	株式会社 ジャパン タイムズ
参・著者名１	鵜田　豊（Yutaka Uda）	参・ＩＳＢＮ１	9784789011754
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法学			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-201		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法の歴史や概念、理学療法士の役割や方法（対象疾患、理学療法手技、職域など）、医療人として必要な資質や情報管理、理学療法士を取り巻く法律や制度関係、理学療法士の業務と国家行政や施策の関係を理解し、理学療法の全体像を学修することを目的とする。さらに、理学療法の過去を知り、将来について考えることで、将来の理学療法士としてふさわしい素養、知識を身につける。 学生は、理学療法を取り巻く概要を学び、理学療法の全体像を理解できることを到達目標とする。
授業概要	理学療法の歴史や概念、理学療法士の役割や方法、医療人として必要な資質や情報管理、理学療法士を取り巻く法律関係、理学療法士の業務と国家行政や施策の関係を学習し理解する。 将来の理学療法士としてふさわしい素養や知識、コミュニケーション連携スキルを身につけるため、グループ討論も取り入れながら授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	理学療法の概念と歴史	井上茂樹
第２回	理学療法士の法律	井上茂樹
第３回	理学療法の意義と役割	井上茂樹
第４回	理学療法の対象	井上茂樹
第５回	理学療法の方法	井上茂樹
第６回	理学療法士の組織と倫理	井上茂樹
第７回	理学療法士教育	井上茂樹
第８回	理学療法士の活動分野	井上茂樹
第９回	医療事故	井上茂樹

第１０回	理学療法士を目指す学生に求められるもの	井上茂樹	
第１１回	理学療法士に関する法律	井上茂樹	
第１２回	理学療法の課題	井上茂樹	
第１３回	個人情報の管理と対象者の権利	井上茂樹	
第１４回	記録・報告書の書き方	井上茂樹	
第１５回	総括	井上茂樹	
第１６回	単位認定試験	井上茂樹	
教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキストⅠ　理学療法学概論　第4版	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	978-4-915814-32-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅰ			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 1年			ナンバリング	HS-PT-1-202		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法は基礎医学を基礎として成り立っている。そのため、臨床医学を習得する基礎学力の修得をテーマとする。到達目標として高校レベルの国語・数学・生物の知識を習得できる。それに加え、特に理学療法学で重要性の高い人体解剖の基礎知識を習得できる。
授業概要	理学療法学習に必要な基本的な文章の読解力や基本的な数学の計算方法や高校程度の生物学を習得する。また、理学療法の基礎となる人体の構造について少人数による調べ学習、討論を行い、臨床医学を学ぶ上で必要な知識を修得する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(50%)、各種レポート(20%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

授業計画		担当者
第１回	読解力の基礎	元田
第２回	読解力の応用	元田
第３回	計算力の基礎	元田
第４回	計算力の応用	元田
第５回	生物学の基礎	元田
第６回	生物学の応用	元田
第７回	人体の構造（基礎）	元田
第８回	人体の構造（応用）	元田
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書

教・書籍名１	各講義毎に資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅱ			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 1年			ナンバリング	HS-PT-1-203		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法基礎演習Ⅰに続いての講義である。理学療法基礎演習Ⅰでは、理学療法学を習得する基礎学力の修得をテーマとした。理学療法基礎演習Ⅱでは理学療法国家試験に必要な基礎学力を習得できる。到達目標として過去の国家試験の内容（読解力・理学療法概要）を理解できることである。
授業概要	国家試験に必要な文章の読解力や理学療法の概要を習得する。実際に過去の国家試験を教材とする。また、理学療法基礎演習Ⅰに引き続き、理学療法の基礎となる項目について過去の国家試験問題を解くことによって、理学療法士にとって必要な知識を修得する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(50%)、各種レポート(20%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	国試の実際（産業衛生の説明）	元田
第２回	国試の実際（産業衛生の問題）	元田
第３回	国試の実際（対人コミュニケーション能力の説明）	元田
第４回	国試の実際（対人コミュニケーション能力のの問題）	元田
第５回	国試の実際（理学療法士法の説明）	元田
第６回	国試の実際（理学療法士法の問題）	元田
第７回	国試の実際（介護保険法の説明）	元田
第８回	国試の実際（介護保険法の問題）	元田
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	各講義毎に資料を配布する。	教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅲ			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-204		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、ＡＬ
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】これまで学んできた基礎医学知識（解剖学、生理学、運動学）を理学療法の実践に生かすことができる。 【到達目標】理学療法の実践を基礎医学知識（解剖学、生理学、運動学）をもとに説明できる。基礎医学知識を再確認し実質的なものにする。
授業概要	授業は、理学療法の実践の具体例の紹介、それに対するグループディスカッション、基礎医学知識（解剖学、生理学、運動学）の確認の3つから構成される。理学療法の実務経験を有する教員の助言のもとに臨床における理学療法の実際に対してグループディスカッションを行い、基礎医学知識をもとにした理学療法実践ストーリーを考えることを身に着けるとともに基礎医学知識を再学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	評価は、講義態度や質疑応答の積極性（30%）、提出されたレポート（20%）、確認試験（50%）等から総合的に行なう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じて実習を行うので教室を間違わないように留意する。受講生一人ひとりの主体的な授業参加の姿勢や、積極的にコミュニケーションを図ることを求める。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1）授業時に重要なポイントが提起される。次回に向けた心づもりをして授業に臨むこと。2）基礎医学知識の再確認と確認テストがあるため、復習が求められる。2時間ずつ予習・復習を行うこと。
オフィスアワー	個人研究室にて、毎週水曜日3限、4限目をオフィスアワーの時間とする。不在時にはメモを残すこと。

	授業計画	担当者
第１回	解剖学と理学療法の実践　上肢の筋と関節①	中嶋正明　外部講師
第２回	解剖学と理学療法の実践　上肢の筋と関節②	中嶋正明　外部講師
第３回	解剖学と理学療法の実践　下肢の筋と関節①	中嶋正明
第４回	解剖学と理学療法の実践　下肢の筋と関節②	中嶋正明
第５回	解剖学と理学療法の実践　体幹の筋と関節①	中嶋正明　外部講師
第６回	解剖学と理学療法の実践　体幹の筋と関節②	中嶋正明　外部講師
第７回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位①	中嶋正明
第８回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位②	中嶋正明
第９回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位③	中嶋正明
第１０回	生理学と理学療法の実践　筋の収縮様式と運動単位④	中嶋正明
第１１回	運動学と理学療法の実践　二関節筋と関節可動域①	中嶋正明
第１２回	運動学と理学療法の実践　二関節筋と関節可動域②	中嶋正明
第１３回	運動学と理学療法の実践　二関節筋と関節可動域③	中嶋正明
第１４回	運動学と理学療法の実践　グローバル筋とローカル筋①	中嶋正明
第１５回	運動学と理学療法の実践　グローバル筋とローカル筋②	中嶋正明

第１６回	試験		中嶋正明
教科書			
教・書籍名１	毎回の講義内容に沿った資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法基礎演習Ⅳ			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-205		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【テーマ】これまで学んできた基礎医学知識（病理学、内科学、脳神経外科学、整形外科学）を理学療法の実践に生かすことができる。 【到達目標】理学療法の実践を基礎医学知識（病理学、内科学、脳神経外科学、整形外科学）をもとに説明できる。基礎医学知識を再確認し実質的なものにする。
授業概要	授業は、理学療法の実践の具体例の紹介、それに対するグループディスカッション、基礎医学知識（病理学、内科学、脳神経外科学、整形外科学）の確認の3つから構成される。理学療法の実務経験を有する教員の助言のもとに臨床における理学療法の実際に対してグループディスカッションを行い、基礎医学知識をもとにした理学療法実践ストーリーを考えることを身に着けるとともに基礎医学知識を再学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	評価は、講義態度や質疑応答の積極性（30%）、提出されたレポート（70%）等から総合的に行なう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じて実習を行うので教室を間違わないように留意する。受講生一人ひとりの主体的な授業参加の姿勢や、積極的にコミュニケーションを図ることを求める。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1）授業時に重要なポイントが提起される。次回に向けた心づもりをして授業に臨むこと。2）基礎医学知識の再確認と確認テストがあるため、復習が求められる。2時間ずつ予習・復習を行うこと。
オフィスアワー	個人研究室にて、毎週水曜日3限、4限目をオフィスアワーの時間とする。不在時にはメモを残すこと。

授業計画		担当者
第１回	病理学と理学療法の実践　炎症と物理療法①	中嶋正明
第２回	病理学と理学療法の実践　炎症と物理療法②	中嶋正明
第３回	病理学と理学療法の実践　浮腫と腫脹①	中嶋正明
第４回	病理学と理学療法の実践　浮腫と腫脹②	中嶋正明
第５回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア①	中嶋正明
第６回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア②	中嶋正明
第７回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア③	中嶋正明
第８回	内科学と理学療法の実践　サルコペニア④	中嶋正明
第９回	脳神経外科学と理学療法の実践　脳血管障害と運動機能①	中嶋正明
第１０回	脳神経外科学と理学療法の実践　脳血管障害と運動機能②	中嶋正明
第１１回	脳神経外科学と理学療法の実践　認知機能①	中嶋正明
第１２回	脳神経外科学と理学療法の実践　認知機能②	中嶋正明
第１３回	整形外科学と理学療法の実践　変形性膝関節症と下肢筋力強化①	中嶋正明
第１４回	整形外科学と理学療法の実践　変形性膝関節症と下肢筋力強化②	中嶋正明
第１５回	整形外科学と理学療法の実践　変形性膝関節症と関節可動域訓練	中嶋正明
第１６回	試験	中嶋正明

教科書

教・書籍名１	適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	理学療法管理学Ⅰ			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-207		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法に関する「医療の質」、「提供の安全」、「職員の待遇」、「未来発展」を知り、実習生として、あるいは卒業後には有資格者として理学療法業務を遂行する上で求められる最低限の職能性を理解できるようになる。 併せて，少子高齢化社会の医療の質に鑑み，これからの社会における地域リハビリテーションに係るサービスニーズに関して考え方を学ぶ.
授業概要	理学療法は医師、看護師、事務系職員などの協力関係があってはじめて良質なサービスが提供できる。また、理学療法部門は複数の職員で業務を分担する場合が多い。複数かつ他職種の人間が協同して活動する際には、活動を円滑に行うための知識とチームを組める技術が必要となる。そこで病院理学療法学部門の組織、管理（人事、総務、労務）、業務（処方関連、診療、記録）、職員教育と生涯学習、経営などの理論と実際について、演習を中心に教授する。理学療法士としてのSociety 5.0社会での発展的ビジョン、経営・管理者としての思考、臨床業務におけるリーダーシップのあり方も身につけてもらいたい。グループ討議やプレゼンテーションを通じたアクティブラーニングの授業形態.
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	アクティブラーニング発表時のレジュメ30%，定期試験（筆記試験）70%。 定期試験を受けるための必要条件は、平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、かつグループワーキングにおける積極的な取り組みがあることとする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする.
履修条件・注意事項	各回、グループ毎に定めた課題について、事前に調べレジュメを作った上で発表し、議論を繰り広げるという形態をとる。 管理運営能力を有することは、就職後の自らの待遇にも大きく関係するものであり、真剣に課題に取り組んでもらいたい。 十分な理解に到達するために，各グループの発表内容について予習を行い，発表後はレジュメのキーワードを基に復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 予習および復習には，各1時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	1. 概論、「医学的な益」の管理、自分の強み	原田和宏
第２回	2. 理学療法処方と診療記録、診療プロセス	
第３回	3. 理学療法室の設計と医療の質	

第４回	4. 「医療の質」と「提供の安全」、接遇態度やアメニティ	
第５回	5. 理学療法機器等の保守・点検，電子カルテ	
第６回	6. 医療事故と理学療法リスクマネジメント　（100%の安全は存在しない）	
第７回	7. 診療報酬と責任：「現状とリーダーシップ」	病院現場の外部講師
第８回	8. well-being society, UHCと理学療法士の活躍	
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	リハビリテーション管理・運営　実践ガイドブック	参・出版社名１	メジカルビュー社
参・著者名１	金谷さとみ，高橋仁美（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7538-1931-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法管理学Ⅱ			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-208		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／８．働きがいも経済成長も
到達目標	理学療法士における生涯学習、職能性をテーマとして、理学療法士としての心構え、生涯を通じた継続学習の必要性、理学療法士の職域の維持、拡大の方法を理解することを目標とする。
授業概要	理学療法士の職域の拡大とともに理学療法の提供の対象は医療、福祉領域だけでなく、産業、保健、学校教育、スポーツ分野と幅広くなっている。理学療法士が生涯活躍するためには、進歩する医学的知見、変化する社会情勢に柔軟に対応して生涯学び続ける姿勢が必要である。また、理学療法士の活躍の場を維持、増加させるためには日本理学療法士協会、日本理学療法学会連合の活動を知っておくことが必要である。そこで、本講義では理学療法士の生涯学習のシステム、在り方、日本理学療法士協会、日本理学療法学会連合の活動内容に関して教授する。また、社会から必要とされる理学療法士になるために持つべき考え方や心構え、組織が求める人材などについても教授し、就職活動の一助ともしていく。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	グループワークの際の提出物(70%)、グループワークへの参加態度(30%)とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価で用いた提出物は授業中に返却してフィードバックする。
履修条件・注意事項	理学療法士としての心構えに関しては、臨床実習、就職活動における評価に直結するものであるために、真摯に講義に取り組むこと。 講義にあたっては、医療、福祉を取り巻く法制度の理解、診療報酬、介護報酬の変遷、障害者、高齢者施策の理解が不可欠である。日常的に社会情勢に気を配り、ニュースなどで障害者、高齢者を取り巻く情報を入手すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，医療、福祉現場において実践的に役立つ授業を実施する。あわせて、経営学修士(MBA)を持つ理学療法士を外部講師として招き、組織運営の視点より求められる人材、生涯学習について講義をする。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して、自分なりにノートにまとめる. 予習および復習には各1時間程度を要する。
オフィスアワー	毎週火曜日の2限をオフィスアワーとするが、講義終了後には自由に質問に来ること。

	授業計画	担当者
第１回	日本理学療法士協会の活動	森下元賀
第２回	日本理学療法学会連合の活動	森下元賀
第３回	理学療法士の生涯学習システムと認定制度	森下元賀
第４回	理学療法士の職域と社会情勢	森下元賀
第５回	社会から求められる理学療法士像	森下元賀
第６回	理学療法士の適性	森下元賀
第７回	現場での人材管理、生涯学習の実際と施設が求める人材	外部講師
第８回	多職種連携と信念対立	森下元賀
第９回		
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	毎回資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	評価学概論			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-209		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	45	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限 水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	本講義のテーマは、学生同士が相互に協力・検討し合いながら「理学療法における代表的な【評価（検査）】の【技術】と【関連知識】を身につけること」である。 本講義の到達目標は、以下①~④である。 ①学生は、身体表面における代表的なランドマークの触診を円滑に実施できるようになる。 ②学生は、形態測定（四肢長・周径）を円滑に実施できるようになる。 ③学生は、徒手筋力検査（MMT）を円滑に実施できるようになる。 ④学生は、自動および他動での関節可動域（ROM）の測定を円滑に実施できるようになる。
授業概要	臨床現場において、もしも理学療法士による評価が誤っていれば、その評価結果に基づいて立案される治療プログラムも自動的に誤った理学療法プログラムに陥ってしまうこととなる。よって、本講義で身につけることとなる評価技術は、きわめて重要である。本講義では、評価実技を中心として「正しい評価のための視点・思考」も学びながら前述の①~④の目標達成を目指す。なお本講義では、５月~６月中旬頃までインターネット上で限定公開している実技動画を活用した「日々の予習復習を旨とした反転授業」を織り交ぜながら展開する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／実習
評価方法と割合	下記の❶~❻について合計６回（合計100点満点）の実技試験を実施し、総合得点にて評定を明確化する。 実技試験❶／四肢長の計測／10点 実技試験❷／四肢周径の計測／10点 実技試験❸／下肢のROM計測／20点 実技試験❹／下肢以外のROM計測／20点 実技試験❺／下肢のMMT／20点 実技試験❻／下肢以外のMMT／20点
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	先述した❶～❻の実技試験が実施された翌週の講義内で、試験結果のフィードバックを実施し、その時間内において学生相互で「難しかった点」や「発展的・建設的な意見や自主練習方法」などをシェアし合う。
履修条件・注意事項	本講義は春学期の４ヶ月間において、１コマ９０分間の講義を「３２回（１週間に２回）」という連続性あるプログラムに基づいて開催される。毎回の講義において理学療法評価に関するテクニックと知識を修得していくきわめて重要な講義であり、講義を一度でも欠席すれば即座に他の学生から大きく遅れをとる事態に陥ることは、授業計画を確認すれば一目瞭然である。また、本講義では社会人基礎力やジェネリックスキルを含めた指導を実施する。そのため、知識や技術以外の「臨床現場における態度や言葉づかい」をも含めて厳格に指導するので、十分な覚悟と自覚を持って講義に臨むこと。講義への参加は「動きやすい服装」または「実習着の着用（ネームプレート含む）」を義務付ける。日ごろから「筋肉の走行（起始部と停止部）」や「関節の参考可動域」についての予習とともに、本講義で学んだ運動に関する「筋力や関節可動域の測定・評価」の復習（実技練習）を学生間で協力し合って習慣的に実践すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】 次回講義にて学ぶ予定の「検査項目」について、少なくとも「①何処の身体部位を計測するのか？」や「②どのような方法（視点）で計測するのか？」の２点について、事前に「自己学習支援動画を視聴しておくこと（特に反転

	授業の際）」と「教科書や参考書を読んでおくこと」は必須である。 【復習】 毎回の講義において、前回の講義で学んだ事柄（特に実技）について、学生に対する質問をランダムに行うので、質問を受けても返答（実演）できるように自己学習（復習）をしておくこと。 【留意事項】 本講義は週２コマの講義であり、各講義が断片的なものではなく「一連の流れの中で講義が展開されていく」ため、予習と復習はそれぞれの講義において必須となる（予習および復習には、各２時間以上を要する）。 【自己学習支援動画】 予習と復習を支援する目的で作成された「評価実技（ROM計測・MMT）に関する動画を視聴できるWEBサイト」を設置するので、有効に活用すること。閲覧方法は講義内で適宜アナウンスする。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	講義のイントロダクションとグループ分け	佐藤三矢
第２回	体表面におけるランドマークの触診（実技）	佐藤三矢
第３回	上肢の肢長と周径（実技）	佐藤三矢
第４回	下肢の肢長と周径（実技）	佐藤三矢
第５回	実技試験❶／四肢長の計測／10点	佐藤三矢
第６回	実技試験❷／四肢周径の計測／10点	佐藤三矢
第７回	実技試験❶・❷の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢
第８回	肩関節・矢状面と前額面のROM計測（実技）	佐藤三矢
第９回	肩関節・水平面のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１０回	肘関節と前腕のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１１回	手関節と指のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１２回	股関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１３回	膝関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１４回	膝関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１５回	足関節と足部のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１６回	肩甲骨と頸部・体幹のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１７回	実技試験❸／下肢のROM計測／20点	佐藤三矢
第１８回	実技試験❹／下肢以外のROM計測／20点	佐藤三矢
第１９回	実技試験❸・❹の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢
第２０回	肩関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２１回	肘関節と前腕のＭＭＴ（実技）	佐藤三矢
第２２回	手関節のＭＭＴ（実技）	佐藤三矢
第２３回	股関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２４回	膝関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２５回	足関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２６回	肩甲帯のMMT（実技）	佐藤三矢
第２７回	頭部と頸部のMMT（実技）	佐藤三矢
第２８回	体幹のMMT（実技）	佐藤三矢
第２９回	顔面や脳神経に関連したMMT（実技）	佐藤三矢
第３０回	実技試験❺／下肢のMMT／20点	佐藤三矢
第３１回	実技試験❻／下肢以外のMMT／20点	佐藤三矢
第３２回	実技試験❺・❻の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢

教科書			
教・書籍名１	理学療法評価法	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明　監修	教・ＩＳＢＮ１	4-915814-17-3
教・書籍名２	新・徒手筋力検査法（原著第10版）	教・出版社名2	協同医書出版
教・著者名2	Helen J.Hislop、Jacqueline Montgomer、津山 直一、中村 耕三	教・ＩＳＢＮ2	978-4763900364

参考書			
参・書籍名１	新版　目でみるMMT	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	佐藤三矢　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21542-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	評価学実習			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-210		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限 木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「理学療法評価技術の修得」をテーマに，各種検査技術と理学療法評価の考え方を身につける。 本実習科目では，評価学概論から引き続き各種検査技術を修得し，同時に各種検査で得られた所見やデータを基に障害像を明らか にし治療指針を導き出す過程である理学療法評価の，基本的考え方と実施する能力を身につけることを到達目標とする。
授業概要	「検査学」「動作分析」「理学療法評価」の3つで構成。理学療法評価は検査と同義ではなく，得られた所見やデータを基に「統合と解釈」を行い障害像を浮き彫りにし，臨床介入の意志決定を行う過程を指す。そのため，第1回の総論で評価の考え方をおさえ検査学に進める。検査学では代表的検査を取り上げ，単なる方法（まね事）の修得ではなく，理論に裏打ちされた確かな技術修得を目指す。動作分析では姿勢分析と動作分析の基本的知識と方法を教授する。最終的に理学療法評価では，事例検討を通して統合と解釈の考え方を身につける。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	この科目では，国家試験や臨床実践を前提とした基礎的知識の修得を最低ラインの目標としていることから，単位取得要件は筆記試験の合格とする。筆記試験（中間試験・定期試験；70%），GW課題・レポート（30%）で判定．出席状況（欠席・遅刻は減点）・授業態度・質問の有無は加減要素とする。詳しい評価方法は，最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，授業内，または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）本授業で取り上げる各種検査は，理学療法士として身につけなければならないものであり，欠席せず真剣に修得する事が重要である。２）教科書や資料での事前学習・事後学習を課すため，予習・復習をしっかり取り組むこと。３）感染予防の観点より，理論とデモンストレーションを中心に進めるが，常に自身の手で検査を実施するイメージを持ちながら履修することが望まれる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	１）授業各回において，教科書を中心とした事前学修，事後学修を指示する。２）指示されるレポート課題・グループワーク課題について取り組むこと。これら以外についても，当該科目の重要性を十分認識の上，必ず予習復習に取り組むこと。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，木曜日3時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	1・2. 評価学総論	齋藤
第２回	3・4. 感覚検査	齋藤
第３回	5・6. 筋緊張検査	齋藤
第４回	7・8. 協調性検査	齋藤
第５回	9・10. 反射検査-深部反射，病的反射	齋藤
第６回	11・12. 脳神経検査	齋藤
第７回	13・14. 検査学　既出事項の整理	齋藤
第８回	15・16. 動作分析Ｉ（姿勢分析）	齋藤
第９回	17. 動作分析ＩＩ（姿勢変換運動）	齋藤
第１０回	18. 動作分析ＩＩＩ（移動運動・移乗運動）	齋藤
第１１回	19. 動作分析ＩＶ（バランス能の評価）	齋藤

第１２回	20. 動作分析　事例検討　※GW	齋藤
第１３回	21. 理学療法評価Ｉ　統合と解釈※GW	齋藤
第１４回	22. 理学療法評価ＩＩ　事例検討発表　※GW	齋藤
第１５回	23. 理学療法評価ＩＩＩ　既出事項のまとめ	齋藤
第１６回	24. 定期試験	齋藤
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキスト　理学療法評価法 （第3版）	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	中島喜代彦，他	教・ＩＳＢＮ１	4915814319
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた	参・出版社名１	南山堂
参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄，他	参・ＩＳＢＮ１	4525247983
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	画像診断学			担当者	河村　顕治		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-211		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	レントゲン、CT、MRI画像等の読影法をテーマとする。学生は病院実習へ行っても困らない知識を身につけることができる。具体的には病院実習で担当する患者のレントゲン、CT、MRIなどを読影できて患者の病態を正確に理解した上で、正確な評価法を実施できるようになる。
授業概要	医学医療の高度化複雑化によりレントゲン、CT、MRI、エコーなどリハビリテーション医療において知っておかなければならない検査法および診察法の知識は多岐に渡り、それらの重要性は年々高まってきている。古典的なレントゲン読影の基礎から最先端の検査法まで教授する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	定期試験80%、課題20%による判定を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	整形外科学と平行して学ぶことで学習効果が向上するので、整形外科学を含めての自己学習が必須である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、医師（日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会専門医）としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場で実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に先立って「リハビリテーション医療に活かす画像のみかた」で該当部分を熟読しておくこと。授業終了後には講義内容及び関連事項をノートにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	画像診断の基本	河村顕治
第２回	脳	河村顕治
第３回	脊椎・脊髄	河村顕治
第４回	肩関節・肘関節	河村顕治
第５回	手関節・手部	河村顕治
第６回	股関節・膝関節	河村顕治
第７回	足関節・足部	河村顕治
第８回	成長過程でのレントゲン変化	河村顕治
第９回	試験	河村顕治
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	リハビリテーション医療に活かす画像のみかた	教・出版社名１	南江堂

教・著者名１	水間正澄／川手信行	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25907-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動系理学療法評価学			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-212		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義、実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限 水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「代表的運動器疾患の評価と治療」をテーマとして、臨床評価実習で経験することが予想される疾患の評価と治療に関して講義と実習を行う。 運動器疾患の障害像を理解した上で、運動器疾患の対象者への評価項目の立案、実施が出来るようになることを到達目標にする。
授業概要	まず正常な身体運動の基礎の復習や体表解剖と触診について学習する。それぞれの運動器疾患の特徴としての筋、骨格、関節、神経障害および動作、歩行能力障害などについて学習する。また、疾患の理学療法に関しては、グループワークや実技演習を取り入れ、評価時の具体的なオリエンテーションの方法から解釈までを行う。検査結果から解釈するボトムアップ的な解釈のみでなく、動作から障害像を把握していくトップダウン的な考え方も学習し、模擬症例に対する評価項目の立案、実施、結果の解釈までを行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では、国家試験、臨床実践を前提とした運動器疾患に対する理学療法の基本的知識、技術の習得を目的としている。定期(筆記)試験(60%)、実技試験(30%)により判断するが、グループワークやディスカッションなどを取り入れることから発表への参加態度、グループワークの結果なども考慮する(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	対象者の身体に触れることを前提とし、毎回実技を行う。筋肉、骨の触診を行うことも多いので、毎回必ず手足が露出しやすく、体幹の触診も行いやすい服装で受講すること。デニムなどの生地の厚い服装では触診は行えない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、実施した部位の運動学、解剖学、生理学の復習と、次回の予習を行っておくこと。運動器における解剖学、生理学、運動学は理解できているものとして講義を行う。2) 実技に関しての自己練習を各回指示する。触診などが十分に理解が出来ていない場合は必ず教員に相談し、正しい理解をした上で自己練習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森下元賀
第２回	運動学習理論、筋力強化の原則	森下元賀
第３回	ランドマーク、筋肉の触診(上肢、体幹)1	森下元賀
第４回	ランドマーク、筋肉の触診(上肢、体幹)2	森下元賀
第５回	ランドマーク、筋肉の触診(下肢)1	森下元賀
第６回	ランドマーク、筋肉の触診(下肢)2	森下元賀
第７回	上肢の骨折(肩関節)の理論	森下元賀
第８回	上肢の骨折(肩関節)の評価実技	森下元賀
第９回	上肢の骨折(肘、手関節)の理論	森下元賀

第１０回	上肢の骨折(肘、手関節)の評価実技	森下元賀
第１１回	大腿骨骨折の理論	森下元賀
第１２回	大腿骨骨折の評価実技	森下元賀
第１３回	変形性股関節症の理論(保存療法)	森下元賀
第１４回	変形性股関節症の評価実技(保存療法)	森下元賀
第１５回	変形性股関節症の理論(手術療法)	森下元賀
第１６回	変形性股関節症の評価実技(手術療法)	森下元賀
第１７回	変形性膝関節症の理論(保存療法)	森下元賀
第１８回	変形性膝関節症の評価実技(保存療法)	森下元賀
第１９回	変形性膝関節症の理論(手術療法)	森下元賀
第２０回	変形性膝関節症の評価実技(保存療法)	森下元賀
第２１回	脊椎圧迫骨折の理論	森下元賀
第２２回	脊椎圧迫骨折の評価実技	森下元賀
第２３回	脊髄疾患の理論、評価実技	森下元賀
第２４回	筆記試験	森下元賀
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	運動器障害理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー
教・著者名１	加藤浩 (編)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-2001-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	循環呼吸系理学療法評価学			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-213		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「循環呼吸系理学療法の理解」をテーマに理学療法士国家試験に出題される問題に対応でき、次年度の循環呼吸系理学療法学実習に対応できるように、循環・呼吸の基本的な解剖生理について今一度学び、それらを基礎として、循環・呼吸系の理学療法を身に着けることができることを到達目標とする。
授業概要	高齢化社会をむかえた日本において癌などの悪性新生物による病因が多くなったとはいえ、循環・呼吸器疾患患者は多く、大きな問題となっている。本講では狭心症、心筋梗塞、心不全を中心として、その解剖や病態生理から診断、治療について主体的に考えられるように授業を行う。そしてこれをもとに循環・呼吸患者に対する理学療法がいかにあるべきかを討論をまじえながら講義し、専門的職業人として自ら判断できる力を身に着けるようにしていく。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(20%)、各種レポート(50%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中に評価のために出した課題は、次の授業でフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からプリントを綴じるためのファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	金曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	右心不全と左心不全	元田
第２回	心不全の代償機構	元田
第３回	狭心症、心筋梗塞の病態生理	元田
第４回	心筋梗塞の診断学の基礎	元田
第５回	心筋梗塞の診断学の応用	元田
第６回	狭心症の診断学	元田
第７回	狭心症、心筋梗塞に対する治療	元田
第８回	心不全の診断学、治療	元田
第９回	循環器疾患の評価の基礎	元田
第１０回	循環器疾患の評価の応用	元田
第１１回	循環器障害の治療プログラムの基礎	元田

第１２回	循環器障害の治療プログラムの応用	元田
第１３回	運動療法	元田
第１４回	ADL指導	元田
第１５回	まとめ	元田
第１６回	試験	元田

教科書			
教・書籍名１	理学療法学６ゴールドマスターテキスト内部障害系理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー社
教・著者名１	柳澤　健	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-1113-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法評価学実習	担当者	原田　和宏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-214

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限 火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「中枢神経系障害の仕組み」と「脳卒中片麻痺を主とした障害像」を理解することをテーマとして、臨床評価実習で脳卒中回復期における理学療法評価が可能になる。
授業概要	中枢神経系障害の仕組みについて中枢性運動麻痺の様態をはじめとし、感覚障害、各種反射障害、歩行・セルフケア動作障害などについて学習する。また、中枢神経系疾患の発症急性期から回復期での理学療法評価を演習して問題点の抽出までを理解し、評価に関する理学療法推論を習得する。グループワーク演習を取り入れ、患者像や観察視点の修得に努める。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	定期試験（筆記試験）の成績を評価する。平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、実習・演習活動への参加，かつグループワークへの参加と発表会出席があることとする。 【中間試験40%、期末試験60%】
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・成績は、臨床評価実習履修の要件となる。 ・必要な指示は講義内および掲示板にて行う。 ・理学療法推論にはフレキシブルな問題解決能力が要求されると同時に、正確に推論するためには豊富な基礎知識も不可欠である。したがって、真剣に課題に取り組んでもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。併せて，脳卒中理学療法に関する実務経験の多いゲストピーカーを招いて，知識と技術を習得します.
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 十分な理解に到達するために，予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	脳血管障害病型・予後	原田和宏
第２回	中枢神経障害の一次的機能障害	
第３回	脳の3次元解剖（動脈、末梢神経）	
第４回	脳の3次元解剖（脳の各領域の構造）	
第５回	反射・筋緊張異常について	
第６回	中枢性随意運動麻痺	
第７回	知覚障害	

第８回	陽性徴候と陰性徴候	
第９回	脳神経障害：視覚に関する 脳神経障害：運動に関する	
第１０回	脳神経障害：嚥下・構音に関する 交叉性片麻痺	
第１１回	球麻痺	
第１２回	随意運動の発現	
第１３回	運動学習	
第１４回	意識障害	
第１５回	コミュニケーション障害	
第１６回	動作分析演習-立ち上がり	
第１７回	動作分析演習-歩行	
第１８回	ラクナ梗塞	
第１９回	二次的障害	
第２０回	心血管系の二次的機能障害	
第２１回	小脳性運動失調	
第２２回	姿勢バランス障害	
第２３回	失語、パフォーマンス障害、失認、	春学期総合演習
第２４回	試験	
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学　第2版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	吉尾雅春，森岡周，阿部浩明（編）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-03621-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた 改訂第18版	参・出版社名１	南山堂
参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4525247980
参・書籍名２	絵で見る脳と神経－しくみと障害のメカニズム 第4版	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	馬場元毅	参・ＩＳＢＮ2	ISBN978-4-260-02783-0

授業科目名	理学療法臨床評価演習Ⅰ（オムニバス）	担当者	佐藤　三矢、原田　和宏、森下　元賀、井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-215

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 3年次の臨床評価実習を経験する直前の段階で、学生が身に着けておくべき知識と技術の補填と洗練化を行う。 【到達目標】 学生は、目前に控えた臨床評価実習に際して必ず身に着けておかねばならない知識と技術を修得することができる。
授業概要	学内における知識・技術に対する学習内容を踏まえて、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案、治療の実施、検証までの一連の過程を系統的に学ぶ。さらに、問題点の推測、必要な評価・問題点の再検討、目標・治療計画の作成を通して、問題点を解決するための基本的な考え方を身につける。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	理学療法評価の臨床的実践を系統的に学ぶうえで、各回の臨床技能などにより到達度を確認する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	OSCEの課題を講評する
履修条件・注意事項	受け身的な態度ではなく，自ら積極的に働きかける態度を示すとともに，知識面および技術面での不備に対して自ら改善しようとする努力を何らかの形で示す。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	教員の提示する課題に取り組むこと。ならびに「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が望ましく，指示を受けなくても演習で抱いた疑問等について自ら能動的に調べ解決する事が重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	担当教員を配置しており，各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	ROM評価の臨床的実践演習	佐藤
第２回	MMT評価の臨床的実践演習	佐藤
第３回	画像評価の実践的演習	中嶋
第４回	運動機能障害評価の実践的演習	森下
第５回	神経系機能障害評価の実践的演習	原田
第６回	客観的臨床能力試験演習：運動系	井上
第７回	客観的臨床能力試験演習：中枢系	原田
第８回	客観的臨床能力試験演習：在宅患者系	井上
第９回	試験：客観的臨床能力試験（OSCE）	全教員
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法臨床評価演習Ⅱ （オムニバス）	担当者	佐藤　三矢、原田　和宏、森下　元賀、井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-216

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 ４年次の総合臨床実習を経験する直前の段階で、学生が身に着けておくべき評価所見からの問題抽出を行う。 【到達目標】 学生は、目前に控えた総合臨床実習に際して必ず身に着けておかねばならない介入技術を修得することができる。
授業概要	学内における知識・技術に対する学習内容ならびに３年次の臨床評価実習の経験を踏まえて、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案、治療の実施、検証までの一連の過程を系統的に学ぶ。 さらに、問題点の推測、必要な評価・問題点の再検討、目標・治療計画の作成を通して、問題点を解決するための基本的な考え方を身につける。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	理学療法治療・練習的介入、および問題解決に関する臨床的実践を系統的に学ぶうえで、各回の臨床技能などにより到達度を確認する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	OSCEの課題を講評する
履修条件・注意事項	受け身的な態度ではなく，自ら積極的に働きかける態度を示すとともに，知識面および技術面での不備に対して自ら改善しようとする努力を何らかの形で示す。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	教員の提示する課題に取り組むこと。ならびに「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が望ましく，指示を受けなくても演習で抱いた疑問等について自ら能動的に調べ解決する事が重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	担当教員を配置しており，各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	ROM所見からの問題抽出	佐藤
第２回	MMT所見からの問題抽出	佐藤
第３回	画像評価所見からの問題抽出	中嶋
第４回	運動機能障害評価所見からの問題抽出	森下
第５回	神経系機能障害評価所見からの問題抽出	原田
第６回	客観的臨床能力試験演習：運動系	森下
第７回	客観的臨床能力試験演習：中枢系	井上
第８回	客観的臨床能力試験演習：在宅患者系	井上
第９回	試験：客観的臨床能力試験（OSCE）	全教員
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		

第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	特に指定しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動療法学総論			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-217		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法の基軸である運動療法の基礎を総論的に学習し、治療の理論や概念を理解する。つまり、運動療法を行う場合の基礎知識、理論と実際を習得し、実際の臨床場面において運動療法を具現化できるようになる。
授業概要	運動療法を行う場合の基礎知識としての歴史、結合組織、関節、骨格筋、神経系、組織の修復過程、運動学について学習する。次に運動療法の理論と実際として、運動療法機器、関節可動域運動、筋力維持増強運動、持久力増強運動、全身調整運動・機能回復運動およびリラクセーション運動、協調性運動障害に対する運動療法、神経筋再教育・神経生理学的アプローチ、筋・筋肉痛に対するストレッチング・リリース法について学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業には、必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	運動療法の歴史・概念（定義）・位置付け	井上茂樹
第２回	運動療法の基礎	井上茂樹
第３回	基本的運動	井上茂樹
第４回	運動療法機器	井上茂樹
第５回	関節可動域運動	井上茂樹
第６回	筋力維持増強運動	井上茂樹
第７回	持久力増強運動	井上茂樹
第８回	総まとめ	井上茂樹
第９回	単位認定試験	井上茂樹
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキストⅢ　運動療法Ⅰ　第2版	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	978-4-915814-15-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	運動療法学　障害別アプローチの理論と実際	参・出版社名１	文光堂
参・著者名１	市橋則明	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8306-4342-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理療法学			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-218		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「物理療法を臨床現場で適切に実践できる」をテーマに、学生が各物理療法の詳細をしっかりと理解し､間違いの無い適応をできるようになることを到達目標とする。
授業概要	物理療法の概念を学ぶ。温熱刺激や電気刺激､機械的刺激に対する生体の反応を理解し、物理療法との関連を学ぶ。物理療法は､その適応を誤ると症状の改善に効果が無いばかりでなく悪化を招く。各療法について定義、目的、効果と適応、リスク管理を中心に教授する。 この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	定期試験の成績により総合評価する（試験100%）。 なお，実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと
履修条件・注意事項	物理療法機器は使い方を誤ると医療事故を起こすことになる。真剣な取り組みが必須である。 毎回，プリントを配布するのでファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	十分な理解のためには予習と復習が2時間程度必要である。自習用プリントを配布するので自主学習を行うこと。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。　場所は研究室（6329）とする。

	授業計画	担当者
第１回	1.温熱療法（温熱療法の基礎）	中嶋正明
第２回	2.温熱療法（ホットパック）	中嶋正明
第３回	3.温熱療法（パラフィン浴）	中嶋正明
第４回	4.超短波療法	中嶋正明
第５回	5.極超短波療法	中嶋正明
第６回	6.寒冷療法	中嶋正明
第７回	7.水治療法（水治療法の治療概念）	中嶋正明
第８回	8.水治療法（渦流浴，ハバードタンク，交代浴）	中嶋正明
第９回	9.赤外線療法	中嶋正明
第１０回	10.レーザー光線療法	中嶋正明
第１１回	11.電気刺激療法（電気刺激療法の治療概念）	中嶋正明
第１２回	12.電気刺激療法（TENS，NMES）	中嶋正明
第１３回	13.牽引療法（牽引療法の治療概念）	中嶋正明
第１４回	14.牽引療法（頸椎牽引，腰椎牽引）	中嶋正明
第１５回	15.超音波療法	中嶋正明
第１６回	16.単位認定試験	中嶋正明

教科書			
教・書籍名１	物理療法学テキスト	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	細田多恵 監修	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25179-7

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理療法学実習			担当者	中嶋　正明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-219		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限 金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「物理療法を臨床現場で効果的に実践できる」をテーマに，２年次配当「物理療法学」で学んだ内容を再確認しながらしっかりとしたリスク管理の下で物理療法の実践適用を修得することを到達目標とする。
授業概要	物理療法機器の基本的な使用方法，適用肢位を学び，学生同士でペアを組み適用者と患者を演じて実際に使用する。その際，リスク管理に注意して実習を行う。 以上により物理療法の安全かつ効果的な適用技術を習得する。 この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習という特性上，実習への参加態度を加味し，実習への参加態度（30%），試験（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）物理療法機器の安全かつ効果的な適用ができる能力をしっかりと身につけるために，能動的な学修態度を留意すること。 ２）実習を行う前の予習が必須である。2年次「物理療法学」で使用したプリントを持って来ること。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	前もって実習する項目について教科書を熟読してくること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日3限をオフィスアワーとする。場所は研究室（6329）とする。

授業計画		担当者
第１回	温熱療法（ホットパック）	中嶋正明
第２回	温熱療法（パラフィン浴）	中嶋正明
第３回	超短波療法	中嶋正明
第４回	極超短波療法	中嶋正明
第５回	寒冷療法	中嶋正明
第６回	水治療法（渦流浴）	中嶋正明
第７回	水治療法（ハバードタンク）	中嶋正明
第８回	水治療法（交代浴）	中嶋正明
第９回	赤外線療法	中嶋正明
第１０回	レーザー光線療法	中嶋正明
第１１回	電気刺激療法（TENS）	中嶋正明
第１２回	電気刺激療法（干渉低周波）	中嶋正明
第１３回	牽引療法（牽引療法の治療概念）	中嶋正明

第１４回	牽引療法（頸椎牽引，腰椎牽引）		中嶋正明
第１５回	超音波療法		中嶋正明
第１６回	試験		中嶋正明
教科書			
教・書籍名１	「物理療法学テキスト」	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	細田多穂 監修	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25179-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動系理学療法治療学実習			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-220		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限 水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「代表的運動器疾患の評価と治療」をテーマとして、総合臨床実習で経験することが予想される疾患の評価と治療に関して講義と実習を行う。 臨床で多く目にする代表的な運動器の障害に関して、評価項目の解釈からプログラムの立案、実施までが出来るようになることを目標とする。
授業概要	前期の「運動系理学療法学」の知識を基礎として、代表的な運動器疾患に関しての治療プログラム立案、実施、リスク管理方法を学習する。講義の中では行動科学、運動学習理論を踏まえた対象者への説明方法、治療者として良好な態度についても実践できるようにしていく。また、実際の対象者の映像、評価結果を用いて臨床的推論、対象者の特性を考慮した介入の方法についても学習する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では、国家試験、臨床実践を前提とした運動器疾患に対する理学療法の複合的知識、技術の習得を目的としている。定期(筆記)試験(60%)、実技試験(30%)により判断するが、グループワークやディスカッションなどを取り入れることから発表への参加態度、グループワークの結果なども考慮する(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	対象者の身体に触れることを前提とし、毎回実技を行う。筋肉、骨の触診を行うことも多いので、毎回必ず手足が露出しやすく、体幹の触診も行いやすい服装で受講すること。デニムなどの生地の厚い服装では触診は行えない。 また、体格、性別によって筋骨格が異なるので、必ず多くの対象者と実技を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、実施した部位の運動学、解剖学、生理学の復習と、次回の予習を行っておくこと。運動器における解剖学、生理学、運動学は理解できているものとして講義を行う。2) 実技に関しての自己練習を各回指示する。触診などが十分に理解が出来ていない場合は必ず教員に相談し、正しい理解をした上で自己練習を行うこと。 予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	臨床評価実習の振り返り1	森下元賀
第２回	臨床評価実習の振り返り2	森下元賀
第３回	肩関節周囲炎の理論	森下元賀
第４回	肩関節周囲炎の治療実技	森下元賀
第５回	腱板断裂、肩関節不安定症の理論	森下元賀
第６回	腱板断裂、肩関節不安定症の治療実技	森下元賀
第７回	非特異的腰痛の理論	森下元賀
第８回	非特異的腰痛の治療実技	森下元賀
第９回	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症の理論	森下元賀
第１０回	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症の治療実技	森下元賀
第１１回	膝靭帯、半月板損傷の理論	森下元賀
第１２回	膝靭帯、半月板損傷の治療実技	森下元賀

第１３回	足関節疾患の理論	森下元賀
第１４回	足関節疾患の治療実技	森下元賀
第１５回	関節リウマチの理論	森下元賀
第１６回	関節リウマチの治療実技	森下元賀
第１７回	疼痛の生理学	森下元賀
第１８回	疼痛に対する理学療法	森下元賀
第１９回	運動器不安定症の理論	森下元賀
第２０回	ロコモ、サルコペニアに対する介入実技	森下元賀
第２１回	模擬症例の治療演習1	森下元賀
第２２回	模擬症例の治療演習2	森下元賀
第２３回	模擬症例の治療演習3	森下元賀
第２４回	模擬症例の治療演習4	森下元賀
第２５回	模擬症例の治療演習5	森下元賀
第２６回	模擬症例の治療演習6	森下元賀
第２７回	模擬症例の治療演習7	森下元賀
第２８回	模擬症例の治療演習8	森下元賀
第２９回	実技試験(OSCE)1	森下元賀
第３０回	実技試験(OSCE)2	森下元賀
第３１回	筆記試験	
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	運動器理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー
教・著者名１	加藤浩(編)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-2001-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	循環呼吸系理学療法治療学実習	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-221

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限 金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「循環呼吸系理学療法の評価、治療技術の習得」をテーマに理学療法士国家試験に出題される問題、臨床実習（評価実習、総合実習）に対応できるように、呼吸・循環系の疾患の病態を理解し専門職としての知識、考え方技術を身に着けることができることを目標とする。
授業概要	循環呼吸系疾患の評価と治療技術について学ぶ。特に呼吸理学療法に関しては、リラクゼーション、呼吸練習、呼吸筋トレーニング、胸郭可動域訓練、排痰法、運動療法とを実技授業を中心として講義する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	成績認定は 授業態度(20%)、各種レポート(50%)、および定期試験(30%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中に評価のために出した課題は、次の授業でフィードバックするの。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。 講義では、内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からプリントを綴じるためのファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	金曜日の3時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	肺区域1	元田
第２回	肺区域2	元田
第３回	肺と胸郭の位置関係1	元田
第４回	肺と胸郭の位置関係2	元田
第５回	血圧測定の実際	元田
第６回	呼吸器疾患の評価1	元田
第７回	呼吸器疾患の評価2	元田
第８回	胸郭の動き	元田
第９回	胸郭と呼吸筋	元田
第１０回	呼吸補助筋	元田
第１１回	呼吸生理学	元田

第１２回	動脈血液ガス、呼吸不全	元田
第１３回	呼吸器疾患の評価1　浮腫、チアノーゼ	元田
第１４回	呼吸器疾患の評価2　打診	元田
第１５回	呼吸器疾患の評価3　聴診	元田
第１６回	フローボリューム曲線	元田
第１７回	筋力の評価	元田
第１８回	呼吸器疾患のADL	元田
第１９回	血中の酸性度（ｐH）	元田
第２０回	X線による評価	元田
第２１回	内部疾患の理学療法の試験対策1	元田
第２２回	内部疾患の理学療法の試験対策2	元田
第２３回	内部疾患の理学療法の試験対策3	元田
第２４回	試験	元田
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	呼吸リハビリテーション 第5版（動画でわかる）	教・出版社名１	中山書店
教・著者名１	高橋仁美（市立秋田総合病院）／宮川哲夫（昭和大学）／塩谷隆信（秋田大学）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-521-74834-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法学 10月-1月			担当者	小幡　太志		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-222		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	8	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜3限 土曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	運動器は四肢・体幹の骨格，関節，靱帯，筋や脊髄・神経であり，身体の感覚を脳に伝えて，反射的あるいは意志に基づく身体の運動を行う器官である。この講義では、脊椎・脊髄の主要な解剖と機能を理解し，神経組織との関係を把握し、現在脊髄疾患の対象は多岐にわたっている現状を踏まえ、乳幼児から超高齢者の脊髄疾患までと幅広く、さらに多様化、重度化、重複化する状況に対応できるよう指導する。また脊髄損傷の病態・障害像を把握して，脊髄損傷の運動療法や日常生活活動について教授する。また脊髄疾患の基礎的理学療法の処方、実践が出来ることを目標とする。本科目は理学療法学科ディプロマポリシー「理学療法に関する高いスキルと豊かな表現力を身に付け、それを実践していく力」を実践する科目である。
授業概要	①脊椎・脊髄の主要な解剖と機能ならびに、神経組織との関係性を理解し、説明できる。 ②脊髄障害の多様化、重度化、重複化する状況を理解し、説明できる。 ③脊髄損傷の病態・障害像を理解し、説明できる。 ④脊髄損傷の運動療法や日常生活活動を理解し、説明できる。 整形外科専門病院、クリニックにて5年間勤務し、脊髄損傷、整形疾患、脳血管疾患などの理学療法に関わった。またその後は20年間にわたり介護老人保健施設などの非常勤としてリハビリテーションに関わっている。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	本科目では疾患特有の病態像を学ぶため、グループワークを用いたレポートを持って評価する（100%）。なお，評価のために実施したレポートは、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義終了後、Teamsをもちいてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）脊髄の基礎解剖生理の知識を十分に整理することが序盤の講義では必要である。また各講義の後には２）理解が十分でない箇所の確認及び精査を行いノートにまとめること。グループワークの開始に伴い、３）各グループにおける十分な討議及び４）講義内発表での指摘に対する十分な整理を行うこと。なおそれらを総合的に確認するための試験に望むために、５）2/3以上の出席をすること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：シラバスに即して、毎回教科書の該当部分及びシラバステーマに関して整理しておく。 復習：講義中に出したキーワードに関してしらべる。 なお、予習復習は各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室にて

	授業計画	担当者
第１回	脊髄損傷の理学療法総論	小幡太志
第２回	理学療法評価、高位診断	小幡太志
第３回	脊髄不全損傷とその特殊型	小幡太志
第４回	レベル別ADL動作	小幡太志（GS予定）
第５回	レベル別ADL動作グループディスカッション	小幡太志（GS予定）

第６回	褥瘡、自律神経障害	小幡太志
第７回	レベル別基本動作	小幡太志
第８回	レベル別基本動作グループディスカッション	小幡太志
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	PTマニュアル　脊髄損傷の理学療法	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	武田功	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21483-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	田中宏太佳	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-00778
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法治療学実習			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-223		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限 火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳卒中片麻痺を主とした運動療法」と「理学療法プログラム立案」をテーマとして、評価結果に基づく論理的な理学療法プログラムが立案でき、かつ実践もできるようになる。
授業概要	卒中片麻痺患者を中心に，発症急性期から回復期での具体的な運動療法手技について学習するとともに、春期の内容を踏まえ、有限の評価情報から理学療法プログラムの立案化を図るトレーニングを行う。また、グループワーク演習も取り入れ、チーム医療における協調性や責任感や報告力を養う。以上は、各疾患や症例固有の理学療法介入モデルを模索することを通じて、知識と実際場面で用いるハンドリング技術と高度な接遇態度を学ぶと共に、臨床家の思考過程に近づくことをめざすものである。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	定期試験（筆記試験）及びグループワーク発表会、客観的臨床能力試験(OSCE)の成績を評価する。 定期試験とOSCEを受けるための必要条件は、平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、実習・演習活動への参加，かつグループワークへの参加と発表会出席があることとする。 レポート課題２つで20%、筆記試験で60%、臨床技能で20%の予定
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・必要な指示は講義内および掲示板にて行う。 ・理学療法推論にはフレキシブルな問題解決能力が要求されると同時に、正確に推論するためには豊富な基礎知識も不可欠である。したがって、真剣に課題に取り組んでもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。併せて，脳卒中理学療法に関する実務経験の多いゲストピーカーを招いて，知識と技術を習得します.
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 十分な理解に到達するために，予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	1,2 脳神経機能の可塑性、急性期ポジショニング・視点	原田和宏
第２回	3,4 脳卒中のROM exercise,	
第３回	5,6 腱反射、病的反射、筋緊張実技の再確認	
第４回	評価＆介入の臨床技能実習（右片麻痺）	
第５回	評価＆介入の臨床技能実習（運動失調症）	
第６回	評価＆介入の臨床技能実習（立位練習）	
第７回	評価＆介入の臨床技能（二重課題歩行練習）	
第８回	脳卒中の神経筋再教育法，外部講師2コマ	
第９回	脳卒中急性期患者のプログラム立案課題	
第１０回	脳卒中急性期回復期のプログラム立案課題	
第１１回	臨床技能実践（ダイアローグ～治療介入）	

第１２回	23,24 高次脳機能障害		
第１３回	25.　秋学期総合演習　1		
第１４回	26.　秋学期総合演習　2		
第１５回	秋期定期試験		
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学　第2版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	吉尾雅春，森岡周，阿部浩明（編）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-03621-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた 改訂第18版	参・出版社名１	南山堂
参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4525247980
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活技術学			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-224		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常生活活動（ＡＤＬ）」の概念理解と基本的技術の修得をテーマに，自立支援に向けた基礎的な評価・支援技術を身につける。あわせて本授業は，以後本格化する理学療法評価や疾患別理学療法といった専門科目への導入教育を目指すものである。 リハビリテーションにおいてＡＤＬの自立は，疾患や障害の違いを越えたあらゆる対象者共通の支援目標である。本講義では，ＡＤＬの定義や概念，構成する要素の理解とともに，自立に向けた評価と基本的な介入方法について習得する事を到達目標とする。
授業概要	前半はＡＤＬの定義と概念を踏まえた上で，構成する個々の活動の評価や問題点の抽出方法，自立に向けた介入方法の基礎を教授する。同時に，地域生活の自立を指す「生活関連動作」を取り上げ，社会参加の促進や障害予防の視座に立った支援について理解を深める。後半では，疾患別の自立支援として代表的疾患の「脳血管障害」「脊髄損傷」を取り上げ理解を深める。講義では「グループワーク（GW）」を導入する等，受け身ではなく能動的学びを目指す。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	この科目では，国家試験や臨床実践を前提とした基礎的知識の修得を最低ラインの目標としていることから，単位認定は定期試験の合格を要件とする。ただし成績評定は定期試験（70%），GW課題 （30%）から評価する。授業態度・欠席は減点要素とする。詳しい評価方法は，最初の授業時に説明する。 なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので，見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，授業内，または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）積極的な態度で臨むことはもちろん，授業ごとに指示される予習・復習が重要になることを留意すること。 ２）質問や意見表明を積極的に行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	１）授業各回において，教科書を中心とした事前学修，事後学修を指示する。 ２）指示されるレポート課題・グループワーク課題について取り組むこと。これら以外についても，当該科目の重要性を十分認識の上，必ず予習復習に取り組むこと。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，金曜日5時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	総論－ＡＤＬの定義と概念	齋藤
第２回	ＡＤＬ評価Ｉ　ＡＤＬ障害の捉え方	齋藤
第３回	ＡＤＬ評価ＩＩ　事例検討　※ＧＷ	齋藤
第４回	起居動作	齋藤
第５回	移動動作Ｉ　車椅子	齋藤
第６回	移動動作ＩＩ　歩行	齋藤
第７回	ＡＤＬ評価尺度について	齋藤
第８回	活動能力向上と障害予防　手段的ＡＤＬ	齋藤
第９回	疾患別評価と理学療法　総論	齋藤
第１０回	脳血管障害Ｉ　基本的ADL ※ＧＷ	齋藤
第１１回	脳血管障害ＩＩ　活動能力　※ＧＷ	齋藤

第１２回	脊髄損傷Ｉ　四肢麻痺　※ＧＷ		齋藤
第１３回	脊髄損傷ＩＩ　対麻痺　※ＧＷ		齋藤
第１４回	疾患別評価と理学療法　まとめ		齋藤
第１５回	既出事項の総まとめ		齋藤
第１６回	定期試験		齋藤
教科書			
教・書籍名１	理学療法学テキスト　日常生活活動（ＡＤＬ）	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	4915814211
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日常生活活動（ADL）―評価と支援の実際	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	伊藤 利之	参・ＩＳＢＮ１	4263266064
参・書籍名２	ＡＤＬとその周辺　評価・指導・介護の実際	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	伊藤利之・鎌倉矩子	参・ＩＳＢＮ2	4260022040

授業科目名	生活技術学実習			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-225		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限 木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常生活活動（ＡＤＬ）」の支援介入技術の修得をテーマに，自立支援における介助技術，生活障害の評価技術を身につける。 本実習科目では，自立に向けた指導や介助方法，歩行補助具や車椅子，福祉用具の使用方法について実習し，技術を身につける。また事例検討を通じ，生活障害の評価と介入の臨床的思考を身につけることを到達目標とする。
授業概要	感染予防の観点より，授業構成として先ずはADLの支援介入技術に関する理解を深め，直接接触を前提とする介助技術習得は，後半の授業回に集中講義で実施する。 初回は，疾患別自立支援法として骨関節疾患を取り上げ教授する。次いで医療面接と事例検討をとおしADL障害の構造と捉え方について理解を深める。それ以降，6回にわたり介助技術の運動力学的理解，基本動作やセルフケアに関する各種介助技術の概要を，デモンストレーションを交え教授する。そして集中講義による実技をとおして専門的技術の修得を図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	この科目では，国家試験や臨床実践を前提とした基礎的知識と技術の修得を目標としている。単位取得要件は定期試験合格と集中講義で実施する実技の試験合格を要件とする。成績評定は，筆記試験・実技試験（80%），課題（GWを含む20%）から評価する。授業態度・欠席は減点要素とする。詳しい評価方法は，最初の授業時に説明す
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題や試験，レポート等は，授業内，または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	1）授業前半は介助技術に関する理論を教授し，後半に介助技術修得を目的とした実技を実施する予定であるが，感染状況より講義計画が変更される可能性があることに留意すること。 2）介助技術修得に関する集中講義は，感染予防の観点より2クラスに分け少人数化して実施する。クラス編成と実施日時については改めて授業時に説明する。 3）マスク装着など基本的な感染予防対策を留意し出席すること。 4）質問や意見を積極的に行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	１）授業各回において，配付資料・教科書を中心とした事前学修と事後学修，実技に関する自主練習を指示する。 ２）指示されるレポート課題・グループワーク課題について取り組むこと。これら以外についても，当該科目の重要性を十分認識の上，必ず予習復習に取り組むこと。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，金曜日５時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	1・2．講義：疾患別評価と理学療法　骨関節疾患	齋藤
第２回	3・4．ＡＤＬ障害の構造とその捉え方Ｉ　医療面接	齋藤
第３回	5・6．ＡＤＬ障害の構造とその捉え方ＩＩ　事例検討1	齋藤
第４回	7・8．講義：介助技術の基本的知識	齋藤
第５回	9・10．起居動作Ｉ（寝返り，起き上がり，ベッド上移動）	齋藤
第６回	11・12．移乗動作Ｉ（トランスファーの基礎）	齋藤
第７回	13・14．移乗動作ＩＩ（トランスファー，立ち上がり動作，他）	齋藤
第８回	15・16．移動動作（車椅子，歩行）	齋藤

第９回	17. セルフケア（排泄・入浴動作中心に）	齋藤
第１０回	18. ＡＤＬ障害の構造とその捉え方ＩＩＩ　事例検討2	齋藤
第１１回	19. 実技・起居動作ＩＩ（寝返り，起き上がり，他）	齋藤
第１２回	20. 実技・移乗動作ＩＩＩ（トランスファー）	齋藤
第１３回	21. 実技・移乗動作ＩＶ（立ち上がり動作，他）	齋藤
第１４回	22. 実技・移動動作（車椅子，歩行）	齋藤
第１５回	23. 既出事項の総まとめ・実技試験	齋藤
第１６回	24. 定期試験	齋藤
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	日常生活活動（ADL）　第2版	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	監修　千住秀明	教・ＩＳＢＮ１	4915814211
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	義肢装具学			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-226		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「専門家としての基本的素養を身につける」をテーマとする。 ・義肢装具はリハビリテーションに必要不可欠な治療手段であることが理解できる。 ・義肢装具は障がい者にとって日常生活活動に大きく影響することが理解できる。 ・義肢については義足・義手の種類やそれぞれの機能、適応を述べることができる。 ・装具については上肢装具・下肢装具・体幹装具のそれぞれの機能、適合判定を述べることができる。
授業概要	・義肢装具の実物教材に直接触れて体験しながら理解することができる。 ・義肢装具の図や写真を数多くみることから分かやすく理解することができる。 ・義肢は切断者にとって適応の良し悪しが装着に影響することを理解することができる。 ・装具は機能障害がある者にとって治療を促進し活動能力の向上に有用であることを理解することができる。 ・模擬装具を用い装着することで障がい者への共感的理解を深めて適合判定を理解することができる。 ・実技を取り入れ動きながら解剖学や運動学の知識を合わせて考えていくことから理解を深めることができる
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	・定期試験（50%）、課題レポートやノート提出（30%）、講義内小テスト（20%）から評価する。 ・臨床実習を行う能力を備えているかは国家試験の実地問題を加えて評価する。 ・課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までには見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・義肢装具学としての学習内容は、3年次春期の義肢装具学実習をもって完結する。 ・2年次秋期では疾患別理学療法が同時進行するため義肢装具学総論と義足について学習する。 ・学習習慣が成績に反映される科目であることからその日の内に習ったことをノート整理し復習は欠かせない。 ・毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できていない点をまとめて授業を受けること ・復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。 ・指示に従って必ずノートを作成し復習を行うこと。 ・試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。 ・必ず予習と復習を各1時間程度は行わないと、授業に出席していただけでは単位は取れない。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

	授業計画	担当者
第１回	理学療法学と臨床	井上茂樹
第２回	臨床理学療法と義肢装具	井上茂樹
第３回	義肢装具総論	井上茂樹
第４回	義肢装具と理学療法士の役割	井上茂樹
第５回	義肢学	井上茂樹
第６回	装具学	井上茂樹

第７回	切断者のリハビリテーション		井上茂樹
第８回	義足の足部		井上茂樹
第９回	下腿ソケット		井上茂樹
第１０回	下腿義足のアライメント		井上茂樹
第１１回	下腿義足の異常歩行		井上茂樹
第１２回	膝継手		井上茂樹
第１３回	大腿ソケット		井上茂樹
第１４回	大腿義足のアライメントと異常歩行		井上茂樹
第１５回	取りまとめ総論		井上茂樹
第１６回	単位認定試験		井上茂樹
教科書			
教・書籍名１	義肢装具のチェックポイント第9版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	監修　日本整形外科学会・他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04589-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	義肢装具学実習			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-227		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限 月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「専門家としての基本的素養を身につける」をテーマとする。 ・義肢装具を治療手段として理解することができる。 ・義肢装具の適応が日常生活や社会活動に有用であることを理解することができる。 ・義肢装具の適合判定は対象者の残存機能や生活様式から適合させていく方法を身につけることができる。 ・義肢装具の目的・種類・構造・機能・適応・チェックポイントについて自ら学ぶ姿勢を身につけることができる。
授業概要	・義肢装具の実物を用いて構造と機能を理解することができる。 ・装具を実際に作製することで適合判定までを体験し理解を深めることができる。 ・義足の異常歩行についてはモデルを用いて現象を体感することができる。 ・実際に現場で適応された動画をみることで能力障害への適応が理解できる。 ・模擬患者を想定して義肢装具を適応さすことから共感的態度を身につけることができる。 ・自ら学ぶ習慣を培い体で覚えることを育み専門家の素養を身につけることができる。 ・臨床実習に臨むにあたって必要な基本的な態度を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	・テーマ「専門家としての基本的素養を身につける。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験（50%）、課題レポートとノート提出（30%）、講義内小テスト（20%）から評価する。 ・臨床実習を行う能力を備えているかは国家試験の実地問題を加えて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	・口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・授業中のノートはメモで、その日の内に教科書はもちろん参考書をみて習ったことをノートにすること。 ・復習と予習の学習習慣を徹底的に身につけていく課題が出される。 ・頭で覚えることだけでなく動きながら考えていく創造力が求められる。 ・毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できていない点をまとめて授業を受けること ・復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。 ・指示に従って必ずノートを作成し復習を行うこと。 ・試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。 ・必ず予習と復習を各1時間程度は行わないと、授業に出席していただけでは単位は取れない。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	股義足	井上茂樹
第２回	股義足	井上茂樹
第３回	その他の義足	井上茂樹
第４回	その他の義足	井上茂樹

第５回	義手の種類	井上茂樹
第６回	義手の種類	井上茂樹
第７回	義手のチェックポイント	井上茂樹
第８回	義手のチェックポイント	井上茂樹
第９回	車椅子・歩行補助具	井上茂樹
第１０回	車椅子・歩行補助具	井上茂樹
第１１回	上肢装具の種類	井上茂樹
第１２回	上肢装具の種類	井上茂樹
第１３回	上肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第１４回	上肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第１５回	体幹装具の種類	井上茂樹
第１６回	体幹装具の種類	井上茂樹
第１７回	体幹装具のチェックポイント	井上茂樹
第１８回	体幹装具のチェックポイント	井上茂樹
第１９回	下肢装具の種類	井上茂樹
第２０回	下肢装具の種類	井上茂樹
第２１回	下肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第２２回	下肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第２３回	仮装具の作製-弾力包帯	井上茂樹
第２４回	仮装具の作製-弾力包帯	井上茂樹
第２５回	まとめ	井上茂樹
第２６回	単位認定試験	井上茂樹
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	義肢装具のチェックポイント第9版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	監修　日本整形外科学会・他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04589-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	難病理学療法学			担当者	津田　陽一郎		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-228		
必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義では神経筋疾患（難病）に対する理学療法を実施するにあたり、疾患に対する基本的な知識をふまえ、実施の目的が分かり、評価、治療を長期的な見通しを持って組み立てることができるようになる。また、罹患された者やその家族の心理的、社会的側面に関する理解を深め、リハビリテーション従事者として必要な洞察力、共感力を養い、専門職としての関わりの在り方について考えることができることを目標とする。
授業概要	神経筋疾患には多くの種類があるが、各疾患の運動障害の経過は様々であり特異性を持つ。そのため、発病からの経過を踏まえ各時期によってどのような介入が必要か、運動によるリスク管理とともに、治療、指導のポイントを講義する。また、治療において重要な手技などの実技指導も含め行ってゆく。代表的なパーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群を中心に講義を行う。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度（30%実技練習における実施態度を重要視）、定期試験（40%）とレポート（30%：必要に応じて課題とする）　なお、評価のために実施した課題、 レポート等は、授業でフィードバックをする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	配布資料における括弧内のキーワードは最低限記憶するべき項目であることから、参考書を参照し確認を行いながら復習をする。配布資料に基づき講義内で説明をするが、予習として参考書を読みつつ括弧内をあらかじめ埋めることも出来るようになっている。実技は人を変えつつ多くの練習が必要であることから、各自講義後、実習前に練習をすること。予習および復習には，各2時間程度を要する。
履修条件・注意事項	講義は配布資料を基に実施してゆくため、毎回配布された資料を忘れずに持参すること。そのため、ファイルを用意し、まとめておく事が望ましい。講義中に基本的な手技，運動指導を実技として練習する場面もあるため，動きやすい服装，あるいは実習着（白衣）での受講が望ましい．実技における基本手技は習熟のために繰り返しの練習が必要であることから，講義後も質問があれば積極的に聞くこと．また，復習についても個人的に練習をすること．
実務経験のある教員	該当する　内容　病院（急性期・回復期リハビリテーション病棟・外来）の他、訪問リハビリ、デイケア等、急性期～生活期の理学療法、リハビリテーション業務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	配布資料における括弧内のキーワードは最低限記憶するべき項目であることから、参考書を参照し確認を行いながら復習をする。配布資料に基づき講義内で説明をするが、予習として参考書を読みつつ括弧内をあらかじめ埋めることも出来るようになっている。実技は人を変えつつ多くの練習が必要であることから、各自講義後、実習前に練習をすること。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	講義終了後、教室にてオフィスアワーの時間とするが、他の時間に質問が浮かんだ場合は、保健医療学部　原田和宏教授に報告、連絡をとる。

授業計画		担当者
第１回	難病に関する概要/神経筋疾患　総論	
第２回	パーキンソン病に対する理学療法１	
第３回	パーキンソン病に対する理学療法２/脊髄小脳変性症に対する理学療法	
第４回	脊髄小脳変性症に対する理学療法	
第５回	難病に対する感性を高める	

第６回	筋委縮性側索硬化症に対する理学療法	
第７回	多発性硬化症，ギランバレー症候群に対する理学療法	
第８回	神経筋疾患　まとめ	
第９回	定期試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない　（配布資料を使用します）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	理学療法テキスト神経障害理学療法学II	参・出版社名１	中山書店
参・著者名１	石川 朗	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-1112-0
参・書籍名２	中枢神経系理学療法学（理学療法学ゴールド・マスター・テキスト）	参・出版社名2	メジカルビュー社
参・著者名2	柳澤健	参・ＩＳＢＮ2	978-4-521-73232-9

授業科目名	障がい児理学療法学			担当者	横井　輝夫、馬屋原　康高		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-229		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限 土曜3限 土曜4限 金曜3限 金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	障がい児理学療法の評価と技術の基本、および障がいをもって生きる子どもやそのご家族へ理学療法を通して支援をしていく方法について学ぶ。その結果、学生は障がい児理学療法の主な対象疾患を有する児者、およびそのご家族に対し、全人的な視点に立って理学療法を提供できるようになる。
授業概要	障がいをもつ子どもへの理学療法は療育の一翼をになう。療育は育つ力を育てる子育てである。従って、子どもの気持ちや機能障がいの理解とともに、親の気持ちを理解し、親の想いに寄り添うことが大切である。その上で、まず、障がい児理学療法の主な対象疾患である脳性麻痺の症状や機能障がいについて学び、それらをふまえてライフサイクル別に理学療法アプローチを習得する。また、重い障がいをもつ児では、生命にかかわる呼吸障がや摂食嚥下障がいをしばしば合併している。そこで、呼吸障がいや摂食嚥下障がいへの理学療法や理学療法士のかかわりにつていも習得する。さらに、子どもの神経筋疾患、整形外科疾患、発達障がい児への理学療法アプローチを習得する。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	評価は単位認定試験、レポート課題、および授業への積極的な態度を総合して行う。なお、評価配点については、各講師が説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート、試験については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当する　内容　本科目では、障がい児分野での実務経験を活かした授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	配布資料は事前に通読しておくこと。そして、毎回の授業直後に授業の内容を組織化・構造化できるように復習すること。従って、予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	療育の意味と歴史	横井
第２回	脳性麻痺総論①	横井
第３回	脳性麻痺総論②	横井
第４回	発達評価	横井
第５回	子どもの呼吸障がいと理学療法	横井
第６回	子どもの整形外科疾患と理学療法	横井
第７回	まとめ・試験	横井
第８回	新生児期の理学療法	馬屋原
第９回	就学支援と理学療法	馬屋原
第１０回	学齢期の理学療法	馬屋原
第１１回	青年期の理学療法	馬屋原
第１２回	小児の摂食機能療法と理学療法士のかかかり	馬屋原
第１３回	発達障がいの特徴と理学療法アプローチ	馬屋原
第１４回	小児期発症の神経筋疾患における理学療法アプローチ	馬屋原
第１５回	地域の障がい児支援と理学療法士のかかわり・まとめ・試験	馬屋原

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	教科書はなし。授業のなかで資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	田原弘幸・他・編：小児理学療法学テキスト　改定第3版、南江堂、2018.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	スポーツ障害 （オムニバス）	担当者	日傳　宗平、福田　航、横山　茂樹
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-230

必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・実技
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜2限 土曜3限 土曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	スポーツ障害に対する評価と理学療法をテーマとして，以下のことを到達目標とする． ①スポーツ動作のバイオメカニクスやスポーツ障害の疾患特性を十分に理解する． ②スポーツ障害に対する理学療法評価および治療プログラムを説明できる．
授業概要	部位別におけるスポーツ障害の発生機序，病態・疾病特性について解説します．さらにはスポーツ障害に対する理学療法評価および治療プログラムを実践できるように実技も取り入れながら講義を進めます．
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では，スポーツ障害に関するリハビリテーションを実践できることを目的としています．このため基礎知識の修得程度を把握するための確認テスト（30%），実技修得への取り組みを評価するための積極的学習態度（10%），総合的な知識と技術の修得度を確認するための筆記試験（60%）を行う．特に実習を多く取り入れることから授業への参加態度を重視する．
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単元ごとに確認テストを実施します．
履修条件・注意事項	授業出席が2/3以上を単位認定受験の条件とします． 講義では，実習を行うので実習着を着用し，半袖・短パンになれるように準備してください．
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回において，評価や治療・指導が実践できるレベルを目指します．このため事前に取り上げる疾患を告知しますので，疾患特性や病態等について，十分に予習しておいてください． 講義の中で取り上げるスポーツ障害に関する基礎知識を十分に整理してください．また講義内容を確認するための確認テストを実施しますので，復習してください．
オフィスアワー	講義終了後に質問を受け付けます． またメール等により対応します．

	授業計画	担当者
第１回	第1回スポーツ理学療法総論	横山　茂樹
第２回	第2回スポーツ現場における理学療法；メディカルチェック	横山　茂樹
第３回	スポーツ現場における理学療法；メディカルチェック	横山　茂樹
第４回	応急処置・テーピング	日傳　宗平
第５回	ストレッチ	日傳　宗平
第６回	エクササイズ	日傳　宗平
第７回	上肢におけるスポーツ障害（１）	日傳　宗平
第８回	上肢におけるスポーツ障害（２）	日傳　宗平
第９回	体幹におけるスポーツ障害	日傳　宗平
第１０回	下肢におけるスポーツ障害（１）	福田　航
第１１回	下肢におけるスポーツ障害（２）	福田　航
第１２回	下肢におけるスポーツ障害（３）	福田　航
第１３回	下肢におけるスポーツ障害（４）	横山　茂樹

第１４回	下肢におけるスポーツ障害（５）	横山　茂樹
第１５回	まとめ	横山　茂樹
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法研究法			担当者	井上　優		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-231		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限 月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義における学習を通じて，学生が理学療法士にとって必要な客観的視点にたった現象解釈の能力や態度を身につくこと，「研究」というものが数学的知識や，その他の難しい知識の集合体ではなく，臨床現場における評価に通じるものであり，検査測定結果を他者に適切に伝えることができるようになることを目標とする．
授業概要	研究に対する基礎的な知識として，研究デザインの大切さ，理学療法領域で用いられることの多い検査測定方法の選択の仕方，統計手法について教科書，講義を通じて整理していく．授業の後半にはグループ毎にテーマを決め，実際に情報収集・データ測定・結果解釈・発表の一連の作業を行ってもらう．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	受講態度（10%），グループワークにおける取組姿勢（15%），提出物（15%），定期試験（60%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする
履修条件・注意事項	研究法に関する知識量，理解度だけで評価はせず，学習や授業に取り組む姿勢も重視する．学習や授業に対する姿勢は，提出物の内容やグループワークにおける姿勢を主に評価する． グループワークの成果発表時には必ず参加すること．特別な理由がなく不参加の場合は，単位認定試験の受験資格は与えない．
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，医療機関に勤務し実務経験のある外部講師が，臨床現場における現状や課題，臨床研究などを具体例を紹介しながら，必要な知識や能力について講義し，学生の理解を深める．
事前学習・事後学習とその時間	1）授業計画を参照し，該当する箇所に関して事前に教科書を熟読してから授業に臨むこと． 2）復習は授業ノートと教科書の再確認により行うこと． 3）指定した教科書のみでは必要な知識を得ることは難しいため，他の参考書，論文などにも目を通すことが望ましい． 4）予習および復習には，各2時間程度を要する．
オフィスアワー	授業終了時の教室にて行う．

授業計画		担当者
第１回	第1回　オリエンテーション：研究の必要性と意義.	井上優
第２回	第2回　研究デザイン：研究疑問から研究課題の設定	井上優
第３回	第3回　研究デザイン：研究デザインの理解	井上優
第４回	第4回　研究デザイン：文献の検索方法と読み方	井上優
第５回	第5回　研究デザイン：アウトカムの特性の理解	井上優
第６回	第6回　研究デザイン：データ収集と基礎統計	井上優
第７回	第7回　研究デザイン：研究倫理	井上優
第８回	第8回　研究デザイン：シングルケーススタディ	井上優
第９回	第9回　研究デザイン：プレゼンテーション	井上優
第１０回	第10回　グループワーク：研究テーマの検索と研究デザインの検討	井上優
第１１回	第11回　グループワーク：研究デザイン発表	井上優
第１２回	第12回　グループワーク：データ収集	井上優
第１３回	第13回　グループワーク：データ解析，プレゼンテーション準備	井上優
第１４回	第14回　グループワーク：成果発表1	井上優

第１５回	第15回　グループワーク：成果発表2		井上優
第１６回	第16回　単位認定試験		井上優
教科書			
教・書籍名１	理学療法研究法	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	対馬栄輝	教・ＩＳＢＮ１	9784263267356
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	「理学療法におけるevidence-based medicine」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「理学療法におけるevidence-based medicine」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	収集した文献を読み，要点を的確に発表できるように準備すること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	中嶋　正明
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	中嶋　正明
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	中嶋　正明
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	中嶋　正明
第５回	文献抄読（１）	中嶋　正明
第６回	文献抄読（2）	中嶋　正明
第７回	文献抄読（3）	中嶋　正明
第８回	文献抄読（4）	中嶋　正明
第９回	文献抄読（5）	中嶋　正明
第１０回	研究計画書作成（１）	中嶋　正明

第１１回	研究計画書作成（2）	中嶋　正明
第１２回	研究計画書作成（3）	中嶋　正明
第１３回	研究計画書作成（4）	中嶋　正明
第１４回	研究計画書作成（5）	中嶋　正明
第１５回	卒業研究計画書発表	中嶋　正明
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	高橋　淳
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生がバイオ研究の実験方法、思考法を学び、実験技術を習得し、その成果を卒業論文としてまとめ発表することを目標とする。
授業概要	研究については「腫瘍促進因子FEATの機能」に関わるテーマを中心に進める。 (大半のヒトがんで異常に高発現している強力な新規腫瘍促進因子, https://www.natureasia.com/ja-jp/srep/abstracts/35196) 具体的には、 1. 実験方法を学び、分子生物学、生化学的手技を習得する。 2. 保健福祉研究所で実験に従事して、データを収集・解析する。 3. 文献検索の仕方を学び、研究論文を読む能力を身につける。 4. 研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるために、能動的な学修態度が望ましい。 ２）履修過程にあたっては、E-mailを活用する等、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　内科医としての実務経験と血液学・細胞生物学・腫瘍生物学の研究実績を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	バイオ研究に知的好奇心を持ち、実験を進めながら、積極的に質問し、討論し、実地に学んでほしい。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	高橋
第２回	研究倫理について	高橋
第３回	研究テーマの絞り込み	高橋
第４回	分子生物学、生化学実験法	高橋
第５回	実験（1）	高橋
第６回	実験（2）	高橋
第７回	実験（3）	高橋
第８回	実験（4）	高橋
第９回	実験（5）	高橋
第１０回	実験（6）	高橋
第１１回	.実験（7）	高橋
第１２回	実験（8）	高橋
第１３回	実験（9）	高橋
第１４回	実験（10）	高橋
第１５回	実験結果検討会	高橋

第１６回	研究計画見直し		高橋
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常診療で感じた疑問を科学的に解決し還元する」をテーマに，４年次における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，医師としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場に おいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および前回授業で予告した部分について事前に資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業で不明な点を資料で確認し、次回の授業までにノートにまとめること。 なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	森
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	森
第３回	研究テーマの絞り込み（１）過去の研究紹介	森
第４回	研究テーマの絞り込み（２）話し合い	森
第５回	文献抄読（１）	森
第６回	文献抄読（２）	森
第７回	文献抄読（３）	森
第８回	文献抄読（４）	森
第９回	文献抄読（５）	森
第１０回	文献抄読（６）	森
第１１回	研究計画書作成（１）	森
第１２回	研究計画書作成（２）	森

第１３回	研究計画書作成（３）	森	
第１４回	研究計画書作成（４）	森	
第１５回	研究計画書作成（５）	森	
第１６回	卒業研究計画書発表	森	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	あなたもできるデータの処理と解析	参・出版社名１	福村出版
参・著者名１	岩淵千明　編著	参・ＩＳＢＮ１	978-4-571-20058-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	河村　顕治
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「リハビリテーションのバイオメカニクス研究」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には、研究テーマ発見のために必須となる先行研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	2年次の「身体運動学実習」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を、それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前に指示をした課題について、ゼミの中で発表を行い参加者全員でディスカッションを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも、能動的な学修態度を留意すること。 ２）履修にあたっては、研究室を訪ねたりE-mailを活用する等、担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須である。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	河村顕治
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	河村顕治
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	河村顕治
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	河村顕治
第５回	文献抄読（１）	河村顕治
第６回	文献抄読（２）	河村顕治
第７回	文献抄読（３）	河村顕治
第８回	文献抄読（４）	河村顕治
第９回	文献抄読（５）	河村顕治
第１０回	研究計画書作成（１）	河村顕治
第１１回	研究計画書作成（２）	河村顕治
第１２回	研究計画書作成（３）	河村顕治
第１３回	研究計画書作成（４）	河村顕治
第１４回	計画書作成（５）	河村顕治

第１５回	卒業研究計画書発表	河村顕治	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない。適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「高齢者における自立支援・障害予防」をテーマに，4年次における卒業研究の具体化を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。卒業研究の導入となるこの科目では，先行研究のレビューに必要な論文クリティークや先行研究の到達点を整理する手法を修得する。また課題発表を通して基本的なプレゼンテーション能力を修得することを到達目標とする。
授業概要	研究については「高齢者の自立支援・障害予防」に関わるテーマを中心に進める。 2年次の「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を，それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ルーブリック評価に基づく学修態度（20%），各課題の達成度（80%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，ゼミまたはMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。２）履修にあたっては，研究室を訪ねたりE-MAILを活用する等，担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。課題は，各回授業時において指示する。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，金曜日５時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	齋藤
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	齋藤
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	齋藤
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	齋藤
第５回	文献抄読（１）	齋藤
第６回	文献抄読（２）	齋藤
第７回	文献抄読（３）	齋藤
第８回	文献抄読（４）	齋藤
第９回	文献抄読（５）	齋藤
第１０回	研究計画書作成（１）	齋藤
第１１回	研究計画書作成（２）	齋藤
第１２回	研究計画書作成（３）	齋藤
第１３回	研究計画書作成（４）	齋藤
第１４回	計画書作成（５）	齋藤
第１５回	卒業研究計画書発表	齋藤

第１６回			
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 この講義（ゼミ）を通じて、学術論文としての論理的な構成、文章表現および図表の描き方、統計処理、文献の検索と引用の方法等を学ばせる。 【目標】 学生は、独力で学術論文を作成するための一連の基礎的な手順の把握ができるようになる。
授業概要	●卒業研究テーマを決定し、研究や取り組みを進める。 ●研究テーマは理学療法領域における既成の治療理論、治療技術やその効果に対して新たな知見を加えることを理想とするものの、必ずしも既成概念に固執させることは求めない。 ●研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーションの方法や資料の作成についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	●ゼミでの講義における質疑応答の内容ならびに課題の達成度にて評価する。 ●ゼミ内での態度・実績（30%） ●課題の達成度（70%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業（ゼミ）にてフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	●受け身ではなく、能動的かつ積極的な参加が必要である。 ●研究室を訪ねたりE-MAILやSNSを上手に活用する等して、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	履修学生に対して事前に課題を与えてゼミ活動の中での発表や報告を行わせ、そのような活動の中で知識や知恵を蓄積していき、最終的に研究の具現化を進めていくために予習と復習が必須である。 【予習】 次回講義（ゼミ）において学ぶ予定の内容について、事前にアナウンスまたは配布された情報や講義資料をよく確認して把握しておくこと。 【復習】 毎講義（ゼミ）、前回の講義（ゼミ）で学んだ内容について学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10～15分間／一人）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにマイノートを作成して家庭学修をしておくこと。 ※予習および復習には、各２時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	佐藤
第２回	担当教員との年間計画の検討・立案	佐藤
第３回	研究テーマ検討（運動指導）	佐藤
第４回	研究テーマ検討（介護予防体操）	佐藤
第５回	研究テーマ検討（学生の国試対策に関するテーマ）	佐藤
第６回	研究テーマ検討（PT評価実技の学習支援）	佐藤
第７回	研究テーマ検討（地域包括ケア活動）	佐藤

第８回	研究テーマ検討（認知症とBPSD）	佐藤
第９回	文献検索の方法	佐藤
第１０回	文献レビューの方法	佐藤
第１１回	文献抄読資料の作成と発表	佐藤
第１２回	文献抄読会	佐藤
第１３回	研究計画の検討について	佐藤
第１４回	研究計画の立案	佐藤
第１５回	研究計画の作成	佐藤
第１６回	卒業研究計画の発表	佐藤

教科書			
教・書籍名１	適宜必要な文献および資料等を提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳血管障害の病態と生活」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「脳血管障害の病態と生活」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする．
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること． 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる． 予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする．

	授業計画	担当者
第１回	①オリエンテーション	原田和宏
第２回	②担当教員との進行打ち合わせ	
第３回	③研究テーマの絞り込み（１）臨床	

第４回	④研究テーマの絞り込み（２）科学	
第５回	⑤文献抄読（１）和文検索	
第６回	⑥文献抄読（２）和文抄録	
第７回	⑦文献抄読（３）和文本文	
第８回	⑧文献抄読（４）レジュメ	
第９回	⑨文献抄読（５）発表	
第１０回	⑩研究計画書作成（１）目的	
第１１回	⑪研究計画書作成（２）対象	
第１２回	⑫研究計画書作成（３）背景	
第１３回	⑬研究計画書作成（４）方法	
第１４回	⑭計画書作成（５）	
第１５回	⑮卒業研究計画書発表	
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-232

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「循環・呼吸理学療法」をテーマに，卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	元田
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	元田
第３回	研究テーマの絞り込み（1）	元田
第４回	研究テーマの絞り込み（2）	元田
第５回	文献抄読（１）	元田
第６回	文献抄読（2）	元田
第７回	文献抄読（3）	元田
第８回	文献抄読（4）	元田
第９回	文献抄読（5）	元田
第１０回	文献抄読（6）	元田
第１１回	文献抄読（7）	元田
第１２回	文献抄読（8）	元田
第１３回	文献抄読（9）	元田

第１４回	文献抄読（10）		元田
第１５回	まとめ		元田
第１６回			
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また、研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については、「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び、先攻研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場における研究活動について実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須 である。課題は、各回授業時において指示する。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	井上茂樹
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	井上茂樹
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	井上茂樹
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	井上茂樹
第５回	文献抄読（１）	井上茂樹
第６回	文献抄読（２）	井上茂樹
第７回	文献抄読（３）	井上茂樹
第８回	文献抄読（４）	井上茂樹
第９回	文献抄読（５）	井上茂樹
第１０回	研究計画書作成（１）	井上茂樹
第１１回	研究計画書作成（２）	井上茂樹

第１２回	研究計画書作成（３）		井上茂樹
第１３回	研究計画書作成（４）		井上茂樹
第１４回	計画書作成（５）		井上茂樹
第１５回	卒業研究計画書発表		井上茂樹
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料などを提示する）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅰ（ゼミ）			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-232		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動学習の成立過程」あるいは「嚥下運動の促通」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「運動学習」あるいは「嚥下運動の促通」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミでの発言の回数、ディスカッションへの参加態度（30%），各回に出す課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場における研究の実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森下元賀
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	森下元賀
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	森下元賀
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	森下元賀
第５回	文献抄読（１）	森下元賀
第６回	文献抄読（２）	森下元賀
第７回	文献抄読（３）	森下元賀
第８回	文献抄読（４）	森下元賀
第９回	文献抄読（５）	森下元賀
第１０回	研究計画書作成（１）	森下元賀

第１１回	研究計画書作成（２）	森下元賀
第１２回	研究計画書作成（３）	森下元賀
第１３回	研究計画書作成（3）	森下元賀
第１４回	研究計画書作成（4）	森下元賀
第１５回	卒業研究計画書発表	森下元賀
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「理学療法におけるevidence-based medicine」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「理学療法におけるevidence-based medicine」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	収集した文献を読み，要点を的確に発表できるように準備すること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	中嶋　正明
第２回	データ収集（２）	中嶋　正明
第３回	データ解析（１）	中嶋　正明
第４回	データ解析（２）	中嶋　正明
第５回	研究計画見直し（１）	中嶋　正明
第６回	研究計画見直し（2）	中嶋　正明
第７回	研究計画見直し（3）	中嶋　正明
第８回	本実験・データ収集（１）	中嶋　正明
第９回	本実験・データ収集（2）	中嶋　正明
第１０回	本実験・データ収集（3）	中嶋　正明
第１１回	本実験・データ解析（１）	中嶋　正明
第１２回	本実験・データ解析（2）	中嶋　正明
第１３回	本実験・データ解析（3）	中嶋　正明

第１４回	中間発表資料作成	中嶋　正明	
第１５回	卒業研究、中間発表	中嶋　正明	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生がバイオ研究の実験方法、思考法を学び、実験技術を習得し、その成果を卒業論文としてまとめ発表することを目標とする。
授業概要	研究については「腫瘍促進因子FEATの機能」に関わるテーマを中心に進める。 (大半のヒトがんで異常に高発現している強力な新規腫瘍促進因子, https://www.natureasia.com/ja-jp/srep/abstracts/35196) 具体的には、 1. 実験方法を学び、分子生物学、生化学的手技を習得する。 2. 保健福祉研究所で実験に従事して、データを収集・解析する。 3. 文献検索の仕方を学び、研究論文を読む能力を身につける。 4. 研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるために、能動的な学修態度が望ましい。 ２）履修過程にあたっては、E-mailを活用する等、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　内科医としての実務経験と血液学・細胞生物学・腫瘍生物学の研究実績を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	バイオ研究に知的好奇心を持ち、実験を進めながら、積極的に質問し、討論し、実地に学んでほしい。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	実験（1）	高橋
第２回	実験（2）	高橋
第３回	実験（3）	高橋
第４回	実験（4）	高橋
第５回	実験（5）	高橋
第６回	実験（6）	高橋
第７回	実験（7）	高橋
第８回	実験（8）	高橋
第９回	実験（9）	高橋
第１０回	実験（10）	高橋
第１１回	データ解析	高橋
第１２回	実験結果検討会	高橋
第１３回	中間発表資料作成（1）	高橋
第１４回	中間発表資料作成（2）	高橋
第１５回	中間発表資料作成（3）	高橋

第１６回	卒業研究、中間発表		高橋
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常診療で感じた疑問を科学的に解決し還元する」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，医師としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場に おいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および前回授業で予告した部分について事前に資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業で不明な点を資料で確認し、次回の授業までにノートにまとめること。 なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	森
第２回	データ収集（２）	森
第３回	データ収集（３）	森
第４回	データ解析（１）	森
第５回	データ解析（２）	森
第６回	研究計画見直し（１）	森
第７回	研究計画見直し（２）	森
第８回	研究計画見直し（３）	森
第９回	本実験・データ収集（１）	森
第１０回	本実験・データ収集（２）	森
第１１回	本実験・データ収集（３）	森
第１２回	本実験・データ解析（１）	森

第１３回	本実験・データ解析（２）		森
第１４回	本実験・データ解析（３）		森
第１５回	中間発表作成		森
第１６回	卒業研究、中間発表		森
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	あなたもできるデータの処理と解析	参・出版社名１	福村出版
参・著者名１	岩淵千明　編著	参・ＩＳＢＮ１	978-4-571-20058-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	河村　顕治
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「リハビリテーションのバイオメカニクス研究」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には、研究テーマ発見のために必須となる先行研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	2年次の「身体運動学実習」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を、それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前に指示をした課題について、ゼミの中で発表を行い参加者全員でディスカッションを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも、能動的な学修態度を留意すること。 ２）履修にあたっては、研究室を訪ねたりE-mailを活用する等、担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須である。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	河村顕治
第２回	データ収集（２）	河村顕治
第３回	データ解析（１）	河村顕治
第４回	データ解析（２）	河村顕治
第５回	研究計画見直し（１）	河村顕治
第６回	研究計画見直し（２）	河村顕治
第７回	研究計画見直し（３）	河村顕治
第８回	本実験・データ収集（１）	河村顕治
第９回	本実験・データ収集（２）	河村顕治
第１０回	本実験・データ収集（３）	河村顕治
第１１回	本実験・データ解析（１）	河村顕治
第１２回	本実験・データ解析（２）	河村顕治
第１３回	本実験・データ解析（３）	河村顕治
第１４回	中間発表資料作成	河村顕治

第１５回	卒業研究、中間発表	河村顕治	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない。適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	齋藤　圭介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「高齢者における自立支援・障害予防」をテーマに，卒業研究演習Ⅰに引き続き4年次における卒業研究の具体化を目指し，研究活動に必要な実践的な知識・技術を修得する。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。卒業研究演習Ⅰで修得した研究の基礎的知識と技術を手がかりに，研究計画の作成や，測定・データ収集に必要な具体的技術を修得する。また研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーション能力を修得することを到達目標とする。
授業概要	研究については「高齢者の自立支援・障害予防」に関わるテーマを中心に進める。 2年次の「理学療法研究法」，ならびに卒業研究演習Ⅰの学修を手がかりに，先行研究レビューの仕方を身につけると共に，研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ルーブリック評価に基づく学修態度（20%），各課題の達成度（80%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，ゼミまたはMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。２）履修にあたっては，研究室を訪ねたりE-MAILを活用する等，担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。課題は，各回授業時において指示する。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて木曜日３時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	データ収集（１）	齋藤
第２回	データ収集（２）	齋藤
第３回	データ解析（１）	齋藤
第４回	データ解析（２）	齋藤
第５回	研究計画見直し（１）	齋藤
第６回	研究計画見直し（２）	齋藤
第７回	研究計画見直し（３）	齋藤
第８回	本実験・データ収集（１）	齋藤
第９回	本実験・データ収集（２）	齋藤
第１０回	本実験・データ収集（３）	齋藤
第１１回	本実験・データ解析（１）	齋藤
第１２回	本実験・データ解析（２）	齋藤
第１３回	本実験・データ解析（３）	齋藤
第１４回	中間発表資料作成	齋藤
第１５回	卒業研究，中間発表	齋藤
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 この講義（ゼミ）を通じて、学術論文としての論理的な構成、文章表現および図表の描き方、統計処理、文献の検索と引用の方法等を学ばせる。 【目標】 学生は、独力で学術論文を作成するための一連の基礎的な手順の把握ができるようになる。
授業概要	●卒業研究テーマを決定し、研究や取り組みを進める。 ●研究テーマは理学療法領域における既成の治療理論、治療技術やその効果に対して新たな知見を加えることを理想とするものの、必ずしも既成概念に固執させることは求めない。 ●研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーションの方法や資料の作成についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	●ゼミでの講義における質疑応答の内容ならびに課題の達成度にて評価する。 ●ゼミ内での態度・実績（30%） ●課題の達成度（70%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業（ゼミ）にてフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	●受け身ではなく、能動的かつ積極的な参加が必要である。 ●研究室を訪ねたりE-MAILやSNSを上手に活用する等して、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	履修学生に対して事前に課題を与えてゼミ活動の中での発表や報告を行わせ、そのような活動の中で知識や知恵を蓄積していき、最終的に研究の具現化を進めていくために予習と復習が必須である。 【予習】 次回講義（ゼミ）において学ぶ予定の内容について、事前にアナウンスまたは配布された情報や講義資料をよく確認して把握しておくこと。 【復習】 毎講義（ゼミ）、前回の講義（ゼミ）で学んだ内容について学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10～15分間／一人）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにマイノートを作成して家庭学修をしておくこと。 ※予習および復習には、各２時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	第１回目 データ収集	佐藤
第２回	第１回目 データ解析	佐藤
第３回	第２回目 データ収集	佐藤
第４回	第２回目 データ解析	佐藤
第５回	研究活動の振り返り	佐藤
第６回	第１次 研究計画見直し	佐藤

第７回	第３回目 データ収集	佐藤	
第８回	第３回目 データ解析	佐藤	
第９回	第４回目 データ収集	佐藤	
第１０回	第４回目 データ解析	佐藤	
第１１回	これまで収集したデータの振り返り	佐藤	
第１２回	中間発表に向けた文献検索	佐藤	
第１３回	中間発表資料の作成着手	佐藤	
第１４回	中間発表会資料を完成させる	佐藤	
第１５回	卒業研究中間発表会	佐藤	
第１６回	卒業研究中間報告書の作成	佐藤	
教科書			
教・書籍名１	適宜必要な文献および資料等を提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳血管障害の病態と生活」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「脳血管障害の病態と生活」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする．
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること． 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる． 予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする．

	授業計画	担当者
第１回	①データ収集（１）アンケート	
第２回	②データ収集（２）観察	

第３回	③データ解析（１）Excel	
第４回	④データ解析（２）SPSS	
第５回	⑤研究計画見直し（１）対象	
第６回	⑥研究計画見直し（２）目的	
第７回	⑦研究計画見直し（３）方法	
第８回	⑧本実験・データ収集（１）観察	
第９回	⑨本実験・データ収集（２）転記	
第１０回	⑩本実験・データ収集（３）アンケート	
第１１回	⑪本実験・データ解析（１）平均	
第１２回	⑫本実験・データ解析（２）相関	
第１３回	⑬本実験・データ解析（３）有意差	
第１４回	⑭中間発表資料作成	
第１５回		⑮卒業研究、中間発表
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	卒業研究演習Ⅰに引き続き、「循環・呼吸理学療法」をテーマに，卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	研究計画書作成（１）	元田
第２回	研究計画書作成（2）	元田
第３回	研究計画書作成（3）	元田
第４回	研究計画書作成（4）	元田
第５回	研究計画書作成（5）	元田
第６回	研究計画書作成（１）	元田
第７回	文献抄読（3）	元田
第８回	文献抄読（4）	元田
第９回	文献抄読（5）	元田
第１０回	データ収集（１）	元田
第１１回	データ解析（１）	元田
第１２回	研究計画見直し（１）	元田
第１３回	研究計画見直し（2）	元田

第１４回	研究計画見直し（3）		元田
第１５回	まとめ		元田
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-233

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また、研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については、「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び、先攻研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場における研究活動について実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須 である。課題は、各回授業時において指示する。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	データ収集（１）	井上茂樹
第２回	データ収集（２）	井上茂樹
第３回	データ解析（１）	井上茂樹
第４回	データ解析（２）	井上茂樹
第５回	研究計画見直し（１）	井上茂樹
第６回	研究計画見直し（２）	井上茂樹
第７回	研究計画見直し（３）	井上茂樹
第８回	本実験・データ収集（１）	井上茂樹
第９回	本実験・データ収集（２）	井上茂樹
第１０回	本実験・データ収集（３）	井上茂樹
第１１回	本実験・データ解析（１）	井上茂樹

第１２回	本実験・データ解析（２）		井上茂樹
第１３回	本実験・データ解析（３）		井上茂樹
第１４回	中間発表資料作成		井上茂樹
第１５回	卒業研究、中間発表		井上茂樹
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料などを提示する）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究演習Ⅱ （ゼミ）			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-233		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次前期配当「卒業研究Ⅰ」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次前期配当「卒業研究Ⅰ」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場における研究の実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し	森下元賀
第２回	本実験・調査データの収集（１）	森下元賀
第３回	本実験・調査データの収集（２）	森下元賀
第４回	本実験・調査データの収集（３）	森下元賀
第５回	本実験・調査データの収集（４）	森下元賀
第６回	本実験・調査データの収集（５）	森下元賀
第７回	データ解析（１）	森下元賀
第８回	データ解析（２）	森下元賀
第９回	結果の解釈と研究意義の理解	森下元賀
第１０回	卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案	森下元賀
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	森下元賀
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	森下元賀

第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	森下元賀	
第１４回	卒業研究発表会　卒業研究発表	森下元賀	
第１５回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	森下元賀	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	リハビリテーション工学			担当者	石原　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-4-236		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限 月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	理学療法士、作業療法士が実践の場で必要となる福祉用具を紹介し、医療・福祉現場だけに留まらず地域で様々な弱者の困難を解決できるツールや技法を紹介する。単なる聴講のみではなく、パソコンやスマホなどの様々なデバイス（機器）のアクセシビリティを理解し、その問題点などをグループでディスカッションも行う。また自身の考えをまとめ、それぞれのスタイルで発表を行い、相互理解できる環境を作成する。 1.コミュニケーションの障害とは何かを理解する 2.様々な支援技術を理解する 3.様々な福祉用具制度を理解する 4.自分の考えをまとめて発表できる人材を育成する
授業概要	2020年から新型コロナウィルスの感染拡大を受けて私たちの生活は大きく変化しています。 外出したくても外出できない。授業を受けることができずにリモートでの授業を受けた方も多くいることでしょう。個人因子に問題はなくても、環境因子の変化に伴い我々の生活は制限されるようになりました。これは一時的ではありますが外出制限のある障害者や高齢者の体験ができたとも置き換えることができるのではないでしょうか？少子高齢化、労働人口の減少がある中で、スマートホンの保有割合は8割を超え、全世帯の8割の家庭にパソコンがある時代で、これらのテクノロジーのサービスを享受できない、いわゆる使いこなせない方が多いのも事実で、加齢や障害を持った方々のICT機器の利用状況を解決するためには理学療法士や作業療法士の支援が今後必要とされています。 この科目では「障害」「コミュニケーション」を再理解し、Society5.0を迎える現代社会で必要な様々なICT機器を体験し、導入実例を挙げて学習します。また、グループ討議等の実習も行います。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価の為に実施した課題などについては、授業でフィードバックする
履修条件・注意事項	

実務経験のある教員	該当する	内容	講師本人はALS等の進行性難病、脊髄損傷、脳性麻痺、知的・発達障害を含む様々な障害を持つ障害当事者や家族を含む支援者へ問題点のヒアリングを行い、福祉用具の提案、特にICT機器を使用した機器導入サポートを行ってきた。また支援学校、医療機関でのコミュニケーション機器のコンサルティング業務を手掛けた経験に基づき、グローバルな障害支援を目標とし、小児から高齢者まですべての対象者のQOL向上を最新の機器や数多くの事例を提供することで、医療、福祉分野での即戦力の育成を行います。

事前学習・事後学習とその時間	最新のICT機器に関する情報をインターネットなどから入手するよう心掛けること。 日常生活における不便さをいかに解消できるか考えてみる癖をつけておくこと。 理学療法士、作業療法士を目指す以前に魅力ある人間形成ができるよう、様々な事象に興味関心を持ち 自分の意見を持つ癖をつけておくこと。 予習・復習は各2時間程度要する
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施。質問などはその時間を利用すること。 授業時間中にメールアドレスを公開するので、それ以外の質問などは直接メールを利用すること。

	必要であればZoomなどのオンラインミーティングも可能。

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション　障害を理解する　社会の変化　コミュニケーションとは	石原
第２回	テクノロジーを理解する　ICT　Society5.0　DigitalDivide	石原
第３回	テクノロジーウォッチング　福祉機器体験	石原
第４回	＜実習＞透明文字盤と会話補助装置体験	石原
第５回	拡大代替コミュニケーション（AAC）の基礎 ローテクエイド　ハイテクエイド	石原
第６回	知的発達学習障害とAAC 感覚統合とは＜実習＞	石原
第７回	OSのアクセシビリティ　コンピュータ入力支援機器	石原
第８回	＜実習＞Windowsアクセシビリティ　スマートホンのアクセシビリティ	石原
第９回	重度意思伝達装置　スイッチを使ったスキャン入力　視線を使った入力　その他機器紹介	石原
第１０回	＜実習＞重度意思伝達装置　スイッチを使ったスキャン入力　視線を使った入力　その他機器紹介	石原
第１１回	環境制御装置とは　ECS(Enviroment Control System）赤外線	石原
第１２回	日常生活用具と補装具　制度利用に関して	石原
第１３回	支援機器導入時の導入プロセス　フィッテイング	石原
第１４回	プレゼンテーションの資料作成　第15回　発表準備	石原
第１５回	コンクルージョン　まとめ 授業で得た知識の発表（プレゼンテーション） 知識の共有	石原
第１６回	最終考査	石原

教科書			
教・書籍名１	（使用しない）必要に応じてプリントを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１	（使用しない）必要に応じてプリントを配布する	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	AAC入門	参・出版社名１	株式会社 atacLab｜エイタックラボ
参・著者名１	中邑 賢龍	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	重度障害者用 意思伝達装置操作スイッチ 適合マニュアル	参・出版社名2	三輪書店
参・著者名2	日向野和夫	参・ＩＳＢＮ2	ISBN978-4-89590-577-0

授業科目名	地域レクリエーション演習			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-238		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	前半は講義中心、後半は演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 本講義では「地域在住の中・高年者を対象とした心身の健康における維持・増進」や「通所系・入所系施設を利用されている対象者におけるQOLの向上」に資する内容（理論・実技）に視座した教育を展開する。また、地域在住の人々が余暇を利用したQOL向上や、対象者個々における「その人らしい充実した生活の創出を実現するための支援」に資する戦略的思考を身につける為の演習を段階的かつ誘導的に実施し、その支援スキルを身につけさせる。 【目標】 本講義では以下１～３）について理解できるようになることを目標として講義と演習を織り交ぜながら実施する。 １）学生は、『レクリエーションの社会的意義についての理解』ができる。 ２）学生は、『レクリエーション支援者としての役割についての理解』ができる。 ３）学生は、『セラピューティックなレクリエーションとは何か？についての理解』ができる。
授業概要	この科目は「全８回の講義・演習」が展開される科目となっており、前半4回では地域保健福祉現場でのレクリエーションに関する基礎知識を学び、その内容をふまえて「後半（５～７回目）の演習」を実践する。特に後半の演習では「心豊かに、いかにしてその人らしく自由時間（余暇）を活用・創出するか？」に視点を置いた活動を展開していただく。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／フィールドワーク
評価方法と割合	第５～７回の演習の際に作成する「3回分の演習実施記録」を「60%（60点）」とし、全講義の終了後において提出していただく「課題レポート」にて残りの「40%（40点）」を評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	前半（１～４回）の講義内容に基づいて実施されることとなる後半の演習（５～7回）において課される課題レポートは、次回授業の冒頭にてフィードバックする。全講義が終了した後に課される最終レポートのフィードバックはオンラインで実施する。
履修条件・注意事項	講義において学生を指名して質問を行なうことがあるので、教員からの質問に対して返答できるように「講義の復習」や「資料を活用した予習」を行なうこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、レクリエーションインストラクターならびに理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】次回講義において学ぶ予定の内容について事前に配布された講義資料をよく読んでおくこと。 【復習】毎講義、前回の講義で学んだ内容について、学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10分間）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにノート等を確認しておくこと。 注）予習および復習には各1.5時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の教員研究室（6415）において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	レクリエーションとリハビリテーション	佐藤
第２回	QOL／人の心や個々の価値観はさまざま	佐藤
第３回	楽しさが元気を創る仕組み	佐藤
第４回	レク支援の目的と方法	佐藤
第５回	とりあえずやってみる楽しい自由時間演習	佐藤

第６回	少し考えた楽しい自由時間創出演習	佐藤
第７回	思慮深く考えた充実の自由時間創出演習	佐藤
第８回	５～６回の演習のふり返り／フィードバック	佐藤
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	講義の中で、適宜に資料を配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	レクリエーションの支援の基礎／￥2,160（本体￥2,000）	参・出版社名１	日本レクリエーション協会
参・著者名１	日本レクリエーション協会	参・ＩＳＢＮ１	なし
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中山間地域健康増進演習			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-239		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 近年、理学療法士や作業療法士が地域における健康増進事業や介護予防関連の教室（フレイル予防、ロコモ予防、サルコペニア予防）への取り組みにおいて、施設や医療機関から講師として派遣されるケースが増加している。このようなニーズに対応できる人材育成を目的として、下記【到達目標】の達成を目指して講義を実施する。 【到達目標】 ❶学生は、地域の健康増進や介護予防の事業における社会的意義について理解ができる。 ❷学生は、地域の健康増進や介護予防の事業における支援者としての素養体験を蓄積できる。 ❸地域の健康増進や介護予防の事業における支援者としての基本力（知識・知恵）を修得できる。
授業概要	吉備国際大学の所在地である岡山県高梁市は「中山間地域」という地域属性であり、高齢化率の著しい増加とともに「通いの場の少なさ」に伴う地域在住高齢者の方々における「ICFでいうところの参加」の機会減少が懸念されている。本講義では、高梁市介護保険課が主幹となって運営されている複数の地域包括ケアシステムに関連している事業等を題材として、特に「中山間地域におけるリハビリテーション関連職のあり方（かかわり方）」について、中山間地域事業への参加体験や見学を交えながら学びを深めていく。なお、先述❶～❸の目標を達成させていく過程の中で、中山間地域における健康増進や介護予防の支援活動を行う場合に必要となる「四肢や体幹における各筋力の評価や増強に関する基礎知識やレクチャー技術」に加えて「態度」に関する能力の涵養に繋がるように授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	前半（１～４回）の授業について「前回の講義内容に関するレポート」の提出を求め、このレポート内容について「40％（10点×４回分）」を評価する。そして、後半の演習において提出していただく「課題」にて、残りの「60％（60点）」を評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回課される課題レポートは、次回授業の冒頭にてフィードバックする。全講義が終了した後に課される最終レポートのフィードバックはオンラインで実施する。
履修条件・注意事項	【講義・演習中の質問】 毎回の講義において学生を指名して質問を行なうので、教員からの質問に対して返答できるように「講義の復習」や「参考書を活用した予習」を実施しておくこと。 【履修の推奨】 この科目は必修ではないが、２年次～４年次の各学年で開講される実習（実技）系の様々な必修科目の履修時においてアドバンテージとなりえる貴重な知識・知恵・情報を教授するので受講を推奨する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、高梁市ならびに岡山市の行政活動（介護認定審査、地域包括ケアシステムの構築や運営）への参画活動や研究実績を有している教員が、その経験を活かしながら現場実践に役立つ知識と知恵を教授する授業である。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業につき、予習と復習にそれぞれ1.5時間を用いて取り組むこと。予習として、インターネットなどを通じて授業テーマに関する情報を収集して概要を把握しておくこと。復習として、毎時間終えた範囲を振り返り、自分のノートにその内容を整理しておくこと。
オフィスアワー	６号館４階の教員研究室（6415）において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	中山間地域と地域包括ケア	佐藤
第２回	筋力評価と筋力増強	佐藤

第３回	ボルグ指数と有酸素運動	佐藤
第４回	高梁市の実情と事例紹介	佐藤
第５回	次回以降の演習について（目的と課題遂行）	主：山本／副：佐藤・原田
第６回	地域住民（A氏）とのオンライン面談	主：山本／副：佐藤・原田
第７回	地域住民（B氏）とのオンライン面談	主：山本／副：佐藤・原田
第８回	２度のオンライン面談のふり返り	主：山本／副：佐藤・原田
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新版　目でみるMMT	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	佐藤三矢　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21542-5
参・書籍名２	ここまでできる高齢者の転倒予防	参・出版社名2	日本看護協会出版会
参・著者名2	武藤芳照 総監修	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8180-1542-5

授業科目名	地域における生活環境学					担当者	佐藤　三矢	
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年					ナンバリング	HS-PT-3-240	
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義	
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】 本講義では、特に「地域在住」の「高齢者（自立／要支援／要介護）」や「障害を有している人々」を対象とした講義を展開する。これら対象者における「活動的な生活」や「社会参加」の促進を図る上で重視される生活環境支援、特に「福祉用具の導入」や「住宅改修」にフォーカスした講義を展開する。 【到達目標】 本講義を通じて、学生は「対象者や介護者にとっての適切な生活環境を検討する思考」ならびに「生活環境の評価や環境整備へのアプローチに関する基礎知識」を修得する。
授業概要	本講義の前半（１０月～１１月）において「福祉住環境コーディネーター２級（例年の試験日は11月下旬～12月上旬）」の資格取得を支援する内容に軸足を置いた講義を展開する。特に、前半の講義では「医療／介護／福祉の制度・法律への理解」が深まるように配慮しながら講義を展開していく。後半（１２月中旬～１月）は生活環境に関する基本的概念を踏まえると共に、福祉用具の導入や住宅改修を前提とした評価や具体的なアプローチ方法について指導する。後半の講義では、特にアクティブラーニング（住宅改修に関する実践的な思考の獲得を目指した家屋や家屋周辺の製図作成と検討）を実施させる。
アクティブラーニングの内容	フィールドワーク
評価方法と割合	近年、取得の難易度が上昇しつつある「福祉住環境コーディネーター・ライセンス２級の取得（合格基準は７０点以上）」を高く評価する（例年、１２月下旬～１月上旬に合否発表）。また、不合格の場合でも、この試験で６０点以上を取得した場合には、その実績を単位認定の際の判断材料として採用する。 【福祉住環境コーディネーター２級のライセンスを取得できた場合】 ●その時点で、「80点（「評定A」）」を保証する。 ●そして「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成）」にて、残りの「20点分」を採点する。 【福祉住環境コーディネーター２級の試験が不合格だが、その試験結果が60～69点の場合】 ●その時点で、単位認定試験に「60点」を保証する。 ●そして「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成と１つの考察）」にて、残りの「40点分」を採点する。 【福祉住環境コーディネーター２級の試験が不合格で、その試験結果が50点未満の場合】※未受験の場合もこれに該当 ●単位認定試験における点数加算はない。 ●もっぱら「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成と３つ以上の課題考察）」にて「100点分」を採点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	12月中旬から展開されるアクティブラーニングにおいて、学生のレポート作成の進捗確認を実施ながら、より良いレポートの完成に繋げるための助言や例示を行い、その内容を受講学生全員でシェアし合う。
履修条件・注意事項	前半（10月～12月上旬）では、日ごろからテキストの熟読や福祉住環境コーディネーター２級の過去問などを通じた予習・復習を行なうことを推奨する。後半（12月中旬）から本格化するアクティブラーニングでは、早期からレポート作成に取り掛かる（まずは下書き作成に着手する！）ことを強く推奨する。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】次回講義において学ぶ予定の内容をチェックし、教科書における該当部分をよく読んでおく。 【復習】毎講義において前回の講義で学んだ内容について、学生に対する質問をランダムに行う「質問タイム（10分間）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにノート等を確認して家庭学習をしておく。 注）予習と復習には、各２時間程度を要する。		
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	福住環２級試験 ＆ ALに関する説明	佐藤
第２回	福祉住環境整備の意義	佐藤
第３回	福祉と住生活関連施策	佐藤
第４回	ﾉｰﾏﾗｲｾﾞｰｼｮﾝと自立支援	佐藤
第５回	関連職種への理解と連携	佐藤
第６回	福住環整備の相談と対応	佐藤
第７回	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ住生活関連施策	佐藤
第８回	在宅医療・在宅介護	佐藤
第９回	高齢者の身体・心理特性	佐藤
第１０回	軽微な改修①玄関	佐藤
第１１回	軽微な改修②トイレ	佐藤
第１２回	中～大規模改修①浴室	佐藤
第１３回	中～大規模改修②家屋	佐藤
第１４回	住宅改修関連の法令・基準	佐藤
第１５回	事例紹介：高齢者夫婦が住む家屋の住宅改修	佐藤
第１６回	試験	佐藤

教科書			
教・書籍名１	生活環境学テキスト	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修: 細田多穂 編集: 村田伸/岡本加奈子/北島栄二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25822-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	国際貢献・地域理学療法学	担当者	森下　元賀
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-241

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	地域(海外の地域を含む)における理学療法士の活動内容を理解することをテーマとし、今後医療分野だけでなく介護保険分野でも活躍できる能力を身につける。 関連法制度、他職種の活動を理解し、連携方法についても学び、国内外地域における対象者の介入方法、地域づくりを提示出来るようになることを目標とする。
授業概要	高齢化社会を迎える現在では、病院のみならず地域での理学療法士の活動の必要性が増している。また、その分野は国内にとどまらず、専門性を生かした国際貢献の必要性も求められている。本科目では概念だけでなく、実際の国内外の活動内容や事例を交えながら地域理学療法、理学療法士における国際貢献についての理解を深める。また、他職種の活動内容も紹介しながら、対象者支援のための連携方法を教授していく。講義の中では地域理学療法の実態を調査するなどのフィールドワークも取り入れる。 また、青年海外協力隊、訪問リハビリテーションの実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／フィールドワーク
評価方法と割合	レポート課題(70%)と受講態度(30%)により評価する。レポート課題は地域理学療法の実例、現状の調査を行う。受講態度は、ディスカッションでの発言態度や発言内容、講義の中での発言回数、グループ学習の成果によって評価する。詳しい評価方法は第一回の講義で明示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題、レポートは講義の中でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	介護保険領域の理学療法や国際貢献に関する講義を行う。 1) 現在の介護保険をめぐる情勢や国内外の貧困問題に関して、新聞などで十分に理解を深めておくこと。2) ディベートなどで自分の意見を発現する機会が多いので、積極的な参加姿勢を持つこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。また、国際貢献の実績がある青年海外協力隊経験者の外部講師および災害派遣の実績のある外部講師が講義を行う。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、次回までに新聞などで地域を取り巻く現状を調査し、自分の意見をまとめる課題を指示する。2) 指示された課題に関して次回の授業までに自分なりにまとめ、授業中に発現できる準備をしておくこと。これ以外にも当該科目の重要性を理解し、日頃から新聞などで高齢者、地域施策に関して調べる習慣をつけ、予習、復習を行うこと。予習および復習にはそれぞれ1時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜日2限に研究室で実施する。昼休みに関しては随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	地域理学療法学とは	森下元賀
第２回	施設、居宅サービス	森下元賀、佐藤三矢
第３回	介護予防事業、行政の理学療法	森下元賀
第４回	災害リハビリテーション1	外部講師
第５回	災害リハビリテーション2	外部講師
第６回	海外における理学療法と国際貢献1	外部講師
第７回	海外における理学療法と国際貢献2	森下元賀
第８回	地域理学療法学実習オリエンテーション	森下元賀、原田和宏

第９回			
第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	PT・OTビジュアルテキスト 地域理学療法学	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	重森健太　編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0797-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際リハビリテーション学～国境を越えるPT・OT・ST (PT・OTビジュアルテキスト)	参・出版社名１	羊土社
参・著者名１	河野 眞 (編集)	参・ＩＳＢＮ１	978-4758102155
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床見学実習 （コラボ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-242		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	2年次の後期までに学んだ専門知識（基礎医学及び運動学、評価学等）を背景に理学療法の現場を体験する。患者様とのコミュニケーションの取り方や、実際に行われている理学療法評価や治療など、様々な理学療法のプロセスや役割について理解し、その重要性を感じ取る。以後の学内教育ならびに臨床評価実習、総合臨床実習へ円滑かつ効率的に導入できるようにする。そして実習後は将来の職業人としての自己像を明確にできるようになる。
授業概要	【実習内容】 ❶見学（施設見学・治療見学） ❷対象者に接する体験（搬送などの手伝い、評価治療の簡単な補助） ❸評価の初歩的経験（カルテからの情報収集、簡単な検査の経験、動作分析の経験）。 ※１施設に2名～4名程度を配置し、実習期間は1週間。 ※最終日にはセミナーを開催し、各施設間での見学内容について報告会を行う。 【実習での課題】 （1）デイリーノート記載 （2）感想文の提出（実習指導者宛） （3）レポートの提出（大学宛）
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	理学療法学科が作成した「臨床実習の手引書」の内容をふまえながら各現場における実習指導者によって、実習中の態度を含めた理学療法士としての適性などが判断される。臨床実習指導者からの評価内容(50%)、セミナー発表の内容と態度(50%)などから総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は，学内のセミナー等でフィードバックするので見直し（場合によっては発表用資料の作り直しやブラッシュアップ）をしておくこと。
履修条件・注意事項	欠席・遅刻が無いように十分に留意しなければならない。また、服装・言葉使い・礼儀など社会人としてのマナーは当然必要である。また、実習で各自が明確な目標を持つことが必要。現場で起きている様々な事象を深く観察し、多くのことに気づくことが求められる。 ２年次の秋学期までに学んだ専門知識を背景に理学療法の現場を経験するため、基礎医学および運動学・評価学などの復習が必須である。また、実習中における行動記録、対象者と接するなどの具体的な体験内容について考察を含めてデイリーノートに記載するため、予習や復習が必要であり経験知の振り返りができることが必要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもとで、実際の患者様や障害者の方々に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	実習施設の指導担当者から提示される課題に取り組むこと。単なる見学ではなく、「自ら学ぶ」・「経験から学ぶ」という姿勢が重要であり、指示を受けなくても実習で抱いた疑問等について、能動的に調べて解決に繋げていくことが重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	各学生・臨床施設ごとに担当教員を配置しており、6号館3階、4階の各教員研究室において各教員のオフィスアワーに準じて実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田

第２回	SV（実習現場の指導者）の見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第３回	SV（実習現場の指導者）の評価見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第４回	SV（実習現場の指導者）の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第５回	SV（実習現場の指導者）の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第６回	対象者に接する体験（1）：搬送などの体験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第７回	対象者に接する体験（2）：移乗などの体験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第８回	対象者に接する体験（3）：評価治療の補助	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第９回	治療見学（1）：疾患別の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１０回	治療見学（2）：領域別の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１１回	治療見学（3）：疾患別・領域別の治療見学	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１２回	評価の初歩的経験（1）：カルテからの情報収集	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１３回	評価の初歩的経験（2）：検査の経験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１４回	評価の初歩的経験（3）：動作分析の経験	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１５回	学内でのセミナー発表	原田、齋藤、佐藤、森下、井上、中嶋、元田
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	

参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床評価実習 （コラボ）	担当者	原田　和宏
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-243

必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	180	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	本臨床実習では、学生が理学療法評価の一連の流れを実際の症例を通じて経験するものである。本実習の目標としては「それまで学生が学内で学んできた理学療法評価に関わる知識・技術の実践的な習熟を図り、理学療法対象者の全般的な理解ができるようになる事」である。そして実習後は、「学生が理学療法評価の結果から障害像を把握することができる」ようになることである。
授業概要	これまで学んできた理学療法に関する知識や技術を基礎に、臨床現場において実習指導者の指導監督の下、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案までの実習を行う。また実習指導者の判断で実行可能であれば初歩的な治療を体験する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	理学療法学科が毎年発行している『臨床実習の手引き』の「11頁／Ｖ．成績評価」において示されている内容に基づいて成績の評価が行なわれ、これについては各実習施設における指導者より示されることとなる。そして、最終的には「実習指導者による評価（60%）」・「実習状況（30%）」・「実習後に開催される学内で実習セミナーでの発表内容と質疑応答内容（10%）」を総合して評価が行われる。 【臨床実習における成績評価の評定基準／臨床実習の手引き（11頁より抜粋）】 ●評定Ａ（優）：わずかな助言・指導を与えれば当該項目の実施が可能であった。 ●評定Ｂ（良）：時々、助言・指導を与えれば当該項目の実施が可能であった。 ●評定Ｃ（可）：常に、十分な助言・指導を与えれば当該項目の実施が可能であった。 ●評定Ｄ（不可）：常に、十分な助言・指導を与えても当該項目の実施が不可能であった。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は、学内のセミナー等でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	臨床実習は、患者様や実習施設など多くの方々のご協力により得られる貴重な学びの機会である。欠席や遅刻をしないのは勿論のこと、1日1日を大事にし積極的な姿勢で臨む事。事前に評価項目・方法の予習、及び反省としての復習を十分行っておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもと、実際に患者や障害者に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して、学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	臨床実習は、患者様や実習施設など多くの方々のご協力により得られる貴重な学びの機会である。欠席や遅刻をしないのは勿論のこと、1日1日を大事にし積極的な姿勢で臨む事。事前に評価項目・方法の予習、及び反省としての復習を十分行っておくこと。
オフィスアワー	各学生・臨床実習施設ごとに担当教員を配置しており、各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	1. オリエンテーション	
第２回	2. 担当症例の紹介	
第３回	3. 指導者の評価・治療見学	

第４回	4. 評価の部分的介入開始	
第５回	5. 評価項目の指導者による事前確認	
第６回	6. 初期評価の開始	
第７回	7. 評価実践	
第８回	8. カンファレンス・回診への参加	
第９回	9. 勉強会・抄読会・施設行事への参加	
第１０回	10. 評価項目の見直し	
第１１回	11. 評価項目の見直し後の評価実践	
第１２回	12. 最終評価	
第１３回	13. 症例発表	
第１４回	14. 症例レポートの作成	
第１５回	15. 学内セミナーでの発表	
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	実習指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域理学療法学実習			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-244		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次の秋期までに学んだ専門知識（基礎医学及び運動学、評価学等）を背景に地域理学療法の現場を体験する。地域生活者である利用者とのコミュニケーションの取り方や、実際に行われている理学療法評価や介入など、様々な理学療法のプロセスや役割について理解し、その重要性を学ぶ。 総合臨床実習へ円滑かつ効率的に導入できるようにする。そして実習後は、地域生活者への深い理解、多疾患併存状態の課題解決など、職業人としての自己像を明確にできるようになる。
授業概要	実習内容（1）地域理学療法の見学（通所見学・訪問見学）、（2）地域在住者に接する体験（評価・介入の簡単な補助）、（3）理学療法指導の初歩的経験（情報収集、評価の経験、生活動作の動作、生活環境評価、調整的支援）。 1施設に2名～4名程度を配置する。実習期間は1週間で、最終日にはセミナーを開催し、各施設間での見学内容について報告会を行う。実習での課題（1）デイリーノートの記載、（2）感想文の提出（実習指導者宛）、（3）レポートの提出（大学宛）。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習の手引書および各実習指導者より示される。実習での態度を含めた理学療法士としての適性も判断される。臨床実習指導者からの評価内容(50%)、セミナー発表の内容、態度(50%)などから総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は，学内のセミナー等でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	欠席、遅刻の無いこと。また、服装、言葉使い、礼儀など社会人としてのマナーは当然必要である。また、実習で各自が明確な目標を持つことが必要。深く観察し、多くのことに気づく実習であることが求められる。 ２年次の秋学期までに学んだ専門知識を背景に理学療法の現場を経験するため、基礎医学および運動学、評価学などの復習が必須である。また、実習中における行動記録、対象者と接するなどの具体的な体験内容について考察を含めてデイリーノートに記載するため、予習や復習が必要であり経験知の振り返りができることが必要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもと、実際に患者や障害者に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して、学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	・実習施設の指導担当者の提示する課題に取り組むこと。単に見学ではなく、「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が重要であり、指示を受けなくても実習で抱いた疑問等について能動的に調べ解決することが重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	各学生・臨床施設ごとに担当教員を配置しており、6号館3階、4階の各教員研究室において各教員のオフィスアワーに準じて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	①オリエンテーション	原田和宏
第２回	②SVの評価見学	

第３回	③SVの評価見学	
第４回	④SVの治療見学	
第５回	⑤SVの治療見学	
第６回	⑥対象者に接する体験（1）：搬送などの体験	
第７回	⑦対象者に接する体験（2）：移乗などの体験	
第８回	⑧対象者に接する体験（3）：評価治療の補助	
第９回	⑨治療見学（1）：疾患別・領域別などの治療見学	
第１０回	⑩治療見学（2）：疾患別・領域別などの治療見学	
第１１回	⑪治療見学（3）：疾患別・領域別などの治療見学	
第１２回	⑫評価の初歩的経験（1）：カルテからの情報収集	
第１３回	⑬評価の初歩的経験（2）：検査の経験	
第１４回	⑭評価の初歩的経験（3）：動作分析の経験	
第１５回	⑮学内でのセミナー発表	
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育原論 （理学）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	TC-PT-1-901		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける 【到達目標】 １．学生は教育の基本概念を理解し、適切に用いることができる ２．学生は代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解し、説明できる ３．学生は近代公教育（学校）をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解し、説明できる ４．学生は家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解し、説明できる ５．学生は上記の学習を通じて教育の本質について考察し、今後の教育制度（学校など）の役割について自身の考えを表現できる
授業概要	本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会（共同体）の教育、学校教育がいかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。 本講義は大きく６つの段階に分けて展開する。１・２回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的（非組織的）な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	各回の講義の振り返りを行う学習記録（15%）、レポート（15%）、定期試験（70%）で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	学習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回講義の予習と復習を行っていただく（学習記録用紙）。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。
オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）

授業計画		担当者
第１回	教育の基礎概念	倉知典弘
第２回	教育の源形態－家庭・共同体による教育	倉知典弘
第３回	古代の教育思想（1）西洋の教育思想	倉知典弘
第４回	第４回：古代の教育思想（2）日本の教育思想	倉知典弘
第５回	中世の教育思想（1）宗教と教育	倉知典弘
第６回	第６回：中世の教育思想（2）ルネサンスと教育	倉知典弘
第７回	近代の教育思想（1）産業革命と教育	倉知典弘
第８回	近代の教育思想（2）近代教育制度の成立	倉知典弘
第９回	近代の教育思想（3）教育学の成立と展開	倉知典弘
第１０回	現代の教育思想（1）新教育運動の諸相	倉知典弘
第１１回	現代の教育思想（2）戦争と教育	倉知典弘
第１２回	現代の教育思想（3）東西冷戦下の教育	倉知典弘
第１３回	現代社会と教育（1）現代社会の課題と教育	倉知典弘
第１４回	現代社会と教育（2）子どもの生活世界の変容と教育	倉知典弘
第１５回	第15回：現代社会と教育（3）－まとめにかえて	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	『教育思想史』（有斐閣アルマ）	教・出版社名１	有斐閣
教・著者名１	今井康雄編	教・ＩＳＢＮ１	978-4641123847
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育の歴史と思想	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	石村華代・軽部勝一郎編	参・ＩＳＢＮ１	978-4623065844
参・書籍名２	新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷	参・出版社名2	東北大学出版会
参・著者名2	水原克敏	参・ＩＳＢＮ2	978-4861633171

授業科目名	教職論 （理学）			担当者	池上　真由美		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	TC-PT-1-902		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	教職についての基礎的な知識（教職の歴史と社会的使命，教員の職務，教員養成と研修，服務規程，「チームとしての学校」の一員としての役割等）について理解するとともに，教員としての自らの適性について考えることを目標とする。
授業概要	教師，教職，人を教え育てるという行為など，教育という営みをめぐる哲学的，原理的な課題からはじまり，学校教育，教員の使命と役割，学校における教員のさまざまな活動について理解する。また，これからの学校においては，「チームとしての学校」の体制の中で，一人の教員として自らの専門性を発揮し組織の一員として課題解決に当たる資質・能力が求められることを理解する。さらに，グループ討議等を通して，教員をめざすにあたり，自分には求められる資質・能力があるか，自分は教職に向いているかを真剣に考える場をもつようにする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は、ルーブリックを添付して授業でフィードバックする。コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２限

	授業計画	担当者
第１回	教師の歴史と教師論	池上
第２回	求められる教員の資質の変遷	池上
第３回	教育的諸問題と教職の課題	池上
第４回	教員の仕事と役割①（種類と職階，関係づくり）	池上
第５回	教員の仕事と役割②（教科指導）	池上

第６回	教員の仕事と役割③（教科外指導）	池上
第７回	教員の仕事と役割④（進路指導）	池上
第８回	教員の仕事と役割⑤（学級経営・学校経営・校務分掌）	池上
第９回	教員の仕事と役割⑥（教育相談）	池上
第１０回	教員の仕事と役割⑦（学級崩壊）	池上
第１１回	教員の研修	池上
第１２回	服務規程	池上
第１３回	小中学校の教員	池上
第１４回	高等学校・特別支援学校の教員	池上
第１５回	教員養成と教職課程	池上
第１６回	筆記試験	池上

教科書			
教・書籍名１	教職論　教師を志すすべての人へ　第2版	教・出版社名１	
教・著者名１	教職問題研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05305-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育行政学 （理学）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	TC-PT-2-903		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。 到達目標 １．学生は教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解し、説明できる ２．学生は学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解し、説明できる ３．学生は学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解し、説明できる ４．学生は子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解し、対応の仕方を考察できる ５．学生は現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解し、説明できる ６．学生は子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できる
授業概要	本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする（第１回）。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく（第２回～第７回）。 以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい（第８回～第14回）。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる（第15回）。 本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に着けてもらいたい。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	学習記録の提出（15%）及びレポート課題（15%）及び定期試験（70%）で評価する。評価に関わる詳細は初回講義の際に示す。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として1）講義に取り上げる予定の法令調べ　2）講義にかかわる事項の調べ　3）テーマに関わる論述課題を課す（2時間程度）。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1）講義のキーワードのまとめ　2）論述課題　3）講義の振り返りを課す（2時間程度）

オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）にて

授業計画		担当者
第１回	公教育の基本原理と教育行政：教育の公共性について	倉知典弘
第２回	教育の法制の概要：教育の法律主義について	倉知典弘
第３回	教育行政の機構：教育行政のガバナンス	倉知典弘
第４回	教育の中立性確保：宗教的中立と政治的中立	倉知典弘
第５回	教育の義務制と機会均等：教育福祉の観点から	倉知典弘
第６回	教育機関の設置・管理：学校と社会教育・生涯学習	倉知典弘
第７回	教育職員に関わる法制：養成・採用・服務を中心に	倉知典弘
第８回	学校の組織体制：チームとしての学校を中心に	倉知典弘
第９回	学校経営計画と評価：PDCAサイクル	倉知典弘
第１０回	学校における教育活動：教育課程	倉知典弘
第１１回	学校における生徒指導：「問題行動」とその制度的対応	倉知典弘
第１２回	学校経営の諸課題(1)地域社会との連携	倉知典弘
第１３回	学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健	倉知典弘
第１４回	学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応	倉知典弘
第１５回	現代教育改革と教育行政・学校経営	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	教育行政学　第３版 子ども・若者の未来を拓く	教・出版社名１	八千代出版
教・著者名１	横井敏郎編	教・ＩＳＢＮ１	9784842917849
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育小六法	参・出版社名１	学陽書房
参・著者名１	市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆	参・ＩＳＢＮ１	978-4313011953
参・書籍名２	中学校学習指導要領（最新版）　高等学校学習指導要領（最新版）	参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育心理学　（理学）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年	ナンバリング	TC-PT-2-904

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	１．教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ ２．児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける ３．児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける
授業概要	この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。 まず教育心理学の理論と方法を概観し、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説し、さまざまな学校現場における諸問題や児童生徒の困難さに対する支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や支援方法について教授し、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1. 初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 2. 授業内で定期的に実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 3. 授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、教育心理学とは	藤原直子
第２回	心身の発達①：発達の基礎的な理論と乳幼児期の発達	藤原直子
第３回	心身の発達②：児童期	藤原直子
第４回	心身の発達③：青年期以降	藤原直子
第５回	学習と知識獲得	藤原直子
第６回	認知的情報処理と記憶	藤原直子
第７回	動機づけと学習	藤原直子
第８回	認知発達と学習支援	藤原直子
第９回	学級集団と学習支援	藤原直子
第１０回	個性や個人差と学習支援	藤原直子
第１１回	教育評価	藤原直子
第１２回	障害の基本的理解と学校教育における配慮	藤原直子

第１３回	困難さを抱える子どもへの教育的支援	藤原直子	
第１４回	子どもの情緒・適応の理解と心理的支援	藤原直子	
第１５回	学校教育を取り巻く諸問題と教育心理学	藤原直子	
第１６回	試験	藤原直子	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる教職エクササイズ②　教育心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	森田健宏・田爪宏二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08177-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	特別支援教育 （理学）（後半8回）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年	ナンバリング	TC-PT-2-905

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	発達障害をはじめとする特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を理解し、適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につけることを目標とする。 さらに、特別支援教育の理念とシステムを学び、保護者や他の教員、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を習得する。
授業概要	特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の特性と心理的特徴について理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくための具体的な方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、教育現場における障害児者に対する心理的支援の実務経験（幼稚園・小学校での教員、小中高等学校でのスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回相談）がある教員が担当し、教育現場における現状や課題、教員として必要とされる特別支援に関する知識や支援方法について教授する。
事前学習・事後学習とその時間	①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業内で実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 ③授業内で配布するプリントの空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	特別支援教育の制度と理念、学校における支援体制及び連携	藤原直子
第２回	特別支援教育の実際、指導計画の作成	藤原直子
第３回	発達障害児の心身の発達・心理的特性	藤原直子
第４回	自閉スペクトラム症（ASD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第５回	注意欠如多動症（ADHD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第６回	限局性学習症（LD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第７回	様々な障害のある児童生徒の特性と支援、まとめ	藤原直子
第８回	試験	藤原直子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト	教・出版社名１	学研教育みらい
教・著者名１	小林倫代（編・著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-05-801762-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

Syllabus

保健医療福祉学部
理学療法学科

2017～2019 年度入学生

授業科目名	吉備国際大から世界へ 保健医療福祉学部	担当者	山本　倫子、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝 山本倫子
第２回	国境とは何か？	畝 山本倫子
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝 山本倫子
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝 山本倫子
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝 山本倫子
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝 山本倫子
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝 山本倫子
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝 山本倫子
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝 山本倫子
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝 山本倫子
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝 山本倫子
第１２回	高齢化社会の課題	畝 山本倫子
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝 山本倫子
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝 山本倫子
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝 山本倫子
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	地域学概論 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-KE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置づけられる科目であ る。 テーマとしては、順正学園及び大学が、立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、 人々の生活などについて理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶこ とが挙げられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史並びに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるか考え、チャレンジする態度を涵養できる。
授業概要	順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み(歴史)を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開され ている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、 人々の生活ならびに地域の課題解決や発展についてご講義いただき、地域の特性 や課題について理解を深める。また、毎回の講 義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考 え、生活の主体者として地域創生に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。
アクティブラーニングの内容	PBL／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	毎回講義時提出のレポート評価(70%)、第8回目に行う学習成果確認レポート作成の評価(30%)により、総合的に評価す る。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の講義でレポート提出を課すが、次回の講義までに内容を評価し返却する。
履修条件・注意事項	地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題は、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：講義を担当する複数の講師は、いずれも学園や大学の創設に中心的役割を担い尽力した講師や、地域 社会の中で様々な活動を展開している実務経験の豊富な講師である。
事前学習・事後学習とその時間	1）事前にユニパを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネットを通じて講義内容に関する情報を収集するなど、毎回2時間以上の事前学習を行い講義に参加すること。 2）講義後には、学習内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回2時間以上の事後学習を行う。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 地域創成とは何かー吉備国際大学の学生として「きび国学」を学ぶ意義と講義計画について	大西正泰（経営社会学科） 井上、中嶋
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史について	加計美也子 順正学園副総長 井上、中嶋
第３回	高梁市の暦利と文化及び政策課題と今後の方向性について	近藤隆則 高梁市長 井上、中嶋
第４回	高梁基督教会堂（岡山指定跡）をめぐる歴史と人物	高梁基督教会牧師 八木橋康広 井上、中嶋
第５回	日本遺産「備中吹屋」	吹屋ふるさと村村長 戸田誠 井上、中嶋
第６回	「未来につなぐ図書館」としての活動	高梁市図書館 宮地康志 井上、中嶋
第７回	宇治地域住民総働のまちづくり	宇治地域センター 中曽まゆみ 井上、中嶋
第８回	学修成果確認レポート作成（学修成果の振り返り）	井上、中嶋
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	毎回授業用資料をユニパで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「備中高梁」に学ふ	参・出版社名１	吉備人出版
参・著者名１	吉備国際大学「備中高梁学」研究会	参・ＩＳＢＮ１	9784860691967
参・書籍名２	留岡幸助と備中高梁	参・出版社名2	吉備人出版
参・著者名2	倉田和四生	参・ＩＳＢＮ2	9784860690991

授業科目名	地域貢献ボランティア 理学	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-KE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	「地域貢献ボランティア活動を通して地域社会に積極的に参加できる人材となる。」をテーマとする。各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において、「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域のボランティア活動へ参加し、地域の人々と共にふれあい活動することで、地域社会に貢献しようとするこころや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活におこりうる問題点を理解し、解決するために、学生が地域社会に積極的に参加できるようになることを到達目標とする。
授業概要	キャリア教育の一環として社会人基礎力を身に付けるために、地域貢献ボランティアをおこなう。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時の注意事項等について学んだのち、地域から要請を受けたボランティア活動を１０コマ分（２０時間以上）行なう。ボランティア活動は、ボランティア活動予定表（５月～１２月末まで）から活動時間合計が２０時間以上になるよう選択し、活動をおこなう。
アクティブラーニングの内容	実習／フィールドワーク
評価方法と割合	ボランティア活動の内容および活動報告書、発表会内容等により、授業の到達目標についての達成度をトータルで評価する。具体的には、ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%のウエイトにより評価する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	ボランティア活動報告書（1,000字以上）を作成し、学科別にて発表を行う。
履修条件・注意事項	「吉備から世界へ」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学修により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が加盟する任意保険（学生教育研究災害傷害保険「学研災」）に加入すること。ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受入れ事業者の指示に従い、事故に注意すること。ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者に終了確認印を受領すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ボランティア活動に参加する前に、参加するボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。また、ボランティア終了後にはその都度活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。
オフィスアワー	毎週火曜日2時限とし、佐藤研究室で実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ボランティア活動の基礎的理解	外部講師
第２回	ボランティア活動の注意点と活動計画作成	佐藤
第３回	ボランティア活動	外部講師
第４回	ボランティア活動	外部講師

第５回	ボランティア活動	外部講師
第６回	ボランティア活動	外部講師
第７回	ボランティア活動	外部講師
第８回	ボランティア活動	外部講師
第９回	ボランティア活動	外部講師
第１０回	ボランティア活動	外部講師
第１１回	ボランティア活動	外部講師
第１２回	ボランティア活動	外部講師
第１３回	活動報告	佐藤
第１４回	ボランティアフォーラム	佐藤
第１５回	ボランティアフォーラム	佐藤
第１６回	試験（活動報告書）	佐藤

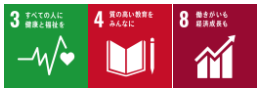
教科書			
教・書籍名１	資料を適宜配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅰ 理学	担当者	井上　茂樹、中嶋　正明
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CG-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も 
到達目標	【到達目標】社会的自立と職業的自立にむけて、自分の生き方・働き方を計画（キャリアデザイン）し、実行できる人間力と社会人意識 の基礎を身につける。 キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけで、人生そのものである。そして、キャリアデザインとは、卒業後の将来を見据えて自らの生き方・働き方を考え、計画することである。大学生活を充実させ、社会で生きて いくためには、自立的・主体的に考えて行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要となる。そのためには、社 会が求める人間像（自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力）について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが必要である。 したがって、この科目の具体的な到達目標として、以下の3点を設定する。 ①自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②その目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。③社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識、職業選択能力を向上させる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成されている。合同授業では、キャリアとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康やキャリア実践活動、一般的学力（自己理解）について講義や演習を行う。また、マイステップを使用 する「キャリアデザインノート」の意義や作成方法についても説明し、個人の記録として卒業まで活用していく。 授業全体を通して、「自分を知る」「社会を知る」「社会とつながる」「生き方を考える（大学生活を含む）」「働き方を考える」と いう5つのテーマで構成し、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入、グループワークやディスカッションといった演習活動を行 って自分の人生を考えることができるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動や発言（30%）、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入（30%）、基礎学習（kiuiドリル）実施状況 （20%）、最終試験あるいはレポート（20%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやキャリアデザインノートの記入内容については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するので、第1回目授業からファイルを持参すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　第2回、5回、14回は、キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師を招き、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、授業内で配布された資料や参考図書を読んでおく。 事後学習として、授業内で配布された資料を読み、次回までの課題が提示された回はその課題に取り組む。随時、自身のキャリア実践やプランについて「キャリアデザインノート」に記載していく。 各２時間の学修時間を目安とする。

オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・キャリアとは何か	藤原直子 井上、中嶋
第２回	自分を知る・社会を知る：興味検査（VPI）or適正検査（GATB）	外部講師：マイナビ 井上、中嶋
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信繁 井上、中嶋
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原直子 井上、中嶋
第５回	自分を知る：基礎学力（1回目）、大学生活の基礎	外部講師：ラインズ・マイナビ 井上、中嶋
第６回	社会とつながる：対人コミュニケーション	井上、中嶋
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	外部講師：ボランティアセンター 井上、中嶋
第８回	自分を知る社会を知る：社会人基礎力	井上、中嶋
第９回	自分を知る：自分の強みと弱み	井上、中嶋
第１０回	社会とつながる：対人関係力	井上、中嶋
第１１回	生き方を考える：これまでの振り返りとライフプラン	井上、中嶋
第１２回	社会を知る・働き方を考える：学科の専門性や資格を活かす仕事	井上、中嶋
第１３回	社会を知る・働き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	井上、中嶋
第１４回	自分を知る：基礎学力（２回目）、将来に向けて	外部講師：ラインズ・マイナビ 井上、中嶋
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	井上、中嶋
第１６回	レポート（キャリアデザインノートの提出）	井上、中嶋

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ 理学	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理3年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会3年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社3年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年	ナンバリング	GE-CG-3-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、ＡＬ
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	【テーマ】自分に適した職業進路を具体的に選択し、就活のため、具体的能力を発揮できるようにする。 【到達目標】学生が自分に適した職業進路を選択することができる．就職活動ができる能力を身につける．学生が選択した進路および社会の求める人間像について考え，身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての一般常識や教養、分別、協調性やコミュニケーション力を再確認し実質的なものにすることができる。
授業概要	合同授業日と各学科の授業日とで授業は構成されている．13回の合同授業は，就職活動を行うために身につけておくべき内容から構成されている．理学療法を学んだ者としての社会貢献の課題や、人生の歩み方を受講生同士でディスカッションをし、コミュニケーション能力や他者に働きかける力を向上させていく。また、演習授業を通して協働で実践する力(協調性、リーダーシップ能力等）も高めていく。
アクティブラーニングの内容	PBL／フィールドワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	評価は、講義態度や質疑応答の積極性（80%）、提出されたレポート（20%）等から総合的に行なう。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題はすべて返却し、内容の解説を行う。
履修条件・注意事項	合同授業日と各学科授業日で教室が異なるので、教室を間違わないように留意する。受講生一人ひとりの主体的な授業参加の姿勢や、積極的にコミュニケーションを図ることを求める。提出物は復習の上で、期日までに完成させ、必ず提出することが求められる。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	1）授業時に重要なポイントが提起される。次回に向けた心づもりをして授業に臨むこと。テーマによってグループワークもあるので発言内容の準備も大切となる。2）自己分析や就職活動に向けたエントリーシートの記載など課題に沿ったレポートがあるため、復習が求められる。2時間ずつ予習・復習を行うこと。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室にて、毎週水曜日１限目をオフィスアワーの時間とする。不在時にはメモを残すこと。在室時間帯に面接が可能。

	授業計画	担当者
第１回	就職活動準備情報収集タイムマネジメント	マイナビ医
第２回	病院減額・インターンシップの必要性	マイナビ医
第３回	自分の傾向を学ぶ	リクナビ
第４回	自己分析・自己PR	ビザビ
第５回	エントリーとは・エントリーシート攻略	マイナビ・ベネッセ
第６回	乗り遅れるなWEB就活	シーズ
第７回	職種を学ぶ職業教育	京極先生
第８回	社会人に必要なマナー	リクナビ
第９回	SPI(筆記試験)	リクナビ

第１０回	履歴書の書き方・応募書類の出し方	マイナビ医
第１１回	面接対策・GD/集団/個人	ビザビ
第１２回	エントリーシート攻略フォロー・自分を振り返る	ベネッセ
第１３回	３学科共通	京極先生
第１４回	３学科共通	京極先生
第１５回	まとめ　内定お礼・内定辞退お詫び	マイナビ医
第１６回	試験	

教科書			
教・書籍名１	毎回の講義内容に沿った資料を事前に配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ｉ 理学	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	ダミー /uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員は、前職で企業のIT部門（システム管理部門）に従事し、パソコンと汎用コンピュータと電話回線を組み合わせた比較的規模の大きい基幹システムから、パソコンによる段ボール箱設計と段ボール箱へのデザインを作るDTPシステムまでを開発運用した経験を持つ。その他データウェアハウスによるOLAPの運用経験を持つほか、労働省（当時）が全国

			で運営するコンピュータカレッジの中の一校においてCGコースを２年間担当した経験を持つ。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	水曜日の1限目をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	元田
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	元田
第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	元田
第４回	OSとアプリケーション	元田
第５回	ファイルシステム操作	元田
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	元田
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	元田
第８回	表計算ソフト操作	元田
第９回	表計算ソフト課題	元田
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	元田
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	元田
第１２回	ネットワークとインターネット	元田
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	元田
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	元田
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	元田
第１６回	単位認定試験	元田

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応 型番　FPT2117	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。		
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 ２．万が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 ３．情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じえるか理解できるようになる。 なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。
授業概要	現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。 主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Ⅰの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習：次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習：授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理・法・慣習	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（１）基本的な用語と枠組み	大谷
第５回	コンピューティングの歴史　コンピュータの誕生からパソコンの登場まで	大谷
第６回	コンピューティングの歴史　インターネット出現からIoT時代まで	大谷
第７回	身近な情報セキュリティ	大谷
第８回	メールやメッセージングアプリのセキュリティ	大谷
第９回	著作権の基礎	大谷
第１０回	レポート作成の倫理問題	大谷
第１１回	「漫画サイトが見られない」	大谷
第１２回	個人情報保護法の基礎知識	大谷
第１３回	ポイントカードと個人情報	大谷
第１４回	情報時代のプライバシー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。

	これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社

教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 理学・作業	担当者	中田　昌子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でいますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	授業後に受け付けます。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	中田昌子
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	中田昌子
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	中田昌子
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	中田昌子
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	中田昌子
第６回	Japan Quiz　　日本クイズに挑戦　WH疑問文	中田昌子

第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	中田昌子
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	中田昌子
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了	中田昌子
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形	中田昌子
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現	中田昌子
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY	中田昌子
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問	中田昌子
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞	中田昌子
第１５回	春学期の試験	中田昌子
第１６回	春学期の総復習、フィードバック	中田昌子

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅱ 理学・作業	担当者	中田　昌子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でいますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	授業後に受け付けます。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	中田昌子
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	中田昌子
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	中田昌子
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	中田昌子
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	中田昌子
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	中田昌子

第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	中田昌子
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	中田昌子
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	中田昌子
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞	中田昌子
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where	中田昌子
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法	中田昌子
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞	中田昌子
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法	中田昌子
第１５回	秋学期の試験	中田昌子
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック	中田昌子

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅲ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば学生は高校以上の難易度の長い文章が読むことができるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。
授業概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 　時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思います。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	１６回目に筆記試験をやり、そのあと試験問題の解説をします。大切な文法事項、読解の難しいところなどが中心です。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら２時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも２時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。
オフィスアワー	水曜日の３限　研究室にて（２号館６F）

授業計画	担当者

第１回	リバプール	平見勇雄
第２回	メンバーの生い立ち　ジョンレノン	平見勇雄
第３回	ポールマッカートニーの生い立ち	平見勇雄
第４回	ジョージハリソンの生い立ちとメンバー加入	平見勇雄
第５回	メンバー交代　リンゴスター	平見勇雄
第６回	1960年デッカオーディション	平見勇雄
第７回	1962年ビートルズデビュー	平見勇雄
第８回	1964年ビートルマニア	平見勇雄
第９回	エドサリバンショー　アメリカ進出	平見勇雄
第１０回	オーストラリアや各国の状況	平見勇雄
第１１回	映画ア・ハード・ディズ・ナイト	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　ヘルプ	平見勇雄
第１３回	世界制覇	平見勇雄
第１４回	アルバム　ラバーソール	平見勇雄
第１５回	アルバム　リボルバー　日本公演	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅳ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。
授業概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたいと思います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単位認定の筆記試験は１６回目に行い、その日の後半に試験の解説を行います。文法的な面と、読解で訳しにくい場所の解説を行います。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を言います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回２～３ページ進む予定ですから訳を書いてくることが最低限の予習です（２時間程度の予習です）。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日１０～２０分程度で結構です。（したがって復習も時間としてはトータルとして２時間程度）
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室

授業計画	担当者

第１回	春学期の復習	平見勇雄
第２回	日本公演続き	平見勇雄
第３回	レコーディング革命	平見勇雄
第４回	アルバム　サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド	平見勇雄
第５回	世界同時衛星放送　「All you need is love」	平見勇雄
第６回	マネージャー　ブライアンエプスタインの死	平見勇雄
第７回	マジカルミステリーツアー	平見勇雄
第８回	インドでの生活　修行	平見勇雄
第９回	初の２枚組アルバム　通称ホワイトアルバム	平見勇雄
第１０回	ゲットバックプロジェクト	平見勇雄
第１１回	最後のレコーディング　アビーロード	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　レットイットビー	平見勇雄
第１３回	解散後の４人　ジョンレノン	平見勇雄
第１４回	解散後の４人　ポールマッカートニー	平見勇雄
第１５回	解散後の４人　ジョージハリソンとリンゴスター	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次

第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次
第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次

第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次
第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅲ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語会話ができるようになる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。
授業概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	あいさつ	加藤健次
第２回	発音	加藤健次
第３回	性と数	加藤健次
第４回	前置詞	加藤健次
第５回	規則動詞	加藤健次
第６回	形容詞	加藤健次

第７回	否定形		加藤健次
第８回	命令形		加藤健次
第９回	疑問形		加藤健次
第１０回	副詞		加藤健次
第１１回	疑問副詞		加藤健次
第１２回	疑問代名詞		加藤健次
第１３回	不規則動詞		加藤健次
第１４回	所有形容詞		加藤健次
第１５回	疑問形容詞		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅳ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語で会話を楽しむことができる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	動詞allerとvenirの活用	加藤健次
第２回	近接未来と近接過去	加藤健次
第３回	命令形、否定表現	加藤健次
第４回	疑問代名詞	加藤健次
第５回	疑問副詞	加藤健次
第６回	指示代名詞	加藤健次

第７回	関係代名詞		加藤健次
第８回	過去分詞		加藤健次
第９回	直説法複合過去		加藤健次
第１０回	補語人称代名詞の語順		加藤健次
第１１回	比較級と最上級		加藤健次
第１２回	非人称構文		加藤健次
第１３回	直説法半過去		加藤健次
第１４回	条件法現在		加藤健次
第１５回	関係副詞と文の構造		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LG-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二

第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二

第５回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文		清水光二
第６回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞		清水光二
第７回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター！ はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅲ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Iとドイツ語IIを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 0　自己紹介	清水光二
第２回	Lektion 0　挨拶　動詞の現在人称変化	清水光二

第３回	Lektion 1 地理と天候	清水光二
第４回	Lektion 1 冠詞（類）の格変化	清水光二
第５回	Lektion 2　食生活	清水光二
第６回	Lektion 2　前置詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 3 ドイツ語という言語	清水光二
第８回	Lektion 3 名詞の複数形	清水光二
第９回	Lektion 4　ドイツの大学	清水光二
第１０回	Lektion 4　話法の助動詞	清水光二
第１１回	Lektion 5　祝日と休暇	清水光二
第１２回	Lektion 5　形容詞の格変化	清水光二
第１３回	Lektion 6　ドイツの治安事情	清水光二
第１４回	Lektion 6　比較表現	清水光二
第１５回	Lektion 0 ～ Lektion 6 までの復習	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅳ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　教育制度	清水光二
第２回	Lektion 7　分離動詞と非分離動詞	清水光二

第３回	Lektion 8　政治制度	清水光二
第４回	Lektion 8　受動態	清水光二
第５回	Lektion 9　ドイツの歴史概観	清水光二
第６回	Lektion 9　過去の表現	清水光二
第７回	Lektion 10　音楽の国ドイツ	清水光二
第８回	Lektion 10　副文の語順	清水光二
第９回	Lektion 11　ドイツの宗教事情	清水光二
第１０回	Lektion 11　関係代名詞	清水光二
第１１回	Lektion 12　二つのドイツ	清水光二
第１２回	Lektion 12　分詞の用法	清水光二
第１３回	Lektion 13　EUとドイツ	清水光二
第１４回	Lektion 13　接続法第2式	清水光二
第１５回	Lektion 14　EUとドイツ	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	978-4-560-06420-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LC-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習	孫基然

	4、鼻音の発声練習	
第４回	1、発音の復習 2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、助動詞「会」と「能」 ２、選択疑問文	孫基然
第２回	１、助動詞「想」 ２、反復疑問文	孫基然
第３回	１、経験表現	孫基然

	2、連動文	
第４回	1、時量補語 2、存在表現	孫基然
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅲ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・前篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、前置詞「対」 ２、名詞前の「的」	孫基然
第２回	１、「有的……有的」の文型 ２、「既……又」の文型	孫基然
第３回	１、「毎……都」の文型 ２、動詞、形容詞の前の「地」	孫基然

第４回	「除了……」の文型	孫基然
第５回	「即使……也」の文型	孫基然
第６回	持続を表す「着」	孫基然
第７回	結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする	孫基然
第１０回	１、「因為……所以」の文型 ２、「一辺……一辺」の文型	孫基然
第１１回	「是……的」の文型	孫基然
第１２回	現存文	孫基然
第１３回	手段・状態を表す「着」	孫基然
第１４回	「一点也不」の文型	孫基然
第１５回	疑問詞の呼応表現	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅳ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・後篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、「是……的」の文型 ２、様態補語	孫基然
第２回	１、「不知道……才好」の文型 ２、「好像……一様」の文型	孫基然
第３回	疑問詞の不定用法	孫基然

第４回	可能補語「動詞+得了」	孫基然
第５回	１、「無論……都」の文型 ２、「要是……就」の文型	孫基然
第６回	１、動詞後の「給」 ２、受身表現	孫基然
第７回	中間テスト	孫基然
第８回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第９回	１、「不是……就是」の文型 ２、「再也没……過」の文型	孫基然
第１０回	１、「雖然……但是」の文型 ２、「不但……而且」の文型	孫基然
第１１回	１、動量補語 ２、離合詞	孫基然
第１２回	１、「有」の謙語文 ２、使役表現	孫基然
第１３回	１、副詞「就」 ２、副詞「都」	孫基然
第１４回	１、「有」の連動文 ２、「把」の文	孫基然
第１５回	１、「対……来説」の文献 ２、「只有……才」の文型	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	文学とはなにか	雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解	雲津 英子
第３回	図書館活用の実践	雲津 英子

第４回	日本文学史（１）-上代文学	雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学	雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学	雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学	雲津 英子
第８回	日本文学史（５）-近代文学	雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学	雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）	雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）	雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）	雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品	雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）	雲津 英子
第１５回	まとめ	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とそ	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館など

の時間	に鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	2 号館 6 階の前嶋研究室において、毎週月曜日 5 時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 看護・理学・作業	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	定期試験と講義内レポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、講義内レポートの記述内容3０％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は講義内容について、講義内レポートと感想により評価する。課題に対するフィードバックは講義内にて実施する。
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。　また、学校現場を理解するという意欲もって、主体的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション：講義の進め方	國佐　栞
第２回	スポーツの意義：スポーツとは何か？	國佐　栞
第３回	社会生活の変化とスポーツの視点	國佐　栞
第４回	明治時代以降の学校体育	國佐　栞
第５回	戦後の社会教育：高度経済成長期のスポーツ	國佐　栞

第６回	スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング	國佐　栞
第７回	成長、発育、発達とスポーツ	國佐　栞
第８回	生涯スポーツと生きがいづくり	國佐　栞
第９回	スポーツとトレーニング	國佐　栞
第１０回	スポーツと経済	國佐　栞
第１１回	スポーツの多様化と住民スポーツ	國佐　栞
第１２回	地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア	國佐　栞
第１３回	地域スポーツイベントと地域活性化	國佐　栞
第１４回	中高年齢のライフステージのスポーツ	國佐　栞
第１５回	まとめ	國佐　栞
第１６回	試験	國佐　栞

教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２	生涯スポーツの理論と実際	参・出版社名2	大修館書店
参・著者名2	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	参・ＩＳＢＮ2	978-4469266986

授業科目名	生涯スポーツ実習 （看護・理学・作業）	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-006

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、バレーボール、バトミントン）を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はスポーツ実施時のルールや注意点について、講義中の実践を通して評価する。課題に対するフィードバックは講義後半で実践を通して実施する。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備（ジーンズ等は認めない）
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

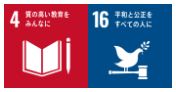
授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	國佐　栞
第２回	バスケットボール	國佐　栞
第３回	バスケットボール	國佐　栞
第４回	バスケットボール	國佐　栞
第５回	バスケットボール	國佐　栞
第６回	フットサル	國佐　栞
第７回	フットサル	國佐　栞
第８回	フットサル	國佐　栞
第９回	バトミントン	國佐　栞
第１０回	バトミントン	國佐　栞
第１１回	バトミントン	國佐　栞
第１２回	バトミントン	國佐　栞
第１３回	バレーボール	國佐　栞
第１４回	バレーボール	國佐　栞

第１５回	バレーボール	國佐　栞	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示す	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	宗教学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。これが到達目標である。
授業概要	後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価方法 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	人類史と宗教：旧石器時代から新石器時代へ	山本
第２回	日本の縄文時代、弥生時代、古墳時代の宗教	山本
第３回	文明誕生：メソポタミア	山本
第４回	エジプト文明	山本
第５回	古代ギリシャ文明	山本
第６回	ユダヤ教の成立	山本
第７回	ヘレニズム期の宗教	山本
第８回	キリスト教の成立と展開	山本
第９回	ローマカトリック	山本
第１０回	初期のイスラーム	山本

第１１回	宗教改革とその後	山本
第１２回	日本宗教史：古代・中世・近世	山本
第１３回	現代日本の宗教事情	山本
第１４回	現代世界の宗教事情	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本
第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本

第１３回	暇と退屈の倫理学	山本	
第１４回	スピノザ	山本	
第１５回	総括	山本	
第１６回	定期試験	山本	
教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・子ども・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

	授業計画	担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居

第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義

年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（２時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

授業計画		担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文
第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文

第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文
第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分	生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売	生駒正文
第１６回	（１６）定期試験	生駒正文

教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

授業計画	担当者

第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂

第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。5.国家による管理	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚の経済的原因。4.非婚の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力をうしなったか	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わり。5.日本経済の没落	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に役30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理学	担当者	藤原　智子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15回	授業形態	対面
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：物理学の１分野である天文学を中心に、簡単な実験やそれぞれテーマに沿った議論などを通じて、その歴史的背景や社会・生活で活用されている物理のエッセンスを体系的に学習する。 到達目標：「自然から学ぶ」や「論理的思考」とはどういうことかを理解する。
授業概要	太古の昔から、人類は頭上に広がる果てしない宇宙を見つめてきた。手の届かないところにある天体のふるまいを理解するには、まず身近な自然現象を観察し、そこにある物理法則に気付く必要がある。人々はどんな想いで宇宙を見つめてきたのか、宇宙を知るためにどんな挑戦をし、注意深く観察した星空から何を理解してきたのか。この授業では、太陽系天体、恒星や銀河など、宇宙に浮かぶ様々な天体の姿を紹介、そこで起こっている現象を身近な物理と結び付けて科学的に解説するだけではなく、星座や神話、人類の宇宙観など文化的内容、観測機器や宇宙開発(ロケットや人工衛星・探査機)等の技術的内容についても触れ、「宇宙」をテーマに幅広い内容を扱う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	論述試験と出席で評価します。授業を受ける姿勢として、実験や議論に参加する積極性を重視します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や試験に対する質問は授業での回答の他、UNIPAやTeamsなどの機能を用いてフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画のテーマに関連するニュースやトピックスに注意を払い、事後学習として授業で学んだことに関して友人や家族と議論すること。 各１時間の学修が望ましい。
オフィスアワー	授業の前後に、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンスー自然現象を理解するための物理学ー	藤原智子
第２回	宇宙観の変遷	藤原智子
第３回	星と文化①　星座と星物語	藤原智子
第４回	星と文化②　暦の成立	藤原智子
第５回	天体の記録と基礎データ①　天体の位置、明るさ、距離	藤原智子
第６回	天体の記録と基礎データ②　光のスペクトル	藤原智子
第７回	観測装置の発展①　光学・電波望遠鏡	藤原智子
第８回	観測装置の発展②　人工衛星・探査機	藤原智子
第９回	人工衛星・ロケットの仕組み	藤原智子

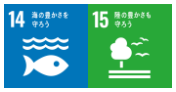
第１０回	宇宙の環境問題	藤原智子
第１１回	太陽系の素顔①　太陽系の天体	藤原智子
第１２回	太陽系の素顔②　太陽系を取り巻く環境・太陽系外惑星	藤原智子
第１３回	恒星の誕生と死	藤原智子
第１４回	私たちの起源と未来	藤原智子
第１５回	まとめ：宇宙と物理学のつながり	藤原智子
第１６回	レポート試験	藤原智子

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

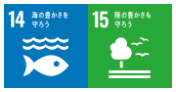
授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二
第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二

第１５回	地球環境問題と人類		末吉秀二
第１６回	試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	韓国地域社会	担当者	李　分一
配当学科・研究科	2017～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	SS-BU-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定（平和）と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。
授業概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事情を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験（80%）、提出物（10%）、授業態度（10%）等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	（1）授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 （2）単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	（1）参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 （2）受講生の予習（30時間）と復習（30時間）のために、トピック別の宿題とレポートを課す。
オフィスアワー	毎週水曜日5時限目（9304研究室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	李　分一
第２回	韓国という国	李　分一

第３回	韓国の歴史（民族と国家）	李　分一
第４回	韓国民主主義の位相と行方	李　分一
第５回	韓国民主主義の制約	李　分一
第６回	解放前の要因	李　分一
第７回	解放後の要因	李　分一
第８回	韓国の権威主義体制	李　分一
第９回	民主化・人権擁護運動	李　分一
第１０回	1980年代の韓国	李　分一
第１１回	1980年代の政治体制	李　分一
第１２回	190年代の民主化運動	李　分一
第１３回	1990年代の民主化運動	李　分一
第１４回	韓国政治社会の新潮流	李　分一
第１５回	韓国の民主主義と市民社会	李　分一
第１６回	単位認定試験	李　分一

教科書			
教・書籍名１	プリント使用	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	発達心理学	担当者	宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	PS-PS-1-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。
授業概要	胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期の各時期における発達の様相や発達課題について様々な観点から学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、心理的援助についての考察も深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、レポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で学習し、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、火曜日4時限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	ライフサイクルについて	宇都宮
第３回	胎児期	宇都宮
第４回	新生児期	宇都宮
第５回	乳児期：愛着の形成	宇都宮
第６回	乳児期：言葉の発達	宇都宮
第７回	幼児期：表象の獲得	宇都宮
第８回	幼児期：社会性の発達	宇都宮
第９回	児童期：有能感と劣等感	宇都宮
第１０回	児童期：学校への適応・いじめ	宇都宮

第１１回	青年期前期	宇都宮	
第１２回	青年期後期	宇都宮	
第１３回	青年期の病理	宇都宮	
第１４回	成人期	宇都宮	
第１５回	まとめ	宇都宮	
第１６回	期末試験（筆記試験）	宇都宮	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる発達心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05379-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保育の心理学Ⅰ	担当者	森井　康幸
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-2-213

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	発達は人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。 到達目標：子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようになる。
授業概要	保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ほぼ隔週で行う小テストまたはミニ・レポートの得点（３０％）と定期試験の得点（７０％）に、受講態度の評価点（０～１）を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が 0.5 の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点後、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの返却と、必要に応じて補足解説を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、ほぼ隔週で小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。 保育士の資格取得には必須科目である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。（2時間） 復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。（2時間） 返却された小テストも確認しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限　　教員研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森井
第２回	発達を考える（第1章）	森井
第３回	人との関わりの基盤	森井

第４回	子ども同士の関わりの進展	森井
第５回	身体的機能と運動機能の発達－個人差と環境－	森井
第６回	運動機能の発達と心理的発達との関連	森井
第７回	ピアジェ理論とその再検討	森井
第８回	世界づくりの開始―認知発達の基盤	森井
第９回	世界づくりの展開―身の回りの世界についての理解の構成	森井
第１０回	言語発達の基礎―人との関わりから育まれる言葉	森井
第１１回	言語を使った世界の広がり	森井
第１２回	乳幼児期の学びに関わる理論	森井
第１３回	乳幼児期の学びの過程と特性	森井
第１４回	乳幼児期の学びを支える保育	森井
第１５回	まとめ	森井
第１６回	定期試験	森井

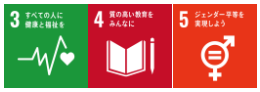
教科書			
教・書籍名１	保育の心理学	教・出版社名１	北大路書房
教・著者名１	藤﨑 眞知代・無藤 隆	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7628-3152-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	エピソードで学ぶ　乳幼児の発達心理学	参・出版社名１	新曜社
参・著者名１	岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7885-0907-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	対人関係論	担当者	栗田　喜勝
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-3-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう 
到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。
授業概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体（個人）に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度(質疑・意見表明等の有無）（４０％）・期末試験（６０％）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にあらかじめよく目を通し（予習）、授業後は内容を確認し整理し（復習）、以後の学習に活用してほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すこと。 ２）毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な　参加と事前の準備、授業後 の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 ３）単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	心理学と社会心理学	栗田喜勝
第２回	社会心理学の対象と研究方法について	栗田喜勝
第３回	社会的認知について	栗田喜勝
第４回	社会的相互作用について	栗田喜勝

第５回	社会的欲求と適応行動について	栗田喜勝
第６回	人間関係とストレス	栗田喜勝
第７回	人間関係とフラストレーション	栗田喜勝
第８回	人間関係と認知	栗田喜勝
第９回	印象形成について	栗田喜勝
第１０回	人間関係と感情	栗田喜勝
第１１回	社会的態度と行動について	栗田喜勝
第１２回	社会的態度（１）ステレオタイプ	栗田喜勝
第１３回	社会的態度（２）偏見	栗田喜勝
第１４回	態度変容について	栗田喜勝
第１５回	学修のまとめ	栗田喜勝
第１６回	期末試験	栗田喜勝

教科書			
教・書籍名１	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ワークショップ人間関係の心理学	参・出版社名１	ナカニシヤ出版
参・著者名１	藤本忠明他編著	参・ＩＳＢＮ１	4-88848-833-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルメディアと社会	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	AN-AN-1-108

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって

バック方法	（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。 復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	人間発達学			担当者	村上　勝典		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-109		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、人間発達学をリハビリテーション専門職の視点から学ぶことができる。 学生は、胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達を説明できる。
授業概要	胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達について解説する。各々の時期で重要な事柄について、現代の発達心理学の主要な知見を示しながら、人間の生涯を解説していく。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「胎児期から老年期までの各期における運動機能、認知機能、言語機能、情緒・社会性の機能の発達を説明できる」の到達度について、知識をはかるために、定期テストの結果、授業中の小テストの結果、授業への取り組み姿勢により総合的に評価する。 具体的には、定期テスト（70%）、授業中の小テスト（20%）、授業への積極的な参加態度（10%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの結果は、授業時間内あるいはテスト実施の翌週にフィードバックする。
履修条件・注意事項	・予習：事前に教科書を読み理解できていない点をまとめて、授業を受けること。 ・復習：授業の内容の整理をし、理解を深めること。覚えるなど復習を行うこと。 ・授業中：積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 ・授業によっては座席を指定する場合がある。 ・プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習（2時間程度）として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習（2時間程度）として、内容について、再度理解ができているかを確認すること。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	村上
第２回	人間発達学とは	村上
第３回	胎児期・新生児期	村上
第４回	乳児期①世界を知り始める	村上
第５回	乳児期②人との関係の始まり	村上
第６回	幼児期①ことばの獲得	村上
第７回	幼児期②自己と他者	村上
第８回	児童期①思考の始まり	村上
第９回	児童期②社会性の発達	村上
第１０回	青年期①自分らしさへの気づき	村上
第１１回	青年期②人間関係	村上
第１２回	成人前期	村上
第１３回	成人後期	村上

第１４回	老年期	村上	
第１５回	総括	村上	
第１６回	定期試験	村上	
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる発達心理学[第2版]	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦　編	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年学			担当者	服部　俊夫		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-114		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	16時間	授業形態	講義と学生発表。
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	健康と福祉及び環境保全
授業概要	高齢化が進む社会への医療を学ぶ
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	SDGｓのテーマを選択し、調査発表　筆記試験 (60%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	こまめにテストを行い、学習度を確認する
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当する　内容　東北大学病院で、感染症の高齢者の診療を行った。
事前学習・事後学習とその時間	SDGsの興味あるテーマを学習し、発表する。予習・復習は各１時間程度行うこと。
オフィスアワー	毎週水曜日　10時から11時　6408号室

	授業計画	担当者
第１回	老年学高齢者に特有な症候　SDGsの紹介	服部俊夫
第２回	高齢者の循環器疾患　　学生のグループ分け	服部俊夫
第３回	高齢者の呼吸器疾患　　グループ討議	服部俊夫
第４回	高齢者の臨床検査と栄養　　グループ討議	服部俊夫
第５回	介護保険制度と医療制度　グループ討議	服部俊夫
第６回	高齢者のリハビリテーション　グループ討議	服部俊夫
第７回	高梁市在宅医療連携拠点事業推進協議会の活動	仲田永造
第８回	高齢者の血液疾患　グループ討議	服部俊夫
第９回	高齢者の精神・神経疾患　グループ討議	服部俊夫
第１０回	高齢者の腎・内分泌疾患　グループ討議	服部俊夫
第１１回	高齢者の運動器疾患　グループ討議	服部俊夫
第１２回	高齢者の感染症　グループ討議	服部俊夫
第１３回	人間の安全保障とSDGs　グループ討議	院外講師
第１４回	グループ発表	服部俊夫
第１５回	グループ発表	服部俊夫
第１６回	筆記試験	服部俊夫

教科書			
教・書籍名１	改訂版 健康長寿診療ハンドブック	教・出版社名１	社団法人　日本老年医学会 ISBN978-4-7583-0475-7
教・著者名１	ISBN978-4-7583-0495-5	教・ＩＳＢＮ１	老年医学テキスト 改訂第3版
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児科学			担当者	赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-117		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児期の各期（新生児、乳児、学童、思春期）においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。
授業概要	１．小児各期のおける成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 ２．循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 ３．消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 ４．血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 ５．腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 ６．神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 ７．発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	ミニテスト30％、定期試験70％に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ミニテストや課題については授業中にフィードバックする。
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。 授業前には必ず予習し、授業終了後はノートを整理すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、長年、小児科医としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、理学療法士・作業療法士として必要とされる小児に関する知識や能力について講義し、理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	学習した内容をその日のうちにまとめること。特に疑問やわからなかった点をチエックして調べておくこと。概ね1時間以上自己学習をすること。
オフィスアワー	火曜日1限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	小児期の特徴と内容	赤在
第２回	成長と発達（胎児）	赤在
第３回	成長と発達（新生児期）	赤在
第４回	乳幼児期の栄養	赤在
第５回	診断と治療における特性	赤在
第６回	新生学	赤在
第７回	新生児期の病気	赤在
第８回	感染症	赤在
第９回	神経疾患	赤在
第１０回	神経疾患（痙攣性疾患など）	赤在
第１１回	神経筋難病	赤在
第１２回	腎・泌尿器疾患	赤在
第１３回	発達障害（発達遅滞、重症心身障害）	赤在
第１４回	発達障害（ADHD、多動など）	赤在
第１５回	小児疾患とリハビリ	赤在

第１６回	定期試験		赤在
教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学・作業療法学 小児科学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナースとコメディカルのための小児科学	参・出版社名１	日本小児医事出版
参・著者名１	奈良勲　他	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	一般臨床医学			担当者	服部　俊夫、高橋　淳、森　芳史、赤在あゆみ		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-118		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	PTやOTにおいて、近年医療が急速に進歩する中で、専門分野以外の外科・産婦人科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科等について、基本的な初期医療（プライマリーケア）に対応する能力の重要性が指摘されている。本講義では、学生がそれらの基本的な考え方、知識を習得し、初期対応できるようになることを到達目標とする。
授業概要	複数の教員によるオムニバス形式の講義で、別途、授業科目である内科学・整形外科学等を除く臨床分野で、日常多く見られる各種疾患の初期診療に必要な要点を理解できるようにする。そのほか、救急医学や近年注目されている最先端医学についても紹介したい。これらの知識を深めておくことは、理学療法や作業療法を行っていくための基礎的能力を高める上で重要と考える。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書の該当箇所を予め読んでおく予習と、講義で教わった内容を再確認する復習を前提にして授業を進める。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	高橋：個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。 服部：個人研究室にて、水曜日の3時限目に実施。 森：個人研究室（6412）にて、火曜日の5限目と水曜日の5時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	救命救急医療(1) – 心肺蘇生法、ショック、呼吸管理	高橋
第２回	救命救急医療(2) – 中心静脈栄養、輸血、救急処置	高橋
第３回	外科的救急疾患	高橋
第４回	外科総論	森
第５回	皮膚科疾患(1) – 解剖・生理、症状・病態生理、皮膚炎など	服部
第６回	皮膚科疾患(2) – 皮膚感染症、皮膚腫瘍など	服部
第７回	泌尿器/生殖器疾患	服部
第８回	婦人科・産科疾患(1) – 解剖、受精・着床、正常妊娠と分娩	森
第９回	婦人科・産科疾患(2) – 妊娠の異常、婦人科疾患	森
第１０回	婦人科・産科疾患(3) – 婦人科腫瘍、性感染症	森
第１１回	眼科疾患	高橋
第１２回	耳鼻・咽喉科疾患(1) – 耳疾患	赤在
第１３回	耳鼻・咽喉科疾患(2) – 鼻疾患、咽喉頭疾患	赤在
第１４回	老年医学	高橋

第１５回	悪性腫瘍の緊急症		高橋
第１６回	試験		高橋
教科書			
教・書籍名１	PT・OT・STのための一般臨床医学　第3版	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	椿原 彰夫 (編集), 平岡 崇 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4263219324
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	薬理学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-120		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、薬物の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について学ぶことができる。学生は、薬物に対する生体の反応についての基礎的知識を習得することができる。すなわち、学生は薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗菌剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬等の作用機序、有害作用、臨床応用等について習得することができる。
授業概要	医薬品の薬理作用についての知識は医療に携わる者にとっては、必須なものである。従って、薬物の最新の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について教授する。さらに、「薬物に対する生体の反応」についての基礎的知識を身につけさせる。薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗生剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、消化性潰瘍治療薬の作用機序と臨床応用、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬、糖尿病治療薬等の長期間投与薬物の作用機序、有害作用、臨床応用について学ぶ。この科目は、医療現場において実務経験のある薬剤師である教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

	授業計画	担当者
第１回	薬理学の概念・薬理作用	長町
第２回	薬効に影響を及ぼす要因・薬の有害作用	長町
第３回	3.薬の適用・各種製剤と処方箋・処方の実際	長町
第４回	抗生物質各論・合成化学療法薬	長町
第５回	がんの化学療法・免疫抑制薬・消毒薬その他	長町
第６回	交感神経作用薬・副交感神経作用薬その他	長町
第７回	全身麻酔薬・催眠薬・抗精神病薬その他	長町
第８回	抗うつ薬・抗てんかん薬・麻薬性鎮痛薬その他	長町
第９回	アレルギーと抗ヒスタミン薬・炎症と抗炎症薬	長町
第１０回	強心薬・狭心症治療薬・抗不整脈薬	長町
第１１回	抗高血圧薬	長町
第１２回	血管拡張薬・利尿薬その他	長町
第１３回	呼吸器系薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳薬他）	長町
第１４回	消化器系薬物（胃・十二指腸潰瘍薬他）	長町
第１５回	物質代謝に作用する薬物（糖尿病治療薬他）	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　薬理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	大鹿英世、吉岡充弘、井関　健著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-26-004716-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	今日の治療薬	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	浦部晶夫、島田和幸、川合眞一編集	参・ＩＳＢＮ１	978-4-524-22657-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生学			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-121		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは公衆衛生である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標は公衆衛生の視点が身に付くことである。
授業概要	公衆衛生活動では 疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度・社会的取り組みや技術がある。この科目では 公衆衛生の総論的、基礎的な考えかたを種々の例を用いて学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（５０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（５０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、その内容を評価に反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時に講義内容に加えてフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	期末試験では、配布資料、自作のまとめ（自作に限る、他人のコピーは不可）は持ち込み可とする。再試はしない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、授業内容の背景理解や整理のためには参考資料などで補う必要がある。参考図書を紹介している。
オフィスアワー	6号館4 6424研究室にて 毎週水曜2限 教授会がある日を除く または木曜 限を オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	社会と健康	中瀬克己
第２回	食のイメージマッピング	中瀬克己
第３回	公衆衛生を担う機関	中瀬克己
第４回	行動経済学	中瀬克己
第５回	ソーシャルキャピタルとヘルスプロモーション	中瀬克己
第６回	環境保健	中瀬克己
第７回	医療政策	中瀬克己
第８回	産業保健	中瀬克己
第９回	ストレスチェック	中瀬克己
第１０回	口腔保健	中瀬克己
第１１回	災害保健	中瀬克己
第１２回	身近な感染症と耐性菌	中瀬克己
第１３回	食品安全と食中毒	中瀬克己
第１４回	感染症危機管理	中瀬克己
第１５回	疫学	中瀬克己

第１６回	筆記試験	中瀬克己	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所　編	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	救急法及び消毒				担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年				ナンバリング	HS-PT-3-123		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「応急処置の基本と各場面における応急処置の実際」、「微生物学の基礎に基づく滅菌・消毒知識とその応用」をテーマとし、心肺蘇生術や理学療法士・作業療法士として実際の臨床現場で遭遇しうる救急疾患の病態、対処方法、感染症の基礎的知識および予防法について知り、理解すると共に、学生が臨床現場で応急処置の必要な患者に遭遇したとき困らないだけの実践力を身につけることが出来る。
授業概要	医療、福祉の現場では、被施療者が思わぬケガをする場合や、合併症により重篤な状態に陥ることがあり得る。その現場に居合わせた場合、応急処置をすることは医療従事者の義務である。また、被施療者が何らかの感染症を有している場合があり、被施療者同士間の感染防止や施療者自身の身を守ることが必要となる。この講義の前半は応急処置の基本的手技を講義と実技指導により身につけることを目標として行う。後半は感染症の基礎を学び、医療の現場における滅菌・消毒の知識の実際を習得し、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度と定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	教科書とスライドを用いて講義する。確実で正確な知識を身につけることが重要なので、自分で予習・復習を行う必要がある。そのために、必ず教科書を用意すること。また、重要な技術を確実に習得してもらうため、トレーニング用モデルを用いた実習を行う。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、消毒の必要な医療現場や救急現場に実務経験のある医師である教員が、その経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、次回の授業内容について教科書の該当範囲を読むことで行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返して行うこと。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

授業計画		担当者
第１回	一次救命処置（病態と理論）	森
第２回	一次救命処置（手技の実際）	森
第３回	一次救命処置（AED使用法の実際）	森
第４回	呼吸器系の障害（病態と理論）	森
第５回	呼吸器系の障害（手技の実際）	森
第６回	循環器系の障害	森
第７回	創傷と出血	森
第８回	熱傷	森
第９回	異物	森
第１０回	頭痛	森
第１１回	感染症総論①	森
第１２回	感染症総論②	森
第１３回	感染症各論①	森
第１４回	感染症各論②	森

第１５回	感染症各論③		森
第１６回	単位認定試験		森
教科書			
教・書籍名１	改訂5版 救急蘇生法の指針2015 医療従事者用	教・出版社名１	へるす出版
教・著者名１	監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89269-895-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	栄養学			担当者	産本　敦子		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 2年			ナンバリング	HS-PT-2-124		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生が健康と栄養との関わりについて理解し、望ましい食生活のあり方について考えることをテーマとし、自らの食生活を見直し、問題点を探り、改善できる能力を身につけることができる。 到達目標として ①学生が栄養素の体内での働きについて理解できる。 ②学生が健康保持・増進のために、何を、どれだけ、どのように食べればよいのかを理解できる。 ③学生が疾病と栄養の関係について学び、疾病予防・治療・増悪化防止のための栄養食事療法について理解できる。
授業概要	栄養素の機能や食品の特性を理解するとともに、体内での消化・吸収・代謝について基礎的な知識を習得し、食生活に関心を持ち、食生活と健康について考える。 さらに、さまざまなライフステージにある人の健康の保持・増進と疾病予防や治療のための食生活のあり方について考える。また、各種病態別の栄養食事療法についても学習することにより、理学療法士として患者の栄養指導への理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	健康と栄養の関わりを理解し、望ましい食生活のあり方を考え、実践する能力を身につけることを目的とし、知識の習得の程度を確認するための毎回の小テスト（30%）、定期試験（50%）、自らの食生活の問題点を探り、改善方法を考えるためのレポート（20%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回実施する小テストは、採点して次回の授業で返却し、解説する。レポートは授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業時に講義内容、資料等のプリントを配布するので、ファイルまたはノートを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回、前回の授業内容について小テストを行うので、復習しておくこと。予習には1時間程度、復習には２時間程度を要すること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	健康と栄養	産本
第２回	栄養素の種類と機能① 糖質、脂質	産本
第３回	栄養素の種類と機能② タンパク質、ビタミン	産本
第４回	栄養素の種類と機能③ ミネラル、食物繊維、水	産本
第５回	食品と栄養	産本
第６回	栄養素の消化・吸収	産本
第７回	栄養素の体内代謝	産本
第８回	エネルギー代謝	産本
第９回	日本人の食事摂取基準	産本

第１０回	ライフステージと栄養① 乳児期～成人期	産本
第１１回	ライフステージと栄養② 妊娠期、更年期～高齢期	産本
第１２回	臨床栄養① 循環器疾患患者の食事療法	産本
第１３回	臨床栄養② 消化器疾患患者の食事療法	産本
第１４回	臨床栄養③ 栄養・代謝疾患患者の食事療法	産本
第１５回	臨床栄養④ その他の疾患患者の食事療法	産本
第１６回	定期試験	産本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　栄養学	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	小野貴史ら	参・ＩＳＢＮ１	978-4-260-01993-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報管理学			担当者	吉長　裕司		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年			ナンバリング	HS-PT-1-127		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限 月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	高度情報通信社会に生きる私たちにとって，課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する能力，情報リテラシーを身につけることは必要不可欠である。本授業では，コンピュータを，思考の外化・整理の道具，データ分析の道具，情報伝達の道具として活用する能力を身につけることを目標とする。
授業概要	大学での勉学や研究，卒業後の職業生活や社会生活において，問題提起や課題解決にコンピュータを活用するための技術や知識を講義と演習の形式で学習する。① ワープロソフトを思考の外化・整理のための道具として活用することを学ぶ。そのために必要なキーボードリテラシーを習得する。これらは大学でのレポート作成，病院での電子カルテ入力などで必要になる。② 表計算ソフトをデータ分析の道具として活用することを学ぶ。その前提となる統計学の基礎も学習する。③ ワープロ・表計算・プレゼンソフトを情報伝達の道具として活用することを学ぶ。実際の発表を通じて発表技法を習得する。プレゼン力は大学での病院実習時の症例発表や卒論発表，，さらに就職後の職場内外での発表で必要になる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を実現するため，課題演習と課題発表を課す。評価基準としては，4回の課題演習と2回の課題発表の評価を90%，および授業態度の評価を10%（減点方式）として総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題演習と課題発表に関しては，授業の中で改善点等をフィードバックするので，自分の知識やスキルの向上に活かすこと。
履修条件・注意事項	毎回，プリントを配付して，講義と演習を行う。 毎回，データ保存用のUSBメモリを持参すること。 演習内容が毎回進捗するため，欠席しないこと。 この授業では，再試験は実施しないので，注意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，企業（メーカー）の情報部門での中央コンピュータの運用，および銀行・行政・企業等のシステム開発・運用の実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	教科書・配布資料を予習・復習しておくこと。予習と復習で2時間程度を要する。なお，演習課題は提出期限に間に合うように，必要に応じて授業以外の時間でも取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後に情報処理室で実施。

	授業計画	担当者
第１回	春学期のガイダンス，タイピング練習（上・中・下段）	吉長
第２回	タイピング練習（上・中・下段，日本語）	吉長
第３回	タイピング練習（日本語），フォルダの作成（情報整理），ワープロによる思考の外化	吉長
第４回	タイピング記録開始，ワープロによる思考の整理・階層化	吉長
第５回	レポート作成の基礎	吉長
第６回	レポート作成に役立つワープロ機能	吉長
第７回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第８回	課題演習①（レポート作成）	吉長
第９回	プレゼン資料作成の基礎①	吉長
第１０回	プレゼン資料作成の基礎②、発表技法の基礎	吉長
第１１回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長
第１２回	課題演習②（発表用スライド作成）	吉長

第１３回	課題発表①	吉長
第１４回	課題発表①	吉長
第１５回	課題発表①，春学期の総括	吉長
第１６回	秋学期のガイダンス，データ分析演習①（データ入力）	吉長
第１７回	データ分析演習②（1変量の要約）	吉長
第１８回	データ分析演習③（1変量の要約）	吉長
第１９回	データ分析演習④（2変量の関係）	吉長
第２０回	データ分析演習⑤（2変量の関係）	吉長
第２１回	データ分析演習⑥（2変量の関係）	吉長
第２２回	伝わる表の作成	吉長
第２３回	課題演習③（データ分析と考察）	吉長
第２４回	課題演習③（データ分析と考察）	吉長
第２５回	異なるアプリ間のデータ利用	吉長
第２６回	課題演習④（発表用スライド作成）	吉長
第２７回	課題演習④（発表用スライド作成）	吉長
第２８回	課題発表②	吉長
第２９回	課題発表②	吉長
第３０回	課題発表②，秋学期の総括	吉長
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-343-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	よくわかるWord2016 & Excel2016 & PowerPoint2016　改訂板	参・出版社名１	FOM出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	978-4-86510-349-6
参・書籍名２	「伝わる資料」デザイン・テクニック	参・出版社名2	ソーテック社
参・著者名2	渡辺克之	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8007-1108-3

授業科目名	臨床理学療法学			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年			ナンバリング	HS-PT-4-205		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	AL,講義
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限 火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「現場で役立つ基本的な実践スキルを学ぶ」をテーマとする。 ・４年前期の総合臨床実習の体験症例について事例検討し多面的な評価と治療法について理解できる。 ・どのような患者に何を問題としどのように対処したかを簡潔に表現することから臨床思考が理解できる。 ・事例検討を発表することで臨床現場における患者の見方・考え方・関わり方について理解することができる。 ・急性期から慢性期、小児から超高齢者、各種疾患の体験報告から実践的な知識を共有することができる。
授業概要	・患者の状況を幅広く理解していく臨床過程を理解することができる。 ・ＡＤＬ能力を改善させていくためのキーポイントを見つけだしていくことができる。 ・実践に基づく知識を共有したチーム医療や連携について理解することができる。 ・症例検討を通して患者中心のアプローチの重要性を認識し自覚することができる。 ・卒後のキャリアアップにつながる臨床での学び方を身につけることができる。 ・症例検討会資料を紹介することから現場で役立つ知識と技能を養うことができる。 ・専門家としての心構えに気づきコミュニケーション・スキルが芽生えてくる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	・自ら学ぶ姿勢を課題レポート（30%）や発表（30%）から評価する。 ・臨床実習後のセミナー資料の内容とこの講義を受講して提出されたレポート内容（40%）から評価する。 ・課題レポートは、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出された課題は返却を行う。
履修条件・注意事項	・理学療法学を学んで最終仕上げとして医療人として使命感と責任感が問われる。 ・キャリアアップしていくために主体性と創造性、高い倫理性を身に付けているかが問われる。 ・多職種とのコミュニケーション・スキルや共感的態度を身に付けているが問われる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・自らの課題について、調べてきたことや経験したことなどを元にして「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」実践型の学習が必須である。 ・事前に課題を出すので、それについて調べてきたことを元にして授業を行う。 ・必ず予習と復習を各1時間程度は行わないと、授業に出席していただけでは単位は取れない。
オフィスアワー	・6号館4階の森下研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

	授業計画	担当者
第１回	ICF(国際生活機能分類)	森下元賀
第２回	リハ医療とケア	森下元賀
第３回	臨床現場の科学	森下元賀
第４回	症例検討、症例報告、症例研究	森下元賀
第５回	臨床推論と臨床実践課程	森下元賀
第６回	臨床像と障害像	森下元賀

第７回	臨床推論と臨床実践過程		森下元賀
第８回	運動器疾患における臨床推論と実践		森下元賀
第９回	神経疾患における臨床推論と実践		森下元賀
第１０回	循環呼吸器疾患における臨床推論と実践		森下元賀
第１１回	高齢者の理学療法		森下元賀
第１２回	模擬症例における臨床実践1		森下元賀
第１３回	模擬症例における臨床実践2		森下元賀
第１４回	模擬症例における臨床実践3		森下元賀
第１５回	模擬症例における臨床実践4		森下元賀
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	理学療法評価学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	奈良勲監修	教・ＩＳＢＮ１	4-260-26667-5 Y5800
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	管理運営学			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-206		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	理学療法に関する「医療の質」、「提供の安全」、「職員の待遇」、「未来発展」を知り、実習生として、あるいは卒業後には有資格者として理学療法業務を遂行する上で求められる最低限の職能性を理解できるようになる。 併せて，少子高齢化社会の医療の質に鑑み，これからの社会における地域リハビリテーションに係るサービスニーズに関して考え方を学ぶ.
授業概要	理学療法は医師、看護師、事務系職員などの協力関係があってはじめて良質なサービスが提供できる。また、理学療法部門は複数の職員で業務を分担する場合が多い。複数かつ他職種の人間が協同して活動する際には、活動を円滑に行うための知識とチームを組める技術が必要となる。そこで病院理学療法学部門の組織、管理（人事、総務、労務）、業務（処方関連、診療、記録）、職員教育と生涯学習、経営などの理論と実際について、演習を中心に教授する。理学療法士としてのSociety 5.0社会での発展的ビジョン、経営・管理者としての思考、臨床業務におけるリーダーシップのあり方も身につけてもらいたい。グループ討議やプレゼンテーションを通じたアクティブラーニングの授業形態.
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	アクティブラーニング発表時のレジュメ30%，定期試験（筆記試験）70%。 定期試験を受けるための必要条件は、平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、かつグループワーキングにおける積極的な取り組みがあることとする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする.
履修条件・注意事項	各回、グループ毎に定めた課題について、事前に調べレジュメを作った上で発表し、議論を繰り広げるという形態をとる。 管理運営能力を有することは、就職後の自らの待遇にも大きく関係するものであり、真剣に課題に取り組んでもらいたい。 十分な理解に到達するために，各グループの発表内容について予習を行い，発表後はレジュメのキーワードを基に復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。併せて，理学療法管理に関する実務責任者をゲストピーカーとして招いて，知識を習得します.
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 予習および復習には，各1時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

	授業計画	担当者
第１回	1. オリエンテーション、概論、グループ編成、課題決定、グループ別作業、資料編成法	原田和宏
第２回	2. 理学療法処方と診療記録	
第３回	3. 理学療法室の設計と医療の質	

第４回	4. 医療人としての接遇態度やアメニティ	
第５回	5. 理学療法機器等の保守・点検，電子カルテ	
第６回	6. 医療事故と理学療法リスクマネジメント　（100%の安全は存在しない）	
第７回	7. 診療報酬と責任：　医療の質	
第８回	8. これからの社会と理学療法士の活躍	
第９回	試験	
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	リハビリテーション管理・運営　実践ガイドブック	参・出版社名１	メジカルビュー社
参・著者名１	金谷さとみ，高橋仁美（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7538-1931-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法総合演習 （複数担当）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-207

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「理学療法の知識、技術を習得し、実践適用できる。」をテーマに、これまでで学んできた理学療法の知識、技術を再確認し、理学療法士として社会に出て活躍できるようになることを到達目標とする。
授業概要	理学療法士国家試験の対策につながる科目であり、徹底的な予習、復習が望まれる。 効率よく学力を身につけられるようグループ学習を主体とした授業を行う。 国家試験対策模擬試験を複数回行い、弱点を確認するとともに時間配分や形式に慣れ本番の国家試験にそなえる。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を 活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	複数回実施する試験の結果を総合的に評価する。 成績評価基準：試験（100%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実施した課題は，適宜，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	国家試験対策問題集を使用して，授業計画に則り自己学習を指示する。能動的な学修態度を留意すること。 学修状況の確認のため複数回の実力試験を実施する。試験結果を分野毎に分析してオフィスアワー等を利用してそのフィードバックを行う。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	1)試験は必ず行う。講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習・復習(それぞれ3時間程度以上）を行うこと。 2)講義の内容を補うためにプリントを配布するので、初回の講義からファイルを用意すること。
オフィスアワー	個人研究室にて、水曜日の３時限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	基礎医学集中講義１	高橋　淳
第２回	基礎医学集中講義2	高橋　淳
第３回	基礎医学集中講義3	森　芳史
第４回	基礎医学集中講義4	森　芳史
第５回	基礎医学集中講義5	外部講師
第６回	基礎医学集中講義6	外部講師
第７回	理学療法士 共通専門　弱点克服1	井上　茂樹
第８回	理学療法士 共通専門　弱点克服2	佐藤　三矢
第９回	理学療法士 共通専門　弱点克服3	元田　弘敏
第１０回	理学療法士 共通専門　弱点克服4	森下　元賀
第１１回	理学療法士 共通専門　弱点克服5	原田　和宏
第１２回	理学療法士 共通専門　弱点克服6	齋藤　圭介
第１３回	理学療法士 共通専門　弱点克服7	中嶋　正明

第１４回	実力試験1	中嶋　正明
第１５回	実力試験2	中嶋　正明
第１６回	実力試験3	中嶋　正明
第１７回	実力試験4	中嶋　正明
第１８回	理学療法士 共通専門試験1	中嶋　正明、森下　元賀、森　芳史
第１９回	理学療法士 共通専門試験2	中嶋　正明、森下　元賀、森　芳史
第２０回	理学療法士 共通専門試験3	中嶋　正明、森下　元賀、森　芳史
第２１回	理学療法士 共通専門試験4	中嶋　正明、森下　元賀、森　芳史
第２２回	理学療法士 共通専門試験5	中嶋　正明、森下　元賀、森　芳史
第２３回	理学療法士 共通専門試験6	井上 茂樹
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	QB 作業療法士理学療法士国家試験問題解説（共通問題）	教・出版社名１	MEDIC MEDIA
教・著者名１	医学情報科学研究所 編集	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89632-850-9
教・書籍名２	QB 理学療法士国家試験問題解説（専門問題）	教・出版社名2	MEDIC MEDIA
教・著者名2	医学情報科学研究所 編集	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89632-851-6
参考書			
参・書籍名１	PT/OT国家試験（臨床医学、基礎医学、基礎PT学、PT治療学）	参・出版社名１	医歯薬出版株式会社
参・著者名１	医歯薬出版編	参・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21655-2 978-4-263-21656-9 978-4-263-21657-6 978-4-263-21658-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「理学療法におけるevidence-based medicine」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「理学療法におけるevidence-based medicine」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	収集した文献を読み，要点を的確に発表できるように準備すること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	中嶋正明
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	中嶋正明

第３回	研究テーマの絞り込み（１）	中嶋正明
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	中嶋正明
第５回	文献抄読（１）	中嶋正明
第６回	文献抄読（２）	中嶋正明
第７回	文献抄読（３）	中嶋正明
第８回	文献抄読（４）	中嶋正明
第９回	文献抄読（５）	中嶋正明
第１０回	研究計画書作成（１）	中嶋正明
第１１回	研究計画書作成（２）	中嶋正明
第１２回	研究計画書作成（３）	中嶋正明
第１３回	研究計画書作成（４）	中嶋正明
第１４回	卒業研究計画書発表	中嶋正明
第１５回	総括	中嶋正明
第１６回	データ収集（１）	中嶋正明
第１７回	データ収集（２）	中嶋正明
第１８回	データ解析（１）	中嶋正明
第１９回	データ解析（２）	中嶋正明
第２０回	研究計画見直し（１）	中嶋正明
第２１回	研究計画見直し（２）	中嶋正明
第２２回	研究計画見直し（３）	中嶋正明
第２３回	本実験・データ収集（１）	中嶋正明
第２４回	本実験・データ収集（２）	中嶋正明
第２５回	本実験・データ収集（３）	中嶋正明
第２６回	本実験・データ解析（１）	中嶋正明
第２７回	本実験・データ解析（２）	中嶋正明
第２８回	本実験・データ解析（３）	中嶋正明
第２９回	中間発表資料作成（1）	中嶋正明
第３０回	中間発表資料作成（2）	中嶋正明
第３１回	中間発表資料作成（3）	中嶋正明
第３２回	卒業研究、中間発表	中嶋正明

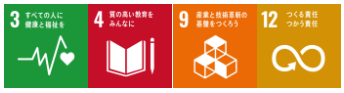
教科書			
教・書籍名１	アクセプトされる英語医学論文を書こう	教・出版社名１	金原出版
教・著者名１	ネル・L・ケネディ	教・ＩＳＢＮ１	89553-969-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	高橋　淳
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生がバイオ研究の実験方法、思考法を学び、実験技術を習得し、その成果を卒業論文としてまとめ発表することを目標とする。
授業概要	研究については「腫瘍促進因子FEATの機能」に関わるテーマを中心に進める。 (大半のヒトがんで異常に高発現している強力な新規腫瘍促進因子, https://www.natureasia.com/ja-jp/srep/abstracts/35196) 具体的には、 1. 実験方法を学び、分子生物学、生化学的手技を習得する。 2. 保健福祉研究所で実験に従事して、データを収集・解析する。 3. 文献検索の仕方を学び、研究論文を読む能力を身につける。 4. 研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるために、能動的な学修態度が望ましい。 ２）履修過程にあたっては、E-mailを活用する等、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　内科医としての実務経験と血液学・細胞生物学・腫瘍生物学の研究実績を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	バイオ研究に知的好奇心を持ち、実験を進めながら、積極的に質問し、討論し、実地に学んでほしい。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	高橋
第２回	研究倫理について	高橋
第３回	研究テーマの絞り込み	高橋
第４回	分子生物学、生化学実験法	高橋
第５回	実験（1）	高橋
第６回	実験（2）	高橋
第７回	実験（3）	高橋
第８回	実験（4）	高橋
第９回	実験（5）	高橋
第１０回	実験（6）	高橋
第１１回	.実験（7）	高橋
第１２回	実験（8）	高橋
第１３回	実験（9）	高橋
第１４回	実験（10）	高橋
第１５回	実験結果検討会	高橋

第１６回	研究計画見直し	高橋
第１７回	実験（1）	高橋
第１８回	実験（2）	高橋
第１９回	実験（3）	高橋
第２０回	実験（4）	高橋
第２１回	実験（5）	高橋
第２２回	実験（6）	高橋
第２３回	実験（7）	高橋
第２４回	実験（8）	高橋
第２５回	実験（9）	高橋
第２６回	実験（10）	高橋
第２７回	データ解析	高橋
第２８回	実験結果検討会	高橋
第２９回	中間発表資料作成（1）	高橋
第３０回	中間発表資料作成（2）	高橋
第３１回	中間発表資料作成（3）	高橋
第３２回	卒業研究、中間発表	高橋

教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-208		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「日常診療で感じた疑問を科学的に解決し還元する」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「スポーツにおけるコンディショニング」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	理学療法学科 /uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，医師としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場に おいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として各授業計画および前回授業で予告した部分について事前に資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業で不明な点を資料で確認し、次回の授業までにノートにまとめること。 なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	森
第３回	研究テーマの絞り込み（１）過去の研究紹介	森
第４回	研究テーマの絞り込み（２）話し合い	森
第５回	文献抄読（１）	森
第６回	文献抄読（２）	森
第７回	文献抄読（３）	森
第８回	文献抄読（４）	森
第９回	文献抄読（５）	森
第１０回	文献抄読（６）	森

第１１回	研究計画書作成（1）	森
第１２回	研究計画書作成（2）	森
第１３回	研究計画書作成（3）	森
第１４回	研究計画書作成（4）	森
第１５回	研究計画書作成（5）	森
第１６回	卒業研究計画書発表	森
第１７回	データ収集（1）	森
第１８回	データ収集（2）	森
第１９回	データ収集（3）	森
第２０回	データ解析（1）	森
第２１回	データ解析（2）	森
第２２回	研究計画見直し（1）	森
第２３回	研究計画見直し（2）	森
第２４回	研究計画見直し（3）	森
第２５回	本実験・データ収集（1）	森
第２６回	本実験・データ収集（2）	森
第２７回	本実験・データ収集（3）	森
第２８回	本実験・データ解析（1）	森
第２９回	本実験・データ解析（2）	森
第３０回	本実験・データ解析（3）	森
第３１回	中間発表作成	森
第３２回	卒業研究、中間発表	森

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	あなたもできるデータの処理と解析	参・出版社名１	福村出版
参・著者名１	岩淵千明　編著	参・ＩＳＢＮ１	978-4-571-20058-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	河村　顕治
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「リハビリテーションのバイオメカニクス研究」をテーマに，4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には，研究テーマ発見のために必須となる先行研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	2年次の「身体運動学実習」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を，それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前に指示をした課題について、ゼミの中で発表を行い参加者全員でディスカッションを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）履修にあたっては，研究室を訪ねたりE-MAILを活用する等，担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月、火曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	【春学期】 ①オリエンテーション	河村顕治
第２回	②担当教員との進行打ち合わせ	河村顕治
第３回	③研究テーマの絞り込み（１）	河村顕治
第４回	④研究テーマの絞り込み（２）	河村顕治
第５回	⑤文献抄読（１）	河村顕治
第６回	⑥文献抄読（２）	河村顕治
第７回	⑦文献抄読（３）	河村顕治
第８回	⑧文献抄読（４）	河村顕治
第９回	⑨文献抄読（５）	河村顕治
第１０回	⑩研究計画書作成（１）	河村顕治
第１１回	⑪研究計画書作成（２）	河村顕治
第１２回	⑫研究計画書作成（３）	河村顕治
第１３回	⑬研究計画書作成（４）	河村顕治

第１４回	⑭計画書作成（５）	河村顕治
第１５回	⑮卒業研究計画書発表	河村顕治
第１６回	【秋学期】 ①データ収集（１）	河村顕治
第１７回	②データ収集（２）	河村顕治
第１８回	③データ解析（１）	河村顕治
第１９回	④データ解析（２）	河村顕治
第２０回	⑤研究計画見直し（１）	河村顕治
第２１回	⑥研究計画見直し（２）	河村顕治
第２２回	⑦研究計画見直し（３）	河村顕治
第２３回	⑧本実験・データ収集（１）	河村顕治
第２４回	⑨本実験・データ収集（２）	河村顕治
第２５回	⑩本実験・データ収集（３）	河村顕治
第２６回	⑪本実験・データ解析（１）	河村顕治
第２７回	⑫本実験・データ解析（２）	河村顕治
第２８回	⑬本実験・データ解析（３）	河村顕治
第２９回	⑭中間発表資料作成	河村顕治
第３０回	⑮卒業研究、中間発表	河村顕治
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）			担当者	齋藤　圭介		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-208		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「高齢者における自立支援・障害予防」をテーマに，4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には，研究テーマ発見のために必須となる先行研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「高齢者の自立支援・障害予防」に関わるテーマを中心に進める。 2年次の「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方を，それぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ルーブリック評価に基づく学修態度（20%），各課題の達成度（80%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，ゼミまたはMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。２）履修にあたっては，研究室を訪ねたりE-MAILを活用する等，担当教員と連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。課題は，各回授業時において指示する。予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて，春学期は金曜日５時限目，秋学期は木曜日３時限目に実施。それ以外についても随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	齋藤
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	齋藤
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	齋藤
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	齋藤
第５回	文献抄読（１）	齋藤
第６回	文献抄読（２）	齋藤
第７回	文献抄読（３）	齋藤
第８回	文献抄読（４）	齋藤
第９回	文献抄読（５）	齋藤
第１０回	研究計画書作成（１）	齋藤
第１１回	研究計画書作成（２）	齋藤
第１２回	研究計画書作成（３）	齋藤
第１３回	研究計画書作成（４）	齋藤

第１４回	研究計画書作成（５）	齋藤
第１５回	卒業研究計画書発表	齋藤
第１６回	データ収集（１）	齋藤
第１７回	データ収集（２）	齋藤
第１８回	データ解析（１）	齋藤
第１９回	データ解析（２）	齋藤
第２０回	研究計画見直し（１）	齋藤
第２１回	研究計画見直し（２）	齋藤
第２２回	研究計画見直し（３）	齋藤
第２３回	本実験・データ収集（１）	齋藤
第２４回	本実験・データ収集（２）	齋藤
第２５回	本実験・データ収集（３）	齋藤
第２６回	本実験・データ解析（１）	齋藤
第２７回	本実験・データ解析（２）	齋藤
第２８回	本実験・データ解析（３）	齋藤
第２９回	中間発表資料作成	齋藤
第３０回	卒業研究，中間発表	齋藤
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-208		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 この講義（ゼミ）を通じて、学術論文としての論理的な構成、文章表現および図表の描き方、統計処理、文献の検索と引用の方法等を学ばせる。 【目標】 学生は、独力で学術論文を作成するための一連の基礎的な手順の把握ができるようになる。
授業概要	●卒業研究テーマを決定し、研究や取り組みを進める。 ●研究テーマは理学療法領域における既成の治療理論、治療技術やその効果に対して新たな知見を加えることを理想とするものの、必ずしも既成概念に固執させることは求めない。 ●研究成果をわかりやすく伝えるための口頭発表・プレゼンテーションの方法や資料の作成についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	●ゼミでの講義における質疑応答の内容ならびに課題の達成度にて評価する。 ●ゼミ内での態度・実績（30%） ●課題の達成度（70%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業（ゼミ）にてフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	●受け身ではなく、能動的かつ積極的な参加が必要である。 ●研究室を訪ねたりE-MAILやSNSを上手に活用する等して、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	履修学生に対して事前に課題を与えてゼミ活動の中での発表や報告を行わせ、そのような活動の中で知識や知恵を蓄積していき、最終的に研究の具現化を進めていくために予習と復習が必須である。 【予習】 次回講義（ゼミ）において学ぶ予定の内容について、事前にアナウンスまたは配布された情報や講義資料をよく確認して把握しておくこと。 【復習】 毎講義（ゼミ）、前回の講義（ゼミ）で学んだ内容について学生に対する質問をランダムに行う「質問会（10～15分間／一人）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにマイノートを作成して家庭学修をしておくこと。 ※予習および復習には、各２時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	佐藤
第２回	担当教員との年間計画の検討・立案	佐藤
第３回	研究テーマ検討（運動指導）	佐藤
第４回	研究テーマ検討（介護予防体操）	佐藤
第５回	研究テーマ検討（学生の国試対策に関するテーマ）	佐藤
第６回	研究テーマ検討（PT評価実技の学習支援）	佐藤
第７回	研究テーマ検討（地域包括ケア活動）	佐藤

第８回	研究テーマ検討（認知症とBPSD）	佐藤
第９回	文献検索の方法	佐藤
第１０回	文献レビューの方法	佐藤
第１１回	文献抄読資料の作成と発表	佐藤
第１２回	文献抄読会	佐藤
第１３回	研究計画の検討について	佐藤
第１４回	研究計画の立案	佐藤
第１５回	研究計画の作成	佐藤
第１６回	卒業研究計画の発表	佐藤
第１７回	第１回目 データ収集	佐藤
第１８回	第１回目 データ解析	佐藤
第１９回	第２回目 データ収集	佐藤
第２０回	第２回目 データ解析	佐藤
第２１回	研究活動の振り返り	佐藤
第２２回	第１次 研究計画見直し	佐藤
第２３回	第３回目 データ収集	佐藤
第２４回	第３回目 データ解析	佐藤
第２５回	第４回目 データ収集	佐藤
第２６回	第４回目 データ解析	佐藤
第２７回	これまで収集したデータの振り返り	佐藤
第２８回	中間発表に向けた文献検索	佐藤
第２９回	中間発表資料を作成していく	佐藤
第３０回	中間発表会資料を完成させる	佐藤
第３１回	卒業研究中間発表会	佐藤
第３２回	卒業研究中間報告書の作成	佐藤

教科書			
教・書籍名１	適宜必要な文献および資料等を提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	原田　和宏
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「脳血管障害の病態と生活」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「脳血管障害の病態と生活」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%），各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお，評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする．
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること． 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる． 予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする．

	授業計画	担当者
第１回	①オリエンテーション	原田和宏
第２回	②担当教員との進行打ち合わせ	
第３回	③研究テーマの絞り込み（１）臨床	
第４回	④研究テーマの絞り込み（２）科学	
第５回	⑤文献抄読（１）和文検索	
第６回	⑥文献抄読（２）和文抄録	

第７回	⑦文献抄読（３）和文本文	
第８回	⑧文献抄読（４）レジュメ	
第９回	⑨文献抄読（５）発表	
第１０回	⑩研究計画書作成（１）目的	
第１１回	⑪研究計画書作成（２）対象	
第１２回	⑫研究計画書作成（３）背景	
第１３回	⑬研究計画書作成（４）方法	
第１４回	⑭計画書作成（５）	
第１５回	⑮卒業研究計画書発表	
第１６回	①データ収集（１）アンケート	
第１７回	②データ収集（２）観察	
第１８回	③データ解析（１）Excel	
第１９回	④データ解析（２）SPSS	
第２０回	⑤研究計画見直し（１）対象	
第２１回	⑥研究計画見直し（２）目的	
第２２回	⑦研究計画見直し（３）方法	
第２３回	⑧本実験・データ収集（１）観察	
第２４回	⑨本実験・データ収集（２）転記	
第２５回	⑩本実験・データ収集（３）アンケート	
第２６回	⑪本実験・データ解析（１）平均	
第２７回	⑫本実験・データ解析（２）相関	
第２８回	⑬本実験・データ解析（３）有意差	
第２９回	⑭中間発表資料作成	
第３０回	⑮卒業研究、中間発表	
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料等を提示する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	元田　弘敏
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「循環・呼吸理学療法」をテーマに，卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30％），各課題の達成度（70％）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	元田
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	元田
第３回	研究テーマの絞り込み（1）	元田
第４回	研究テーマの絞り込み（2）	元田
第５回	文献抄読（１）	元田
第６回	文献抄読（2）	元田
第７回	文献抄読（3）	元田
第８回	文献抄読（4）	元田
第９回	文献抄読（5）	元田
第１０回	研究計画書作成（1）	元田
第１１回	研究計画書作成（2）	元田
第１２回	研究計画書作成（3）	元田
第１３回	研究計画書作成（4）	元田

第１４回	研究計画書作成（5）	元田
第１５回	卒業研究計画書発表	元田
第１６回	データ収集（１）	元田
第１７回	データ収集（2）	元田
第１８回	データ解析（１）	元田
第１９回	データ解析（2）	元田
第２０回	研究計画見直し（１）	元田
第２１回	研究計画見直し（2）	元田
第２２回	研究計画見直し（3）	元田
第２３回	本実験・データ収集（１）	元田
第２４回	本実験・データ収集（2）	元田
第２５回	本実験・データ収集（3）	元田
第２６回	本実験・データ解析（１）	元田
第２７回	本実験・データ解析（2）	元田
第２８回	本実験・データ解析（3）	元田
第２９回	中間発表資料作成	元田
第３０回	卒業研究、中間発表	元田
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」をテーマに、4年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして、論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける。また、研究計画の作成を経験するとともに、測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については、「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに、論文クリティークを経て研究論文を読む能力を、文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び、先攻研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして、測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける。生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう、個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30%）、各課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること。 ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場における研究活動について実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須 である。課題は、各回授業時において指示する。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーショ	井上茂樹
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	井上茂樹
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	井上茂樹
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	井上茂樹
第５回	文献抄読（１）	井上茂樹
第６回	文献抄読（２）	井上茂樹
第７回	文献抄読（３）	井上茂樹
第８回	文献抄読（４）	井上茂樹
第９回	文献抄読（５）	井上茂樹
第１０回	研究計画書作成（１）	井上茂樹
第１１回	研究計画書作成（２）	井上茂樹

第１２回	研究計画書作成（３）	井上茂樹
第１３回	研究計画書作成（４）	井上茂樹
第１４回	研究計画書作成（５）	井上茂樹
第１５回	卒業研究計画書発表	井上茂樹
第１６回	データ収集（１）	井上茂樹
第１７回	データ収集（２）	井上茂樹
第１８回	データ解析（１）	井上茂樹
第１９回	データ解析（２）	井上茂樹
第２０回	研究計画見直し（１）	井上茂樹
第２１回	研究計画見直し（２）	井上茂樹
第２２回	研究計画見直し（３）	井上茂樹
第２３回	本実験・データ収集（１）	井上茂樹
第２４回	本実験・データ収集（２）	井上茂樹
第２５回	本実験・データ収集（３）	井上茂樹
第２６回	本実験・データ解析（１）	井上茂樹
第２７回	本実験・データ解析（２）	井上茂樹
第２８回	本実験・データ解析（３）	井上茂樹
第２９回	中間発表資料作成	井上茂樹
第３０回	卒業研究、中間発表	井上茂樹
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料などを提示する）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文指導 （ゼミ）	担当者	森下　元賀
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年	ナンバリング	HS-PT-3-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動学習の成立過程」あるいは「嚥下運動の促通」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「運動学習」あるいは「嚥下運動の促通」に関わるテーマを中心に進める． ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける．また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミでの発言の回数、ディスカッションへの参加態度（30%），各回に出す課題の達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場における研究の実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森下元賀
第２回	担当教員との進行打ち合わせ	森下元賀
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	森下元賀
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	森下元賀
第５回	文献抄読（１）	森下元賀
第６回	文献抄読（２）	森下元賀
第７回	文献抄読（３）	森下元賀
第８回	文献抄読（４）	森下元賀
第９回	文献抄読（５）	森下元賀
第１０回	研究計画書作成（１）	森下元賀

第１１回	研究計画書作成（２）	森下元賀
第１２回	研究計画書作成（３）	森下元賀
第１３回	研究計画書作成（3）	森下元賀
第１４回	研究計画書作成（4）	森下元賀
第１５回	卒業研究計画書発表	森下元賀
第１６回	データ収集（１）	森下元賀
第１７回	データ収集（２）	森下元賀
第１８回	データ解析（１）	森下元賀
第１９回	データ解析（２）	森下元賀
第２０回	研究計画見直し（１）	森下元賀
第２１回	研究計画見直し（２）	森下元賀
第２２回	研究計画見直し（３）	森下元賀
第２３回	本実験・データ収集（１）	森下元賀
第２４回	本実験・データ収集（２）	森下元賀
第２５回	本実験・データ収集（３）	森下元賀
第２６回	本実験・データ解析（１）	森下元賀
第２７回	本実験・データ解析（２）	森下元賀
第２８回	本実験・データ解析（３）	森下元賀
第２９回	中間発表資料作成	森下元賀
第３０回	卒業研究、中間発表	森下元賀
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	適宜、資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	中嶋　正明
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「理学療法におけるevidence-based medicine」をテーマに，４年次配当「卒業論文」における卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 具体的には研究テーマ発見のために必須となる先攻研究レビューをとおして，論文クリティークやアブストラクトテーブルの作成能力を身につける．また，研究計画の作成を経験するとともに，測定と統計処理の実施に必要な基本的知識と技術の修得を到達目標とする。
授業概要	研究については「理学療法におけるevidence-based medicine」に関わるテーマを中心に進める。 ２年次「理学療法研究法」の学修を手がかりに，論文クリティークを経て研究論文を読む能力を，文献検索とアブストラクトテーブル作成の仕方を学び先行研究のレビューの仕方をそれぞれ身につける。また研究計画の作成やプレテストをとおして，測定と統計処理に関する基本的知識と技術を身につける．生きた学びをとおして自然に研究能力が身につくよう，個別課題やグループ討論を主体とした学修を行う。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	ゼミへの参加態度（30％），各課題の達成度（70％）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）研究遂行能力と研究的思考を身につけるためにも，能動的な学修態度を留意すること． ２）事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である． ３）履修過程にあたっては，研究室を訪ねたりE-mailを活用する等，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	収集した文献を読み，要点を的確に発表できるように準備すること。2時間程度の予習復習を要する。
オフィスアワー	水曜日13:30より2時間程度をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	中嶋正明
第２回	研究倫理に基づく責任ある研究活動	中嶋正明
第３回	研究テーマの絞り込み（１）	中嶋正明
第４回	研究テーマの絞り込み（２）	中嶋正明
第５回	文献抄読（１）	中嶋正明
第６回	文献抄読（２）	中嶋正明
第７回	文献抄読（３）	中嶋正明
第８回	文献抄読（４）	中嶋正明
第９回	文献抄読（５）	中嶋正明

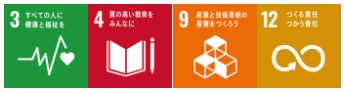
第１０回	研究計画書作成（1）	中嶋正明
第１１回	研究計画書作成（2）	中嶋正明
第１２回	研究計画書作成（3）	中嶋正明
第１３回	研究計画書作成（4）	中嶋正明
第１４回	卒業研究計画書発表	中嶋正明
第１５回	総括	中嶋正明
第１６回	データ収集（1）	中嶋正明
第１７回	データ収集（2）	中嶋正明
第１８回	データ解析（1）	中嶋正明
第１９回	中嶋正明	データ解析（2）
第２０回	研究計画見直し（1）	中嶋正明
第２１回	研究計画見直し（2）	中嶋正明
第２２回	研究計画見直し（3）	中嶋正明
第２３回	本実験・データ収集（1）	中嶋正明
第２４回	本実験・データ収集（2）	中嶋正明
第２５回	本実験・データ収集（3）	中嶋正明
第２６回	本実験・データ解析（1）	中嶋正明
第２７回	本実験・データ解析（2）	中嶋正明
第２８回	本実験・データ解析（3）	中嶋正明
第２９回	中間発表資料作成	中嶋正明
第３０回	中間発表資料作成	中嶋正明
第３１回	卒業研究、中間発表	中嶋正明
第３２回	卒業研究、中間発表	中嶋正明

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	高橋　淳
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生がバイオ研究の実験方法、思考法を学び、実験技術を習得し、その成果を卒業論文としてまとめ発表することを目標とする。
授業概要	概要 ３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき、卒業研究として成果をまとめる。具体的には、 １）研究計画に基づきデータ収集と整理を進めるとともに、先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。 ２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し、スライドと発表抄録の作成、口述と質疑を経験し、プレゼンテーションスキルを修得する。 ３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成を通し、研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究への取組態度（50%）、「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり、研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。履修過程においては、E-mailを活用するなど、担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　内科医としての実務経験と血液学・細胞生物学・腫瘍生物学の研究実績を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	バイオ研究に知的好奇心を持ち、実験を進めながら、積極的に質問し、討論し、実地に学んでほしい。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	研究計画（確認・精査・見直し）、研究倫理について	高橋
第２回	実験（1）	高橋
第３回	実験（2）	高橋
第４回	実験（3）	高橋
第５回	実験（4）	高橋
第６回	実験（5）	高橋
第７回	実験（6）	高橋
第８回	実験（7）	高橋
第９回	データ解析	高橋
第１０回	結果の解釈と研究意義の理解	高橋
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（1）スライド	高橋
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（2）発表抄録	高橋
第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	高橋
第１４回	卒業研究発表会　卒業研究発表	高橋
第１５回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	高橋

第１６回	総合評価	高橋
第１７回	実験（1）	高橋
第１８回	実験（2）	高橋
第１９回	実験（3）	高橋
第２０回	実験（4）	高橋
第２１回	実験（5）	高橋
第２２回	実験（6）	高橋
第２３回	実験（7）	高橋
第２４回	実験（8）	高橋
第２５回	実験（9）	高橋
第２６回	実験（10）	高橋
第２７回	データ解析	高橋
第２８回	実験結果検討会	高橋
第２９回	中間発表資料作成（1）	高橋
第３０回	中間発表資料作成（2）	高橋
第３１回	中間発表資料作成（3）	高橋
第３２回	卒業研究、中間発表	高橋

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	森　芳史
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。 なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	理学療法学科 /uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業やオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，医師としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場に おいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

	授業計画	担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し（１）	森
第２回	研究計画　確認・精査・見直し（２）	森
第３回	研究計画　確認・精査・見直し（３）	森
第４回	研究計画　確認・精査・見直し（４）	森
第５回	本実験・調査データの収集（１）	森
第６回	本実験・調査データの収集（２）	森
第７回	本実験・調査データの収集（３）	森
第８回	本実験・調査データの収集（４）	森
第９回	本実験・調査データの収集（５）	森
第１０回	本実験・調査データの収集（６）	森
第１１回	本実験・調査データの収集（７）	森
第１２回	本実験・調査データの収集（８）	森
第１３回	本実験・調査データの収集（９）	森

第１４回	本実験・調査データの収集（１０）	森
第１５回	データ解析（1）	森
第１６回	データ解析（2）	森
第１７回	データ解析（3）	森
第１８回	データ解析（4）	森
第１９回	結果の解釈と研究意義の理解（1）	森
第２０回	結果の解釈と研究意義の理解（2）	森
第２１回	卒業研究発表会の草案作成（1）	森
第２２回	卒業研究発表会の草案作成（2）	森
第２３回	卒業研究発表会の草案作成（3）	森
第２４回	卒業研究発表会のスライド作成（1）	森
第２５回	卒業研究発表会のスライド作成（2）	森
第２６回	卒業研究発表会のスライド作成（3）	森
第２７回	卒業研究発表会の抄録作成（1）	森
第２８回	卒業研究発表会の抄録作成（2）	森
第２９回	卒業研究発表会の抄録作成（3）	森
第３０回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	森
第３１回	卒業研究発表会　卒業研究発表	森
第３２回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	森

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	河村　顕治
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「リハビリテーションのバイオメカニクス研究」をテーマに，3年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	3年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。 具体的には， １）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。 ２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。 ３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。 詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。 なお、評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前に指示をした課題について、ゼミの中で発表を行い参加者全員でディスカッションを行う。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行ない，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である。 なお、予習、復習には各1時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し	河村顕治
第２回	本実験・調査データの収集（１）	河村顕治

第３回	本実験・調査データの収集（２）	河村顕治
第４回	本実験・調査データの収集（３）	河村顕治
第５回	本実験・調査データの収集（４）	河村顕治
第６回	本実験・調査データの収集（５）	河村顕治
第７回	データ解析（１）	河村顕治
第８回	データ解析（２）	河村顕治
第９回	データ解析（3）	河村顕治
第１０回	データ解析（4）	河村顕治
第１１回	データ解析（5）	河村顕治
第１２回	結果の解釈と研究意義の理解	河村顕治
第１３回	卒業研究発表会の発表草案作成	河村顕治
第１４回	卒業研究発表会の発表抄録作成	河村顕治
第１５回	卒業研究発表会のスライド作成（１）	河村顕治
第１６回	卒業研究発表会のスライド作成（２）	河村顕治
第１７回	卒業研究発表会のスライド作成（３）	河村顕治
第１８回	卒業研究発表会のスライド作成（４）	河村顕治
第１９回	卒業研究発表会のスライド作成（５）	河村顕治
第２０回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	河村顕治
第２１回	卒業研究発表会　卒業研究発表	河村顕治
第２２回	「理学療法探求」卒業研究作成（１）	河村顕治
第２３回	「理学療法探求」卒業研究作成（２）	河村顕治
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	齋藤　圭介
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ルーブリック評価に基づく研究への取組と学修態度（30%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（70%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，ゼミまたはMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場の研究活動に実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し	齋藤
第２回	本実験・調査データの収集（１）	齋藤
第３回	本実験・調査データの収集（２）	齋藤
第４回	本実験・調査データの収集（３）	齋藤
第５回	本実験・調査データの収集（４）	齋藤
第６回	研究倫理に基づく責任ある研究活動	齋藤
第７回	データ解析（１）	齋藤
第８回	データ解析（２）	齋藤
第９回	結果の解釈と研究意義の理解	齋藤
第１０回	卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案	齋藤
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	齋藤
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	齋藤
第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	齋藤

第１４回	卒業研究発表会　卒業研究発表	齋藤
第１５回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	齋藤
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	佐藤　三矢
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 この講義（ゼミ）では、３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な思考性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につけさせる。そして、作成された研究計画書を基に、データ収集と整理、統計処理を進め、先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につけさせるための講義を展開する。 【目標】 学生は、卒業研究発表会における「プレゼンテーションの資料作成」ならびに「実際のプレゼンテーションの実施」とともに「理学療法探求における資料作成」を通じて「研究成果をまとめて発信する能力」を習得することができる。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づいて卒業研究として成果をまとめる（具体的には以下の❶～❸）。 ❶研究計画に基づいたデータ収集と整理と統計処理を進め、先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。 ❷卒業研究発表会において研究成果の発表を課し、スライドと発表抄録の作成、口述発表と質疑応答を経験し、プレゼンテーションスキルを修得する。 ❸卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成を通じて研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究への「取組の内容や態度（50%）」とともに「卒業研究発表会・理学療法探求における課題達成度（50%）」で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	なお、評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり、研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。履修過程においては、研究室を訪ねたりE-mailを活用するなどして担当教員との連絡を密に行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員（https://sato38.com/）が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習は必須である。課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	研究計画の検討・精査・見直し	佐藤
第２回	実験・調査データの収集（１回目）	佐藤
第３回	実験・調査データの収集（２回目）	佐藤
第４回	実験・調査データの収集（３回目）	佐藤
第５回	実験・調査データの収集（４回目）	佐藤
第６回	実験・調査データの収集（５回目）	佐藤
第７回	データ解析（１回目）	佐藤
第８回	データ解析（２回目）	佐藤

第９回	結果の解釈と研究意義の理解	佐藤
第１０回	卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案の検討	佐藤
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	佐藤
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	佐藤
第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	佐藤
第１４回	卒業研究発表会／卒業研究発表	佐藤
第１５回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	佐藤
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	原田　和宏
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　内容　※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	1) 研究計画　確認・精査・見直し	
第２回	2) 本実験・調査データの収集（１）	
第３回	3) 本実験・調査データの収集（２）	
第４回	4) 本実験・調査データの収集（３）	
第５回	5) 本実験・調査データの収集（４）	
第６回	6) 本実験・調査データの収集（５）	
第７回	7) データ解析（１）	
第８回	8) データ解析（２）	
第９回	9) 結果の解釈と研究意義の理解	
第１０回	10) 卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案	
第１１回	11) 卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	
第１２回	12) 卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	
第１３回	13) 卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	

第１４回	14) 卒業研究発表会　卒業研究発表		
第１５回	15) 「理学療法探求」卒業研究資料作成		
第１６回			
第１７回			
第１８回			
第１９回			
第２０回			
第２１回			
第２２回			
第２３回			
第２４回			
第２５回			
第２６回			
第２７回			
第２８回			
第２９回			
第３０回			
第３１回			
第３２回			
教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）			担当者	元田　弘敏		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年			ナンバリング	HS-PT-4-209		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	元田
第２回	研究計画　確認・精査・見直し	元田
第３回	本実験・調査データの収集（１）	元田
第４回	本実験・調査データの収集（2）	元田
第５回	本実験・調査データの収集（３）	元田
第６回	本実験・調査データの収集（4）	元田
第７回	本実験・調査データの収集（5）	元田
第８回	データ解析（１）	元田
第９回	データ解析（2）	元田
第１０回	データ解析（3）	元田
第１１回	データ解析（4）	元田
第１２回	データ解析（5）	元田
第１３回	結果の解釈と研究意義の理解（1）	元田

第１４回	結果の解釈と研究意義の理解（2）	元田
第１５回	結果の解釈と研究意義の理解（3）	元田
第１６回	卒業研究発表会の発表資料作成　草案（１）	元田
第１７回	卒業研究発表会の発表資料作成　草案（2）	元田
第１８回	卒業研究発表会の発表資料作成　草案（3）	元田
第１９回	卒業研究発表会スライド作成（1）	元田
第２０回	卒業研究発表会スライド作成（2）	元田
第２１回	卒業研究発表会スライド作成（3）	元田
第２２回	卒業研究発表会スライド作成（4）	元田
第２３回	卒業研究発表会スライド作成（5）	元田
第２４回	卒業研究発表会スライド作成（6）	元田
第２５回	卒業研究発表会発表抄録作成（1）	元田
第２６回	卒業研究発表会発表抄録作成（2）	元田
第２７回	卒業研究発表会発表抄録作成（3）	元田
第２８回	卒業研究発表会発表抄録作成（4）	元田
第２９回	卒業研究発表会発表抄録作成（5）	元田
第３０回	「理学療法探求」卒業研究資料作成	元田
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「介護保険下施設におけるリハビリテーションの効果」をテーマに、３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し、科学的な指向性や問題解決能力、自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に、データ収集と整理，統計処理を進め、先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして、研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき、卒業研究として成果をまとめる。具体的には、１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに、先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し、スライドと発表抄録の作成、口述と質疑を経験し、プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし、研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	研究への取組態度（50%）、「卒業研究発表会」および「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり、研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に、研究を無事に完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。履修過程においては、研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど、担当教員との連絡を密に行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場における研究活動について実践的に実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与え報告を行ない、それを蓄積し研究の具体化を進めるため、予習と復習が必須 である。課題は、各回授業時において指示する。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し	井上茂樹
第２回	本実験・調査データの収集（１）	井上茂樹
第３回	本実験・調査データの収集（２）	井上茂樹
第４回	本実験・調査データの収集（３）	井上茂樹
第５回	本実験・調査データの収集（４）	井上茂樹
第６回	本実験・調査データの収集（５）	井上茂樹
第７回	データ解析（１）	井上茂樹
第８回	データ解析（２）	井上茂樹
第９回	結果の解釈と研究意義の理解	井上茂樹
第１０回	卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案	井上茂樹
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	井上茂樹
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	井上茂樹

第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	井上茂樹
第１４回	卒業研究発表会　卒業研究発表	井上茂樹
第１５回	「理学療法探求」　卒業研究資料作成	井上茂樹
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜必要な文献および資料などを提示する）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業論文 （ゼミ）			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年			ナンバリング	HS-PT-4-209		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	３年次配当「卒業論文指導」に引き続き卒業研究の完成を目指し学修を進める。また研究の一連の過程を経験し，科学的な思考性や問題解決能力，自ら学ぶ力といった高度専門職として必要な基本的能力を身につける。 作成された研究計画書を基に，データ収集と整理，統計処理を進め，先行研究に基づく結果の解釈と研究意義を導き出す基本的思考を身につける。また「卒業研究発表会」におけるプレゼンテーションと「理学療法探求」における研究資料作成をとおして，研究成果をまとめ発信する能力の修得を到達目標とする。
授業概要	３年次「卒業論文指導」で設定した研究テーマと研究計画に基づき，卒業研究として成果をまとめる。具体的には，１）研究計画に基づきデータ収集と整理，統計処理を進めるとともに，先行研究の知見に基づく結果の解釈を行い研究意義の理解を深める。２）「卒業研究発表会」において研究成果の発表を課し，スライドと発表抄録の作成，口述と質疑を経験し，プレゼンテーションスキルを修得する。３）卒業研究集「理学療法探求」における研究資料作成をとおし，研究成果をまとめる能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究への取組態度（50%），「卒業研究発表会」「理学療法探求」における課題達成度（50%）で評価する。詳しい評価方法は最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した各種課題やレポート等は、ゼミでフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	大学教育の総まとめの科目であり，研究遂行能力と研究的思考を身につけるには能動的な学修が不可欠である。教員による予習・復習課題以上に，研究を無事完成させるために必要な課題を自ら考え取り組んでいくこと。 履修過程においては，研究室を訪ねたりE-mailを活用するなど，担当教員との連絡を密に行う事。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場における研究の実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を与えゼミで発表・報告を行い，それを蓄積し研究の具体化を進めるため，予習と復習が必須である．課題は各回において指示する。予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	研究計画　確認・精査・見直し	森下元賀
第２回	本実験・調査データの収集（１）	森下元賀
第３回	本実験・調査データの収集（２）	森下元賀
第４回	本実験・調査データの収集（３）	森下元賀
第５回	本実験・調査データの収集（４）	森下元賀
第６回	本実験・調査データの収集（５）	森下元賀
第７回	データ解析（１）	森下元賀
第８回	データ解析（２）	森下元賀
第９回	結果の解釈と研究意義の理解	森下元賀
第１０回	卒業研究発表会の発表資料作成（１）草案	森下元賀
第１１回	卒業研究発表会の発表資料作成（２）スライド作成	森下元賀
第１２回	卒業研究発表会の発表資料作成（３）発表抄録作成	森下元賀

第１３回	卒業研究発表会の予行・質疑応答対策	森下元賀
第１４回	卒業研究発表会　卒業研究発表(14-19回)	森下元賀
第１５回	「理学療法探求」卒業研究資料作成(20-23回)	森下元賀
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	資料・文献は適宜配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	評価学概論			担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年			ナンバリング	HS-PT-2-301		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	45	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	本講義のテーマは、学生同士が相互に協力・検討し合いながら「理学療法における代表的な【評価（検査）】の【技術】と【関連知識】を身につけること」である。 本講義の到達目標は、以下①~④である。 ①学生は、身体表面における代表的なランドマークの触診を円滑に実施できるようになる。 ②学生は、形態測定（四肢長・周径）を円滑に実施できるようになる。 ③学生は、徒手筋力検査（MMT）を円滑に実施できるようになる。 ④学生は、自動および他動での関節可動域（ROM）の測定を円滑に実施できるようになる。
授業概要	臨床現場において、もしも理学療法士による評価が誤っていれば、その評価結果に基づいて立案される治療プログラムも自動的に誤った理学療法プログラムに陥ってしまうこととなる。よって、本講義で身につけることとなる評価技術は、きわめて重要である。本講義では、評価実技を中心として「正しい評価のための視点・思考」も学びながら前述の①~④の目標達成を目指す。なお本講義では、５月~６月中旬頃までインターネット上で限定公開している実技動画を活用した「日々の予習復習を旨とした反転授業」を織り交ぜながら展開する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／実習
評価方法と割合	下記の❶~❻について合計６回（合計100点満点）の実技試験を実施し、総合得点にて評定を明確化する。 実技試験❶／四肢長の計測／10点 実技試験❷／四肢周径の計測／10点 実技試験❸／下肢のROM計測／20点 実技試験❹／下肢以外のROM計測／20点 実技試験❺／下肢のMMT／20点 実技試験❻／下肢以外のMMT／20点
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	先述した❶～❻の実技試験が実施された翌週の講義内で、試験結果のフィードバックを実施し、その時間内において学生相互で「難しかった点」や「発展的・建設的な意見や自主練習方法」などをシェアし合う。
履修条件・注意事項	本講義は春学期の４ヶ月間において、１コマ９０分間の講義を「３２回（１週間に２回）」という連続性あるプログラムに基づいて開催される。毎回の講義において理学療法評価に関するテクニックと知識を修得していくきわめて重要な講義であり、講義を一度でも欠席すれば即座に他の学生から大きく遅れをとる事態に陥ることは、授業計画を確認すれば一目瞭然である。また、本講義では社会人基礎力やジェネリックスキルを含めた指導を実施する。そのため、知識や技術以外の「臨床現場における態度や言葉づかい」をも含めて厳格に指導するので、十分な覚悟と自覚を持って講義に臨むこと。講義への参加は「動きやすい服装」または「実習着の着用（ネームプレート含む）」を義務付ける。日ごろから「筋肉の走行（起始部と停止部）」や「関節の参考可動域」についての予習とともに、本講義で学んだ運動に関する「筋力や関節可動域の測定・評価」の復習（実技練習）を学生間で協力し合って習慣的に実践すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】 次回講義にて学ぶ予定の「検査項目」について、少なくとも「①何処の身体部位を計測するのか？」や「②どのような方法（視点）で計測するのか？」の２点について、事前に「自己学習支援動画を視聴しておくこと（特に反転

	授業の際）」と「教科書や参考書を読んでおくこと」は必須である。 【復習】 毎回の講義において、前回の講義で学んだ事柄（特に実技）について、学生に対する質問をランダムに行うので、質問を受けても返答（実演）できるように自己学習（復習）をしておくこと。 【留意事項】 本講義は週２コマの講義であり、各講義が断片的なものではなく「一連の流れの中で講義が展開されていく」ため、予習と復習はそれぞれの講義において必須となる（予習および復習には、各２時間以上を要する）。 【自己学習支援動画】 予習と復習を支援する目的で作成された「評価実技（ROM計測・MMT）に関する動画を視聴できるWEBサイト」を設置するので、有効に活用すること。閲覧方法は講義内で適宜アナウンスする。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	講義のイントロダクションとグループ分け	佐藤三矢
第２回	体表面におけるランドマークの触診（実技）	佐藤三矢
第３回	上肢の肢長と周径（実技）	佐藤三矢
第４回	下肢の肢長と周径（実技）	佐藤三矢
第５回	実技試験❶／四肢長の計測／10点	佐藤三矢
第６回	実技試験❷／四肢周径の計測／10点	佐藤三矢
第７回	実技試験❶・❷の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢
第８回	肩関節・矢状面と前額面のROM計測（実技）	佐藤三矢
第９回	肩関節・水平面のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１０回	肘関節と前腕のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１１回	手関節と指のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１２回	股関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１３回	膝関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１４回	膝関節のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１５回	足関節と足部のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１６回	肩甲骨と頸部・体幹のROM計測（実技）	佐藤三矢
第１７回	実技試験❸／下肢のROM計測／20点	佐藤三矢
第１８回	実技試験❹／下肢以外のROM計測／20点	佐藤三矢
第１９回	実技試験❸・❹の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢
第２０回	肩関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２１回	肘関節と前腕のＭＭＴ（実技）	佐藤三矢
第２２回	手関節のＭＭＴ（実技）	佐藤三矢
第２３回	股関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２４回	膝関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２５回	足関節のMMT（実技）	佐藤三矢
第２６回	肩甲帯のMMT（実技）	佐藤三矢
第２７回	頭部と頸部のMMT（実技）	佐藤三矢
第２８回	体幹のMMT（実技）	佐藤三矢
第２９回	顔面や脳神経に関連したMMT（実技）	佐藤三矢
第３０回	実技試験❺／下肢のMMT／20点	佐藤三矢
第３１回	実技試験❻／下肢以外のMMT／20点	佐藤三矢
第３２回	実技試験❺・❻の振り返りと技術の洗練化	佐藤三矢

教科書			
教・書籍名１	理学療法評価法	教・出版社名１	神陵文庫
教・著者名１	千住秀明　監修	教・ＩＳＢＮ１	4-915814-17-3
教・書籍名２	新・徒手筋力検査法（原著第10版）	教・出版社名2	協同医書出版
教・著者名2	Helen J.Hislop、Jacqueline Montgomer、津山 直一、中村 耕三	教・ＩＳＢＮ2	978-4763900364

参考書			
参・書籍名１	新版　目でみるMMT	参・出版社名１	医歯薬出版
参・著者名１	佐藤三矢　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21542-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法研究法演習 （複数担当）			担当者	森下　元賀、元田　弘敏		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年			ナンバリング	HS-PT-4-305		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	近年の理学療法士の職場（病院、老健施設、特養、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）では、リハビリテーション技術や理学療法技術や院内連携などの向上を目指して、日常的に勉強会や報告会が行われており、本学生も就職後に早々に院内発表をおこなわなければならない場合が増えてきた。。そのため、一人で発表のレジメが作成でき、一人でパワーポイントで発表資料を作成でき、一人で聴衆に分かりやすい発表ができることを本講義の目標とする。
授業概要	基本的な抄録の書き方やパワーポイントの作成方法などを学ぶ。実践として、ゼミ単位でグループとなり、本人の卒業発表の抄録作成やパワーポイントの作成などの作業を講義を通して進める。また、いかにすれば分かりやすい発表ができるかを学生が認識できるように講義中に学生によるパワーポイントによる発表練習を繰り返し行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	受講態度（80%）、レポート、提出物（20%）とする。
ルーブリック評価	/uprx/rigaku.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業でフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	時間を厳守すると共に，与えられた課題の達成のみならず自分自身で考え，積極的に問題点を見つけ出し、明確な質疑応答が出来るようにすること。グループワークに積極的に参加し、役割を果たす。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を 活かし、病院内の教育や研修やにおいて実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1)予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。なお、予習、復習には各2時間程度を要する。 2)演習でノートパソコンが必要になるので用意すること。
オフィスアワー	水曜日の１時間目に６号館４階元田研究室（6419号室）にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	元田
第２回	タイトル提出	元田
第３回	発表資料の作成　はじめに	元田
第４回	発表練習　はじめに	元田
第５回	発表資料の作成　方法	元田
第６回	発表練習　方法	元田
第７回	発表資料の作成　結果	元田
第８回	発表練習　結果	元田
第９回	発表資料の作成　考察	元田
第１０回	発表練習　考察	元田
第１１回	全体練習　前半	元田
第１２回	全体練習　後半	元田
第１３回	卒業発表の準備と予行練習	元田
第１４回	卒業発表の実践　前半	元田
第１５回	卒業発表の実践　後半	元田

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	適宜に資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動系理学療法学実習	担当者	森下　元賀
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-405

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限 水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「代表的運動器疾患の評価と治療」をテーマとして、総合臨床実習で経験することが予想される疾患の評価と治療に関して講義と実習を行う。 臨床で多く目にする代表的な運動器の障害に関して、評価項目の解釈からプログラムの立案、実施までが出来るようになることを目標とする。
授業概要	前期の「運動系理学療法学」の知識を基礎として、代表的な運動器疾患に関しての治療プログラム立案、実施、リスク管理方法を学習する。講義の中では行動科学、運動学習理論を踏まえた対象者への説明方法、治療者として良好な態度についても実践できるようにしていく。また、実際の対象者の映像、評価結果を用いて臨床的推論、対象者の特性を考慮した介入の方法についても学習する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では、国家試験、臨床実践を前提とした運動器疾患に対する理学療法の複合的知識、技術の習得を目的としている。定期(筆記)試験(60%)、実技試験(30%)により判断するが、グループワークやディスカッションなどを取り入れることから発表への参加態度、グループワークの結果なども考慮する(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	対象者の身体に触れることを前提とし、毎回実技を行う。筋肉、骨の触診を行うことも多いので、毎回必ず手足が露出しやすく、体幹の触診も行いやすい服装で受講すること。デニムなどの生地の厚い服装では触診は行えない。 また、体格、性別によって筋骨格が異なるので、必ず多くの対象者と実技を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、実施した部位の運動学、解剖学、生理学の復習と、次回の予習を行っておくこと。運動器における解剖学、生理学、運動学は理解できているものとして講義を行う。2) 実技に関しての自己練習を各回指示する。触診などが十分に理解が出来ていない場合は必ず教員に相談し、正しい理解をした上で自己練習を行うこと。 予習および復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室において、火曜日2限に実施する。昼休みは随時対応する。

授業計画		担当者
第１回	臨床評価実習の振り返り1	森下元賀
第２回	臨床評価実習の振り返り2	森下元賀
第３回	肩関節周囲炎の理論	森下元賀
第４回	肩関節周囲炎の治療実技	森下元賀
第５回	腱板断裂、肩関節不安定症の理論	森下元賀
第６回	腱板断裂、肩関節不安定症の治療実技	森下元賀
第７回	非特異的腰痛の理論	森下元賀
第８回	非特異的腰痛の治療実技	森下元賀
第９回	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症の理論	森下元賀
第１０回	腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症の治療実技	森下元賀
第１１回	膝靭帯、半月板損傷の理論	森下元賀

第１２回	膝靭帯、半月板損傷の治療実技	森下元賀
第１３回	足関節疾患の理論	森下元賀
第１４回	足関節疾患の治療実技	森下元賀
第１５回	関節リウマチの理論	森下元賀
第１６回	関節リウマチの治療実技	森下元賀
第１７回	疼痛の生理学	森下元賀
第１８回	疼痛に対する理学療法	森下元賀
第１９回	運動器不安定症の理論	森下元賀
第２０回	ロコモ、サルコペニアに対する介入実技	森下元賀
第２１回	模擬症例の治療演習1	森下元賀
第２２回	模擬症例の治療演習2	森下元賀
第２３回	模擬症例の治療演習3	森下元賀
第２４回	模擬症例の治療演習4	森下元賀
第２５回	模擬症例の治療演習5	森下元賀
第２６回	模擬症例の治療演習6	森下元賀
第２７回	模擬症例の治療演習7	森下元賀
第２８回	模擬症例の治療演習8	森下元賀
第２９回	実技試験(OSCE)1	森下元賀
第３０回	実技試験(OSCE)2	森下元賀
第３１回	筆記試験	
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	運動器理学療法学	教・出版社名１	メジカルビュー
教・著者名１	加藤浩(編)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7583-2001-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	神経系理学療法学実習				担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年				ナンバリング	HS-PT-3-407		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	90	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	火曜1限 火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【春期】は「中枢神経系障害の仕組み」と「脳卒中片麻痺を主とした障害像」を理解することをテーマとして、臨床評価実習で脳卒中回復期における理学療法評価が可能になる。 【秋期】は「脳卒中片麻痺を主とした運動療法」と「理学療法プログラム立案」をテーマとして、評価結果に基づく論理的な理学療法プログラムが立案でき、かつ実践もできるようになる。
授業概要	各期にプレゼンテーションを通じたアクティブラーニングの授業実施. 【春期】は中枢神経系障害の仕組みについて中枢性運動麻痺の様態をはじめとし、感覚障害、各種反射障害、歩行・セルフケア動作障害などについて学習する。また、中枢神経系疾患の発症急性期から回復期での理学療法評価を演習して問題点の抽出までを理解し、評価に関する理学療法推論を習得する。グループワーク演習を取り入れ、患者像や観察視点の修得に努める。 【秋期】は脳卒中片麻痺患者を中心に，発症急性期から回復期での具体的な運動療法手技について学習するとともに、春期の内容を踏まえ、有限の評価情報から理学療法プログラムの立案化を図るトレーニングを行う。また、グループワーク演習も取り入れ、チーム医療における協調性や責任感や報告力を養う。以上は、各疾患や症例固有の理学療法介入モデルを模索することを通じて、知識と実際場面で用いるハンドリング技術と高度な接遇態度を学ぶと共に、臨床家の思考過程に近づくことをめざすものである。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	春・秋期の定期試験（筆記試験）及び秋期のグループワーク発表会、客観的臨床能力試験(OSCE)の成績を評価する。 定期試験とOSCEを受けるための必要条件は、春・秋期それぞれで平常の出席状況が学生便覧に示す試験の受験資格を満たし、実習・演習活動への参加，かつグループワークへの参加と発表会出席があることとする。 春期試験(50%)【春学期は中間試験40%、期末試験60%】、秋期試験(50%)【秋期の配分はレポート課題２つで20%、筆記試験で60%、臨床技能で20%の予定】。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート等は，授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・春期試験の成績は、臨床評価実習履修の要件として参考にする。 ・必要な指示は講義内および掲示板にて行う。 ・理学療法推論にはフレキシブルな問題解決能力が要求されると同時に、正確に推論するためには豊富な基礎知識も不可欠である。したがって、春・秋期ともに真剣に課題に取り組んでもらいたい。
実務経験のある教員	該当する　内容　※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員が，その経験を生かし，臨床現場において実践的に役立つ授業を実施します。併せて，脳卒中理学療法に関する実務経験の多いゲストピーカーを招いて，知識と技術を習得します.
事前学習・事後学習とその時間	予習として，各授業計画および，前回授業で予告した部分について，事前に教科書を読み，理解できない点をまとめて授業を受けること. 復習として，毎回の授業で指摘した専門用語を教科書で確認して，自分なりにノートにまとめる. 十分な理解に到達するために，予習および復習には，各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において，毎週火曜日4限と木曜日3限をオフィスアワーの時間とする.

授業計画	担当者

第１回	1.2 理学療法評価項目復習、脳卒中病型・予後	
第２回	3,4 中枢神経系障害，運動麻痺	
第３回	5,6 知覚障害、反射障害	
第４回	7,8 脳神経障害	
第５回	9,10 交叉性片麻痺、球麻痺	
第６回	11,12 随意運動の発現，運動学習	
第７回	13,14 意識障害, コミュニケーション障害	
第８回	15,16 動作分析演習-立ち上がり、歩行など	
第９回	17,18 中間レポート，ラクナ梗塞，二次的障害	
第１０回	19,20 小脳性運動失調	
第１１回	21,22 失語、失行、失認	
第１２回	23.　春学期総合演習　１　急性期プログラム立案	
第１３回	24.　春学期総合演習　２　脳卒中後の運動学習の視点	
第１４回	25.　春学期総合演習　３	
第１５回	春期　試験	
第１６回	1,2 脳神経機能の可塑性、急性期ポジショニング・視点	
第１７回	3,4 脳卒中のROM exercise,	
第１８回	5,6 腱反射、病的反射、筋緊張実技の再確認	
第１９回	評価＆介入の臨床技能実習（右片麻痺）	
第２０回	評価＆介入の臨床技能実習（運動失調症）	
第２１回	評価＆介入の臨床技能実習（立位練習）	
第２２回	評価＆介入の臨床技能（二重課題歩行練習）	
第２３回	脳卒中の神経筋再教育法，外部講師2コマ	
第２４回	脳卒中急性期患者のプログラム立案課題	
第２５回	脳卒中急性期回復期のプログラム立案課題	
第２６回	臨床技能実践（ダイアローグ～治療介入）	
第２７回	23,24 高次脳機能障害	
第２８回	25.　秋学期総合演習　１	
第２９回	26.　秋学期総合演習　２	
第３０回	秋期定期試験	
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学　第2版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	吉尾雅春，森岡周，阿部浩明（編）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-03621-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ベットサイドの神経の診かた 改訂第18版	参・出版社名１	南山堂

参・著者名１	田崎義昭・斎藤佳雄	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4525247980
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	リハビリテーション工学			担当者	石原　洋		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年			ナンバリング	HS-PT-4-412		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限 月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	理学療法士、作業療法士が実践の場で必要となる福祉用具を紹介し、医療・福祉現場だけに留まらず地域で様々な弱者の困難を解決できるツールや技法を紹介する。単なる聴講のみではなく、パソコンやスマホなどの様々なデバイス（機器）のアクセシビリティを理解し、その問題点などをグループでディスカッションも行う。また自身の考えをまとめ、それぞれのスタイルで発表を行い、相互理解できる環境を作成する。 1.コミュニケーションの障害とは何かを理解する 2.様々な支援技術を理解する 3.様々な福祉用具制度を理解する 4.自分の考えをまとめて発表できる人材を育成する
授業概要	2020年から新型コロナウィルスの感染拡大を受けて私たちの生活は大きく変化しています。 外出したくても外出できない。授業を受けることができずにリモートでの授業を受けた方も多くいることでしょう。個人因子に問題はなくても、環境因子の変化に伴い我々の生活は制限されるようになりました。これは一時的ではありますが外出制限のある障害者や高齢者の体験ができたとも置き換えることができるのではないでしょうか？少子高齢化、労働人口の減少がある中で、スマートホンの保有割合は8割を超え、全世帯の8割の家庭にパソコンがある時代で、これらのテクノロジーのサービスを享受できない、いわゆる使いこなせない方が多いのも事実で、加齢や障害を持った方々のICT機器の利用状況を解決するためには理学療法士や作業療法士の支援が今後必要とされています。 この科目では「障害」「コミュニケーション」を再理解し、Society5.0を迎える現代社会で必要な様々なICT機器を体験し、導入実例を挙げて学習します。また、グループ討議等の実習も行います。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価の為に実施した課題などについては、授業でフィードバックする
履修条件・注意事項	

実務経験のある教員	該当する	内容	講師本人はALS等の進行性難病、脊髄損傷、脳性麻痺、知的・発達障害を含む様々な障害を持つ障害当事者や家族を含む支援者へ問題点のヒアリングを行い、福祉用具の提案、特にICT機器を使用した機器導入サポートを行ってきた。また支援学校、医療機関でのコミュニケーション機器のコンサルティング業務を手掛けた経験に基づき、グローバルな障害支援を目標とし、小児から高齢者まですべての対象者のQOL向上を最新の機器や数多くの事例を提供することで、医療、福祉分野での即戦力の育成を行います。

事前学習・事後学習とその時間	最新のICT機器に関する情報をインターネットなどから入手するよう心掛けること。 日常生活における不便さをいかに解消できるか考えてみる癖をつけておくこと。 理学療法士、作業療法士を目指す以前に魅力ある人間形成ができるよう、様々な事象に興味関心を持ち 自分の意見を持つ癖をつけておくこと。 予習・復習は各2時間程度要する
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施。質問などはその時間を利用すること。 授業時間中にメールアドレスを公開するので、それ以外の質問などは直接メールを利用すること。

	必要であればZoomなどのオンラインミーティングも可能。

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション　障害を理解する　社会の変化　コミュニケーションとは	石原
第２回	テクノロジーを理解する　ICT　Society5.0　DigitalDivide	石原
第３回	テクノロジーウォッチング　福祉機器体験	石原
第４回	＜実習＞透明文字盤と会話補助装置体験	石原
第５回	拡大代替コミュニケーション（AAC）の基礎 ローテクエイド　ハイテクエイド	石原
第６回	知的発達学習障害とAAC 感覚統合とは＜実習＞	石原
第７回	OSのアクセシビリティ　コンピュータ入力支援機器	石原
第８回	＜実習＞Windowsアクセシビリティ　スマートホンのアクセシビリティ	石原
第９回	重度意思伝達装置　スイッチを使ったスキャン入力　視線を使った入力　その他機器紹介	石原
第１０回	＜実習＞重度意思伝達装置　スイッチを使ったスキャン入力　視線を使った入力　その他機器紹介	石原
第１１回	環境制御装置とは　ECS(Enviroment Control System）赤外線	石原
第１２回	日常生活用具と補装具　制度利用に関して	石原
第１３回	支援機器導入時の導入プロセス　フィッテイング	石原
第１４回	プレゼンテーションの資料作成　第15回　発表準備	石原
第１５回	コンクルージョン　まとめ 授業で得た知識の発表（プレゼンテーション） 知識の共有	石原
第１６回	最終考査	石原

教科書			
教・書籍名１	（使用しない）必要に応じてプリントを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１	（使用しない）必要に応じてプリントを配布する	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	AAC入門	参・出版社名１	株式会社 atacLab｜エイタックラボ
参・著者名１	中邑 賢龍	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	重度障害者用 意思伝達装置操作スイッチ 適合マニュアル	参・出版社名2	三輪書店
参・著者名2	日向野和夫	参・ＩＳＢＮ2	ISBN978-4-89590-577-0

授業科目名	義肢装具学実習			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-414		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限 月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「専門家としての基本的素養を身につける」をテーマとする。 ・義肢装具を治療手段として理解することができる。 ・義肢装具の適応が日常生活や社会活動に有用であることを理解することができる。 ・義肢装具の適合判定は対象者の残存機能や生活様式から適合させていく方法を身につけることができる。 ・義肢装具の目的・種類・構造・機能・適応・チェックポイントについて自ら学ぶ姿勢を身につけることができる。
授業概要	・義肢装具の実物を用いて構造と機能を理解することができる。 ・装具を実際に作製することで適合判定までを体験し理解を深めることができる。 ・義足の異常歩行についてはモデルを用いて現象を体感することができる。 ・実際に現場で適応された動画をみることで能力障害への適応が理解できる。 ・模擬患者を想定して義肢装具を適応さすことから共感的態度を身につけることができる。 ・自ら学ぶ習慣を培い体で覚えることを育み専門家の素養を身につけることができる。 ・臨床実習に臨むにあたって必要な基本的な態度を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	・テーマ「専門家としての基本的素養を身につける。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験(50%)、 課題レポートとノート提出(30%)、講義内小テスト(20%)から評価する。 ・臨床実習を行う能力を備えているかは国家試験の実地問題を加えて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	・口頭もしくは書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	・授業中のノートはメモで、その日の内に教科書はもちろん参考書をみて習ったことをノートにすること。 ・復習と予習の学習習慣を徹底的に身につけていく課題が出される。 ・頭で覚えることだけでなく動きながら考えていく創造力が求められる。 ・毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての臨床経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践 的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	・予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できていない点をまとめて授業を受けるこ と ・復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出(または発表)すること。 ・指示に従って必ずノートを作成し復習を行うこと。 ・試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。 ・必ず予習と復習を各1時間程度は行わないと、授業に出席していただけでは単位は取れない。
オフィスアワー	・6号館4階の井上研究室において毎週火曜日2限目をオフィスアワーの時間とするが、授業後相談の上、随時対応も可能。

授業計画		担当者
第１回	股義足	井上茂樹
第２回	股義足	井上茂樹
第３回	その他の義足	井上茂樹

第４回	その他の義足	井上茂樹
第５回	義手の種類	井上茂樹
第６回	義手の種類	井上茂樹
第７回	義手のチェックポイント	井上茂樹
第８回	義手のチェックポイント	井上茂樹
第９回	車椅子・歩行補助具	井上茂樹
第１０回	車椅子・歩行補助具	井上茂樹
第１１回	上肢装具の種類	井上茂樹
第１２回	上肢装具の種類	井上茂樹
第１３回	上肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第１４回	上肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第１５回	体幹装具の種類	井上茂樹
第１６回	体幹装具の種類	井上茂樹
第１７回	体幹装具のチェックポイント	井上茂樹
第１８回	体幹装具のチェックポイント	井上茂樹
第１９回	下肢装具の種類	井上茂樹
第２０回	下肢装具の種類	井上茂樹
第２１回	下肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第２２回	下肢装具のチェックポイント	井上茂樹
第２３回	仮装具の作製-弾力包帯	井上茂樹
第２４回	仮装具の作製-弾力包帯	井上茂樹
第２５回	まとめ	井上茂樹
第２６回	単位認定試験	井上茂樹
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	義肢装具のチェックポイント第9版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	監修 日本整形外科学会・他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04589-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	理学療法技術実習			担当者	井上　茂樹		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-416		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児理学療法の評価と技術の基本、および障がいをもって生きる子どもやそのご家族へ理学療法を通して支援をしていく方法につい て学ぶ。その結果、学生は小児理学療法の主な対象疾患を有する児者、およびそのご家族に対し、全人的な視点に立った理学療法を 提供できるようになる。
授業概要	障がいをもつ子どもへの理学療法は、療育の一翼をになう。療育とは、育つ力を育てる子育てである。従って、特に親の気持ちを理 解し、親の想いに寄り添うことが大切である。また、重い障がいのために言葉をもたない子どもに対しては、彼/彼女のこころ(認知 と感情)に共感し、彼/彼女が本当に何を求めているのかを理解しようとすることが大切である。そのために、運動機能を中心に認知 や感情、そしてそれらを用いて人間関係を築くコミュニケーション、さらに生命に直接結びつく食べる機能や呼吸機能の評価や技術 について学ぶ。子育てであり、生活である療育は24時間続く。24時間繰り返される生活の力や生活の合理性を通して、理学療法士の 知識を生活の中にどのように活かせばよいのかについても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	評価は単位認定試験、レポート課題、および授業への積極的な態度を総合して行う。評価のために実施した課題やレポート等は、授 業でフィードバックする。なお評価配点については、各講師が説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題やレポート、試験については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	多面的に授業を展開するので、授業内容を組織化・構造化できるように十分な予習と復習をして臨むこと。また多くの資料を配布す るので、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　本科目では、小児分野での実務経験を活かした授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	配布資料は事前に通読しておくこと。そして、毎回の授業直後に授業の内容を組織化・構造化できるように復習すること。従っ て、予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了時に教室で質疑応答を行う。

	授業計画	担当者
第１回	1. 療育の意味と歴史 2. 脳性麻痺総論① 3. 脳性麻痺総論②	1～3. 横井輝夫
第２回	4.発達評価 5.子どもの呼吸障がいと理学療法 6.子どもの整形外科疾患と理学療法	4～6. 横井輝夫
第３回	7. まとめ・試験 8. 新生児期の理学療法 9. 就学支援と理学療法	7. 横井輝夫 8. 馬屋原康高 9. 馬屋原康高
第４回	10. 学齢期の理学療法 11. 青年期の理学療法 12. 小児の摂食機能療法と理学療法士のかかわり	10～12. 馬屋原康高
第５回	13. 発達障がいの特徴 14 .小児期発症の神経筋疾患 15. 地域の障がい児支援と係り・まとめ・試験	13～15. 馬屋原康高
第６回	16～18. 神経筋疾患を伴う子どもの理学療法①～③	16～18. 井上茂樹

第７回	19～21. 代謝疾患を伴う子どもの理学療法①～③		19～21. 井上茂樹
第８回	22～24. 呼吸器疾患を伴う子どもの理学療法（運動療法）①～③		22～24. 井上茂樹
第９回	25～27. 循環器疾患を伴う子どもの理学療法①～③		25～27. 井上茂樹
第１０回	28～30. 整形外科疾患を伴う子どもの理学療法（運動療法）①～③		28～30. 井上茂樹
第１１回	31～33. 整形外科疾患を伴う子どもの理学療法（運動療法）④～⑥		31～33. 井上茂樹
第１２回	34～36. 子どもの義肢①～③		34～36. 井上茂樹
第１３回	37～39. 子どもの装具①～③		37～39. 井上茂樹
第１４回	40～42. 子どもへの理学療法のリスクマネージメント①～③		40～42. 井上茂樹
第１５回	43～45. 総まとめ①～③		43～45. 井上茂樹
第１６回	46.試験		46. 井上茂樹
教科書			
教・書籍名１	教科書はなし。授業のなかで資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	小児理学療法学テキスト 改定第3版	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	田原弘幸・他・編	参・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25533-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	スポーツ障害 （オムニバス）	担当者	日傳　宗平、福田　航、横山　茂樹
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年	ナンバリング	HS-PT-3-417

必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・実技
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜2限 土曜3限 土曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	スポーツ障害に対する評価と理学療法をテーマとして，以下のことを到達目標とする． ①スポーツ動作のバイオメカニクスやスポーツ障害の疾患特性を十分に理解する． ②スポーツ障害に対する理学療法評価および治療プログラムを説明できる．
授業概要	部位別におけるスポーツ障害の発生機序，病態・疾病特性について解説します．さらにはスポーツ障害に対する理学療法評価および治療プログラムを実践できるように実技も取り入れながら講義を進めます．
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習
評価方法と割合	この科目では，スポーツ障害に関するリハビリテーションを実践できることを目的としています．このため基礎知識の修得程度を把握するための確認テスト（30%），実技修得への取り組みを評価するための積極的学習態度（10%），総合的な知識と技術の修得度を確認するための筆記試験（60%）を行う．特に実習を多く取り入れることから授業への参加態度を重視する．
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単元ごとに確認テストを実施します．
履修条件・注意事項	授業出席が2/3以上を単位認定受験の条件とします． 講義では，実習を行うので実習着を着用し，半袖・短パンになれるように準備してください．
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回において，評価や治療・指導が実践できるレベルを目指します．このため事前に取り上げる疾患を告知しますので，疾患特性や病態等について，十分に予習しておいてください． 講義の中で取り上げるスポーツ障害に関する基礎知識を十分に整理してください．また講義内容を確認するための確認テストを実施しますので，復習してください．
オフィスアワー	講義終了後に質問を受け付けます． またメール等により対応します．

	授業計画	担当者
第１回	第1回スポーツ理学療法総論	横山　茂樹
第２回	第2回スポーツ現場における理学療法；メディカルチェック	横山　茂樹
第３回	スポーツ現場における理学療法；メディカルチェック	横山　茂樹
第４回	応急処置・テーピング	日傳　宗平
第５回	ストレッチ	日傳　宗平
第６回	エクササイズ	日傳　宗平
第７回	上肢におけるスポーツ障害（１）	日傳　宗平
第８回	上肢におけるスポーツ障害（２）	日傳　宗平
第９回	体幹におけるスポーツ障害	日傳　宗平
第１０回	下肢におけるスポーツ障害（１）	福田　航
第１１回	下肢におけるスポーツ障害（２）	福田　航
第１２回	下肢におけるスポーツ障害（３）	福田　航
第１３回	下肢におけるスポーツ障害（４）	横山　茂樹

第１４回	下肢におけるスポーツ障害（５）	横山　茂樹
第１５回	まとめ	横山　茂樹
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活環境学				担当者	佐藤　三矢		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学 3年				ナンバリング	HS-PT-3-501		
必修・選択	必修	単位数	1単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】 本講義では、特に「地域在住」の「高齢者（自立／要支援／要介護）」や「障害を有している人々」を対象とした講義を展開する。これら対象者における「活動的な生活」や「社会参加」の促進を図る上で重視される生活環境支援、特に「福祉用具の導入」や「住宅改修」にフォーカスした講義を展開する。
授業概要	本講義の前半（１０月～１１月）において「福祉住環境コーディネーター２級（例年の試験日は11月下旬～12月上旬）」の資格取得を支援する内容に軸足を置いた講義を展開する。特に、前半の講義では「医療／介護／福祉の制度・法律への理解」が深まるように配慮しながら講義を展開していく。後半（１２月中旬～１月）は生活環境に関する基本的概念を踏まえると共に、福祉用具の導入や住宅改修を前提とした評価や具体的なアプローチ方法について指導する。後半の講義では、特にアクティブラーニング（住宅改修に関する実践的な思考の獲得を目指した家屋や家屋周辺の製図作成と検討）を実施させる。
アクティブラーニングの内容	フィールドワーク
評価方法と割合	近年、取得の難易度が上昇しつつある「福祉住環境コーディネーター・ライセンス２級の取得（合格基準は７０点以上）」を高く評価する（例年、１２月下旬～１月上旬に合否発表）。また、不合格の場合でも、この試験で６０点以上を取得した場合には、その実績を単位認定の際の判断材料として採用する。 【福祉住環境コーディネーター２級のライセンスを取得できた場合】 ●その時点で、「80点（「評定A」）」を保証する。 ●そして「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成）」にて、残りの「20点分」を採点する。 【福祉住環境コーディネーター２級の試験が不合格だが、その試験結果が60～69点の場合】 ●その時点で、単位認定試験に「60点」を保証する。 ●そして「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成と１つの考察）」にて、残りの「40点分」を採点する。 【福祉住環境コーディネーター２級の試験が不合格で、その試験結果が50点未満の場合】※未受験の場合もこれに該当 ●単位認定試験における点数加算はない。 ●もっぱら「アクティブラーニングで作成するレポート（家屋の製図作成と３つ以上の課題考察）」にて「100点分」を採点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	12月中旬から展開されるアクティブラーニングにおいて、学生のレポート作成の進捗確認を実施ながら、より良いレポートの完成に繋げるための助言や例示を行い、その内容を受講学生全員でシェアし合う。
履修条件・注意事項	前半（10月～12月上旬）では、日ごろからテキストの熟読や福祉住環境コーディネーター２級の過去問などを通じた予習・復習を行なうことを推奨する。後半（12月中旬）から本格化するアクティブラーニングでは、早期からレポート作成に取り掛かる（まずは下書き作成に着手する！）ことを強く推奨する。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を有する教員が、その経験を活かしながら現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	【予習】次回講義において学ぶ予定の内容をチェックし、教科書における該当部分をよく読んでおく。 【復習】毎講義において前回の講義で学んだ内容について、学生に対する質問をランダムに行う「質問タイム（10分間）」を実施するので、質問を受けても返答できるようにノート等を確認して家庭学習をしておく。 注）予習と復習には、各２時間程度を要する。		
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日４～５時限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	福住環２級試験 ＆ ALに関する説明	佐藤
第２回	福祉住環境整備の意義	佐藤
第３回	福祉と住生活関連施策	佐藤
第４回	ﾉｰﾏﾗｲｾﾞｰｼｮﾝと自立支援	佐藤
第５回	関連職種への理解と連携	佐藤
第６回	福住環整備の相談と対応	佐藤
第７回	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ住生活関連施策	佐藤
第８回	在宅医療・在宅介護	佐藤
第９回	高齢者の身体・心理特性	佐藤
第１０回	軽微な改修①玄関	佐藤
第１１回	軽微な改修②トイレ	佐藤
第１２回	中～大規模改修①浴室	佐藤
第１３回	中～大規模改修②家屋	佐藤
第１４回	住宅改修関連の法令・基準	佐藤
第１５回	事例紹介：高齢者夫婦が住む家屋の住宅改修	佐藤
第１６回	試験	佐藤

教科書			
教・書籍名１	生活環境学テキスト	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修: 細田多穂 編集: 村田伸/岡本加奈子/北島栄二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25822-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年期障害学演習 （オムニバス）	担当者	岩田　美幸、齋藤　圭介、佐藤　三矢、原田　和宏、狩長　弘親、山本　倫子、京極　真、森下　元賀、井上　茂樹、森信　繁、寺岡　睦、中嶋　正明
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年	ナンバリング	HS-PT-4-504

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	この講義を通して、老年期障害のリハビリテーションを進める上で必要な、高齢者の身体機能、日常活動、心理・社会的側面を総合的に理解・把握できるようになること。また適切な治療・指導・対策が実際の場面で実施できるようになることを教授目標とする。
授業概要	講義は実技なども含め、理学療法学科・作業療法学科覚6名の教員によるオムニバス形式で行う。具体的な講義は、担当教員のそれぞれの専門性を活かし反映された内容として、下記の講義計画の通り実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	評価は、理学療法学科教員担当分から50%、作業療法学科教員担当分50%とし、学科それぞれの課題レポートによる評価を基本とする。各授業のレポート課題等の評定は、各学科の評定に含めて評価する。授業態度・欠席は減点対象とする。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価に関わる課題やレポート等は，授業内、または個別にMicrosoft Teamsを活用しフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	毎回の授業終了時にレポート課題を提示する。 就職活動等でやむを得ず欠席する場合は事前に必ず担当の教員に申し出ること。 十分な理解に到達するために、予習と復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士・作業療法士としての臨床経験をもつ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ講義を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の理解を深めるためにも、各回の授業テーマに関連する内容について事前に自己学習するとともに、授業終了後に担当教員から出された課題に取り組むこと。予習および復習には、各２時間程度を要する。
オフィスアワー	各教員の個人研究室にて、教員のオフィスアワーに準じて実施する。

授業計画		担当者
第１回	高齢者における障害構造	中嶋
第２回	地域における健康増進	原田
第３回	高齢者における身体機能	井上
第４回	高齢者における摂食・嚥下機能と栄養	森下
第５回	高齢障害者の身体機能面における評価と運動療法	佐藤
第６回	高齢者における障害予防	齋藤
第７回	高齢者の作業	京極
第８回	認知症高齢者の作業療法	岩田
第９回	高齢者における没頭と健康	山本
第１０回	高齢者の自動車運転	狩長
第１１回	クライエント中心のリハビリテーション	寺岡
第１２回	認知症の診断と病態機序	森信
第１３回	理学療法学科担当分課題作成	理学担当全教員
第１４回	作業療法学科担当分課題作成	作業担当全教員
第１５回	既出事項の総まとめ	全教員

第１６回	単位認定試験（レポート試験）		全教員
教科書			
教・書籍名１	適宜資料を配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域理学療法学			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-505		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	地域(海外の地域を含む)における理学療法士の活動内容を理解することをテーマとし、今後医療分野だけでなく介護保険分野でも活躍できる能力を身につける。 関連法制度、他職種の活動を理解し、連携方法についても学び、国内外地域における対象者の介入方法、地域づくりを提示出来るようになることを目標とする。
授業概要	高齢化社会を迎える現在では、病院のみならず地域での理学療法士の活動の必要性が増している。また、その分野は国内にとどまらず、専門性を生かした国際貢献の必要性も求められている。本科目では概念だけでなく、実際の国内外の活動内容や事例を交えながら地域理学療法、理学療法士における国際貢献についての理解を深める。また、他職種の活動内容も紹介しながら、対象者支援のための連携方法を教授していく。講義の中では地域理学療法の実態を調査するなどのフィールドワークも取り入れる。 また、青年海外協力隊、訪問リハビリテーションの実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／フィールドワーク
評価方法と割合	レポート課題(70%)と受講態度(30%)により評価する。レポート課題は地域理学療法の実例、現状の調査を行う。受講態度は、ディスカッションでの発言態度や発言内容、講義の中での発言回数、グループ学習の成果によって評価する。詳しい評価方法は第一回の講義で明示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題、レポートは講義の中でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	介護保険領域の理学療法や国際貢献に関する講義を行う。 1) 現在の介護保険をめぐる情勢や国内外の貧困問題に関して、新聞などで十分に理解を深めておくこと。2) ディベートなどで自分の意見を発現する機会が多いので、積極的な参加姿勢を持つこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。また、国際貢献の実績がある青年海外協力隊経験者の外部講師および災害派遣の実績のある外部講師が講義を行う。
事前学習・事後学習とその時間	1) 授業各回において、次回までに新聞などで地域を取り巻く現状を調査し、自分の意見をまとめる課題を指示する。2) 指示された課題に関して次回の授業までに自分なりにまとめ、授業中に発現できる準備をしておくこと。これ以外にも当該科目の重要性を理解し、日頃から新聞などで高齢者、地域施策に関して調べる習慣をつけ、予習、復習を行うこと。予習および復習にはそれぞれ1時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜日2限に研究室で実施する。昼休みに関しては随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	地域理学療法学とは	森下元賀
第２回	地域リハビリテーションの場面と専門職種	森下元賀
第３回	施設サービスにおける理学療法	森下元賀
第４回	居宅サービスにおける理学療法	森下元賀
第５回	介護予防事業	森下元賀
第６回	行政における理学療法	森下元賀
第７回	災害リハビリテーション1	外部講師
第８回	災害リハビリテーション2	外部講師

第９回	海外における理学療法の現状	森下元賀	
第１０回	国際貢献とCBR	森下元賀	
第１１回	国際貢献の方法と実例1	外部講師	
第１２回	国際貢献の方法と実例	外部講師	
第１３回	国内の地域の課題に関するグループワーク	森下元賀	
第１４回	行政のトピックスに関するグループワーク	森下元賀	
第１５回	模擬事例検討	森下元賀	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	PT・OTビジュアルテキスト 地域理学療法学	教・出版社名１	羊土社
教・著者名１	重森健太　編	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7581-0797-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際リハビリテーション学〜国境を越えるPT・OT・ST (PT・OTビジュアルテキスト)	参・出版社名１	羊土社
参・著者名１	河野 眞 (編集)	参・ＩＳＢＮ１	978-4758102155
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床評価実習 （コラボ）			担当者	原田　和宏		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年			ナンバリング	HS-PT-3-507		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	180	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	本臨床実習では、学生が理学療法評価の一連の流れを実際の症例を通じて経験するものである。本実習の目標としては「それまで学生が学内で学んできた理学療法評価に関わる知識・技術の実践的な習熟を図り、理学療法対象者の全般的な理解ができるようになる事」である。そして実習後は、「学生が理学療法評価の結果から障害像を把握することができる」ようになることである。
授業概要	これまで学んできた理学療法に関する知識や技術を基礎に、臨床現場において実習指導者の指導監督の下、情報収集、観察、検査・測定、統合・解釈、問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案までの実習を行う。また実習指導者の判断で実行可能であれば初歩的な治療を体験する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	理学療法学科が毎年発行している『臨床実習の手引き』の「11頁／Ｖ．成績評価」において示されている内容に基づいて成績の評価が行なわれ、これについては各実習施設における指導者より示されることとなる。そして、最終的には「実習指導者による評価（60%）」・「実習状況（30%）」・「実習後に開催される学内で実習セミナーでの発表内容と質疑応答内容（10%）」を総合して評価が行われる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は、学内のセミナー等でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	臨床実習は、患者様や実習施設など多くの方々のご協力により得られる貴重な学びの機会である。欠席や遅刻をしないのは勿論のこと、1日1日を大事にし積極的な姿勢で臨む事。事前に評価項目・方法の予習、及び反省としての復習を十分行っておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：※実務経験のある教員による授業 この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもと、実際に患者や障害者に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して、学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	SVなど指導担当者の提示する課題に取り組むこと。自らの課題について、調べてきたことや経験したことなどを元にして「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」実践型の学習が必須である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	各学生・臨床実習施設ごとに担当教員を配置しており、各教員に指示を仰ぐこと。

	授業計画	担当者
第１回	1. オリエンテーション	原田和宏
第２回	2. 担当症例の紹介	

第３回	3. 指導者の評価・治療見学	
第４回	4. 評価の部分的介入開始	
第５回	5. 評価項目の指導者による事前確認	
第６回	6. 初期評価の開始	
第７回	7. 評価実践	
第８回	8. カンファレンス・回診への参加	
第９回	9. 勉強会・抄読会・施設行事への参加	
第１０回	10. 評価項目の見直し	
第１１回	11. 評価項目の見直し後の評価実践	
第１２回	12. 最終評価	
第１３回	13. 症例発表	
第１４回	14. 症例レポートの作成	
第１５回	15. 学内セミナーでの発表	
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	実習指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	総合臨床実習 （コラボ）			担当者	森下　元賀		
配当学科・研究科	2017～ 2019年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学4年			ナンバリング	HS-PT-4-508		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	720	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	対象者に対して，SV指導のもとに基本的な理学療法を実践できるようになる。 具体的には，学内での知識・技術に対する学習内容ならびに臨床評価実習の経験を踏まえて，SV指導の下に，情報収集，観察，検査・測定，統合・解釈，問題点の抽出，目標設定，治療計画の立案，治療の実施，検証までの一連の流れができるようになる。
授業概要	これまでの学内における知識・技術に対する学習内容ならびに３年次の臨床評価実習の経験を踏まえて，理学療法のプロセスを理解し，論理的に考えることの重要性について認識する。倫理的，法的，専門的観点に基づいた責任感を持った行動をする。職場組織内での適切な言動や行動のあり方について理解する。 臨床場面で求められる基本的な理学療法が模倣レベルで可能となるとともに，理学療法のプロセスを理解し，論理的に考えることの重要性について認識する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習の手引き書および各実習指導者より示される。実習での理学療法経験に基づく評価項目のみならず、理学療法士としての適性を含めて評価を行う。実習指導者からの報告（50%）ならびに臨床実習セミナー等（50%）の発表を含め、総合的な評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した実習中の課題やレポート等は，学内のセミナー等でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	受け身的な態度ではなく，自ら積極的に働きかける態度を示すとともに，知識面および技術面での不備に対して自ら改善しようとする努力を何らかの形で示す。 臨床実習は，対象者や現場スタッフ等，多くの方々の協力によって得られる貴重な機会である。自分を少しでも高める事が出来るよう積極的な姿勢で臨む事。また実習施設内では一社会人としての認識を持って行動し，欠席や遅刻のない事は勿論，施設の規則等を遵守すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、理学療法士として実務経験のある臨床実習指導者の指導のもと、実際に患者や障害者に臨床実習施設で関わり、理学療法の臨床活動の場面を通して、学内で学んだ理学療法学の概念を明確にし、知識を深め、技術の熟練を図り、理学療法士としての態度を養う。
事前学習・事後学習とその時間	SVなど指導担当者の提示する課題に取り組むこと。ならびに臨床実習は，「自ら学ぶ」「経験から学ぶ」姿勢が望ましく，指示を受けなくても実習で抱いた疑問等について自ら能動的に調べ解決する事が重要である。日々の予習および復習には2時間程度を要する。
オフィスアワー	各学生・臨床実習施設ごとに担当教員を配置しており，各教員に指示を仰ぐこと。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	全教員
第２回	総合臨床実習前期	全教員
第３回	臨床指導者の治療見学	全教員
第４回	臨床症例の評価経験	全教員
第５回	臨床症例の問題点抽出経験	全教員
第６回	臨床症例の治療経験（１）	全教員
第７回	臨床症例の治療経験（２）	全教員

第８回	実習セミナー発表	全教員
第９回	総合臨床実習後期	全教員
第１０回	臨床症例の評価経験	全教員
第１１回	臨床症例の治療経験（１）	全教員
第１２回	臨床症例の治療経験（２）	全教員
第１３回	臨床症例の治療経験（３）	全教員
第１４回	理学療法の効果検証経験	全教員
第１５回	臨床症例の症例・体験レポート作成	全教員
第１６回	実習セミナー発表	全教員
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	指導者から適宜提示される。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	